

Lesson 1-1 新規作成とファイル保存

keynote-study.com

①keynoteを起動します

②【Launchpad】をクリック





Server



Safari



メール



メッセージ



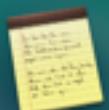
連絡先



カレンダー



リマインダー



メモ



FaceTime



Photo Booth



iTunes



App Store



Game Center



QuickTime Player



プレビュー



テキストエディット



計算機



辞書



その他



Mission Control



Dashboard



システム環境設定



Xcode



iBooks



マップ



Keynote



Pages



Numbers

① 【Keynote】をクリック



iCloud

この Mac 内

Keynote



新規書類



完了

開く



① 【新規作成】をクリック

標準

ワイド

①起動すると【テーマセレクタ】が表示されます



②好きなデザイン（テーマ）を選択します

テーマには「背景とフォント」が予め設定されています



テーマを選択

標準

ワイド



- ①次に「スライド比率」を出力する環境から選択します  
【標準 (4:3)】 = iPad    【ワイド(16:9)】 = 液晶テレビ  
＊プロジェクターは対応比率を確認しておきましょう

ホワイト

LOREM IPSUM DOLOR  
Donec quis nunc

グラデーション

Lorem Ipsum Dolor  
Donec quis nunc

写真エッセイ

LOREM IPSUM DOLOR  
Donec quis nunc

クラシック

Lorem Ipsum Dolor  
Donec quis nunc

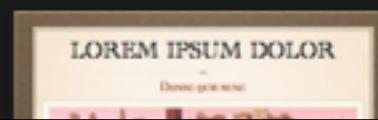
アーティザン



即興



ショールーム



ルネッサンス



①好きな【テーマ】をダブルクリックで決定



ブラック



ホワイト



グラデーション



写真エッセイ



クラシック



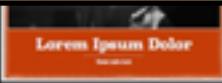
スレート



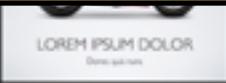
クリームペーパー



アーティザン



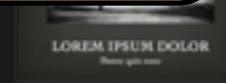
芸術



ショールーム



ルネッサンス



写真ポートフォリオ



論説



京都風



ブラシ塗りキャンバス



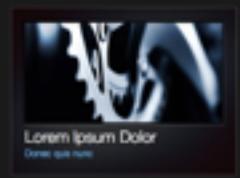
活字組



モロッコ風



クラフト



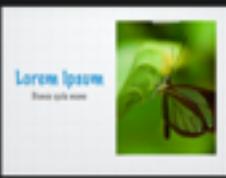
インダストリアル



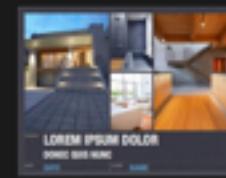
モダンポートフォリオ



ハーモニー



方紙



ブループリント



フォーマル

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定

100% リサイズ  
表示  
拡大/縮小

再生

新規  
グラフ  
テキスト  
図形  
メディア  
コメント

共有  
ピント

フォーマット  
アニメーション  
設定

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アビアランス

タイトル  
 本文  
 スライド番号

背景

マスタースライドを編集

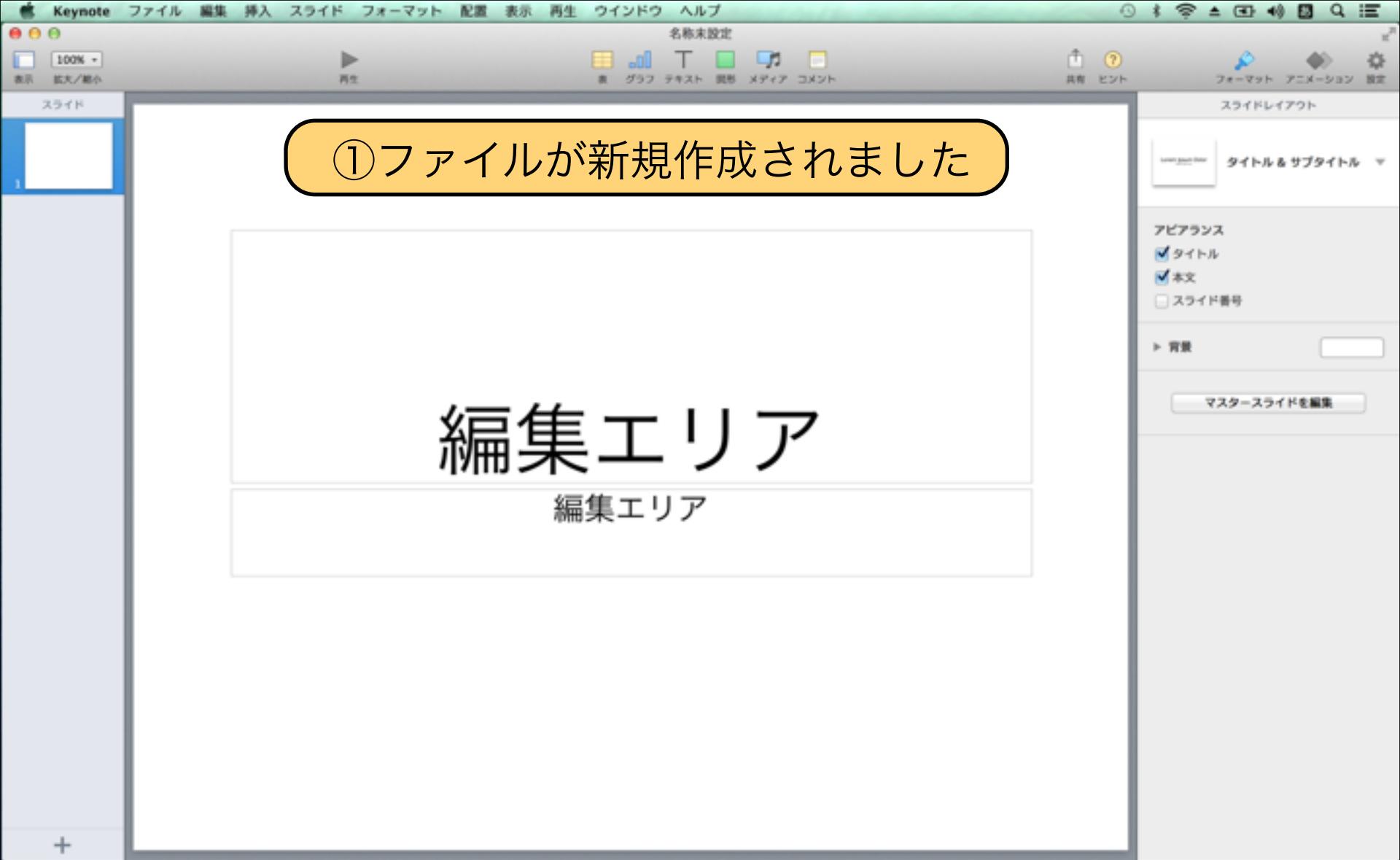
スライド

1

①ファイルが新規作成されました

編集エリア

編集エリア

A screenshot of the Keynote application interface on a Mac. The window title is 'Keynote'. The menu bar includes 'Keynote', 'ファイル', '編集', '挿入', 'スライド', 'フォーマット', '配置', '表示', '再生', 'ウィンドウ', and 'ヘルプ'. The toolbar at the top has icons for '新規' (New), 'グラフ' (Graph), 'テキスト' (Text), '図形' (Shapes), 'メディア' (Media), and 'コメント' (Comments). The status bar at the bottom shows '名称未設定' (Name not set), '100% リサイズ' (100% Resize), '表示' (View), '拡大/縮小' (Zoom), and a slide number '1'. A large orange callout bubble in the top left corner contains the text '①ファイルが新規作成されました' (File has been newly created). The main content area shows a slide with the text '編集エリア' (Edit Area) and '編集エリア' (Edit Area) in two separate text boxes. The right side of the interface shows the 'アビアランス' (Appearance) panel with checkboxes for 'タイトル' (Title) and '本文' (Text) both checked, and 'スライド番号' (Slide Number) unchecked. The '背景' (Background) and 'マスタースライドを編集' (Edit Master Slide) buttons are also visible.

名称未設定

100% 显示  
最大化/缩小

再生

新 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ピント

フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル  
 本文  
 スライド番号

背景

マスタースライドを編集

スライド

【ファイルを保存する】

編集エリア

編集エリア

①作業を開始する前に  
【ファイルの保存】をしておきましょう



スライド



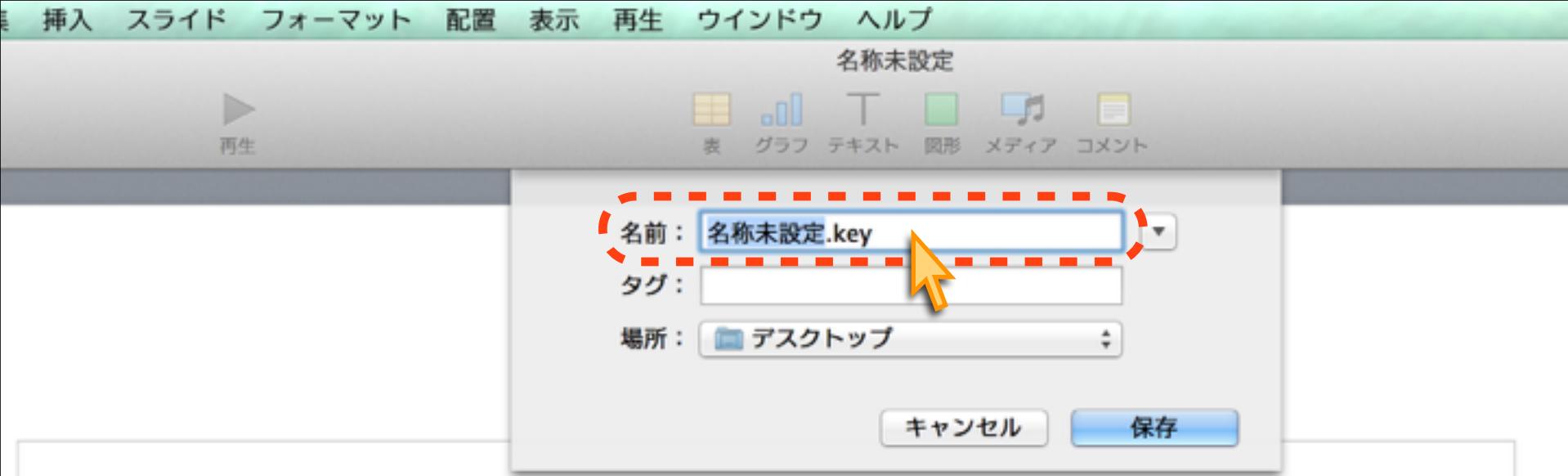
1

- 新規..... ⌘N
- 開く... ⌘O
- 最近使った書類を開く
- 閉じる ⌘W
- 保存... ⌘S
- 複製 ⌘⌘S
- 名称変更...
- 移動...
- バージョンを戻す
- 書き出す
- ファイルサイズを減らす
- パスワードを設定...
- テーマを変更...
- テーマを保存...
- プリント... ⌘P

① 【ファイル】 – 【保存】 をクリック

# 編集エリア

編集エリア



① 「名称未設定」の文字の上をクリックして  
好きな【ファイル名を入力】します

編

② 今回は ファイル名を  
「練習スライド作成」と入力します

編集エリア



再生



表



グラフ



テキスト



図形



メディア



コメント

名前: 練習スライド作成.key

タグ:

場所:

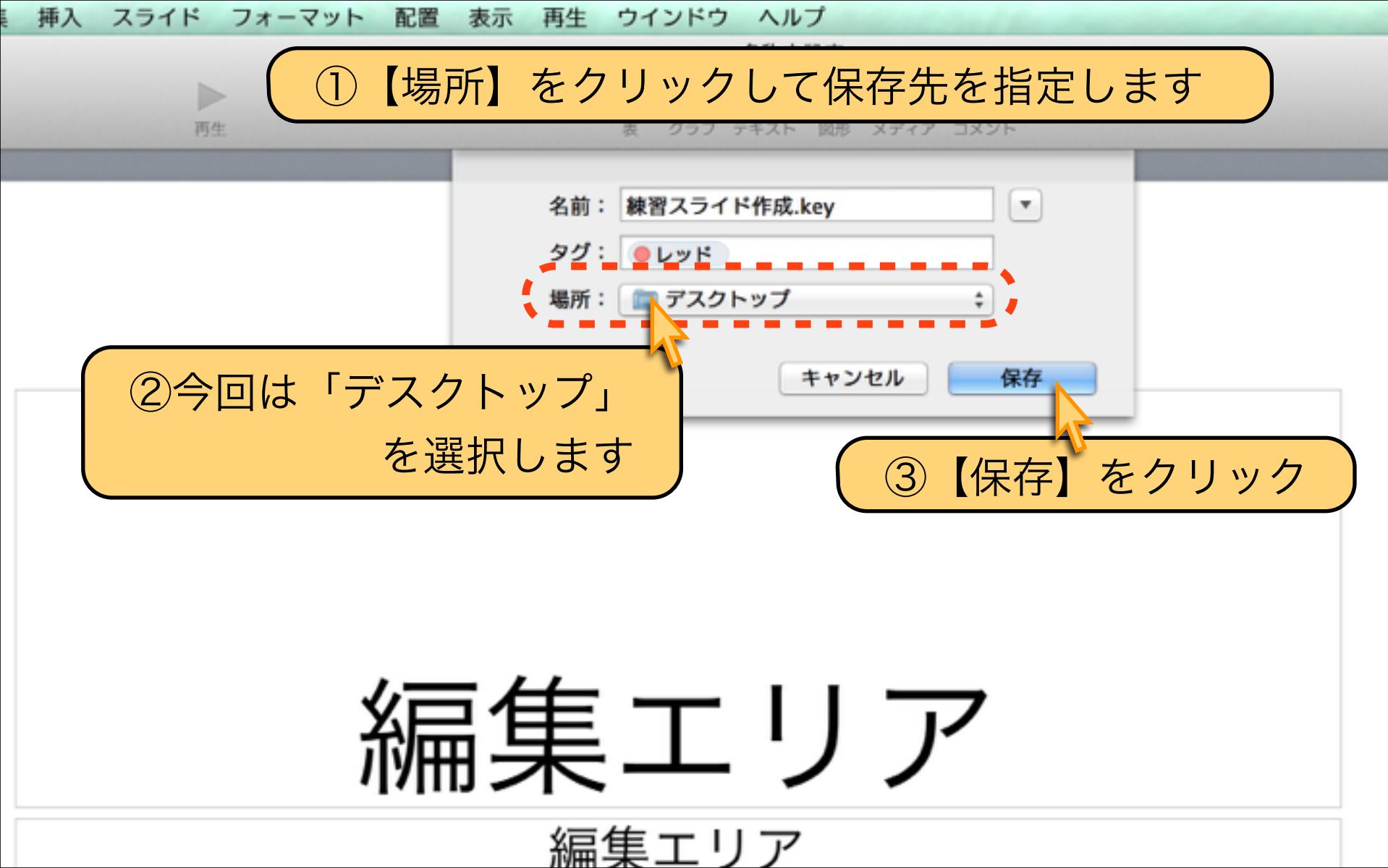
- レッド
- オレンジ
- イエロー
- グリーン
- ブルー
- パープル
- グレイ
- すべてを表示...

保存

①必要な方は【タグの項目】をクリックして  
好きな【タグの色】を選択します

# 編集エリア

## 編集エリア





①デスクトップにファイルが保存されました



## 【新作Keynote(2013)の使い方】



新作Keynoteが2013年に発表されました。  
Keynote'09から機能の変更は少ないですが  
操作画面の配置は大きく変更されました。  
使い方だけでなくPOINTも紹介していきます。

## Lesson 1-2 テーマとテンプレート

keynote-study.com

キーノートには様々な【テーマ】が用意されています。  
最初に選択したテーマから変更する手順を紹介します。

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key – 編集済み

100% 表示  
再生  
スライド  
1

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション オプション

プレゼンテーション

テーマ ホワイト  
テーマの変更

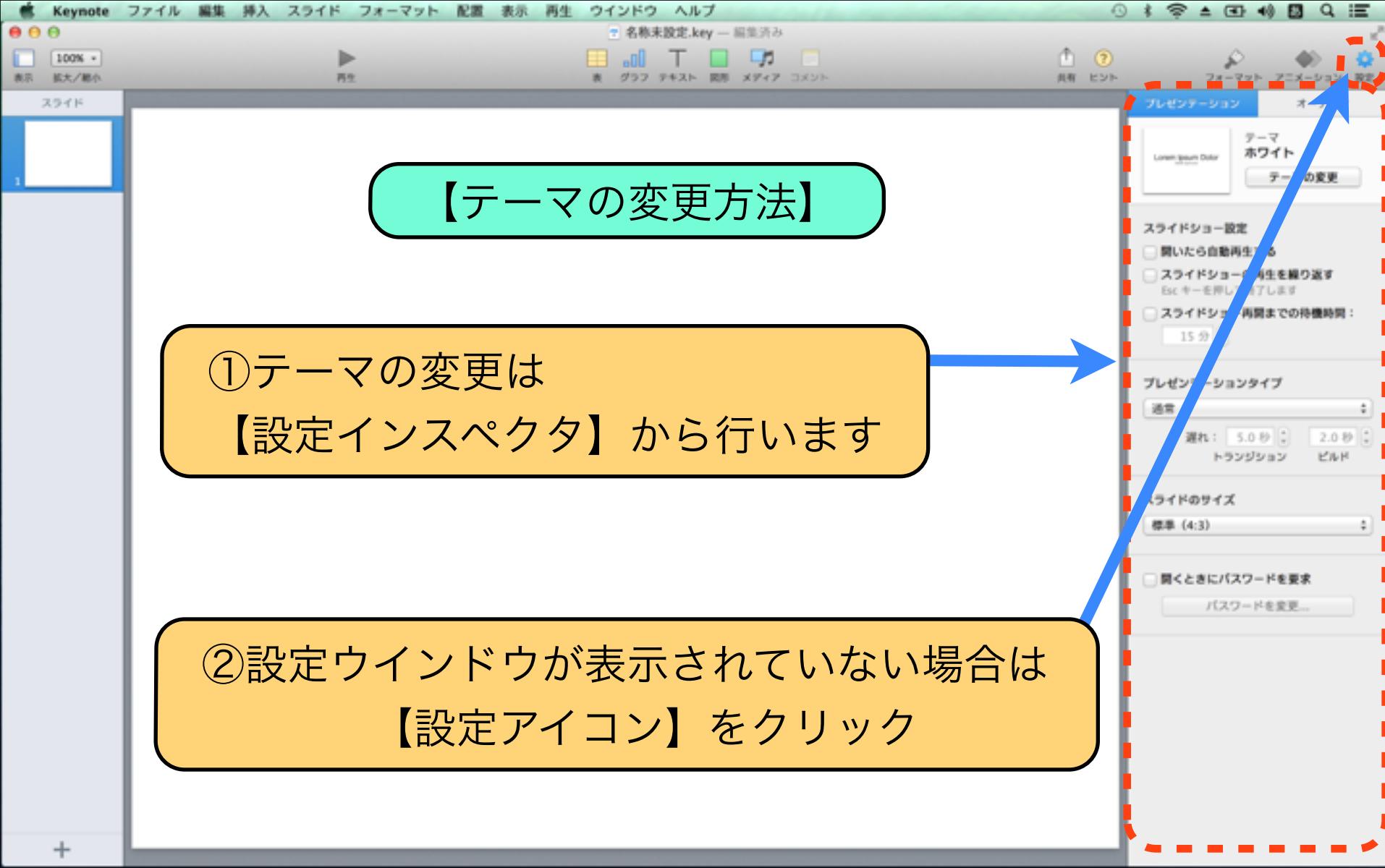
スライドショー設定

- 開いたら自動再生する
- スライドショー再生を繰り返す  
Esc キーを押すと停止します
- スライドショー再開までの待機時間：  
15 分

プレゼンテーションタイプ  
通常  
遅れ： 5.0 秒 2.0 秒  
トランジション ビルド

スライドのサイズ  
標準 (4:3)

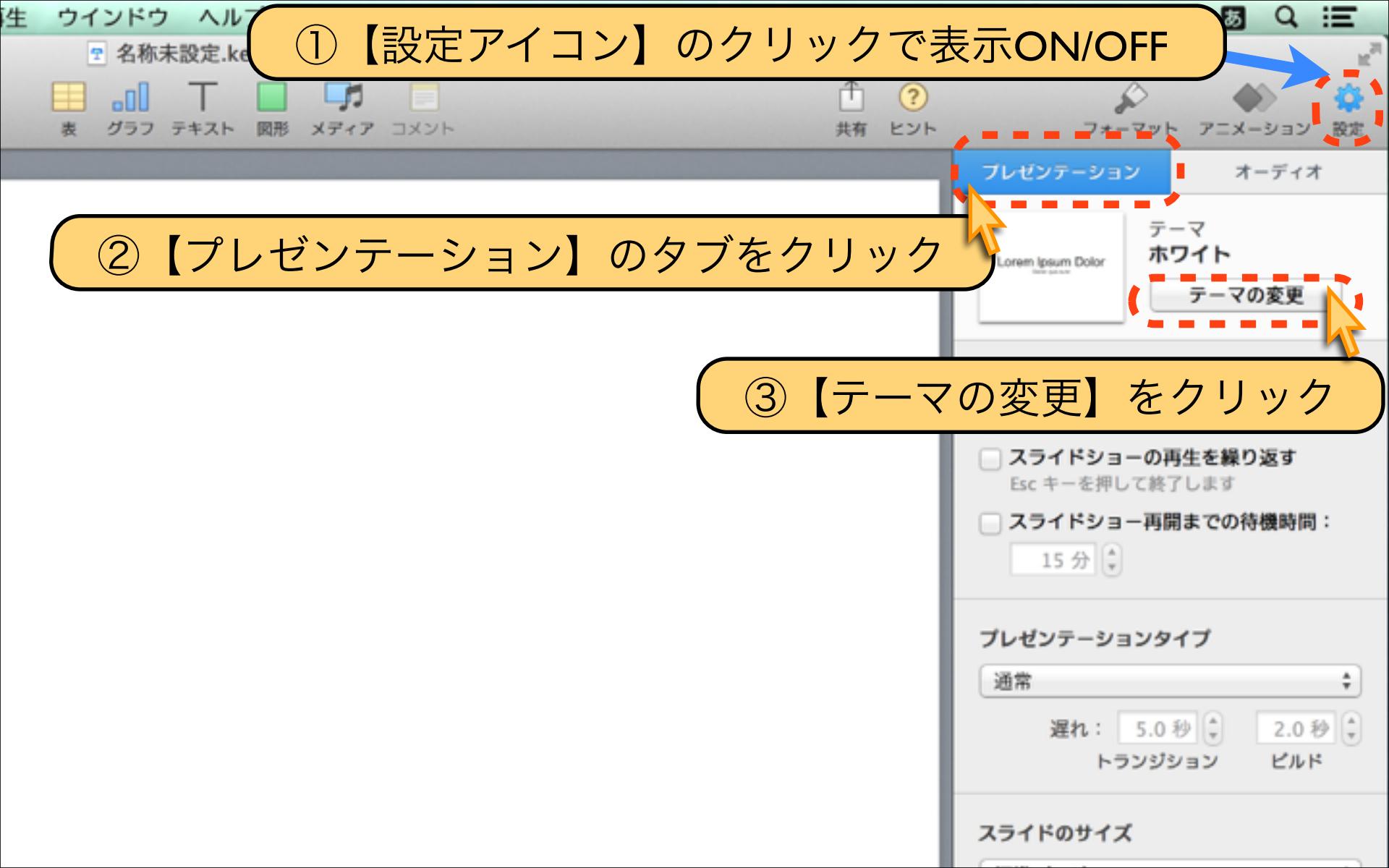
開くときにパスワードを要求  
「パスワードを変更…」



【テーマの変更方法】

①テーマの変更は  
【設定インスペクタ】から行います

②設定ウインドウが表示されていない場合は  
【設定アイコン】をクリック





①各テーマにはフォント、背景、レイアウトが設定されています



②好きなテーマをダブルクリックで選択します

プレゼンテーションの新規テーマを選択してください：

標準

ワイド

Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

ブラック

Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

ホワイト

Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

グラデーション

LOREM IPSUM DOLOR



写真エッセイ



Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

クラシック



Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

スレート



LOREM IPSUM DOLOR  
Dolor sit amet.

クリームペーパー



LOREM IPSUM DOLOR  
Dolor sit amet.

アーティザン



Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

即興



LOREM IPSUM DOLOR  
Dolor sit amet.

ショールーム



Lorem Ipsum Dolor  
Dolor sit amet.

ルネッサンス



LOREM IPSUM DOLOR  
Dolor sit amet.

写真ポートフォリオ

スタイルの変更を保持

キャンセル

選択

①今回は【スレート】を選択します

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key – 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1

① 【テーマ】が変更されました

編集エリア

編集エリア

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す Esc キーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間： 15 分

プレゼンテーションタイプ

通常 遅れ： 5.0 秒 トランジション 2.0 秒 ビルド

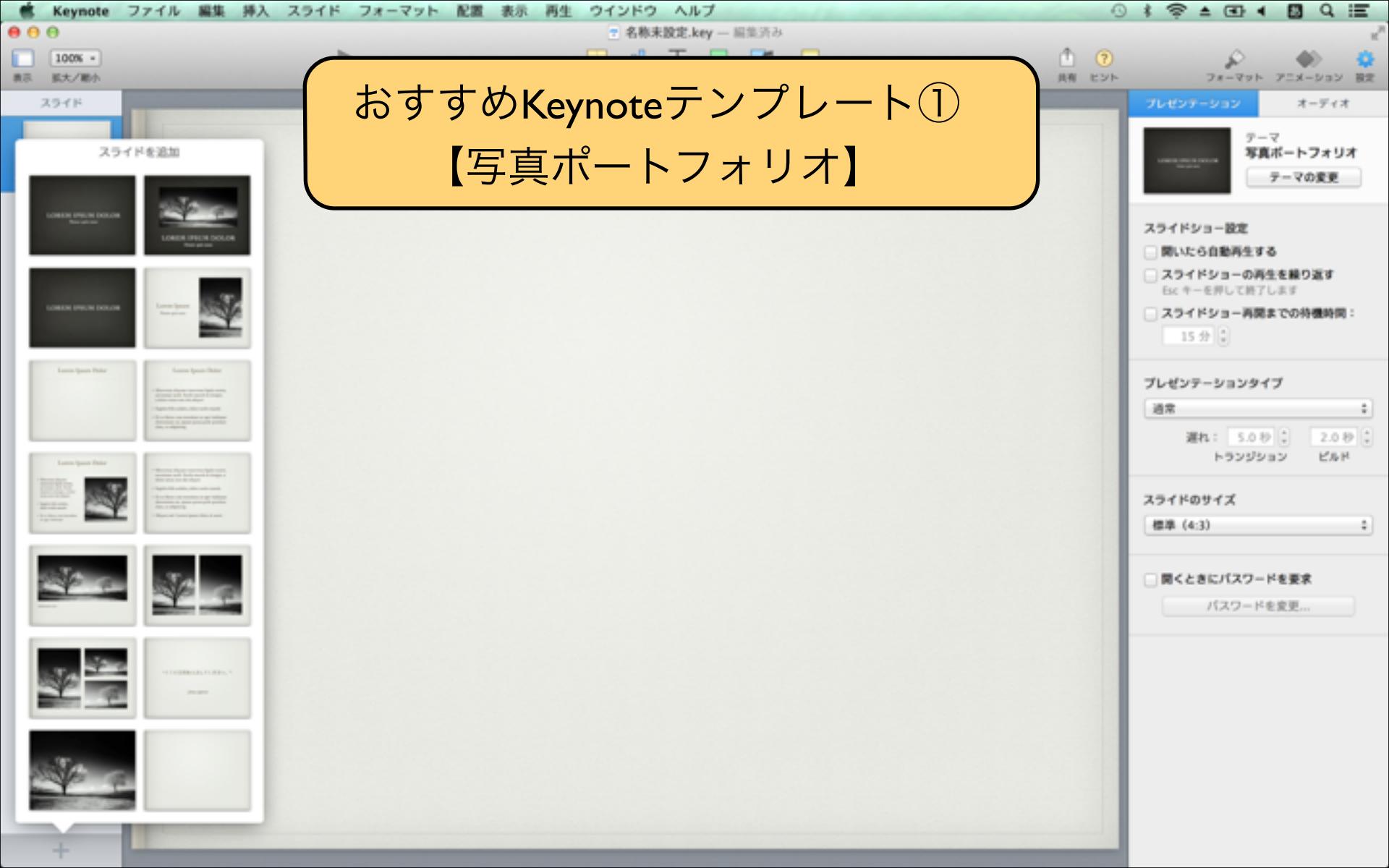
標準 (4:3)

スライドのサイズ

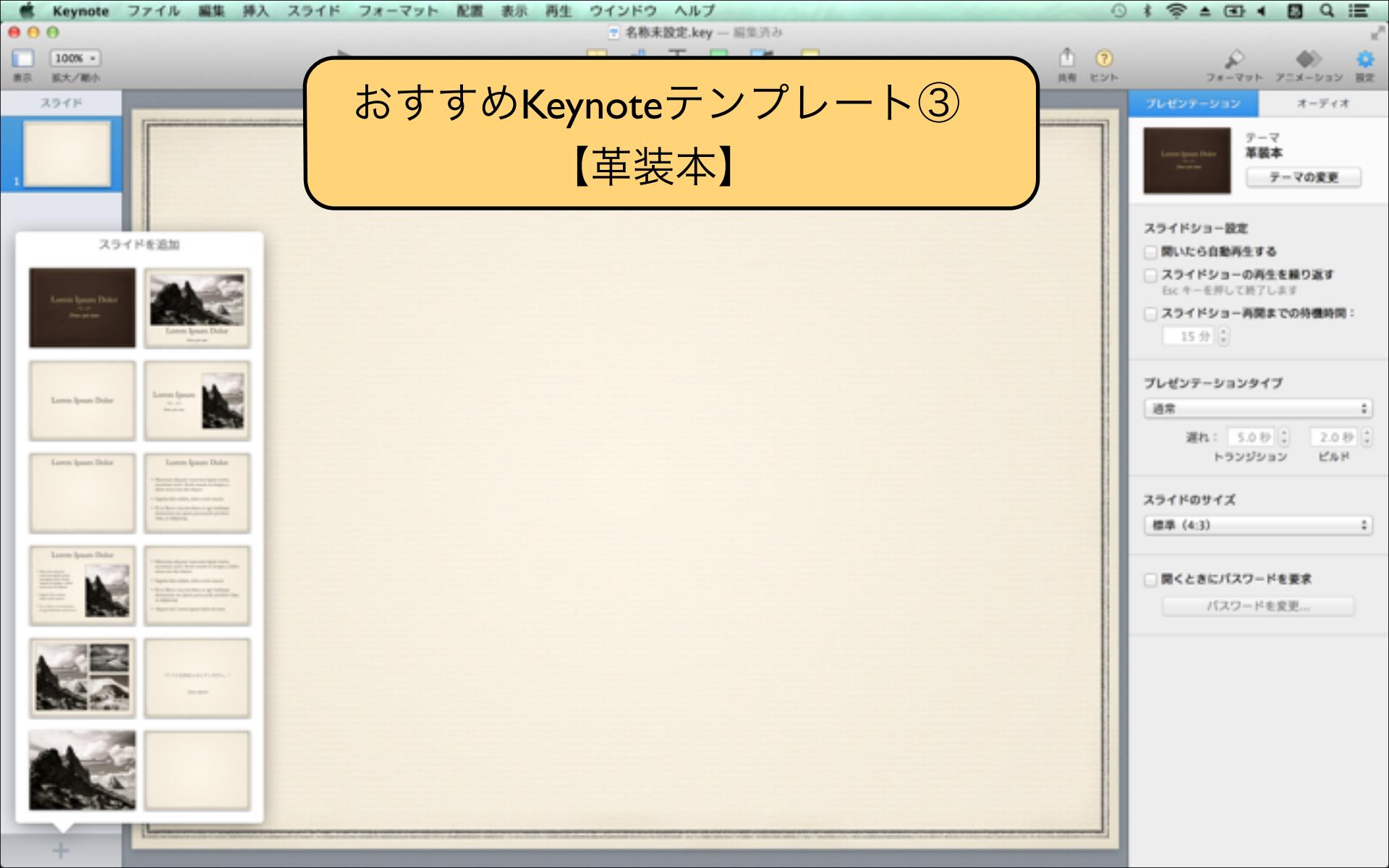
開くときにパスワードを要求 パスワードを変更...

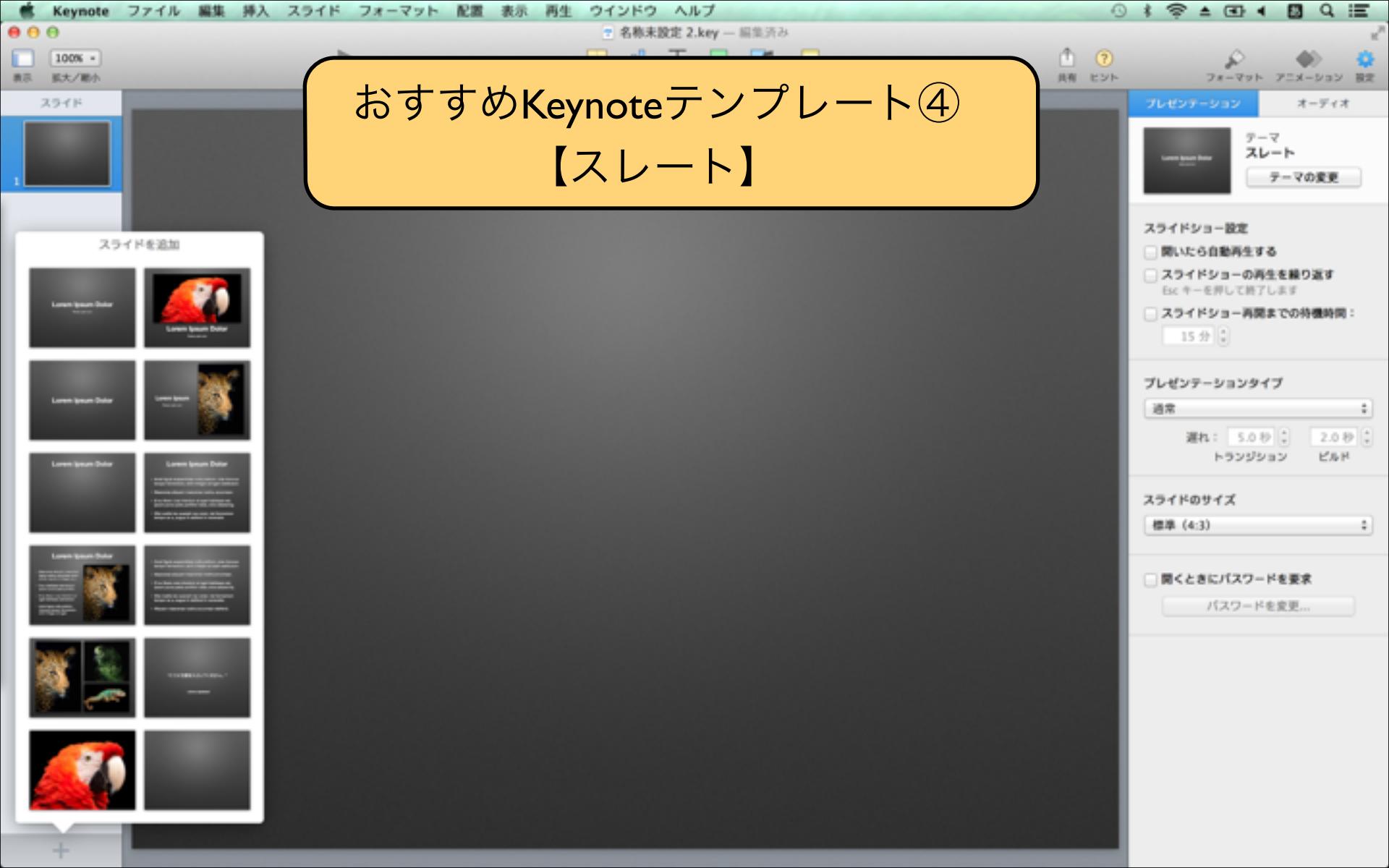
テーマ  
スレート  
テーマの変更

This screenshot shows a presentation slide in Apple Keynote. The slide contains the text '編集エリア' (Edit Area) and '編集エリア' (Edit Area) again. A yellow callout bubble with the text '① 【テーマ】が変更されました' (① The theme has been changed) is overlaid on the slide. The right sidebar displays various presentation settings, including theme selection (set to 'スレート' - Slate), slide show options (auto-play, loop, duration), presentation type (normal, transition, build), slide size (standard 4:3), and a password requirement option.









Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

key - 編集済み

スライド

表示 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

プレゼンテーション オーディオ

テーマ  
スレート  
テーマの変更

設定

自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Esc キーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15 分

プレゼンテーションタイプ  
通常  
遅れ： 5.0 秒 ↑ ↓ 2.0 秒  
トランジション ビルド

スライドのサイズ  
標準 (4:3)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...

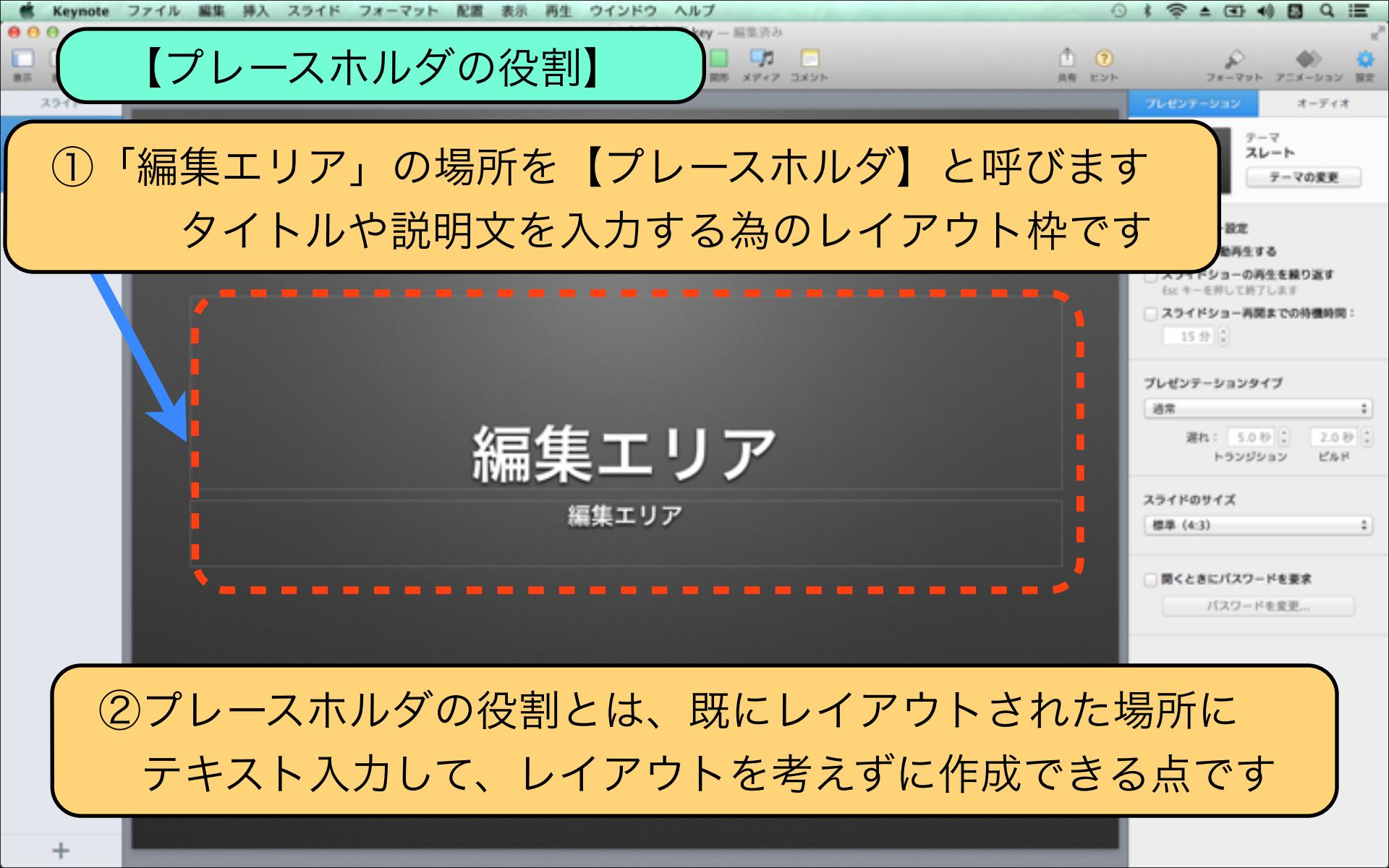
【プレースホルダの役割】

① 「編集エリア」の場所を【プレースホルダ】と呼びます  
タイトルや説明文を入力する為のレイアウト枠です

編集エリア

編集エリア

② プレイスホルダの役割とは、既にレイアウトされた場所に  
テキスト入力して、レイアウトを考えずに作成できる点です



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

表示  
スライド  
100%

フォーマット アニメーション 設定

テンプレーション オーディオ

テーマ  
スレート  
テーマの変更

スライドショー設定  
開いたら自動再生する  
スライドショーの再生を繰り返す  
Escキーを押して終了します  
スライドショー再開までの待機時間:  
15分

プレゼンテーションタイプ  
通常  
遷移: 5.0秒 トランジション 2.0秒 ビルド

スライドのサイズ  
標準(4:3)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...

①しかし、自由にレイアウトしたい場合には  
【プレースホルダ】は削除しても問題ありません

編集エリア

編集エリア

②プレースホルダの削除は、編集エリア内を  
【クリック】 + 【deleteキー】です



名称未設定.key — 編集済み

スライド

再生

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

プレゼンテーション オーディオ

テーマ  
スレート

テーマの変更

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Esc キーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15 分

プレゼンテーションタイプ

通常

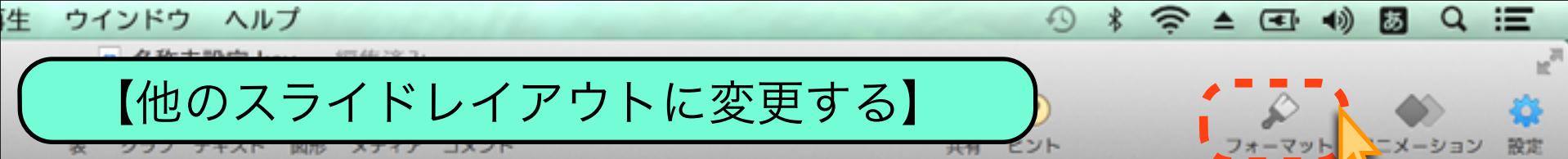
遅れ： 5.0 秒 ↑ ↓ 2.0 秒  
トランジション ビルド

スライドのサイズ

標準 (4:3)

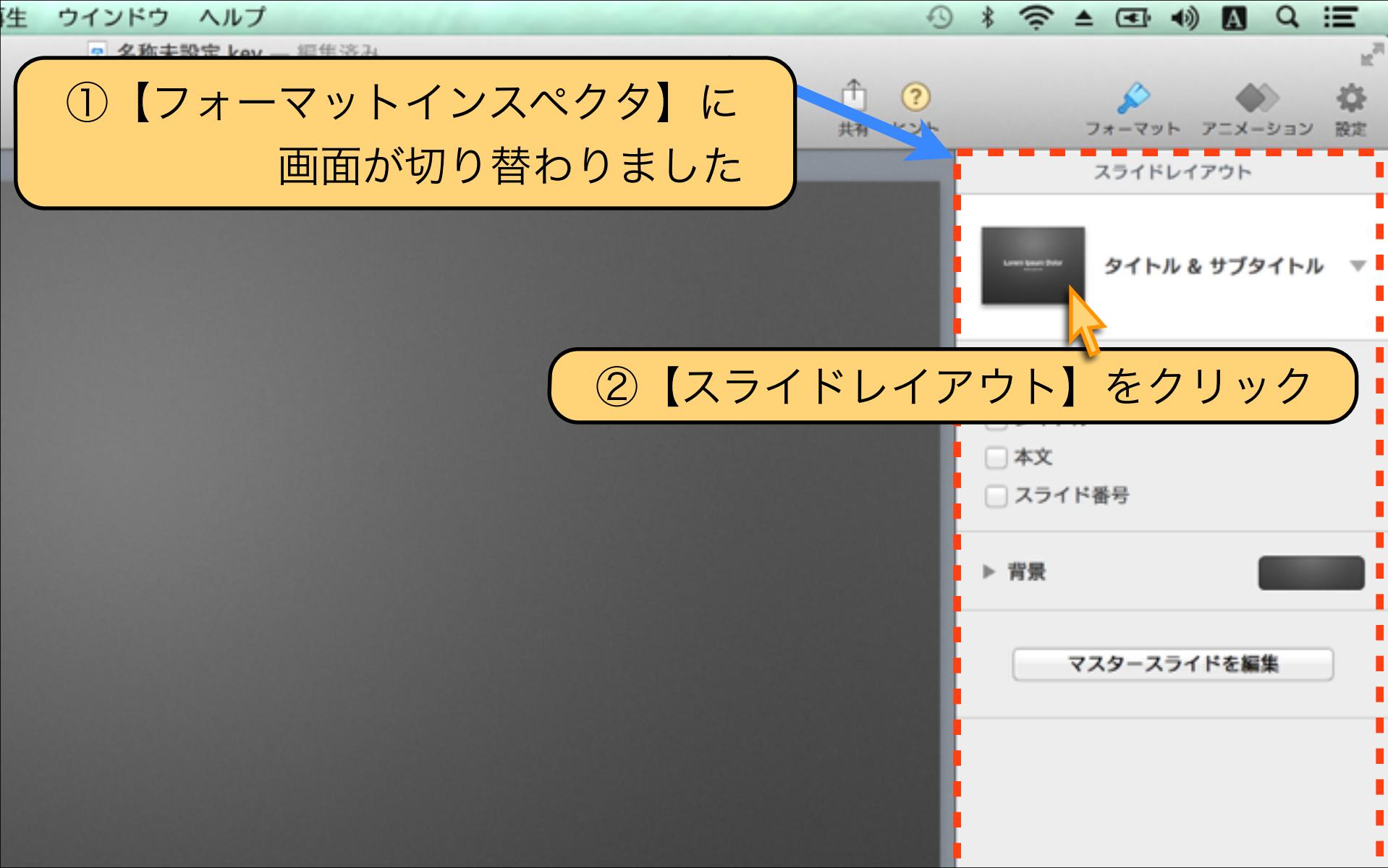
開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...

① 【プレースホルダ】が削除されました。  
自由にレイアウトしたい場合には  
「プレースホルダ」は利用しません。



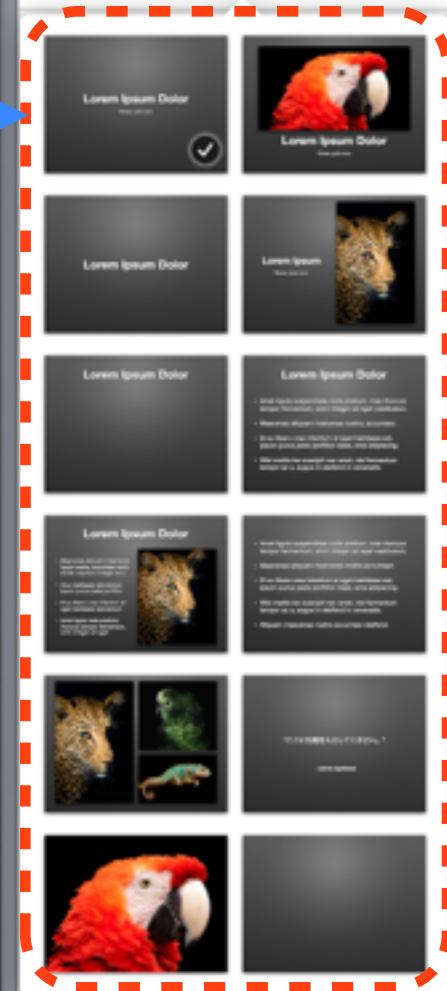
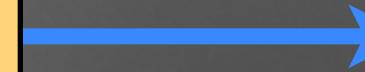
【他のスライドレイアウトに変更する】

① 【フォーマット】をクリック



①【スライドレイアウト】の一覧が表示されました

②好きなレイアウトをクリックして  
スライドレイアウトの変更が可能です



## 【テーマ選択のPOINT】



スライド作成方法は大きく二種類です

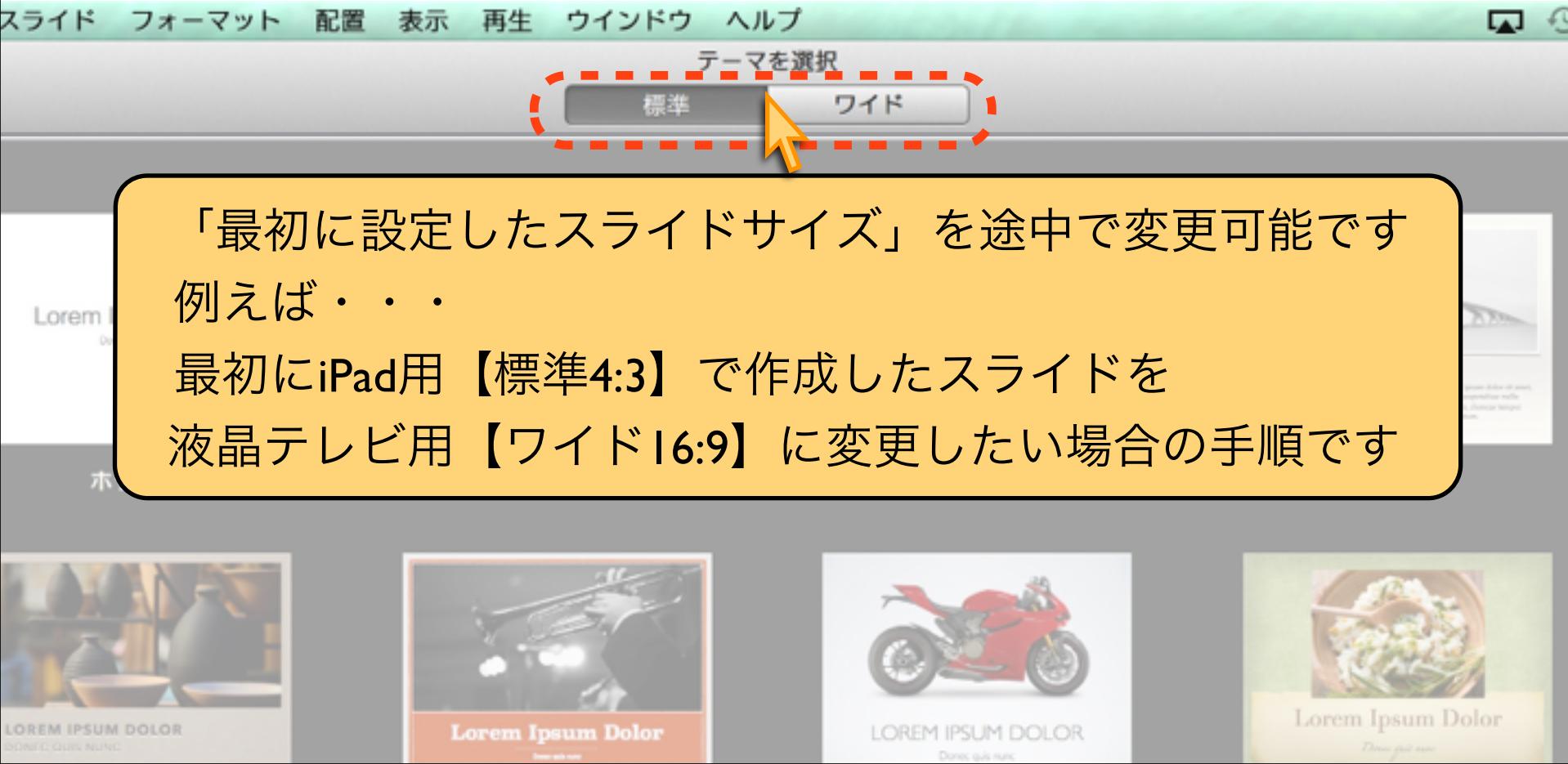
- 1:雛形のプレースホルダを編集する方法
- 2:プレースホルダ削除で自由にレイアウト

背景を基準にテーマ選択するのがオススメです

## Lesson 1-3 スライドサイズと表示倍率

keynote-study.com

## 【スライドサイズの変更】



スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

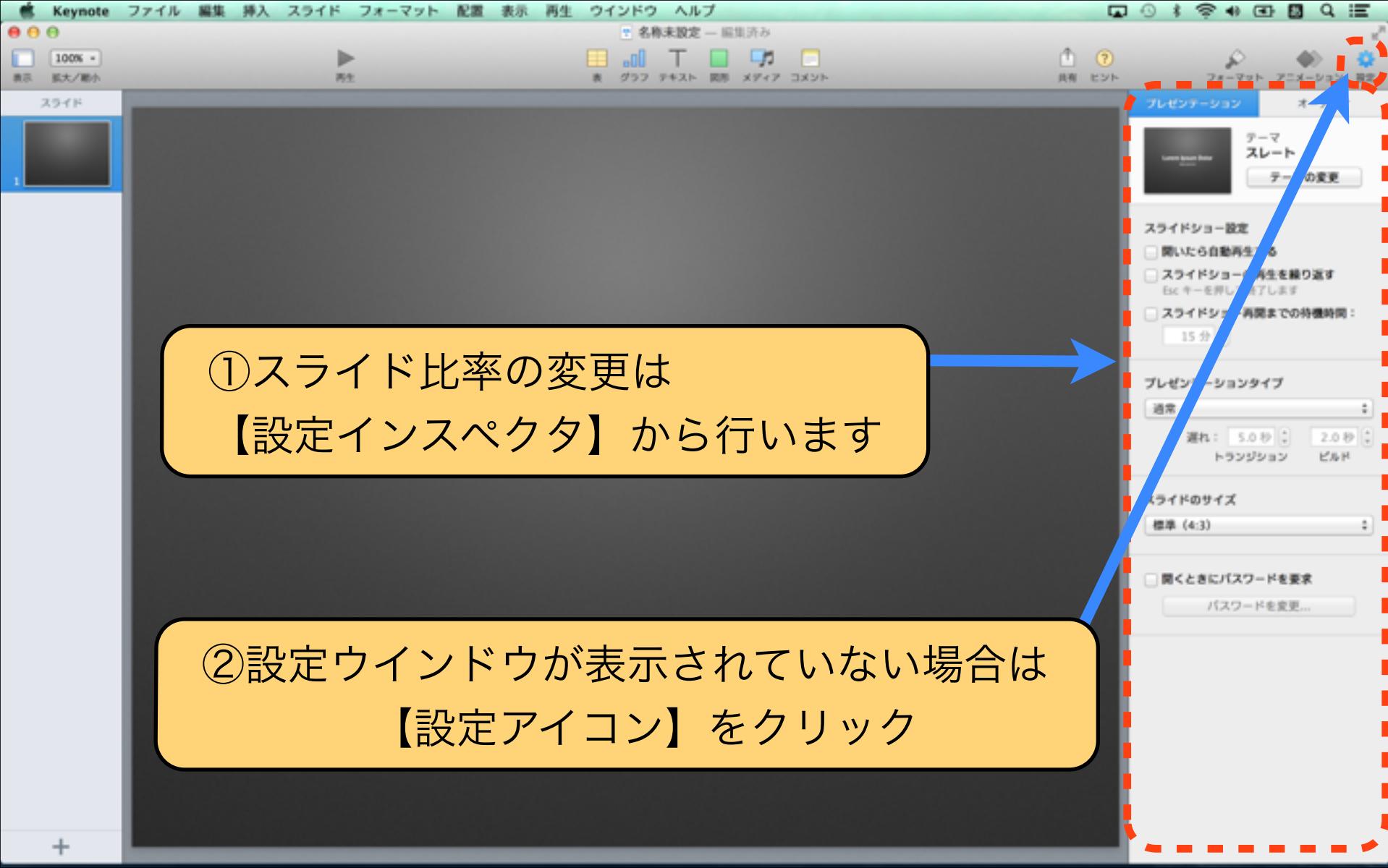
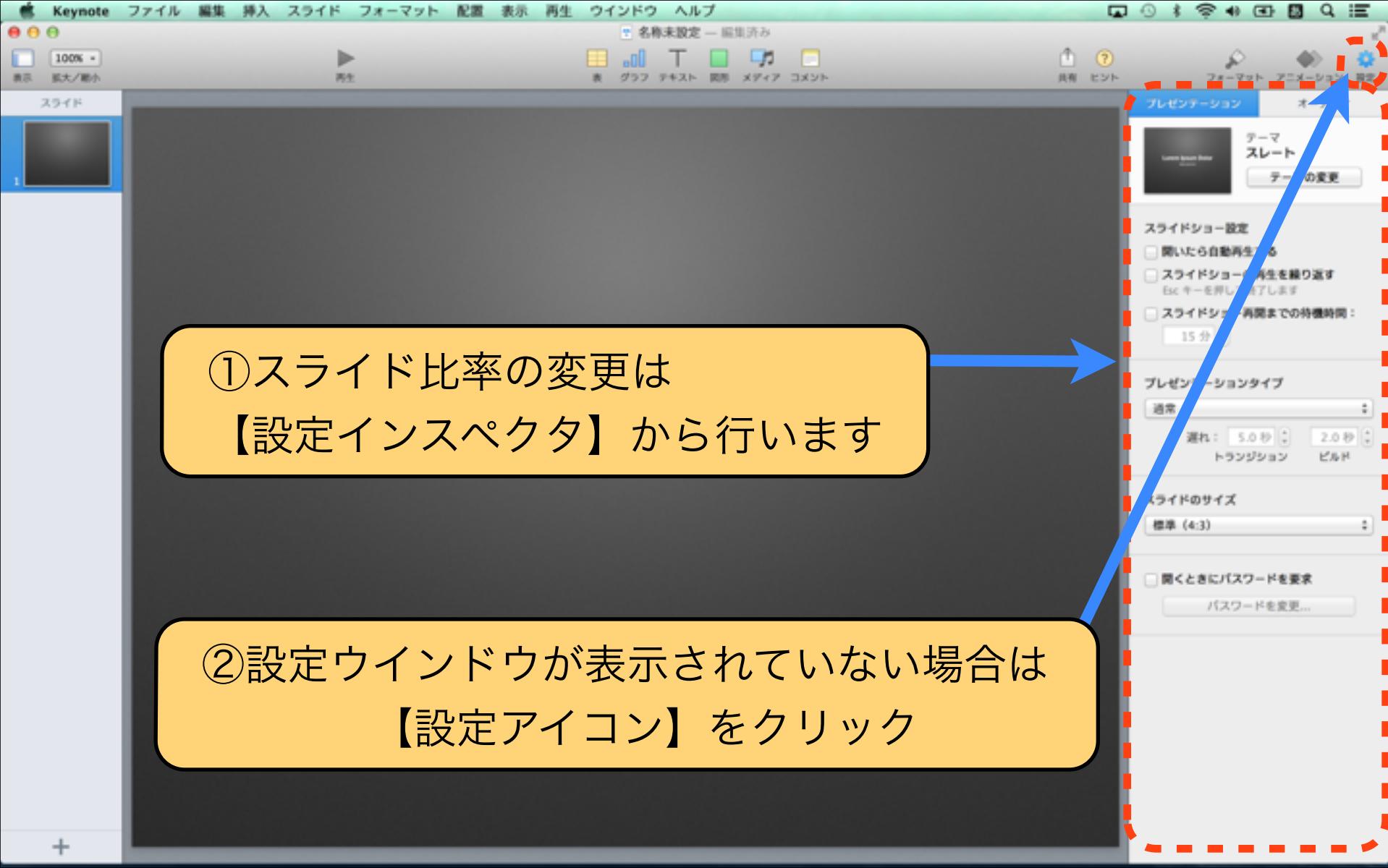
テーマを選択

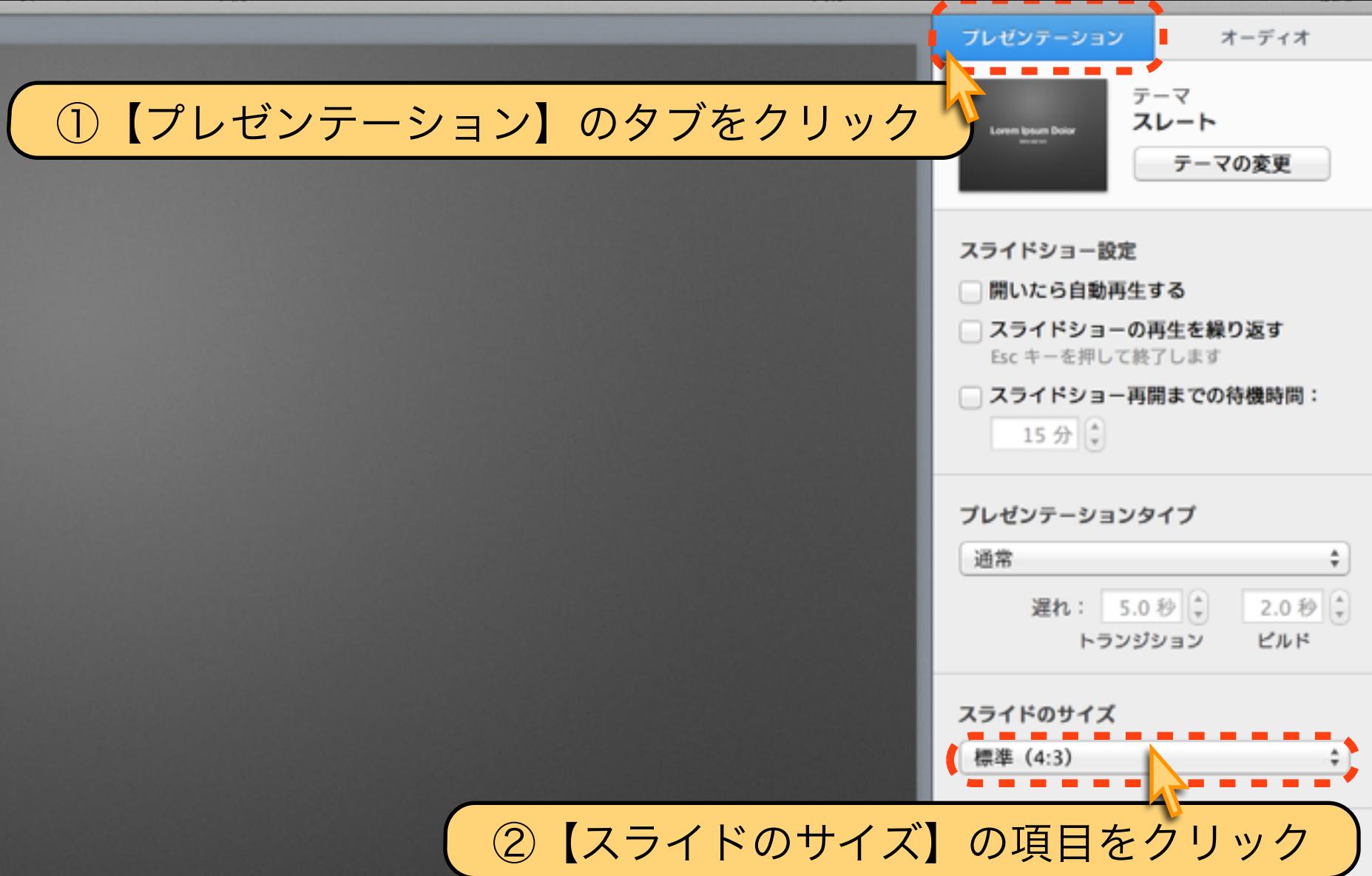
標準 ワイド

「最初に設定したスライドサイズ」を途中で変更可能です  
例えば・・・

最初にiPad用【標準4:3】で作成したスライドを  
液晶テレビ用【ワイド16:9】に変更したい場合の手順です

LOREM IPSUM DOLOR  
Dolor, qui nunc





① 【標準（4:3）】 = 1024×768

【ワイドスクリーン（16:9）】 = 1920×1080

【カスタムのスライドサイズ】

から選択します

② 【標準（4:3）】 = iPad

【ワイド（16:9）】 = 液晶テレビ

出力先の環境に合わせて選択します

③ 今回は 【ワイドスクリーン】 をクリック



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

54% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド 1

1

①スライドサイズが【標準】→【ワイド】に変更されました

テーマ  
スレート  
テーマの変更

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Escキーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15分

プレゼンテーションタイプ

通常 遅れ： 5.0秒 トランジション 2.0秒 ビルド

スライドのサイズ

ワイドスクリーン (16:9)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...

## 【スライドサイズを自由に設定する】

①キーノートでは「標準とワイド」以外のスライドサイズを自由に作成できます

②【カスタムのスライドサイズ】をクリック



スライドショーで使用するカスタムスライド  
サイズを設定

幅: 720 pt

高さ: 1280 pt

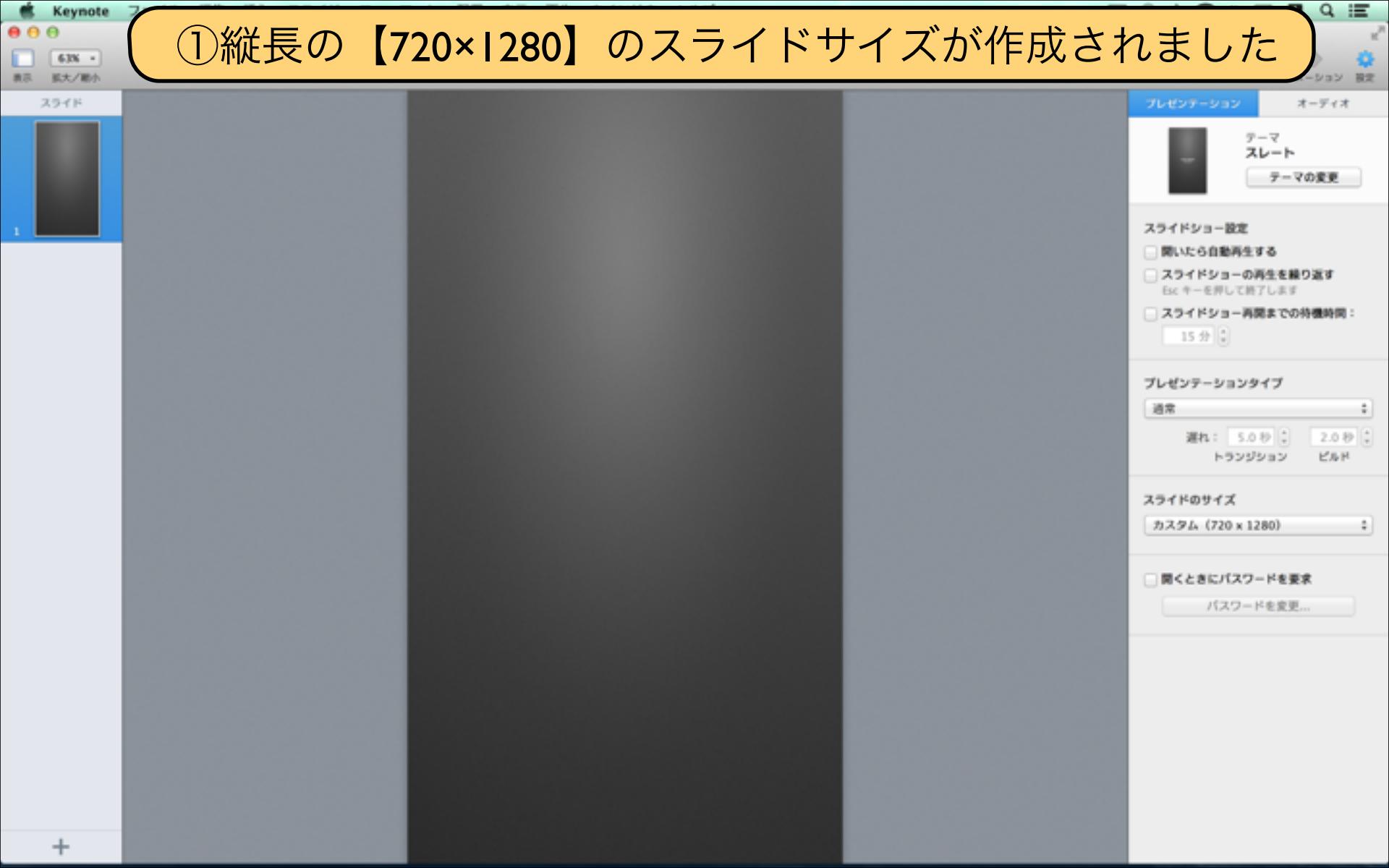
キャンセル

OK

① 【作成したいスライドサイズ】  
を数値で入力します

② 【OK】 をクリック

③ 今回は 【720×1280】 と入力し 「縦長のスライド」 を作ります



## 【自由なスライドサイズのメリット】



Keynoteは自由にスライドサイズを設定することができます

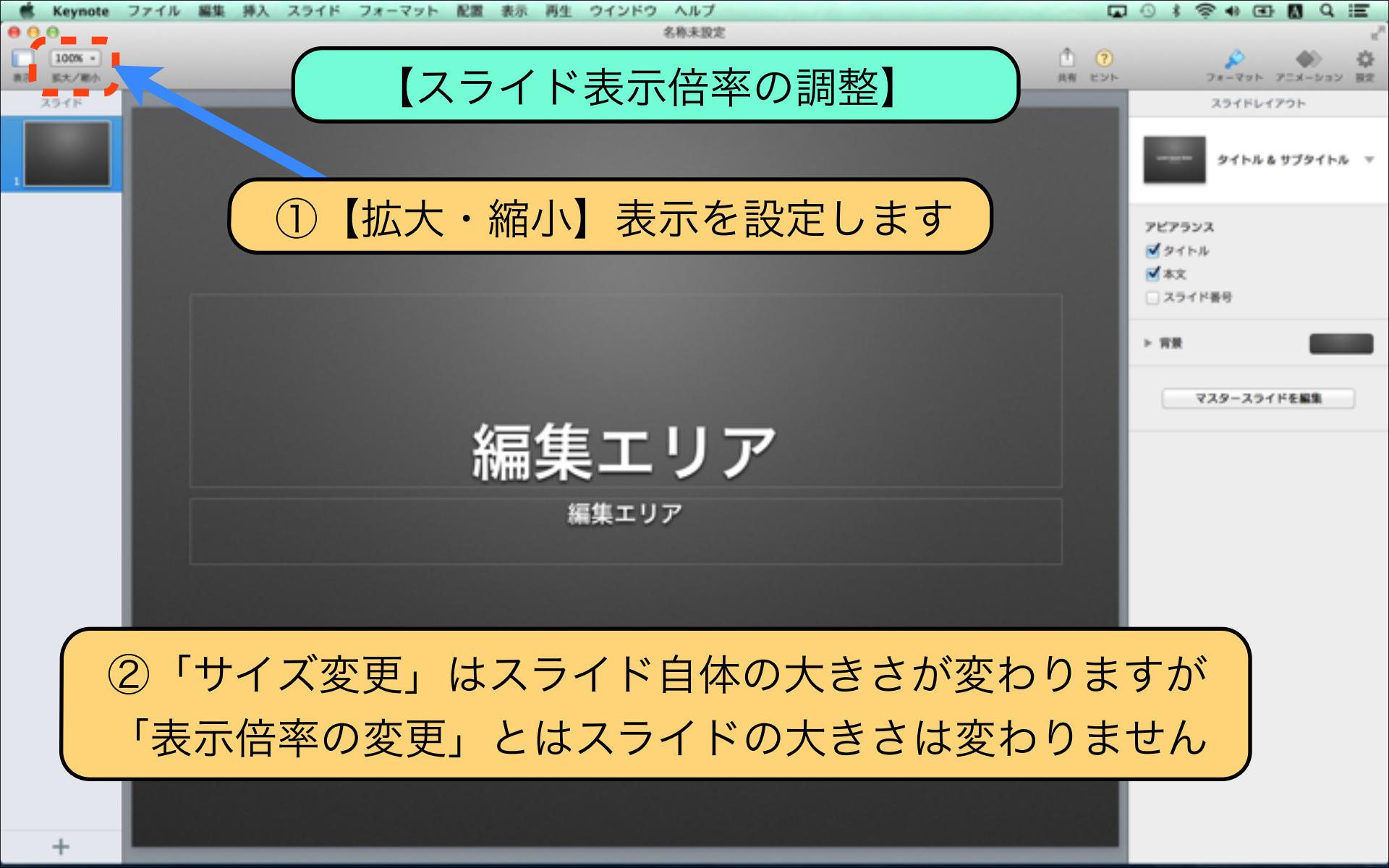
1: 【Webサイトのデザイン原稿】

2: 【写真のスライドショー】

手軽なデザインソフトとして活用の幅が広がります

このページ「720×450」でkeynoteで作られています

# Lesson Keynote



【スライド表示倍率の調整】

① 【拡大・縮小】表示を設定します

② 「サイズ変更」はスライド自体の大きさが変わりますが  
「表示倍率の変更」とはスライドの大きさは変わりません



再生



①数値の上をクリック

1

短集



Keynote

ファイル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設



100% ▾

25%

50%

75%

100% ✓

125%

150%

200%

300%

400%

ウインドウに合わせる



再生



表



グラフ



テキスト

① 数値を選択し  
【スライドの表示倍率】を変更します

② 【ウインドウに合わせる】を選択すると  
画面いっぱいに自動調整してくれます

恒例

## 【表示倍率の活用POINT】



画面の小さなノートパソコンでは  
【拡大表示】に切り替えながら作業します。  
遠くからでもスライドの文字が見やすいかを  
【縮小表示】に切り替えてチェックします。

Lesson 1-4

スライド追加と複製

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 显示 大きく/小さく

再生

スライド

1

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

プレゼンテーション オーディオ

テーマ  
スレート  
テーマの変更

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Esc キーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15 分

プレゼンテーションタイプ

通常 遅れ： 5.0 秒 トランジション 2.0 秒 ビルド

スライドのサイズ

標準 (4:3)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...



①作成したスライドは  
【スライドナビゲーター】で管理します

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1

【スライドの追加方法】

①スライドの追加は【+】をクリック

②スライドは何枚でも追加可能です

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Escキーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15分

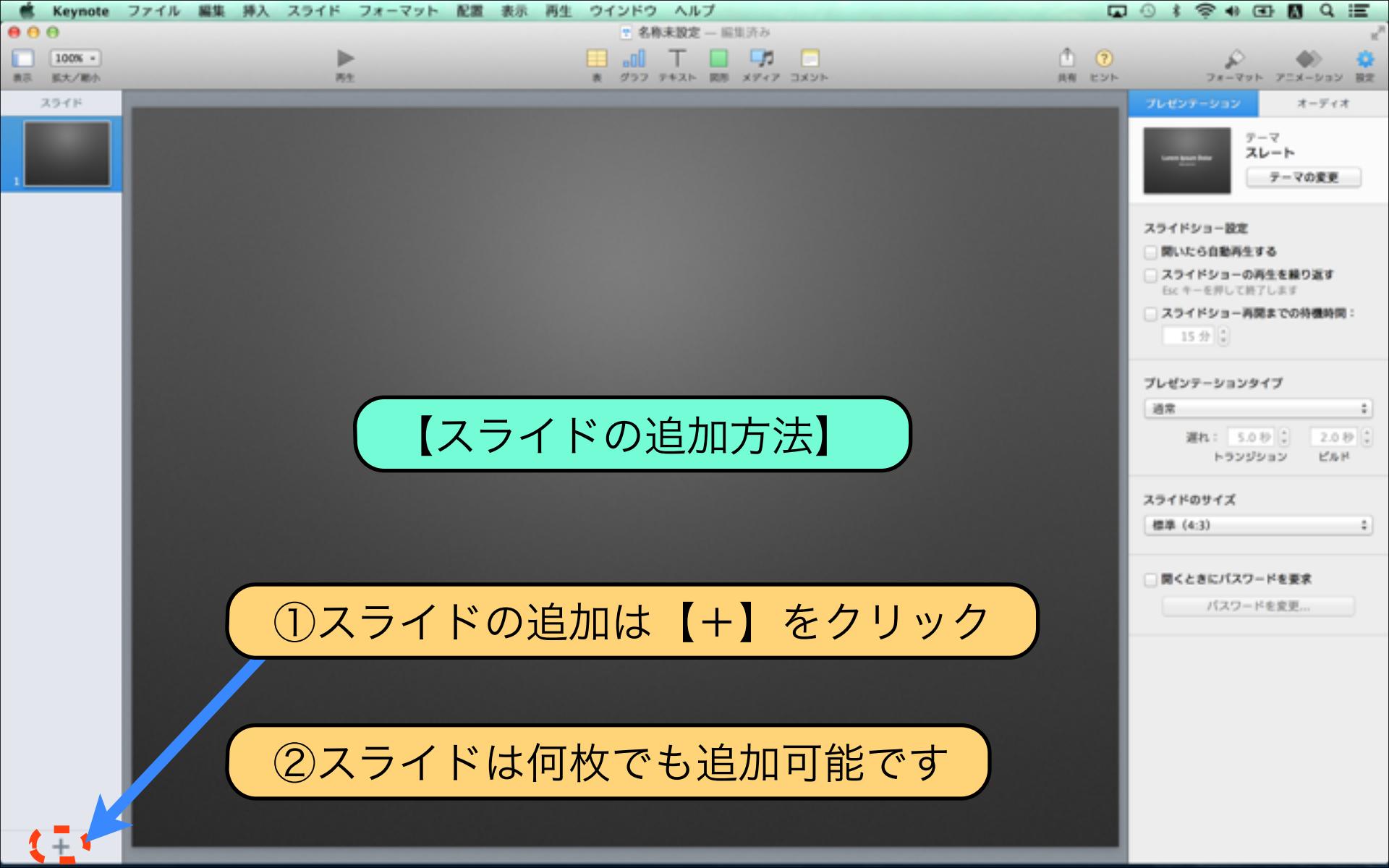
プレゼンテーションタイプ

通常 遅れ： 5.0秒 トランジション 2.0秒 ビルド

スライドのサイズ

標準 (4:3)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

①【スライドの雰囲形一覧】が表示されました

スライド

1

スライドを追加

②追加したいスライドをクリックします

③今回は、こちらを選択します

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

プレゼンテーション オーディオ

テーマ  
スレート  
テーマの変更

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Escキーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15分

プレゼンテーションタイプ

通常 遅れ： 5.0秒 トランジション 2.0秒 ビルド

スライドのサイズ

標準(4:3)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...

スライド

1

スライドを追加

②追加したいスライドをクリックします

③今回は、こちらを選択します

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

プレゼンテーション オーディオ

テーマ  
スレート  
テーマの変更

スライドショー設定

開いたら自動再生する

スライドショーの再生を繰り返す  
Escキーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
15分

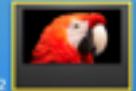
プレゼンテーションタイプ

通常 遅れ： 5.0秒 トランジション 2.0秒 ビルド

スライドのサイズ

標準(4:3)

開くときにパスワードを要求  
パスワードを変更...



①二枚目のスライドが追加されました



画像 (横長)

アピアランス

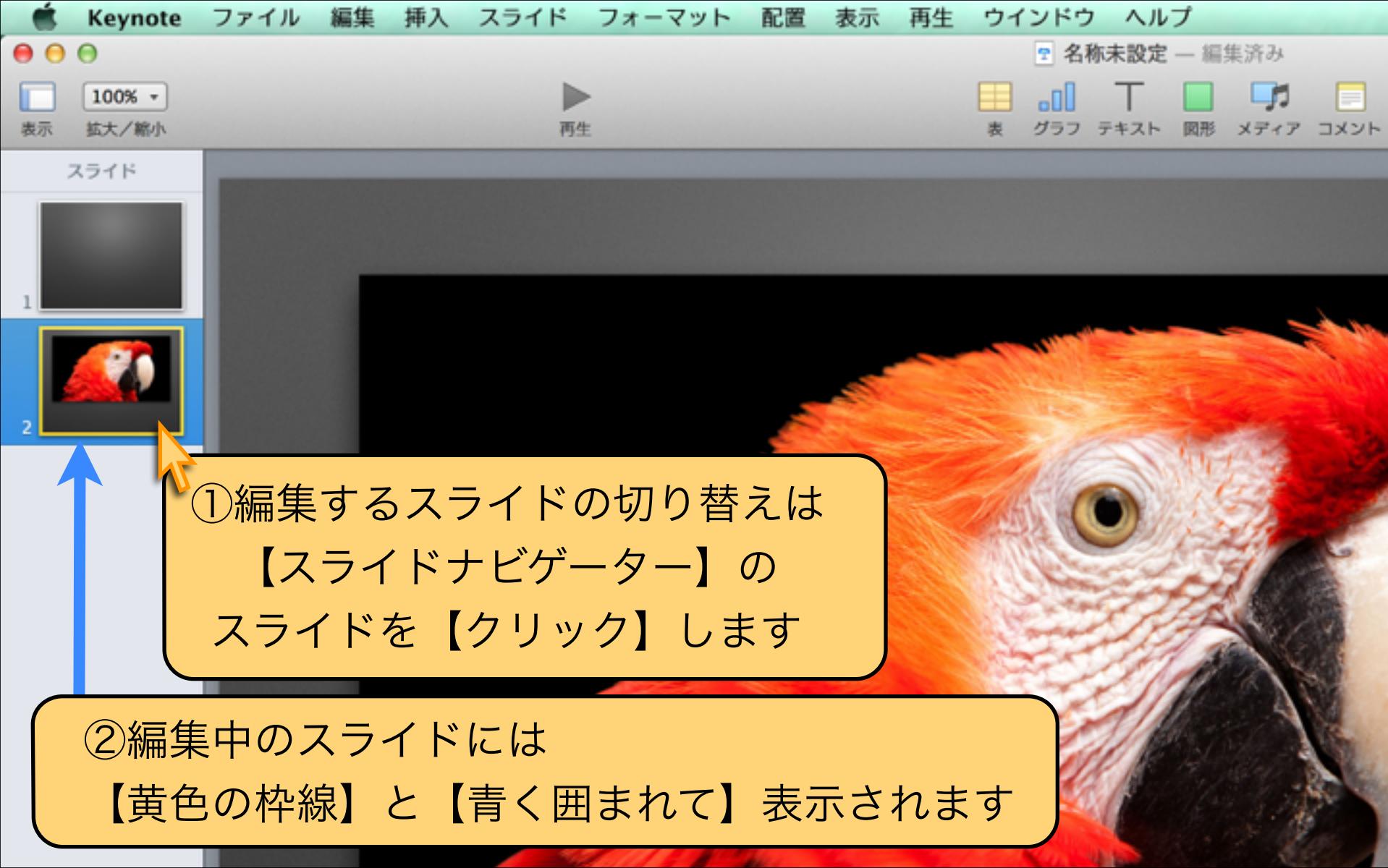
 タイトル 本文 スライド番号

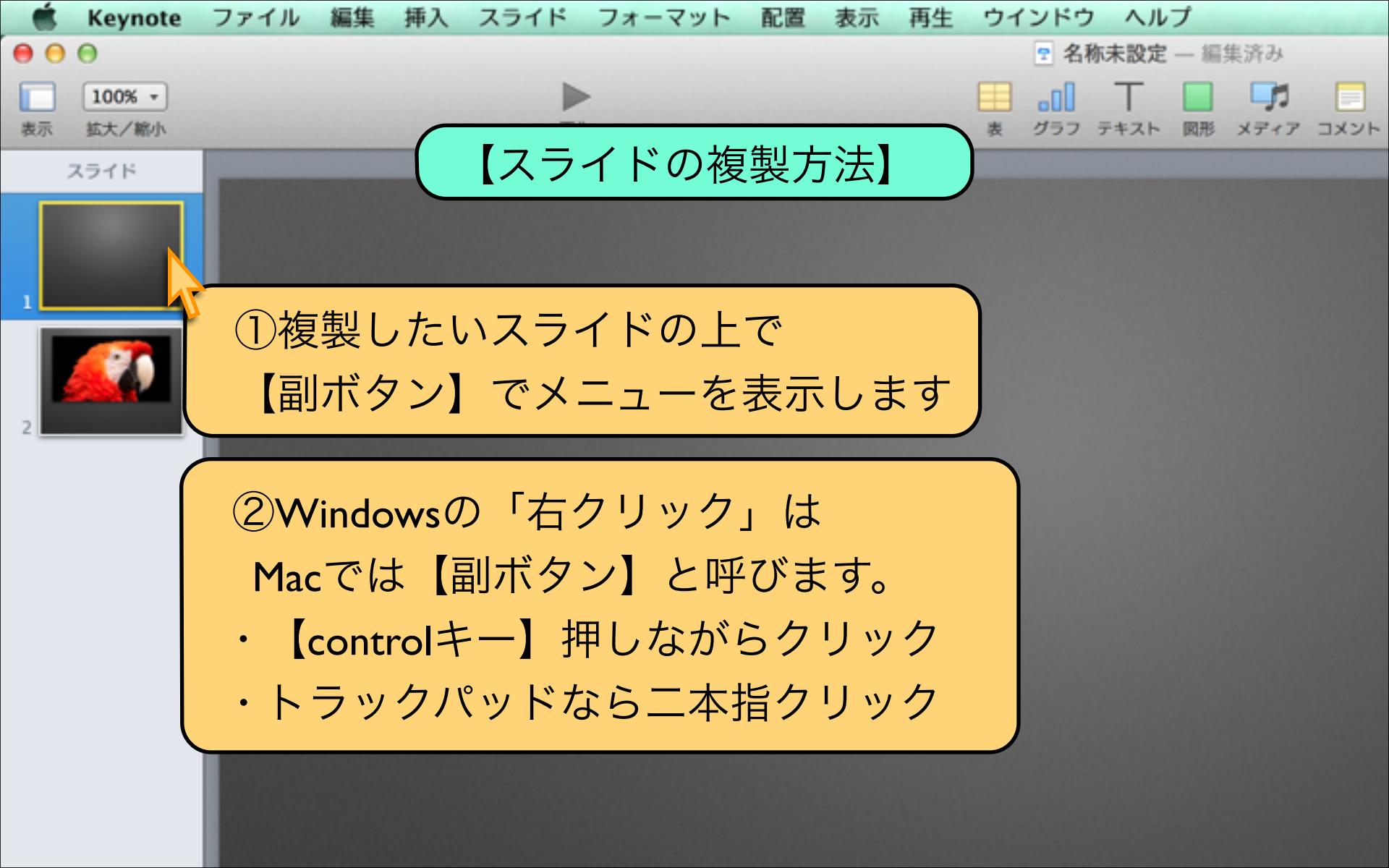
▶ 背景

マスタースライドを編集

# 編集エリア

編集エリア



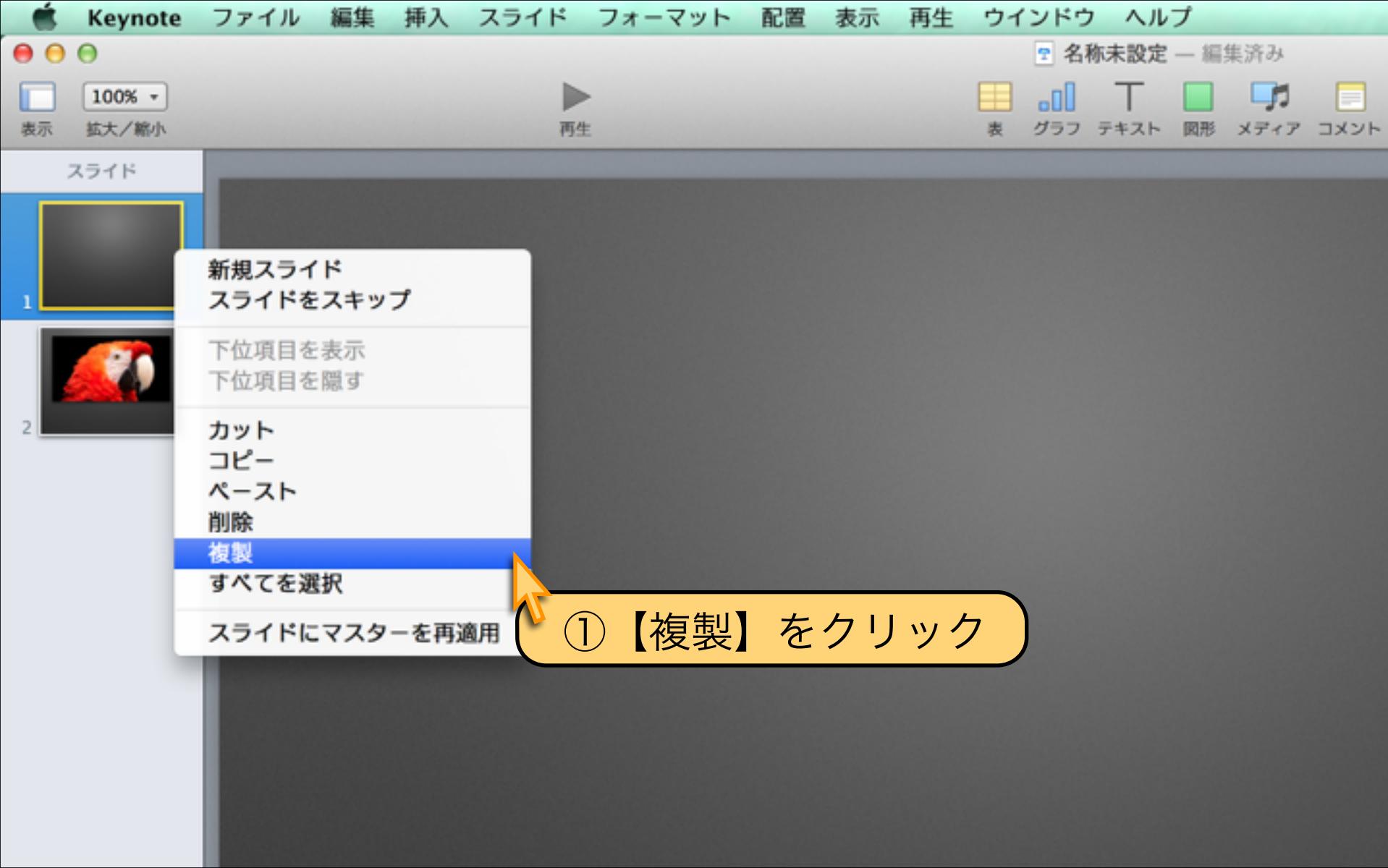


## 【スライドの複製方法】

①複製したいスライドの上で  
【副ボタン】でメニューを表示します

②Windowsの「右クリック」は  
Macでは【副ボタン】と呼びます。

- ・【controlキー】押しながらクリック
- ・トラックパッドなら二本指クリック



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1

2

3

再生

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アビアランス

タイトル

本文

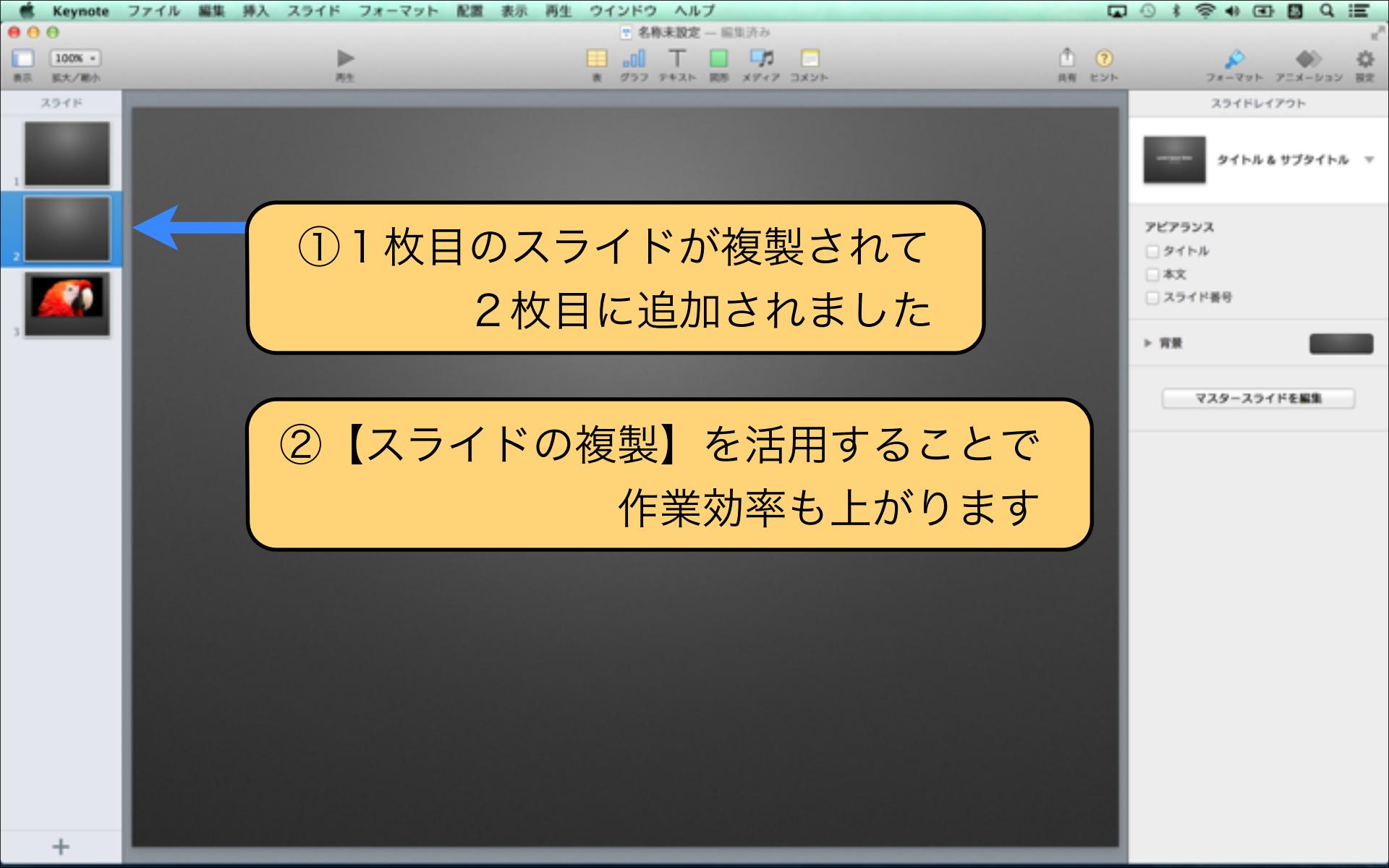
スライド番号

背景

マスタースライドを編集

① 1枚目のスライドが複製されて  
2枚目に追加されました

② 【スライドの複製】を活用することで  
作業効率も上がります





表示  
100%  
拡大/縮小

名称未設定.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 圖形 メディア コメント

スライド

## 【スライドの削除方法】

①複製したいスライドの上で  
【副ボタン】でメニューを表示します

新規スライド  
スライドをスキップ

下位項目を表示  
下位項目を隠す

カット  
コピー  
ペースト

削除

複製  
すべてを選択

スライドにマスターを再適用

② 【削除】をクリック



100% ▾

表示 拡大／縮小



再生

名称未設定.key — 編集済み



表



グラフ



テキスト



図形



メディア

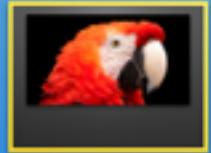


コメント

スライド



1



2

①スライドが削除されました

②スライドの管理は【スライドナビゲーター】  
で行うこと覚えておきましょう



## 【スライド追加と複製のPOINT】



画面の小さなノートパソコンでは  
【拡大表示】に切り替えながら作業します。  
遠くからでもスライドの文字が見やすいかを  
【縮小表示】に切り替えてチェックします。

Lesson 1-5 スライド順番の入れ替え

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表示 大きく/小さく

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

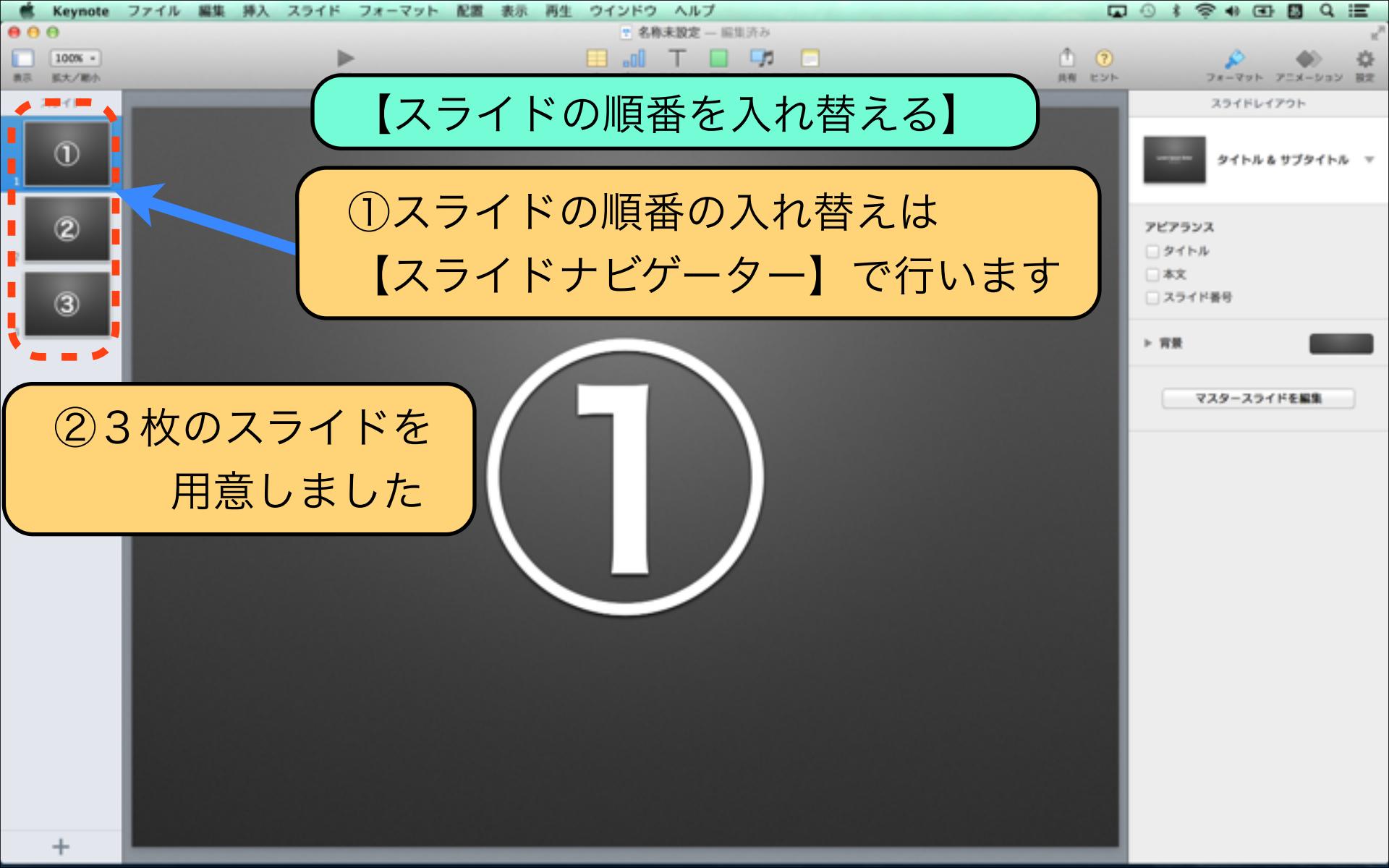
マスタースライドを編集

【スライドの順番を入れ替える】

①スライドの順番の入れ替えは  
【スライドナビゲーター】で行います

②3枚のスライドを  
用意しました

1





表示 100% 拡大／縮小



再生

名称未設定 — 編集済み



表



グラフ



テキスト



図形

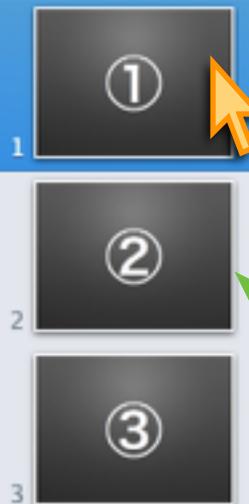


メディア



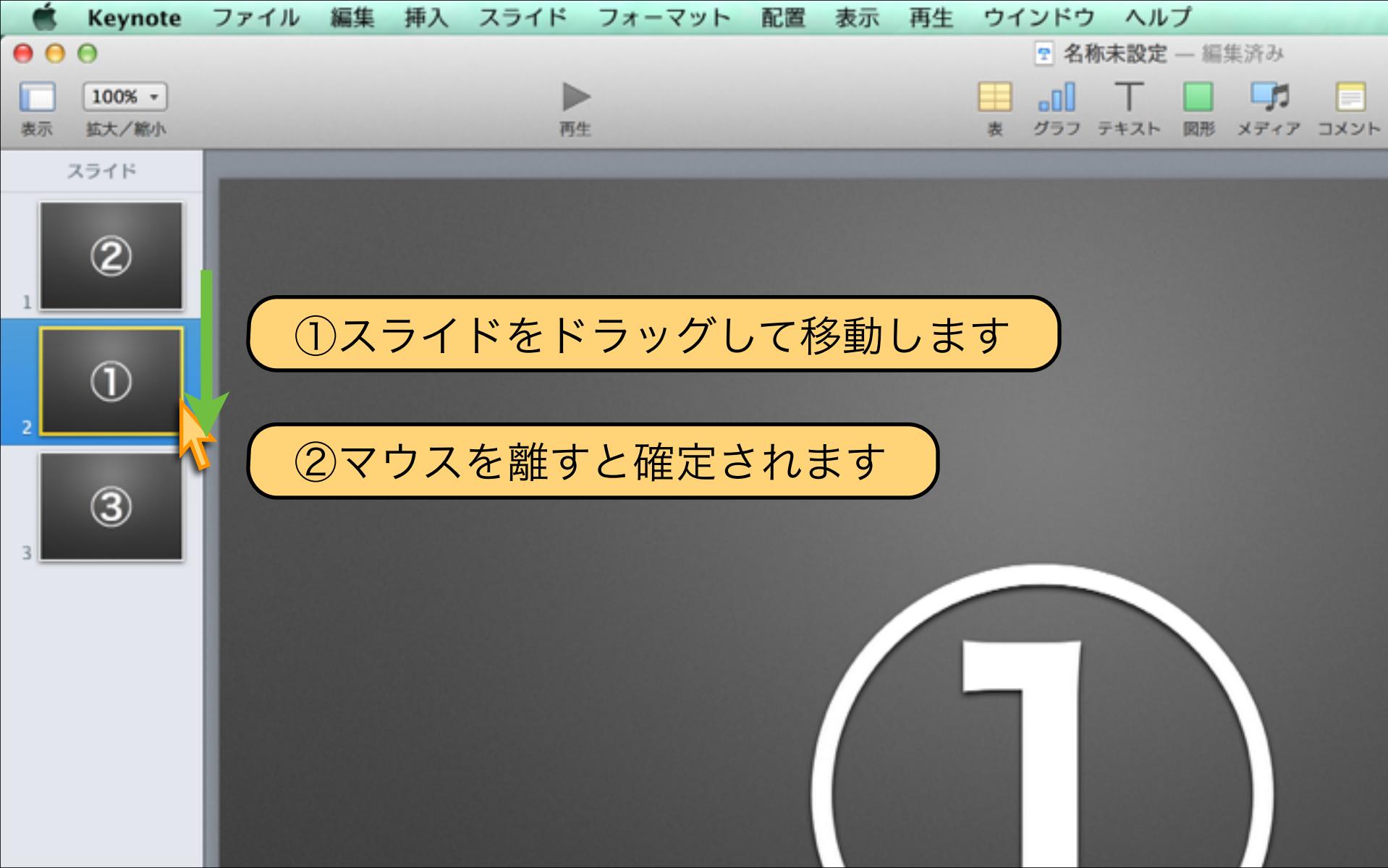
コメント

スライド



①順番を入れ替えたい  
スライドを【ドラッグ】します

②今回は、1番目のスライドを  
2番と3番の間へドラッグします



名称未設定 — 編集済み

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

①スライド順番の入れ替え完了です

②【青く囲まれている】スライドが  
現在、表示されているスライドです

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ +

【スライドの一覧表示に切り替える】

アビアランス

タイトル

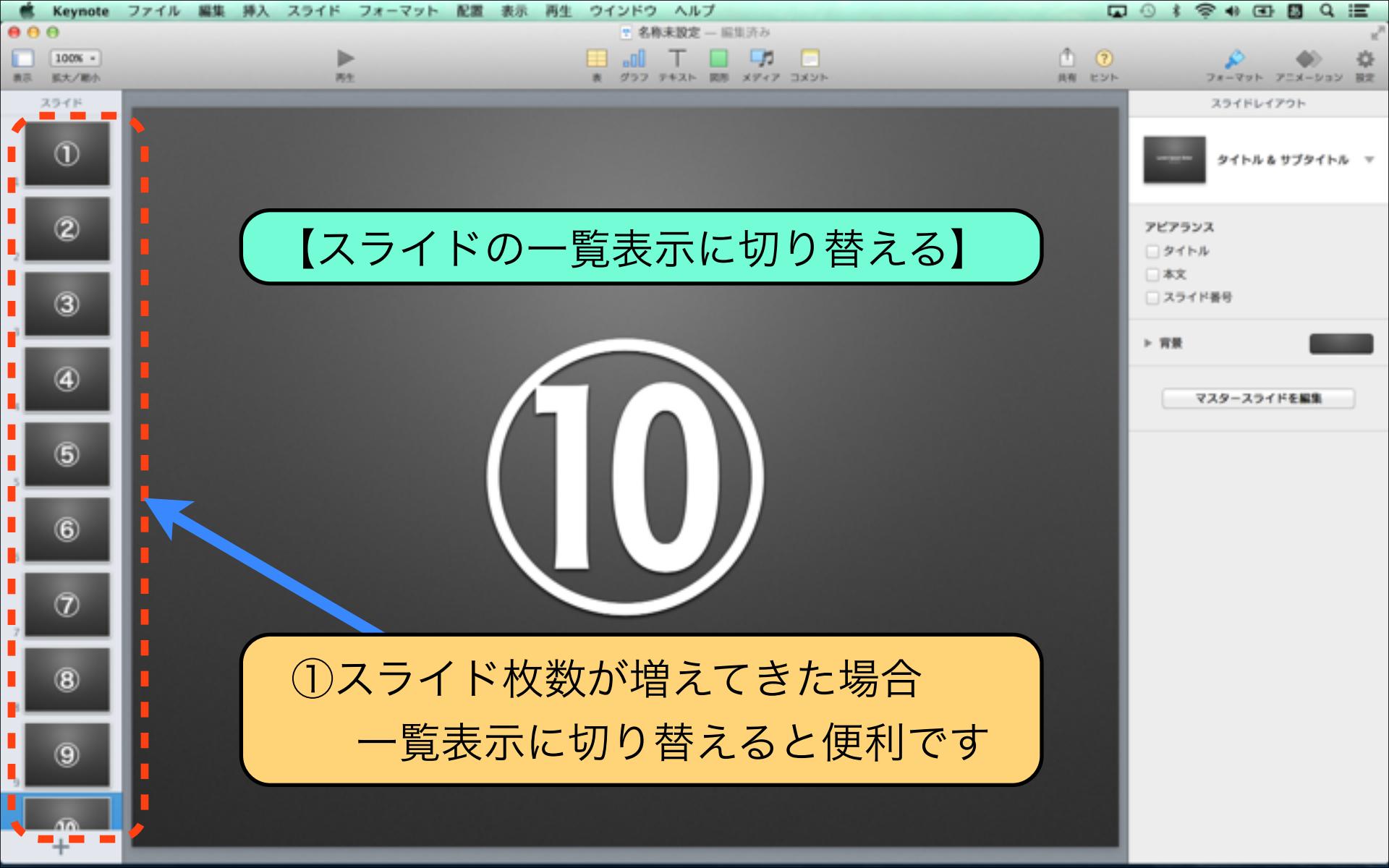
本文

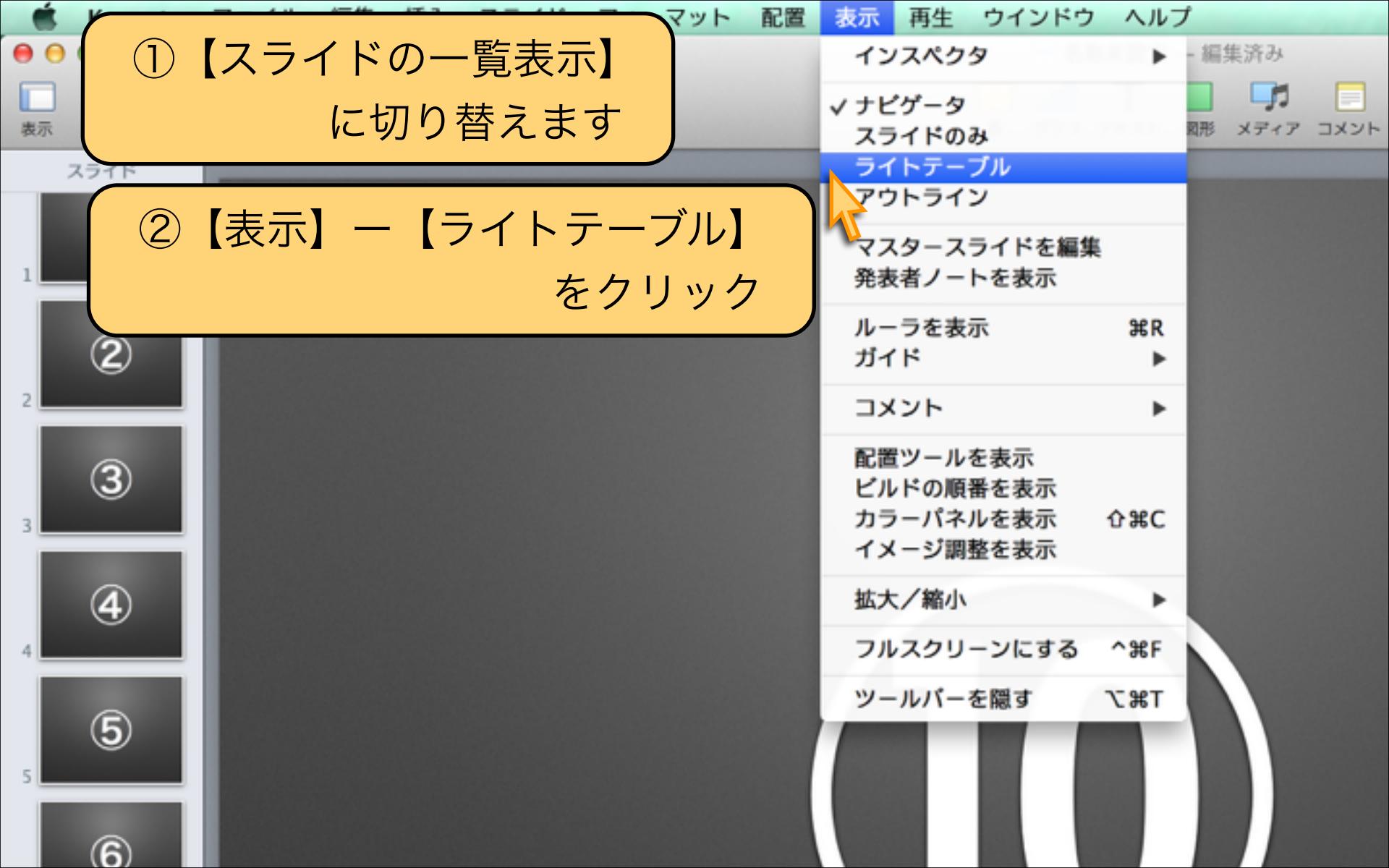
スライド番号

背景

マスタースライドを編集

①スライド枚数が増えてきた場合  
一覧表示に切り替えると便利です





① 【スライドの一覧表示】

に切り替えます

② 【表示】 – 【ライトテーブル】

をクリック

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

表示 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

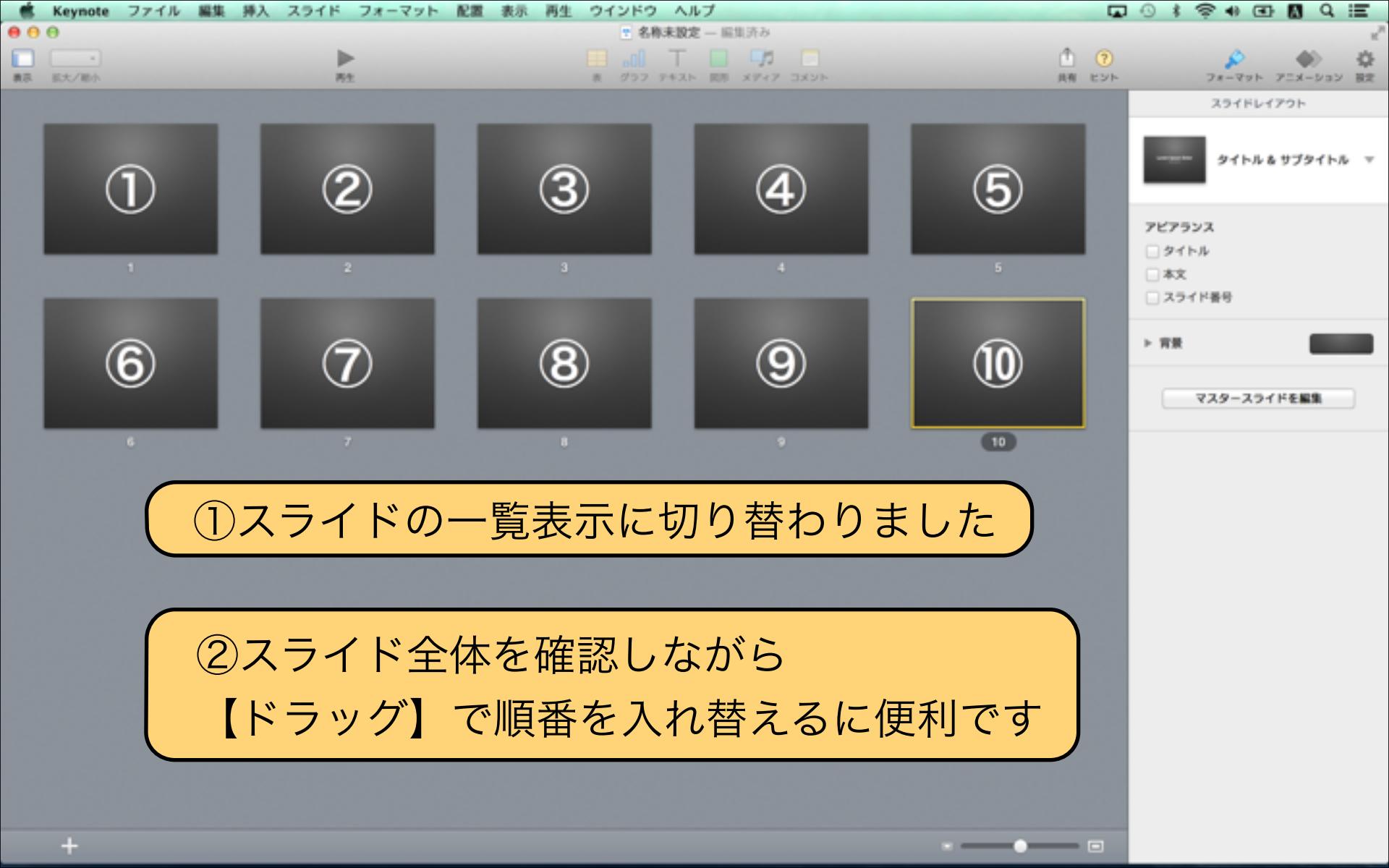
マスタースライドを編集

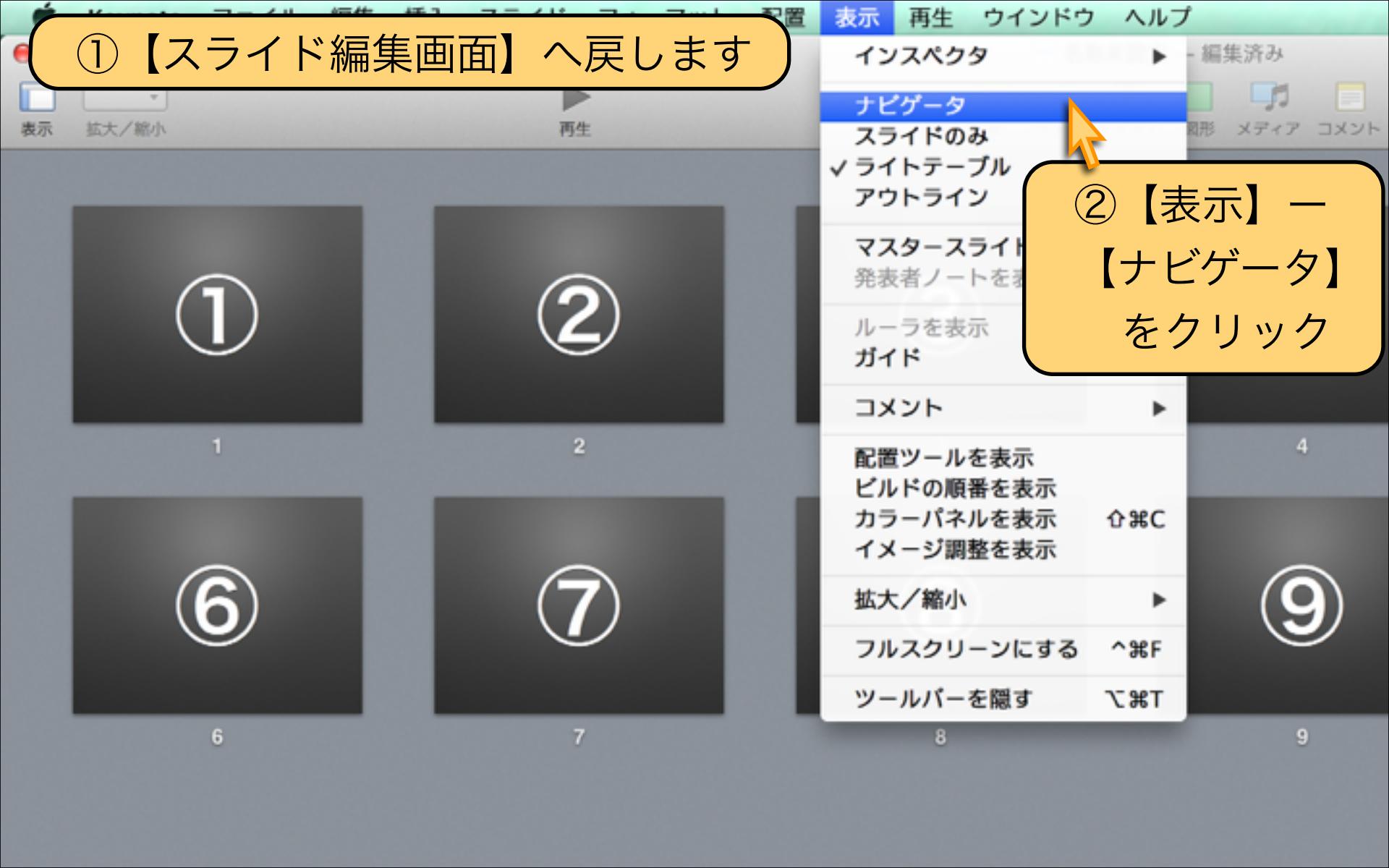
1 2 3 4 5

6 7 8 9 10

①スライドの一覧表示に切り替わりました

②スライド全体を確認しながら  
【ドラッグ】で順番を入れ替えるに便利です





Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1 ①

2 ②

3 ③

4 ④

5 ⑤

6 ⑥

7 ⑦

8 ⑧

9 ⑨

10 ⑩

+

① 【スライド編集画面】に切り替わりました

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アビアランス

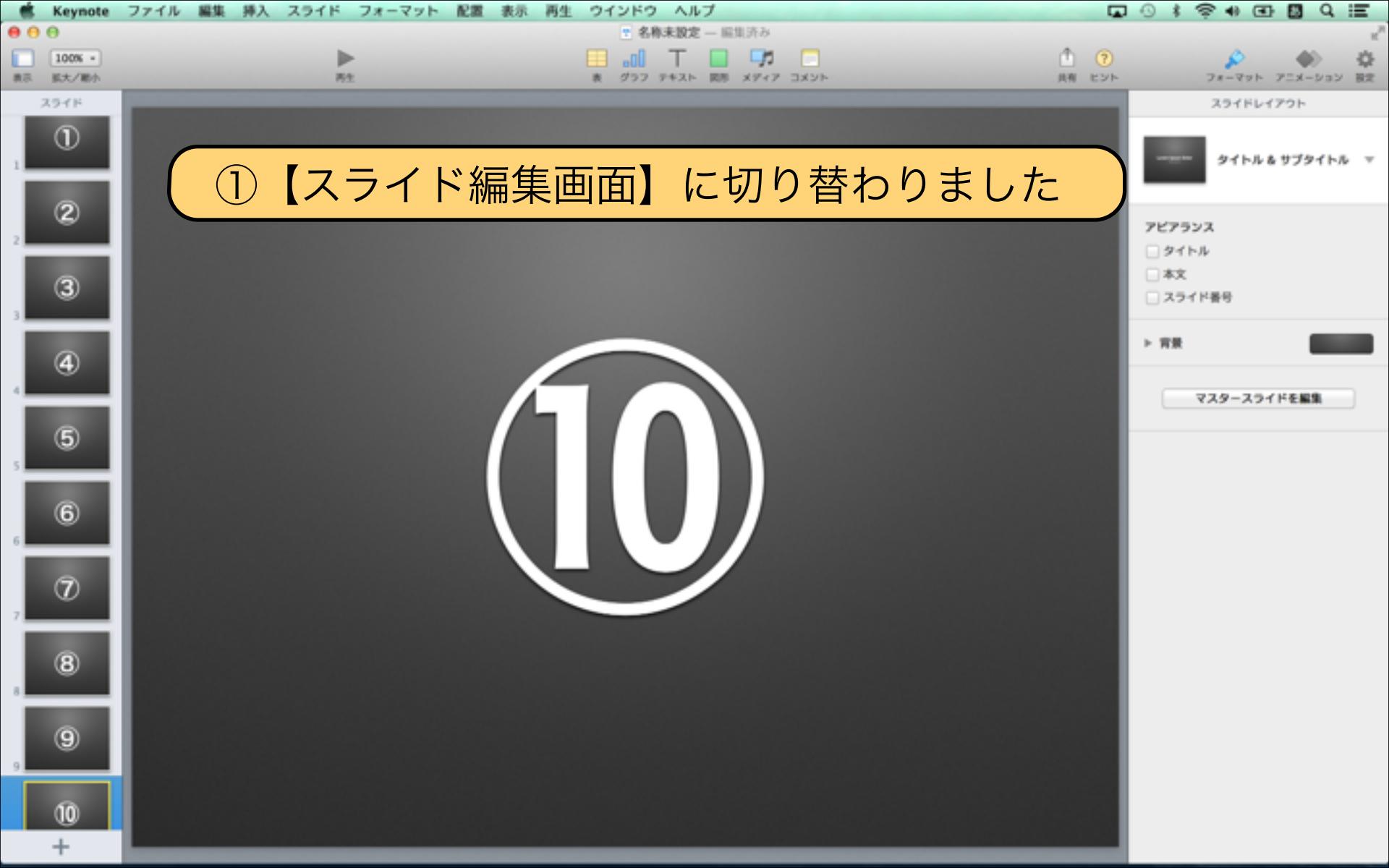
タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集



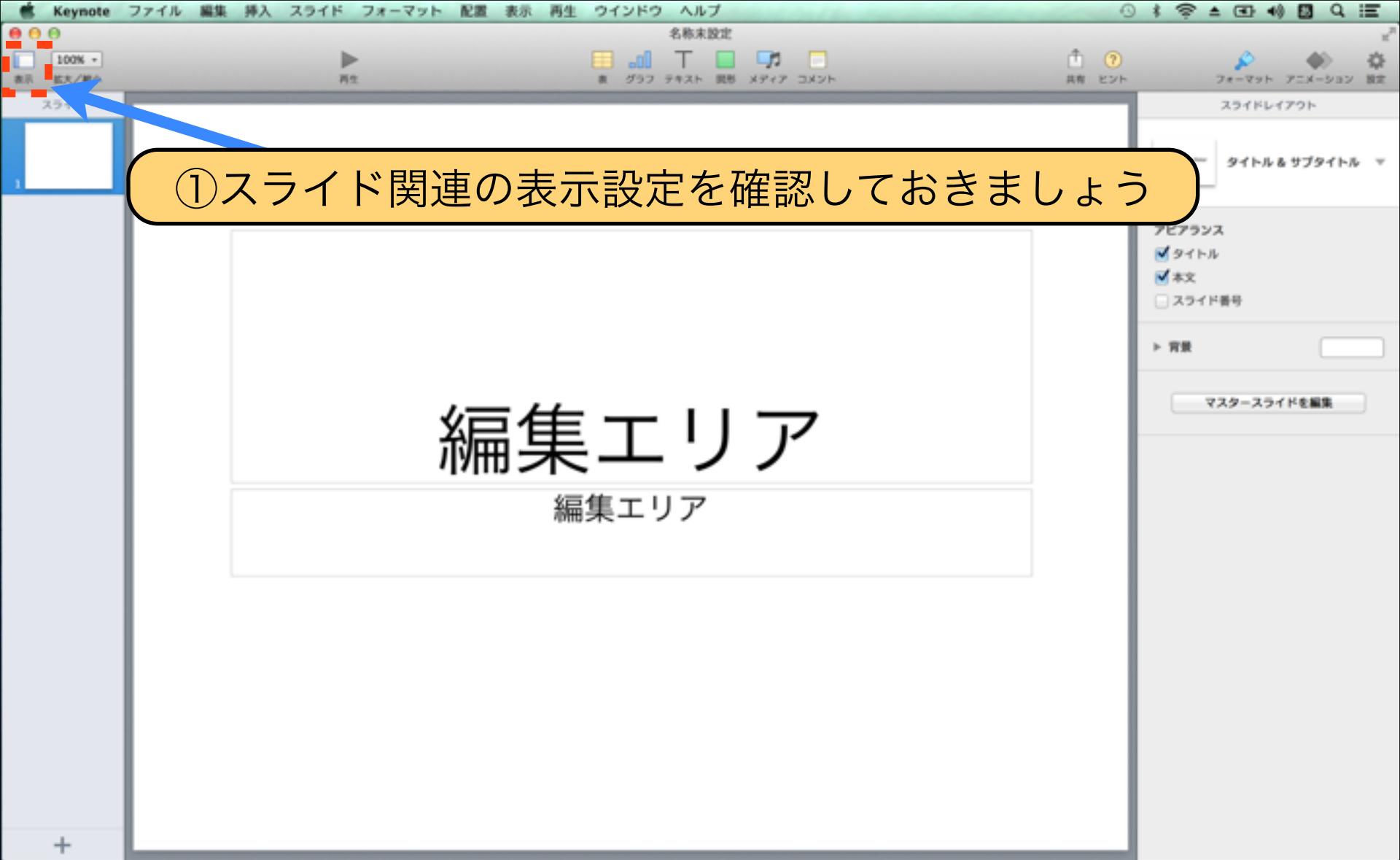
## 【スライド順番入れ替えのPOINT】

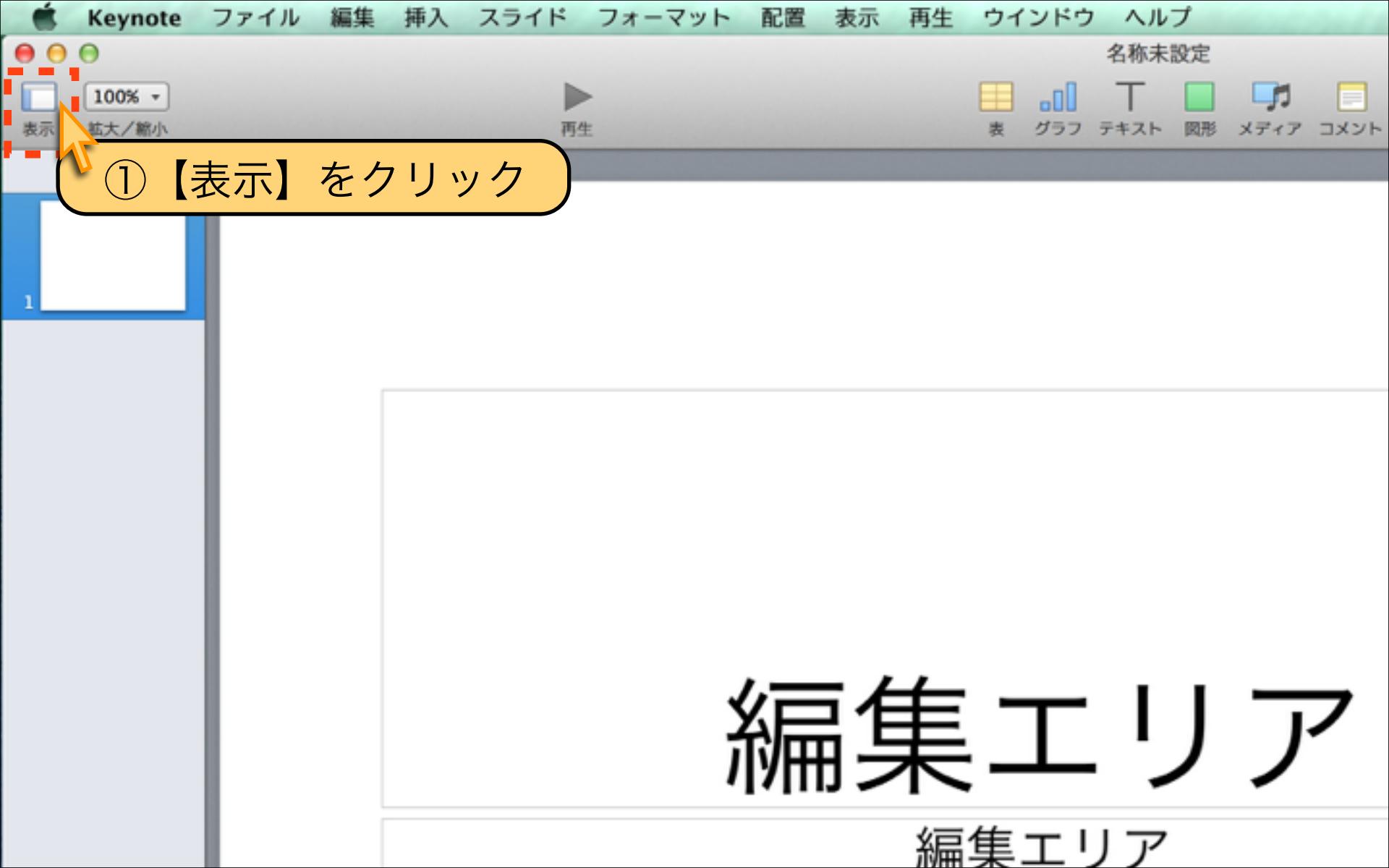


スライドは自由に入れ替えが可能です。  
構成に従って順序通りに作成するより、  
作りやすいスライドから作成していくのが  
行き詰まらずに作成できるコツです。

## Lesson 1-6 ルーラ表示と発表者メモ

keynote-study.com





## 【ルーラ】表示の切り替え

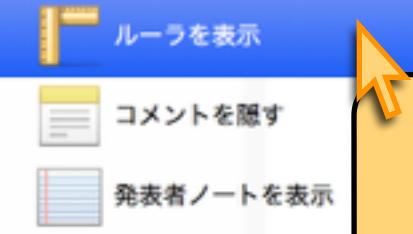
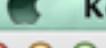


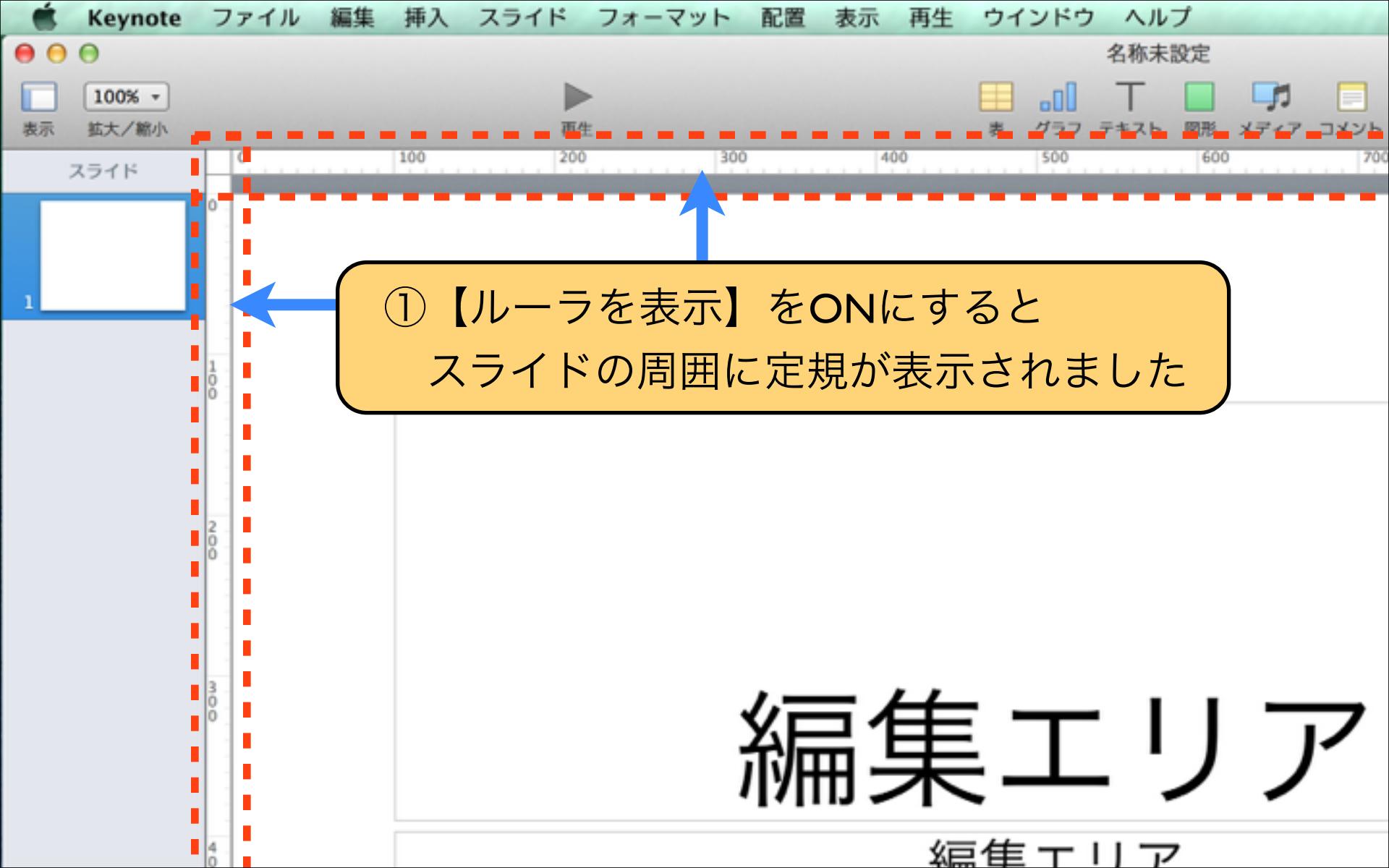
①ルーラとは、スライドの周囲に定規（目盛り）が表示される機能です。テキストや図形を配置する時に役立ちます。

②【ルーラを表示】をクリックするとスライドの周囲に定規が表示されます

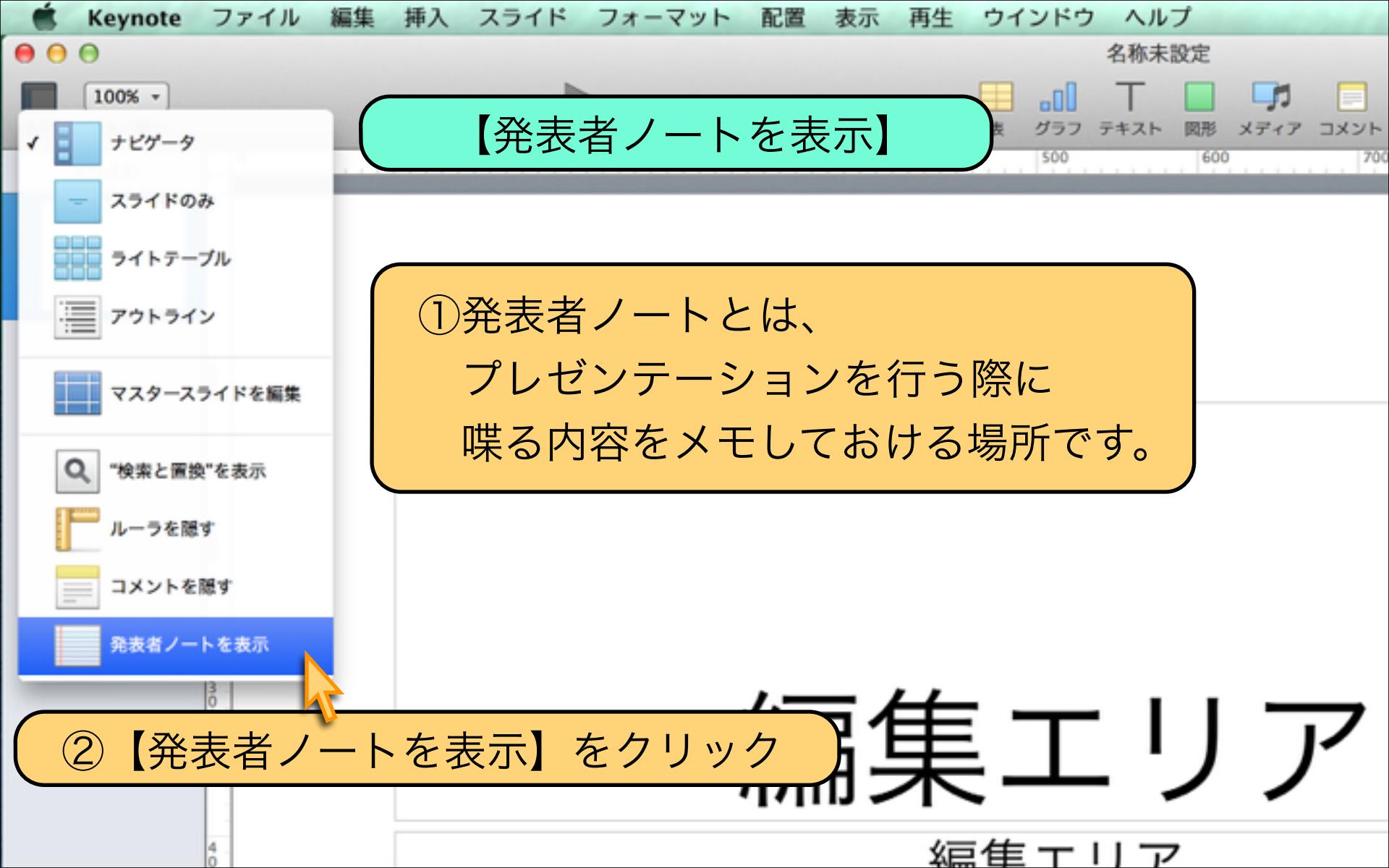
編集エリア

編集エリア





① 【ルーラを表示】をONにすると  
スライドの周囲に定規が表示されました



①発表者ノートとは、  
プレゼンテーションを行う際に  
喋る内容をメモしておける場所です。

②【発表者ノートを表示】をクリック

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key – 編集済み

72% 表示 拡大/縮小 再生 500 1000 1500 2000 2500 3000 3500 4000 4500 5000 5500 6000 6500 7000 7500 8000 8500 9000 9500 10000 10500 11000 11500

スライド 1

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定 発表者ノート

リスト

箇条書きなし

デフォルトのノートスタイル

Avenir

小さく 大きく

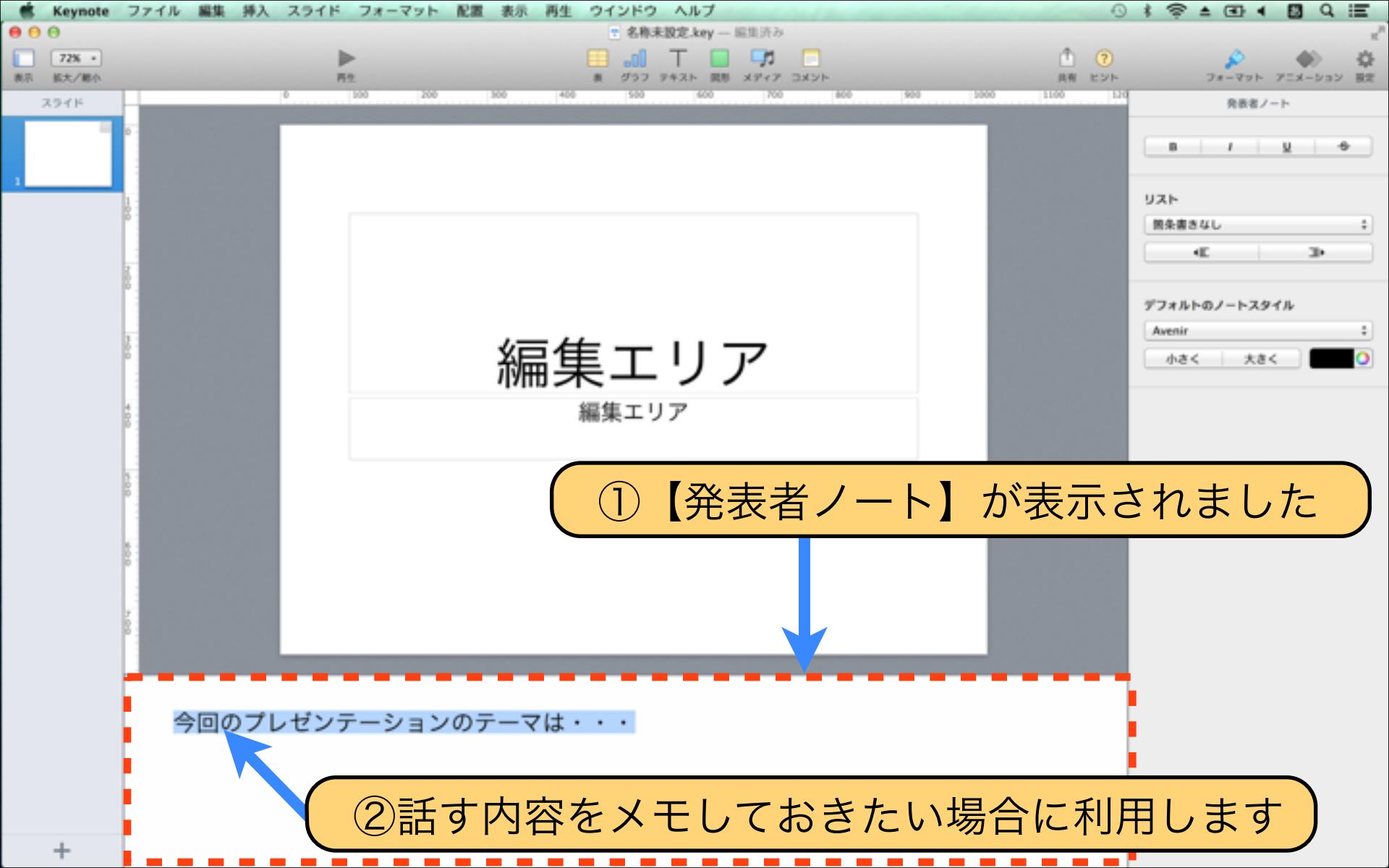
編集エリア

編集エリア

① 【発表者ノート】が表示されました

今回のプレゼンテーションのテーマは・・・

② 話す内容をメモしておきたい場合に利用します



Keynote ファイル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

72% ▶ 再生 0 100 200 300 400 500 600 700

表 グラフ テキスト 圖形 メディア コメント

ナビゲータ

スライドのみ

ライトテーブル

アウトライン

マスタースライドを編集

“検索と置換”を表示

ルーラーを隠す

コメントを表示

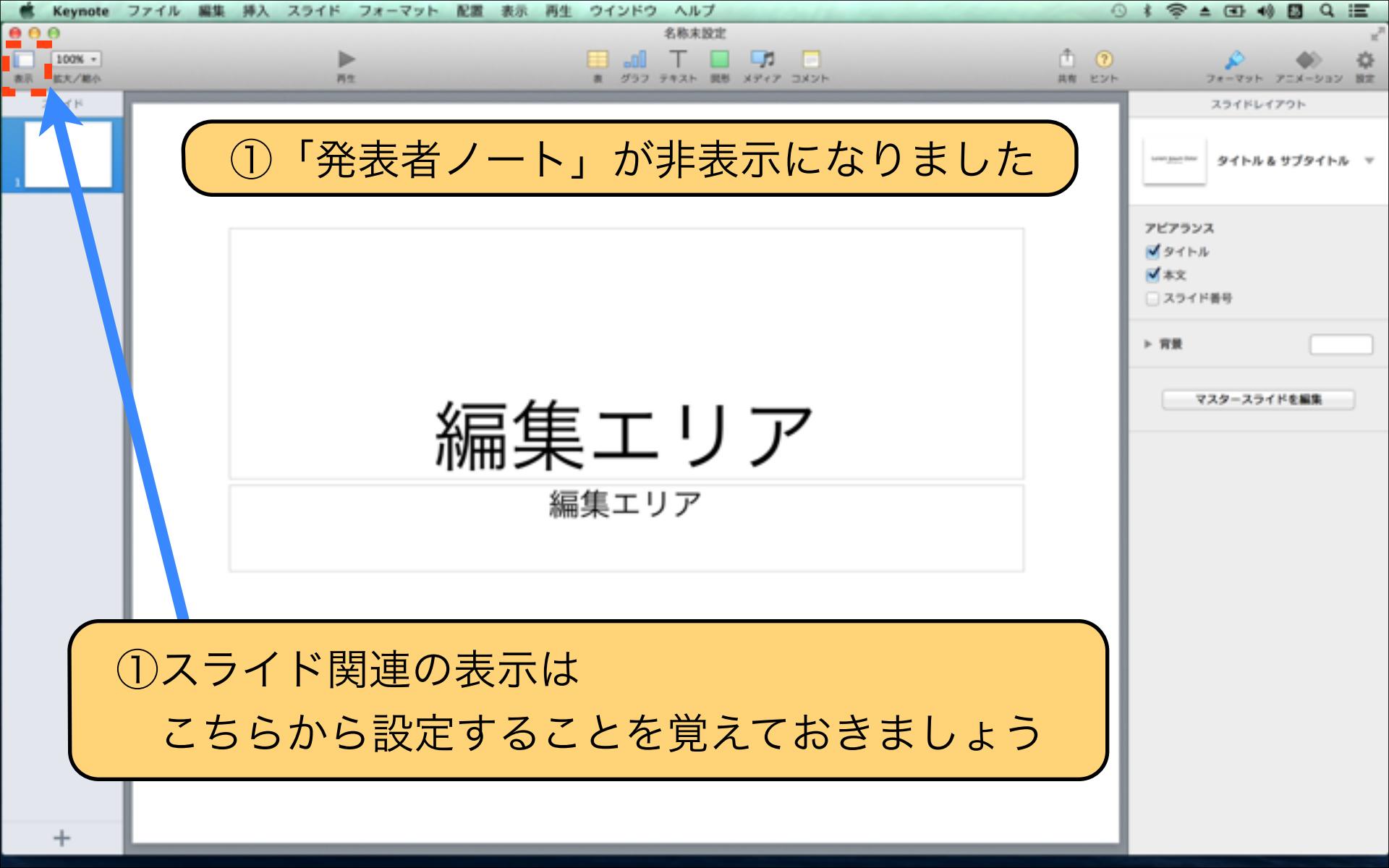
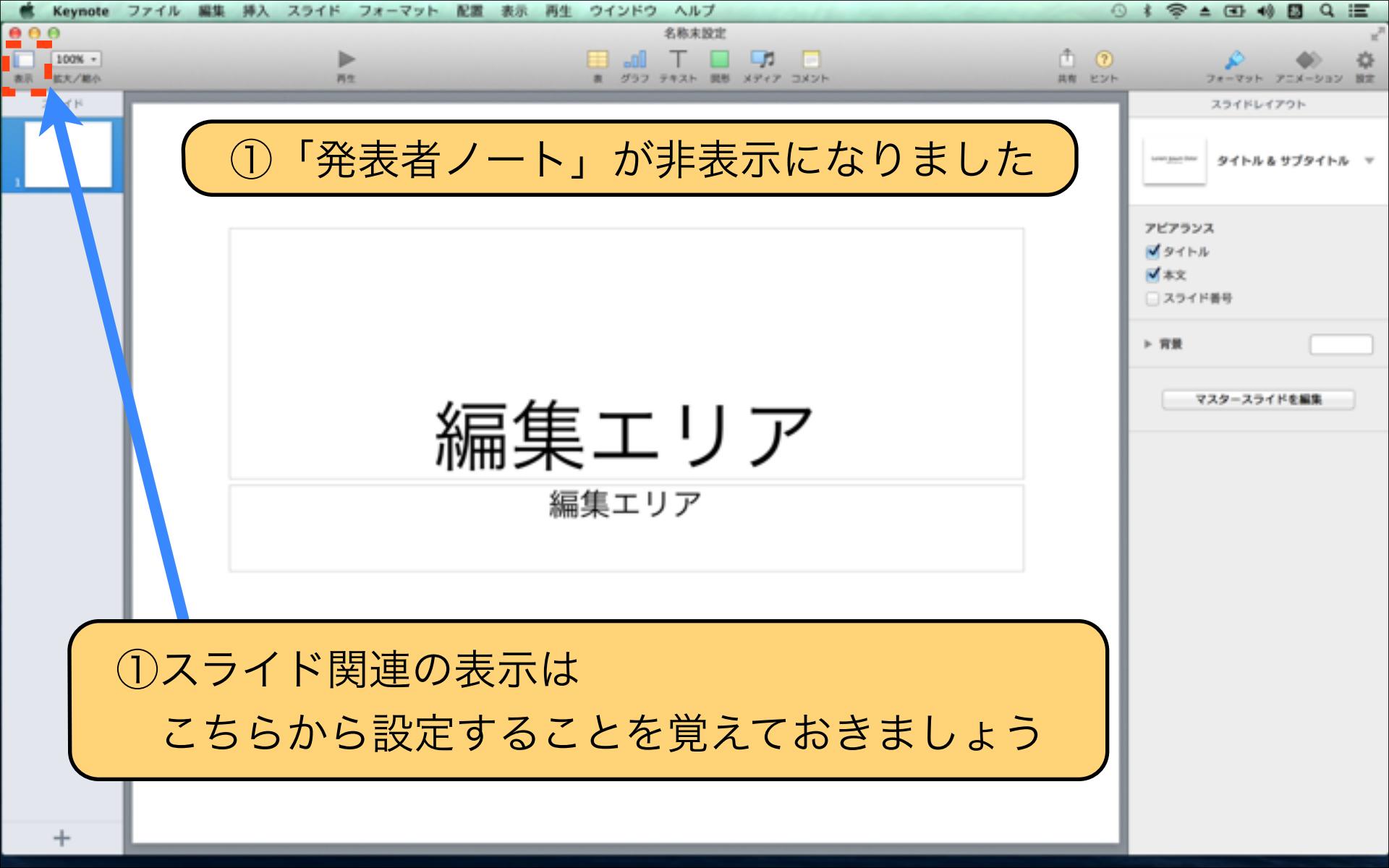
発表者ノートを隠す

① 「発表者ノート」や「ルーラー」が  
必要ない場合には同じ表示メニューから  
【・・・を隠す】をクリックします

編集エリア

編集エリア

② 【発表者ノートを隠す】をクリック



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定

100% リサイズ  
表示  
拡大/縮小

再生

■ グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ピント

フォーマット アニメーション

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アビアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

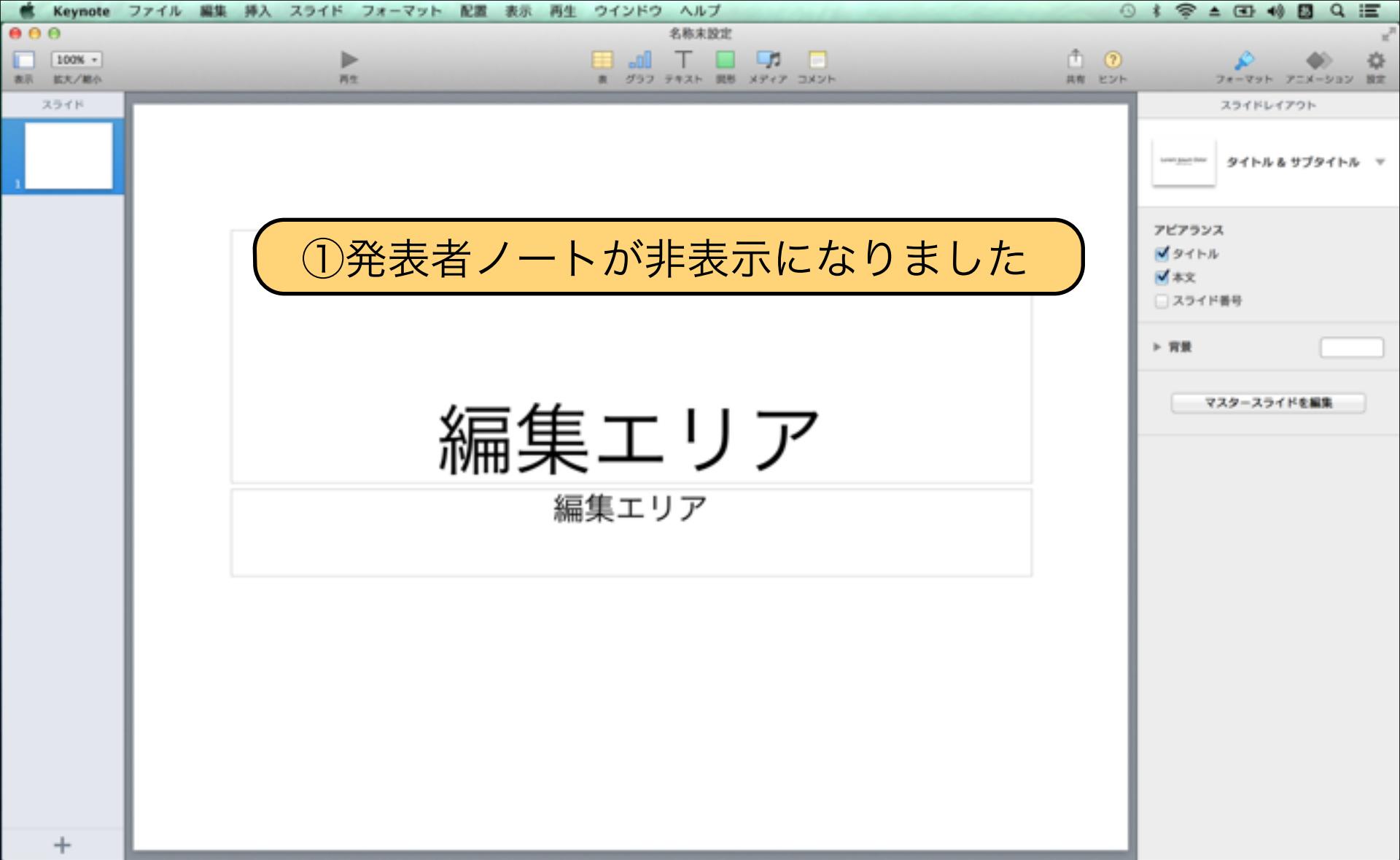
スライド

1

①発表者ノートが非表示になりました

編集エリア

編集エリア

A screenshot of the Keynote application on a Mac. The window title is 'Keynote'. The menu bar includes 'Keynote', 'ファイル', '編集', '挿入', 'スライド', 'フォーマット', '配置', '表示', '再生', 'ウィンドウ', and 'ヘルプ'. The toolbar at the top has icons for '表示' (100% zoom), '再生' (play), and 'スライド' (slide). The top right includes '名称未設定' (Name not set), '共有' (Share), 'ピント' (Zoom), 'フォーマット' (Format), 'アニメーション' (Animation), and '設定' (Settings). The left sidebar shows a slide thumbnail and a list of slides. The main content area shows a slide with the text '編集エリア' (Edit Area) and '編集エリア' (Edit Area) in a box. A yellow callout bubble with a black border and a black arrow pointing to the right contains the text '①発表者ノートが非表示になりました' (The speaker's note is not displayed). The right sidebar includes sections for 'アビアランス' (Appearance) with checkboxes for 'タイトル' (Title) and '本文' (Text), and '背景' (Background) with a 'マスタースライドを編集' (Edit Master Slide) button.

## 【プレゼン資料の作成のコツ】



スライド作成に行き詰まった時は

- 1：「テキストと資料画像の挿入」
- 2：「デザイン」
- 3：「アニメーションの設定」

段階に分けて作業することが制作のコツです

## Lesson 2-1 文字入力とテキスト編集

keynote-study.com

【見本】

# Lesson 文字の装飾

今回は【見本】と同じスライドを作成しながら  
【テキスト入力】について紹介していきます

# 【最初にテーマを設定します】

プレゼンテーションの新規テーマを選択してください：

標準

ワイド

① 【設定】をクリック

テーマの変更



② 【テーマの変更】をクリック

Lorem Ipsum Dolor

Lorem Ipsum Dolor

Lorem Ipsum Dolor

LOREM IPSUM DOLOR

ブラック

ホワイト

グラデーション

写真エッセイ



Lorem Ipsum Dolor



スレート



クリームベーバー



アーティザン

クラシック



Lorem Ipsum Dolor

③ 【スレート】をダブルクリック

即興

ショールーム

ルネッサンス

写真ポートフォリオ

キャンセル

選択

スタイルの変更を保持

□開くときにパスワードを要求

パスワードを変更...

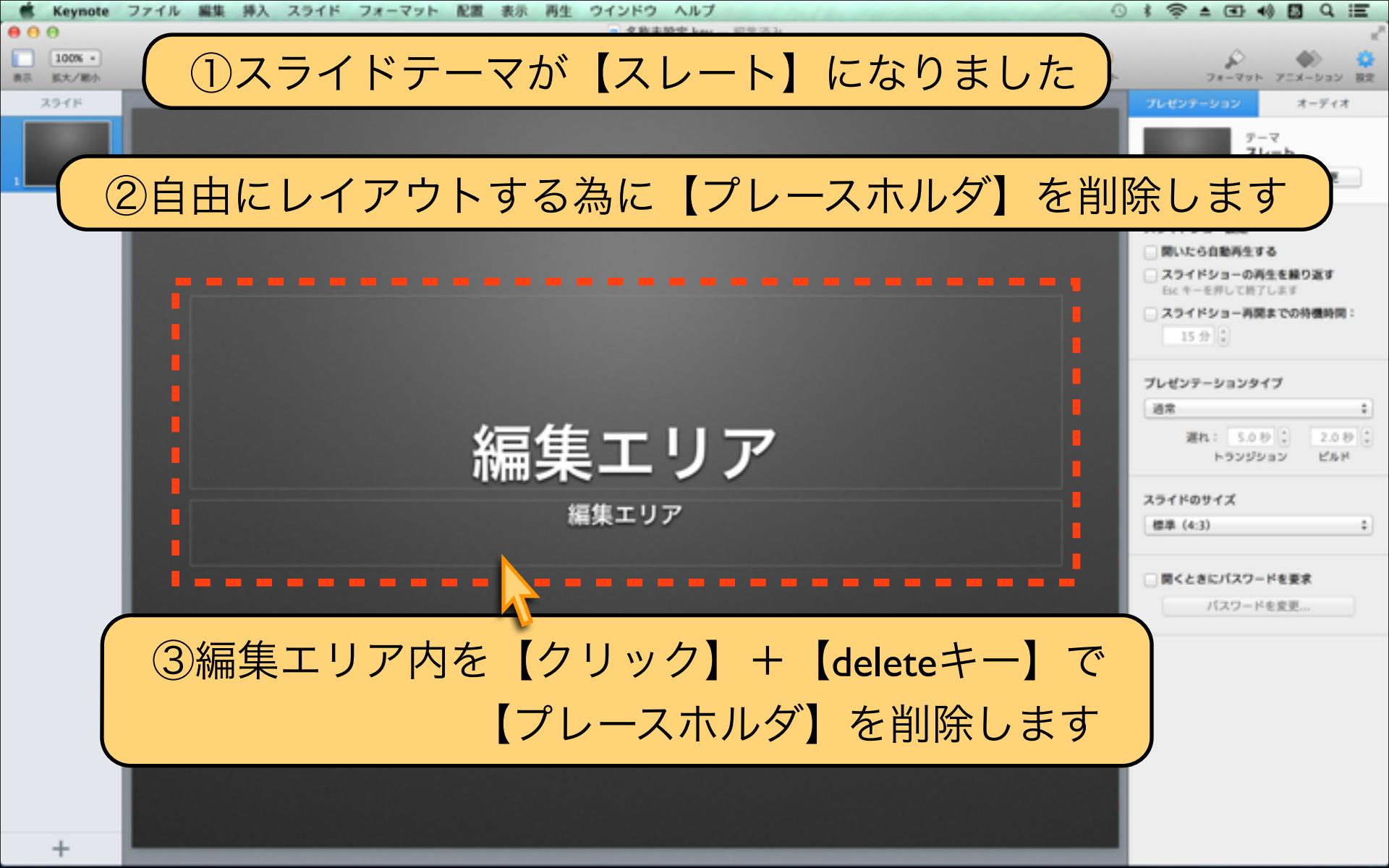


フォーマット

アニメーション

オーディオ





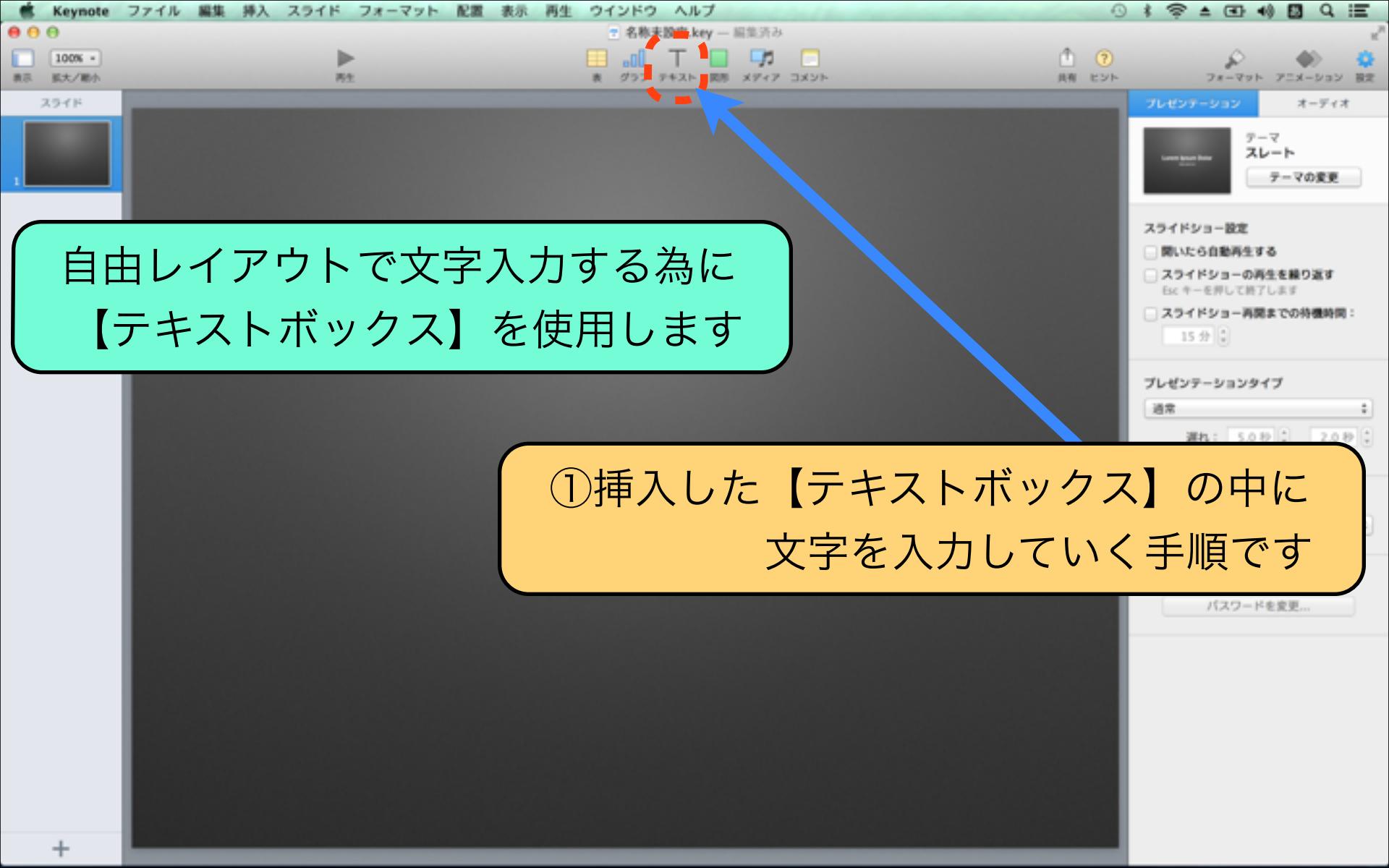
①スライドテーマが【スレート】になりました

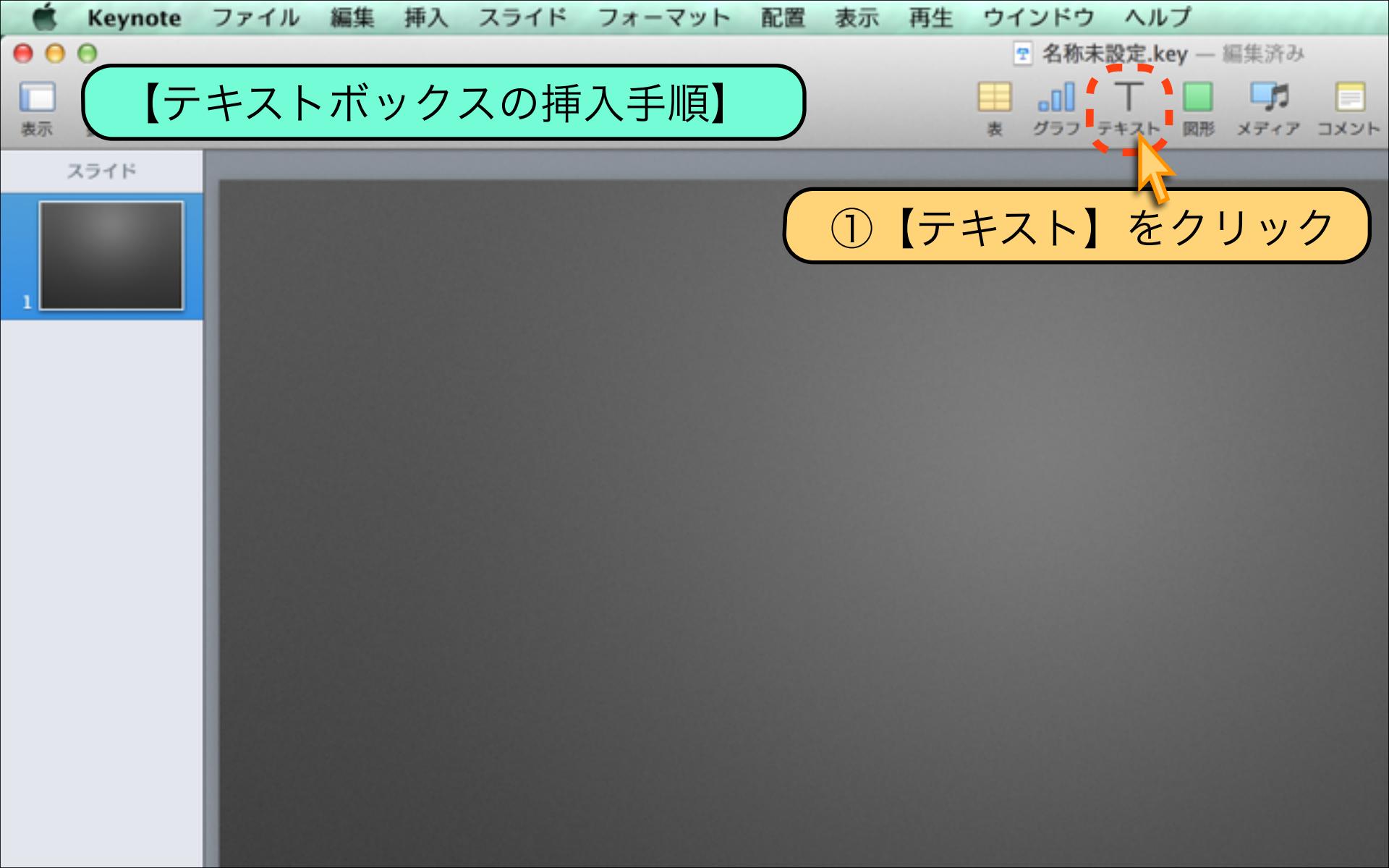
②自由にレイアウトする為に【プレースホルダ】を削除します

編集エリア

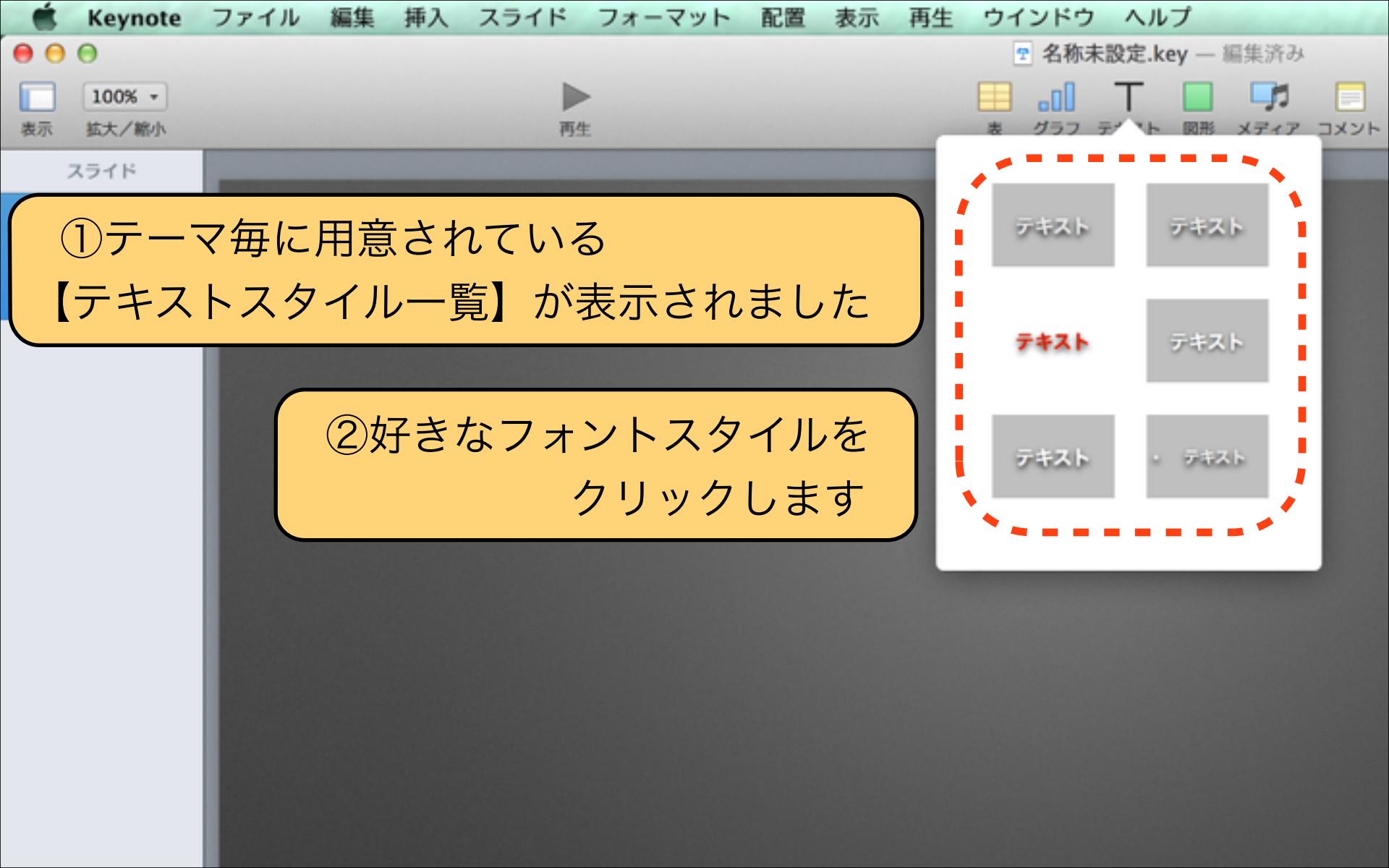
編集エリア

③編集エリア内を【クリック】+【deleteキー】で  
【プレースホルダ】を削除します





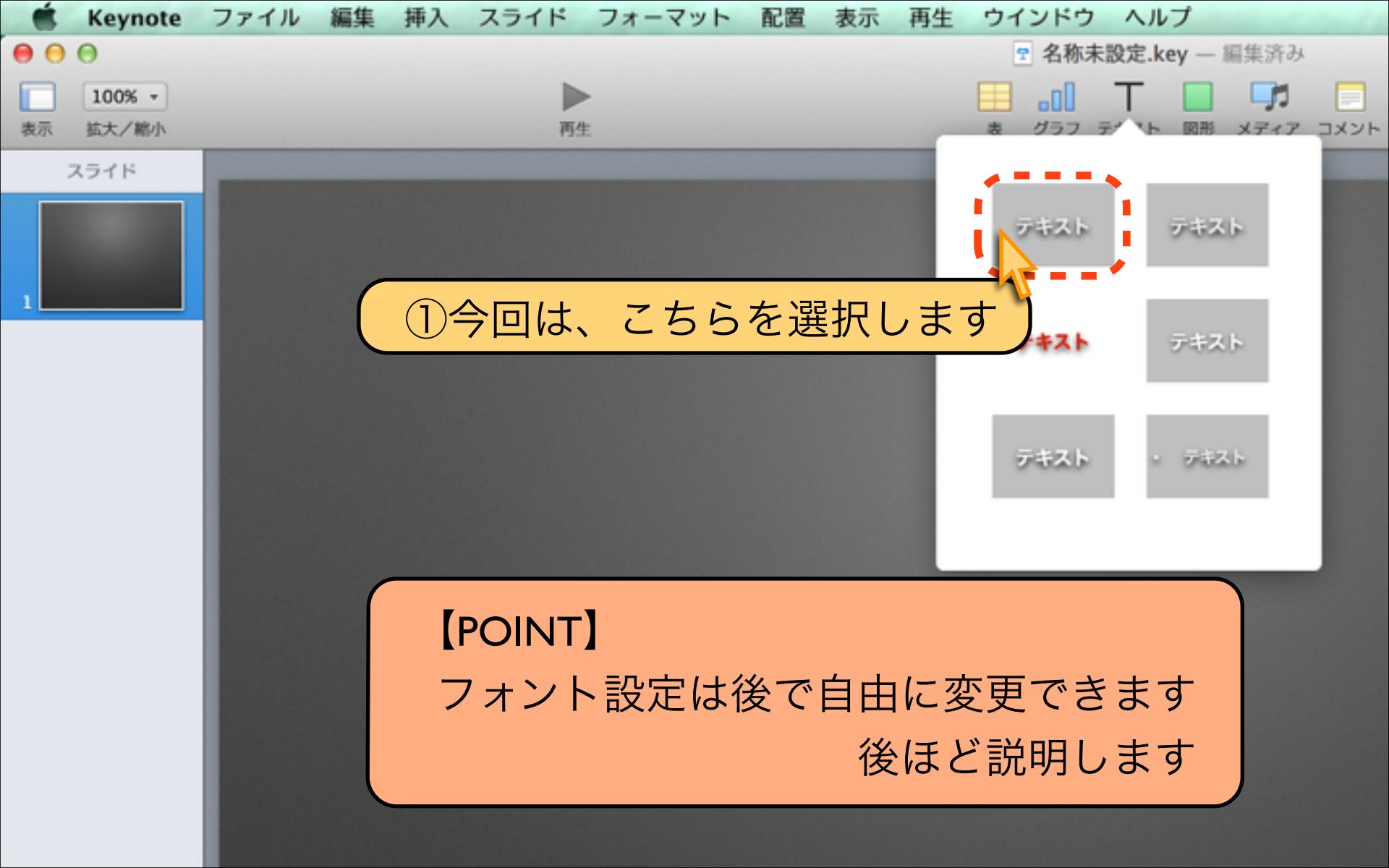
① 【テキスト】をクリック



①テーマ毎に用意されている  
【テキストスタイル一覧】が表示されました

②好きなフォントスタイルを  
クリックします

テキスト  
テキスト  
テキスト  
テキスト  
テキスト  
テキスト  
テキスト



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1

① 【テキストボックス】が挿入されました

② 【テキストボックス】とは  
文字入力する為の場所です

キ…ヨン

スタイル テキスト 配置

スタイル レイアウト

フォント Helvetica Neue

メディアム 38 pt

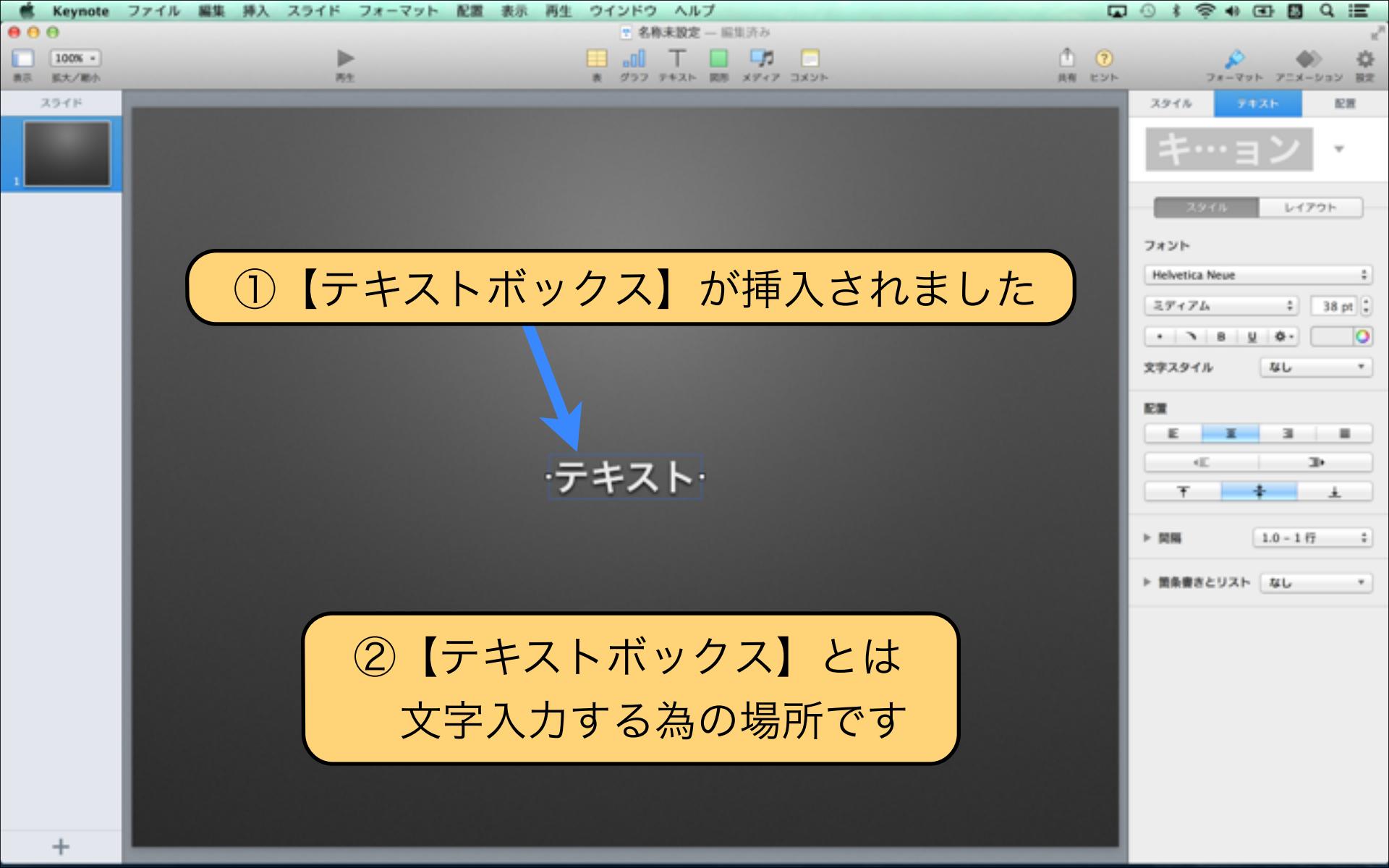
文字スタイル なし

配置

開隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

テキスト



① 【テキストボックス】に文字を入力していきます



・テキスト・



② テキストの文字の上で 【ダブルクリック】

①カーソルが点滅します



②文字を入力します

①今回は「Lesson 文字の装飾」と文字入力します

## ・Lesson 文字の装飾・

②英語入力は【英数キー】

③日本語入力は【かなキー】



## ・Lesson 文字の装飾・



①文字入力が終了後【テキストボックスの外側】  
をクリックして確定になります

名称未設定 — 編集済み

100% 1

再生

スライド

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

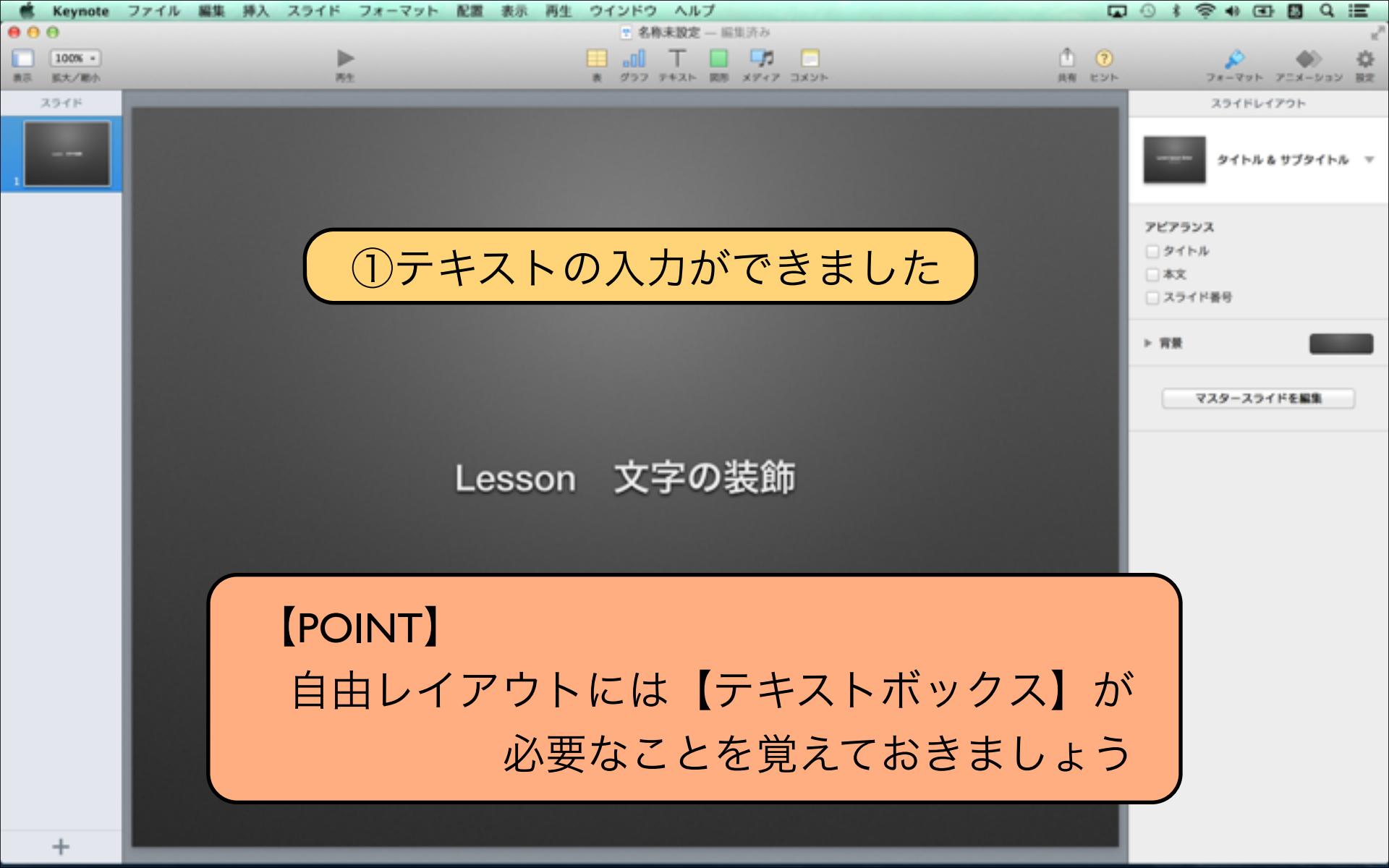
マスタースライドを編集

①テキストの入力ができました

Lesson 文字の装飾

【POINT】

自由レイアウトには【テキストボックス】が必要なことを覚えておきましょう



## 【テキストの移動】

Lesson 文字の装飾



① 【テキスト上をクリック】で  
移動させるテキストを選択します

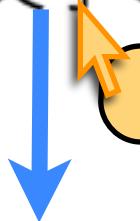
②自由に【ドラッグ】して  
テキストを配置できます

Lesson 文字の装飾



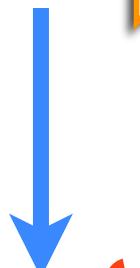
## 【テキストの編集】

Lesson 文字の装飾



①テキスト上を【ダブルクリック】

Lesson 文字の装飾



②編集したい文字の上で  
【もう一度クリック】

Lesson 文字の装飾



③点滅カーソルが移動させて  
文字の追加や訂正をします

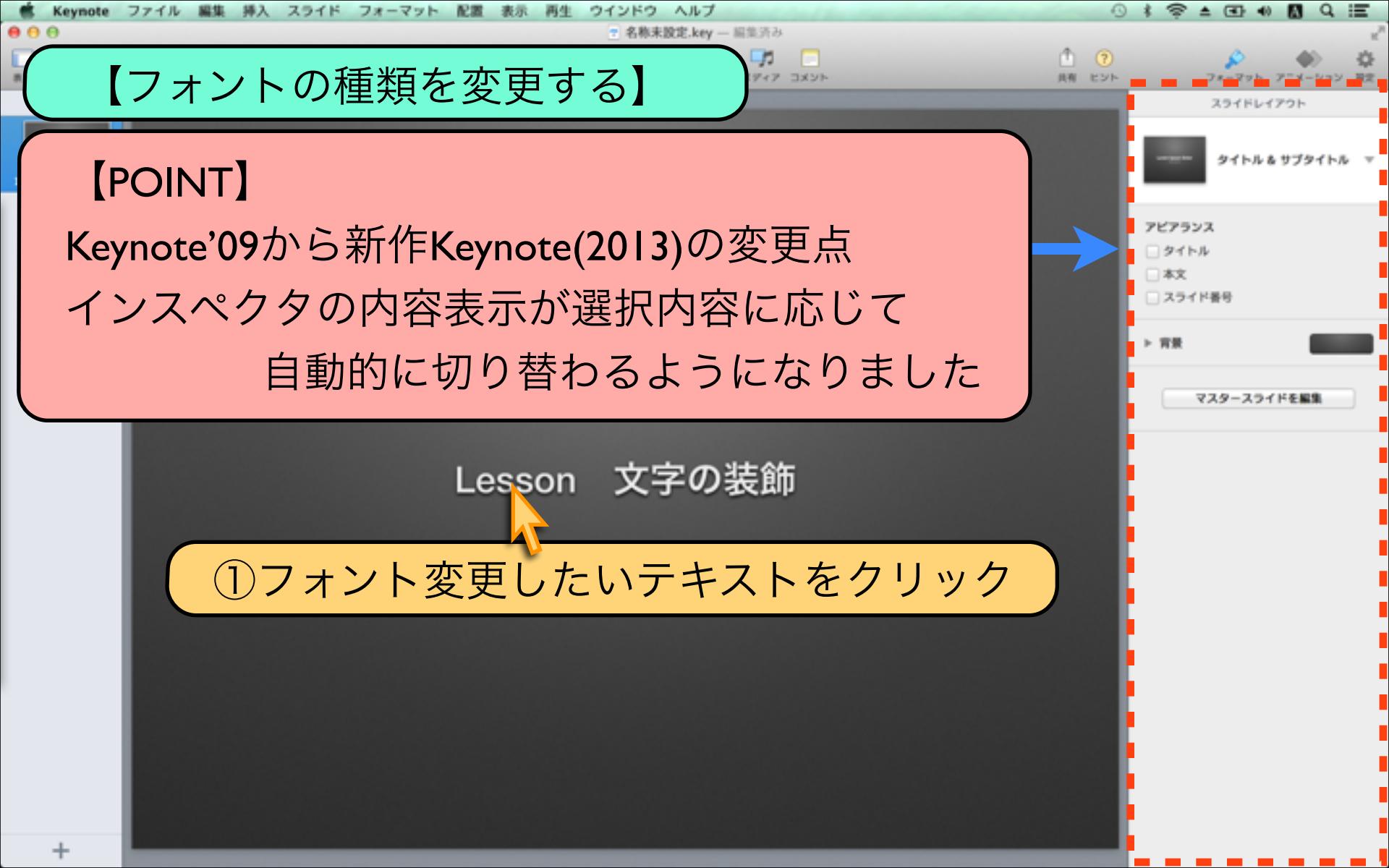
## Lesson 2-2 フォント種類とサイズ変更

keynote-study.com

【見本】

# Lesson 文字の装飾

前回に続き 【見本】と同じスライドを作成しながら  
【フォント種類とサイズ変更】について紹介します



【POINT】

Keynote'09から新作Keynote(2013)の変更点  
インスペクタの内容表示が選択内容に応じて  
自動的に切り替わるようになりました

Lesson 文字の装飾

①フォント変更したいテキストをクリック

名称未設定.key — 編集済み

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

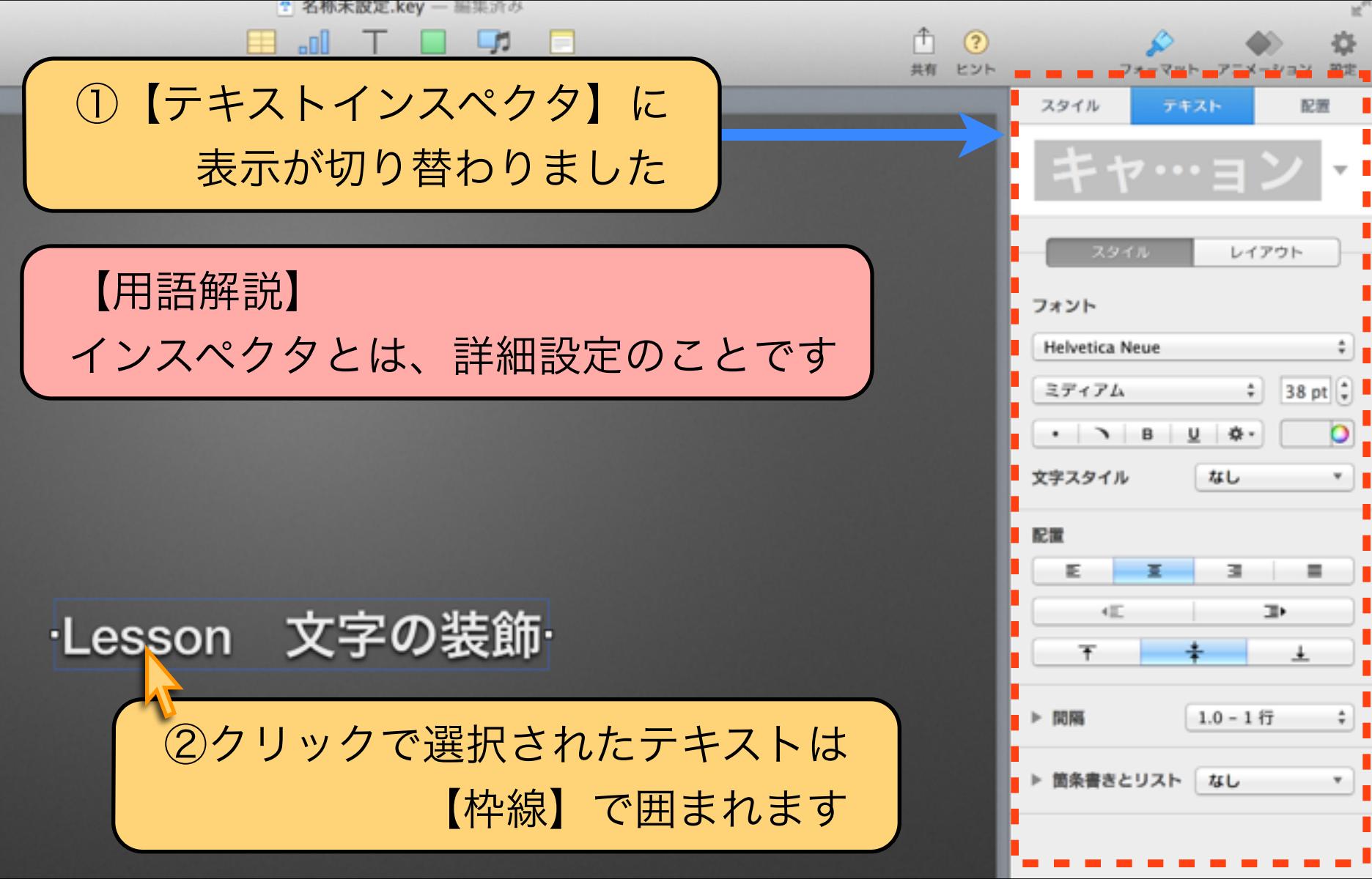
① 【テキストインスペクタ】に表示が切り替わりました

【用語解説】

インスペクタとは、詳細設定のことです

Lesson 文字の装飾

② クリックで選択されたテキストは【枠線】で囲まれます



The image shows a screenshot of the Keynote application interface. On the left, there is a slide with the title 'Lesson 文字の装飾' (Lesson Text Decoration) and a numbered list. On the right, the 'Text Inspector' panel is open, showing various text and layout settings. A blue arrow points from the first list item to the 'Text Inspector' panel. A yellow arrow points from the second list item to a text box on the slide that has a red border, indicating it is selected.

スタイル テキスト 配置

キヤ…ヨン

スタイル レイアウト

フォント Helvetica Neue

ミディアム 38 pt

文字スタイル なし

配置

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

名称未設定.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

キヤ…ヨン

スタイル レイアウト

フォント Helvetica Neue

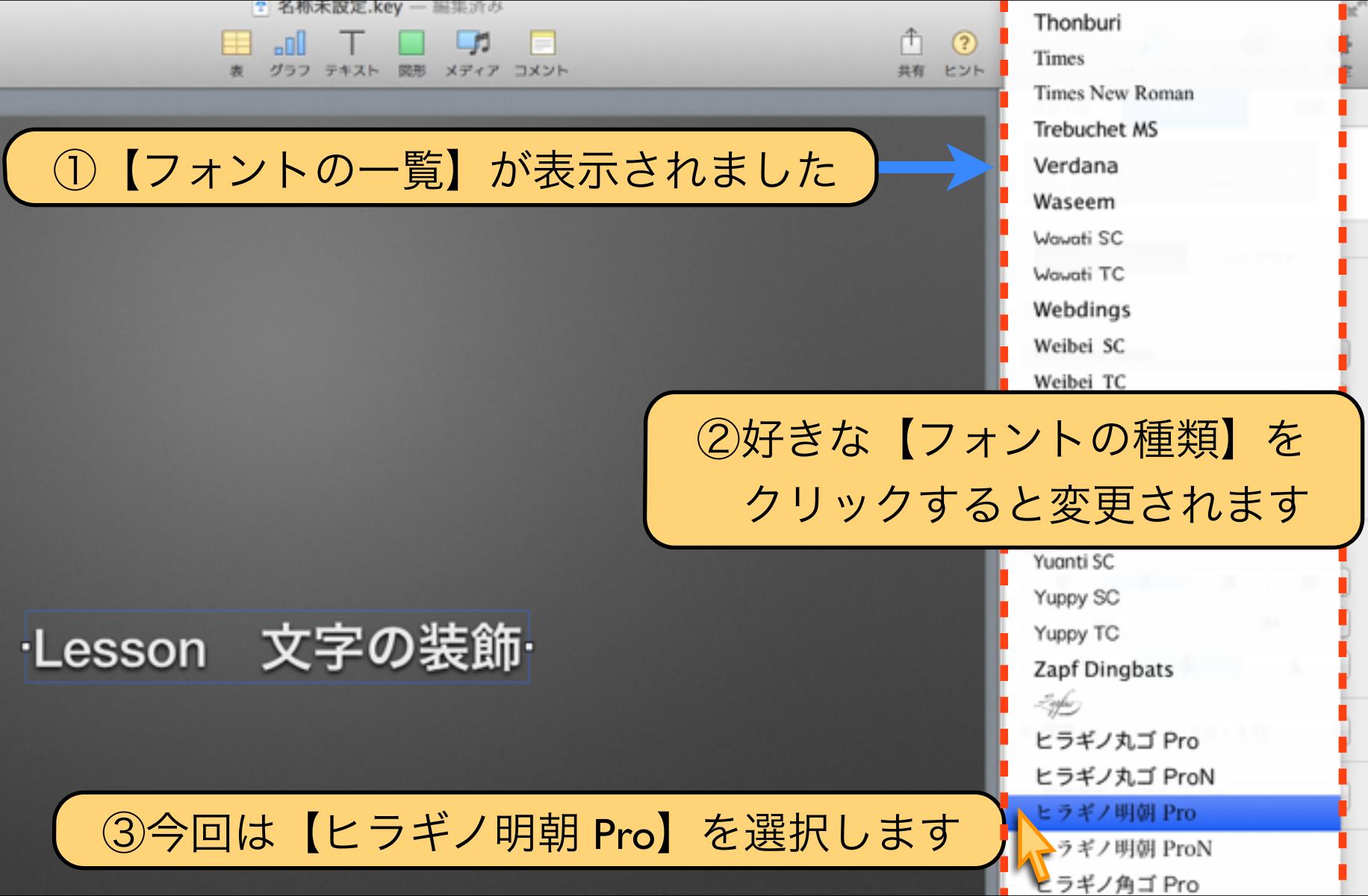
ミディアム 38 pt

①現在のフォント名が表示されています

②フォントの変更は【フォント名】をクリック

Lesson 文字の装飾

This image shows a screenshot of a presentation slide in Keynote. The slide title is 'Lesson 文字の装飾'. The toolbar at the top includes icons for Table, Graph, Text, Shape, Media, and Comment, as well as Share and Hint buttons. The top right corner has Format, Animation, and Settings buttons. The right side of the screen shows the Text tab of the Inspector, which displays the text 'キヤ…ヨン' and includes sections for Style and Layout. A font dropdown menu is open, showing 'Helvetica Neue' as the selected font. A callout box with a blue border and black text contains the instruction '①現在のフォント名が表示されています' (The current font name is displayed). A blue arrow points from this callout to the font dropdown in the Inspector. Another callout box with a blue border and black text contains the instruction '②フォントの変更は【フォント名】をクリック' (To change the font, click on the font name). A blue arrow points from this callout to the text 'Lesson 文字の装飾' on the slide. A mouse cursor is shown clicking on the text 'Lesson 文字の装飾'.



①【フォントの一覧】が表示されました

②好きな【フォントの種類】を  
クリックすると変更されます

③今回は【ヒラギノ明朝 Pro】を選択します

Thonburi  
Times  
Times New Roman  
Trebuchet MS  
Verdana  
Waseem  
Wowati SC  
Wowati TC  
Webdings  
WeiBei SC  
WeiBei TC

Yuanti SC  
Yuppy SC  
Yuppy TC  
Zapf Dingbats  
*Zapf*  
ヒラギノ丸ゴ Pro  
ヒラギノ丸ゴ ProN  
ヒラギノ明朝 Pro  
ヒラギノ明朝 ProN  
ヒラギノ角ゴ Pro

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key – 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 配置

スタイル テキスト 配置

キ \*\*\* \* アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 38 pt

B

文字スタイル なし

配置

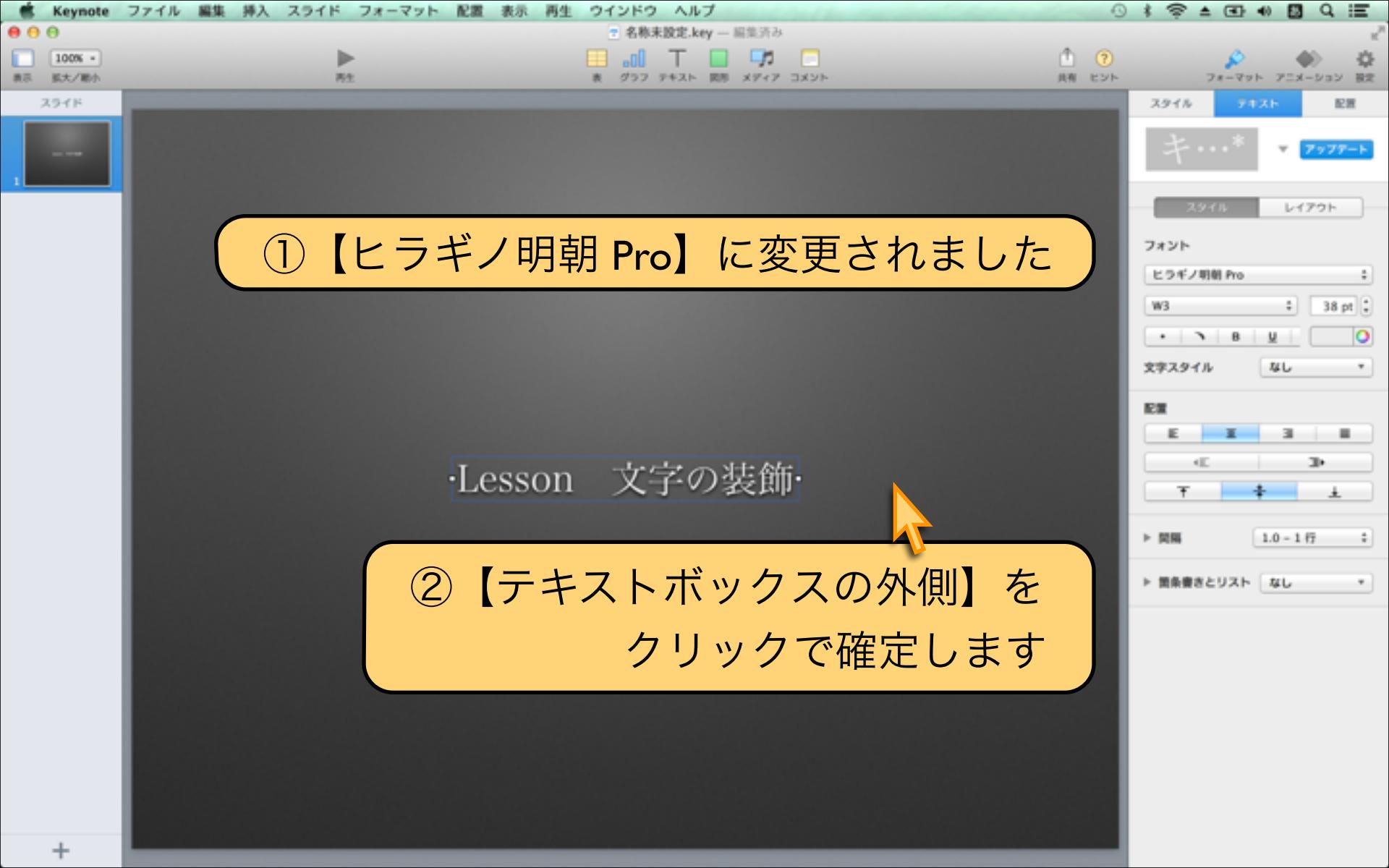
間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

1 ① 【ヒラギノ明朝 Pro】に変更されました

Lesson 文字の装飾

② 【テキストボックスの外側】を  
クリックで確定します



## 【WindowsとMacの標準フォントの違い】



Macの日本語フォントは「ヒラギノ」が有名です

Windows 【MSゴシック】 → 【ヒラギノ角ゴ】

Windows 【MS明朝】 → 【ヒラギノ明朝】

PowerPoint読み込むとフォントが自動変換されます

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

100% 表示 拡大/縮小 再生

スライド

1

【全体のフォントサイズを変更】

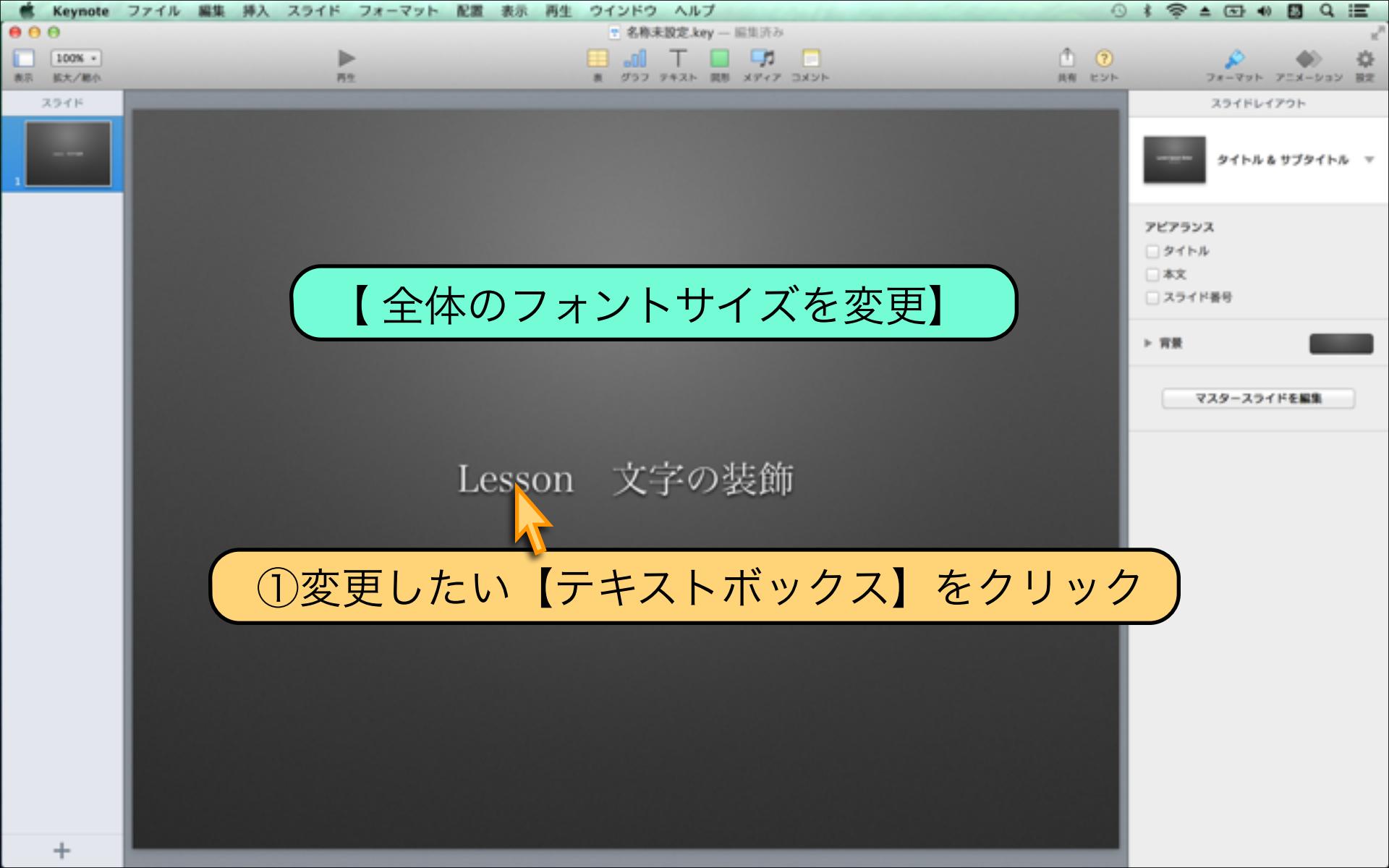
Lesson 文字の装飾

①変更したい【テキストボックス】をクリック

スライドレイアウト タイトル & サブタイトル アビアランス

タイトル  
 本文  
 スライド番号

背景 マスタースライドを編集



名前未設定.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

① 【テキストインスペクタ】に  
自動的に表示が切り替わります

② 現在のフォントサイズです

Lesson 文字の装飾

スタイル テキスト 配置

キ...\*

アップデート

スタイル レイアウト

フォント

ヒラギノ明朝 Pro

W3 38 pt

文字スタイル なし

配置

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

スタイル テキスト 配置

キ...\*

▼ アップデート

スタイル

レイアウト

フォント

ヒラギノ明朝 Pro

38 pt

①フォントサイズの数値を変更すると  
自動的に反映されます

Lesson 文字の装飾

②今回はフォントサイズ【70】に変更します



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

100% 表示  
再生  
スライド  
Lesson 文字の装飾

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro  
W3 70 pt

文字スタイル なし

配置

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

【全体のフォントサイズ】が変更されました

Lesson 文字の装飾



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド 1

【部分的にフォントサイズを変更する】

Lesson 文字の装飾

①ダブルクリック後に  
変更したい部分だけ【ドラッグで選択】

①【数値でフォントサイズ】を指定します

スタイル テキスト 配置

▼ アップデート

スタイル

レイアウト

フォント

ヒラギノ明朝 Pro

W3

100 pt

B

I

U

※

▲

▼

②今回は【100pt】入力後リターンキーで確定です

# 文字の装飾

配置

≡ ≡ ≡ ≡

◀ ▶

↑ ↓

▶ 間隔

1.0 - 1行

練習スライド.key — 編集済み

100% ▾

再生

共有 ヒント

スライド

1 Lesson 文字の装飾

【部分的にフォントサイズ】を変更できました

Lesson 文字の装飾

スタイル テキスト 配置

... アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 100 pt

B I U ⚡

文字スタイル なし\*

配置

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

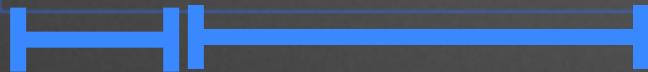


①その他のフォントサイズも変更します

②「見本」のフォントサイズの設定一覧です

# Lesson

# 文字の装飾



【100】

【70】

【85】

【55】

## 【POINT】

- ・フォントの種類によっても大きさが違います
- ・同じフォントサイズでも「英語」と「日本語」では見た目の大きさが違います

## 【フォントサイズ設定のPOINT】



最後の項目で紹介したように  
見た目を整える為にフォントサイズを微妙に  
調整しながらデザインを行う場合が多くあります  
簡単なテクニックでもデザインの幅が広がります

# Lesson Keynote

## Lesson 2-3 テキストカラーの変更

keynote-study.com

【見本】

# Lesson 文字の装飾

前回に続き 【見本】と同じスライドを作成しながら  
【テキストカラー変更】の機能を紹介します

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット テキスト 配置

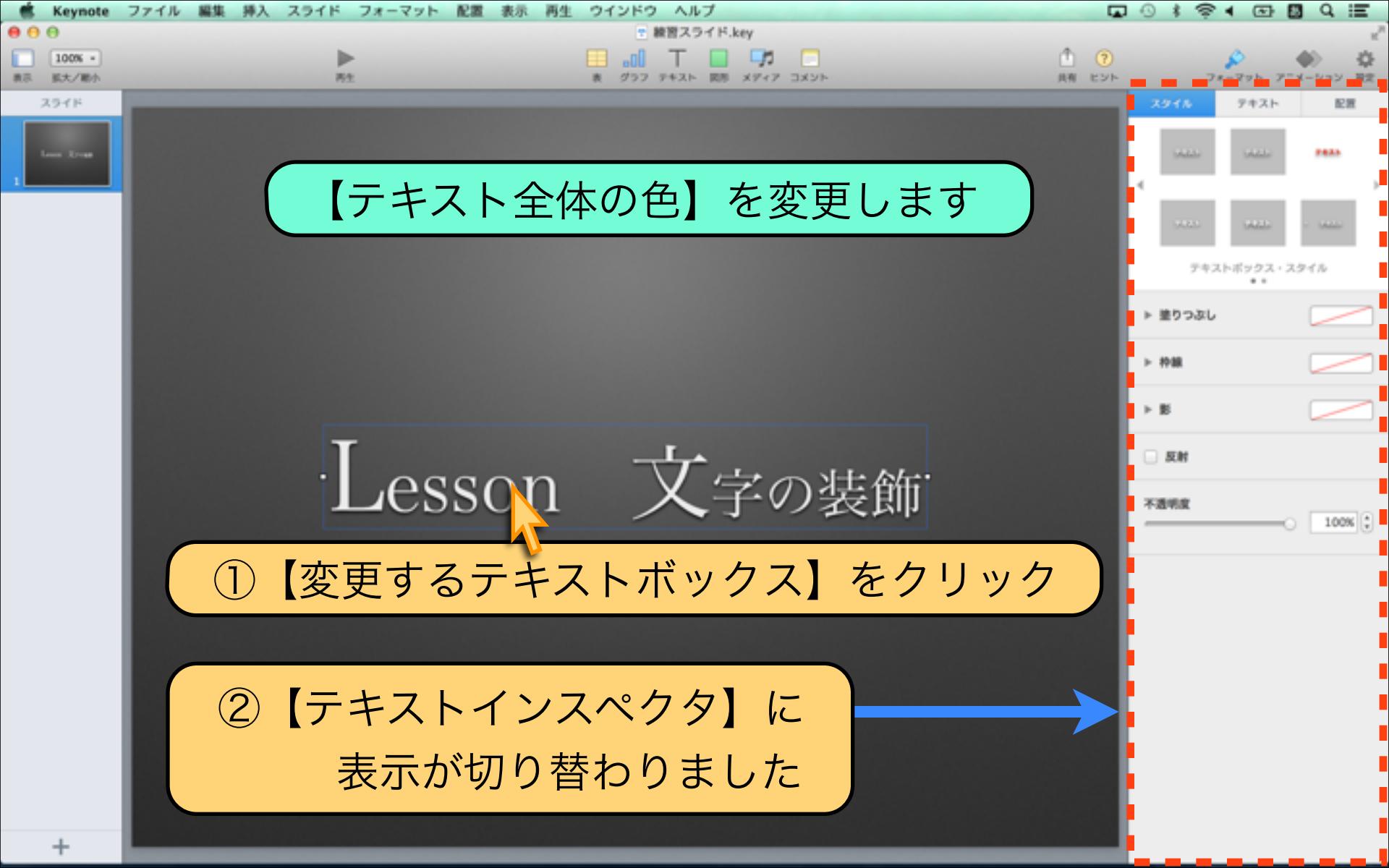
スタイル テキスト

【テキスト全体の色】を変更します

Lesson 文字の装飾

① 【変更するテキストボックス】をクリック

② 【テキストインスペクタ】に  
表示が切り替わりました



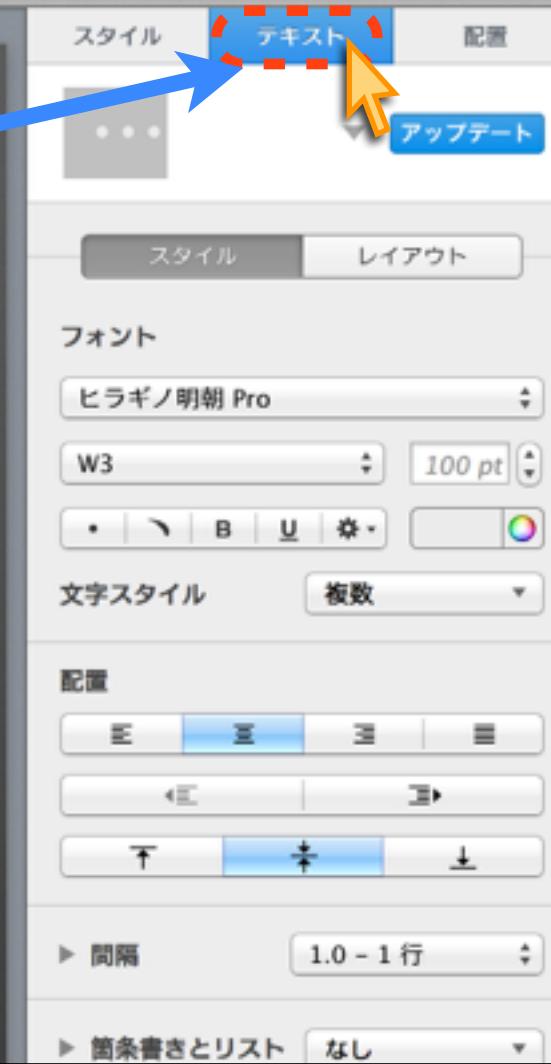
① 【テキストのタブ】をクリック

## (POINT)

## Keynote'09から新作Keynote(2013)の変更点

# 【フォーマットインスペクタ】 – 【テキスト】 からテキスト関連の変更を行います

## on 文字の装飾



練習スライド.key

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 100 pt

・ 丶 B U \* カラーボックス

文字スタイル 複数

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

①現在のフォントカラーが表示されています

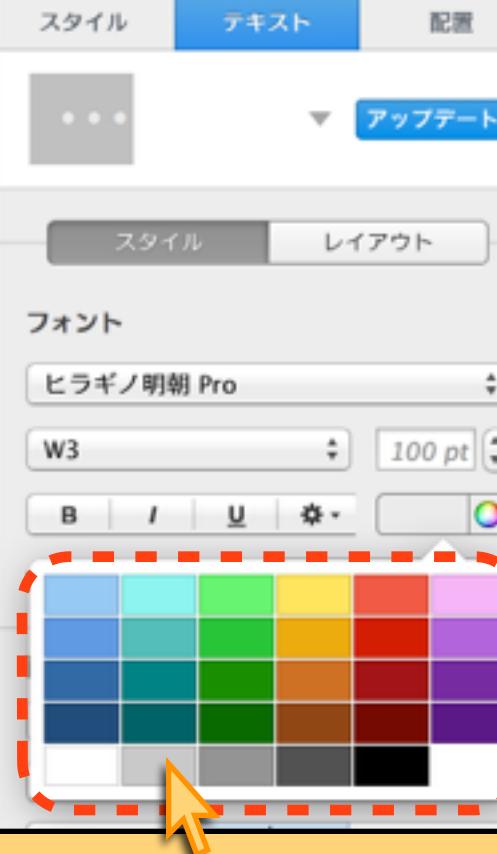
②【カラー ボックス】をクリック

on 文字の装飾

① 【カラー選択画面】が表示されました

②好きな色をクリックします

③今回は【左から2番目のグレー】  
を選択します



Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

再生

表示  
最大化/最小化

スライド

1

100%

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

キャプション

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 100 pt

文字スタイル 段落

配置

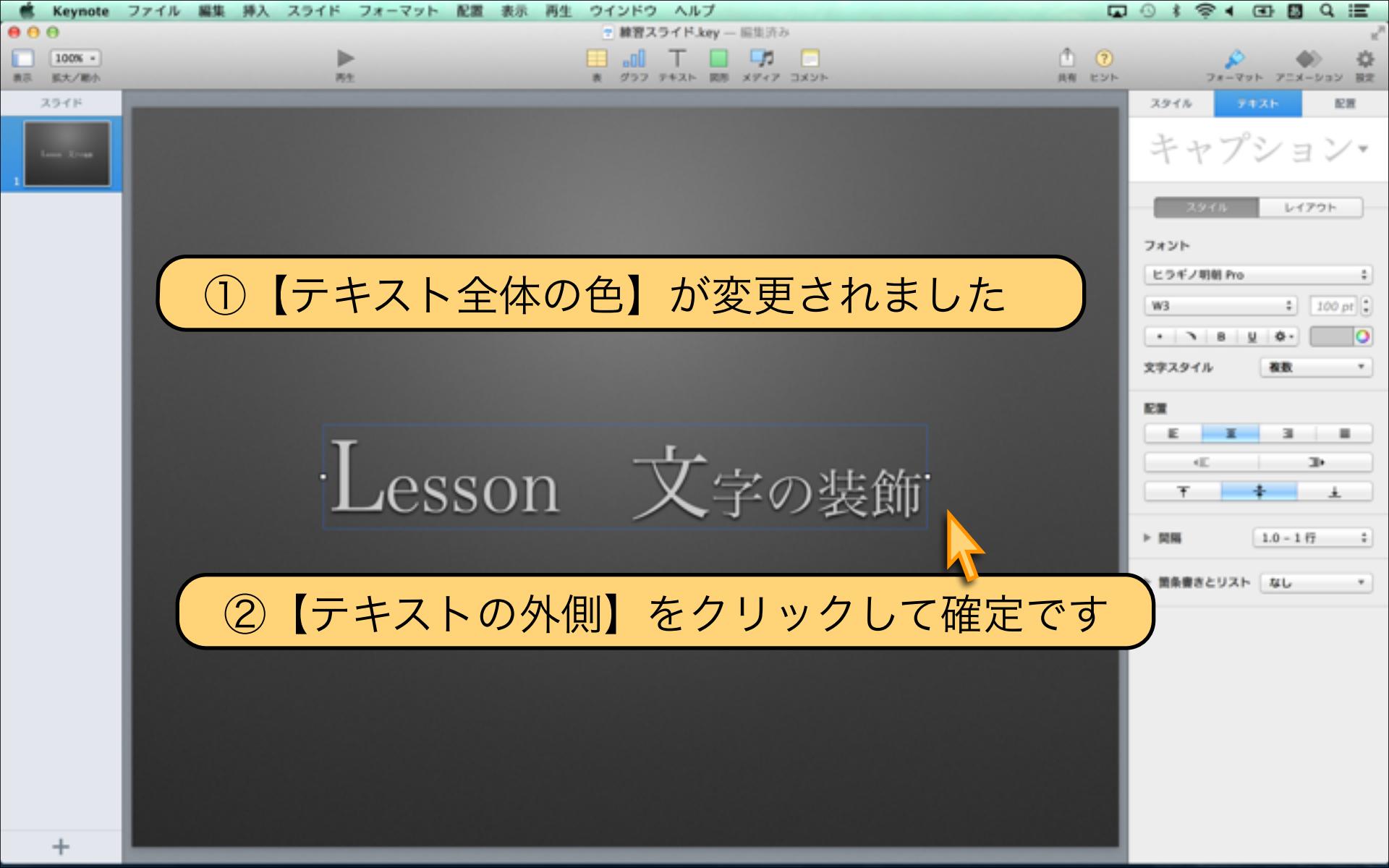
間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

① 【テキスト全体の色】が変更されました

Lesson 文字の装飾

② 【テキストの外側】をクリックして確定です



Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

キ...ン\* アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 85 pt

文字スタイル なし

配置

間隔 1.0 - 1 行

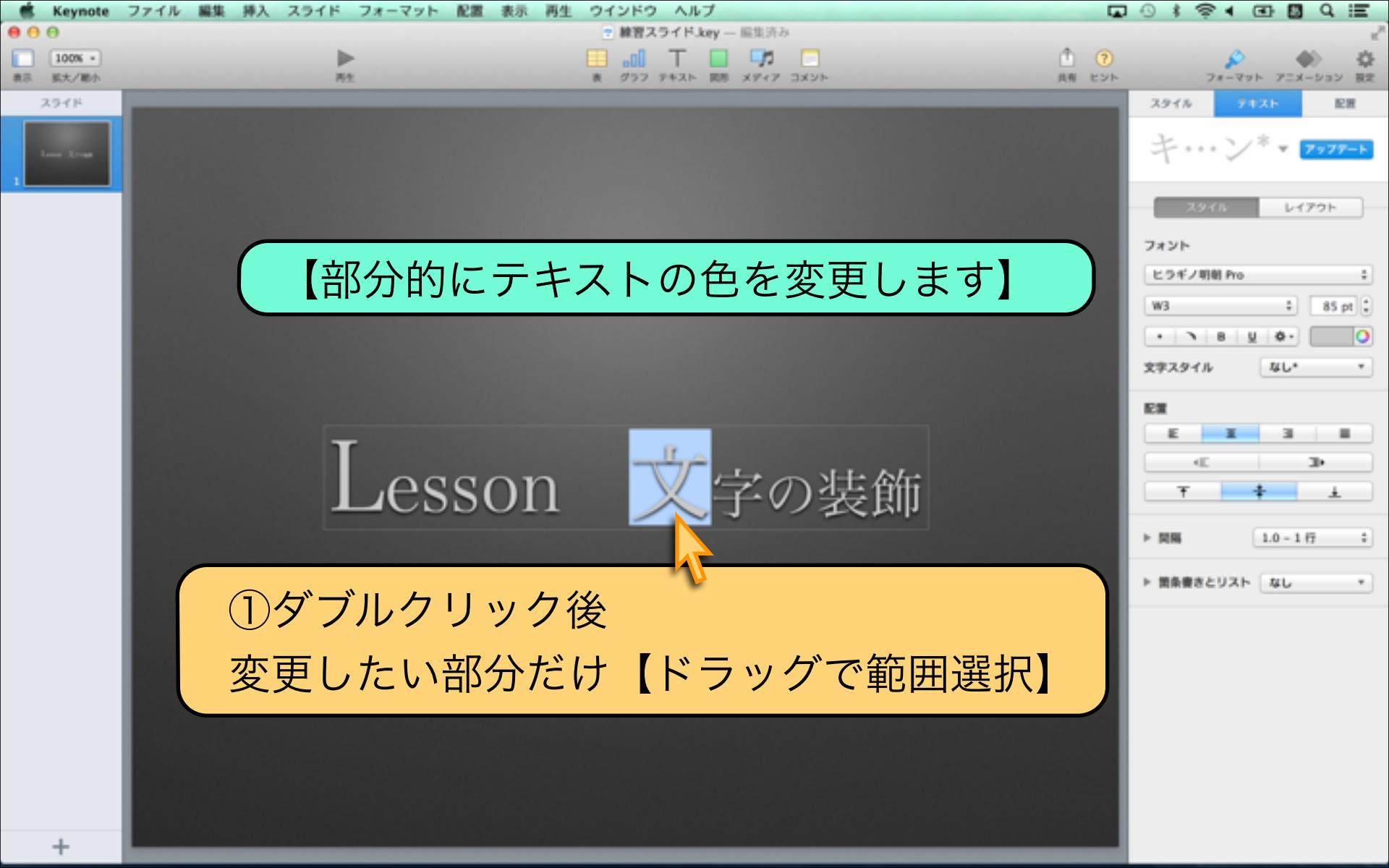
箇条書きとリスト なし

スタイル テキスト 配置

【部分的にテキストの色を変更します】

Lesson 文字の装飾

①ダブルクリック後  
変更したい部分だけ 【ドラッグで範囲選択】





スタイル テキスト 配置

キ...ン\* アップデート

スタイル レイアウト

フォント

ヒラギノ明朝 Pro

W3 85 pt

• 丶 B U \*

カラーパネル

文字スタイル なし

① 詳細なカラー選択は  
【カラーパネル表示】  
をクリックします

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

このブロックは、Keynote の「テキスト」ツールバーで表示される「スタイル」タブを示しています。右側には、書式設定オプションが複数並んでおり、その中の「カラーパネル」がオレンジ色で強調されています。手書き風のテキスト 'キ...ン\*' が背景に表示されています。

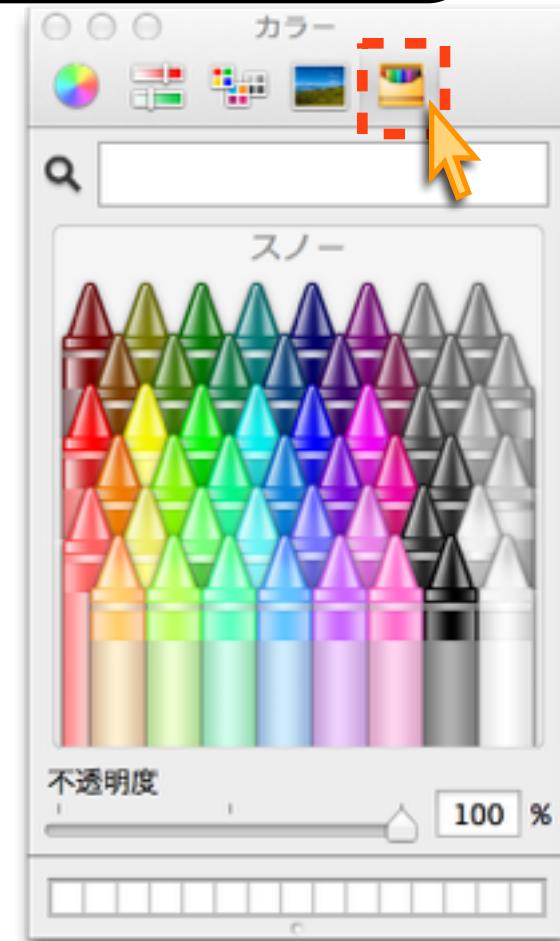
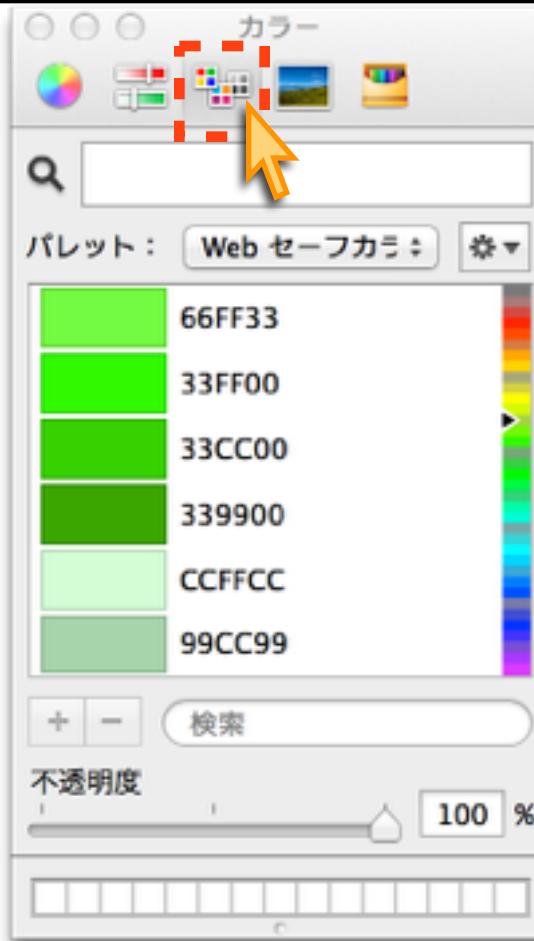
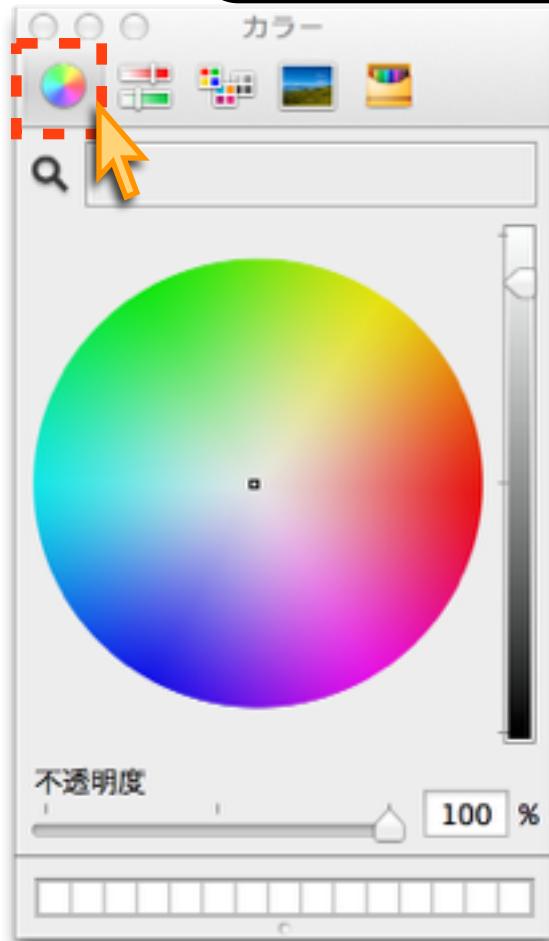
① 【カラーパネル】が表示されました



② 【クレヨン】タブをクリック



① 【カラーパレット】は他の形式から色を探せます



② 【タブ】をクリックしてカラー表示を切り替えます

練習スライド.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

キ…ン\* アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 85 pt

・ 、 B U

文字スタイル なし

配置

間隔 1.0 - 1 行

箇条書きとリスト なし

① 【赤色】をクリック

② テキストの色が変更されました

on 文字の装飾

キ…ン\*

① 【赤色】をクリック

② テキストの色が変更されました

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key

100% 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

スライド 1

スライドレイアウト タイトル & サブタイトル

アビアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景 マスタースライドを編集

①部分的にテキストの色が変更できました

Lesson 文字の装飾





①こちらのテキストを【白色】に変更します

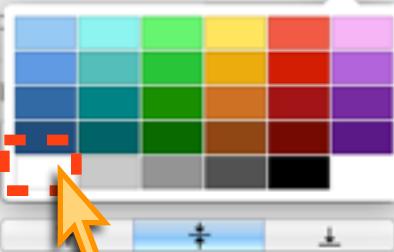


Lesson 文字の装飾

②ダブルクリック後【ドラッグで範囲選択】



③カラーパネル  
【白】をクリック



スタイル レイアウト

フォント

ヒラギノ明朝 Pro

W3

55 pt

＊ ～ B ～ ～

＊

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

スライド 1

スライドレイアウト タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景 マスタースライドを編集

①テキストの色が変更されました

Lesson 文字の装飾



## 【テキストのカラー変更のPOINT】



配色は、目線を誘導するのに役立ちます。  
このページのタイトルは「黒」説明文は「グレー」  
という具合に目立たせたい部分と補足する部分の  
配色を工夫することで見やすくなります。

Lesson 2-4

文字の装飾とデザイン

keynote-study.com

【見本】

# Lesson 文字の装飾

前回に続き 【見本】と同じスライドを作成しながら  
【文字の装飾】の機能を紹介します

# Lesson 文字の装飾

【文字が浮き立つ効果】を追加します

# Lesson 文字の装飾

①テキスト全体に影を追加することで  
【文字が浮き立つ効果】を表現しています

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

スライド 1

スタイル テキスト 配置

スタイル レイアウト

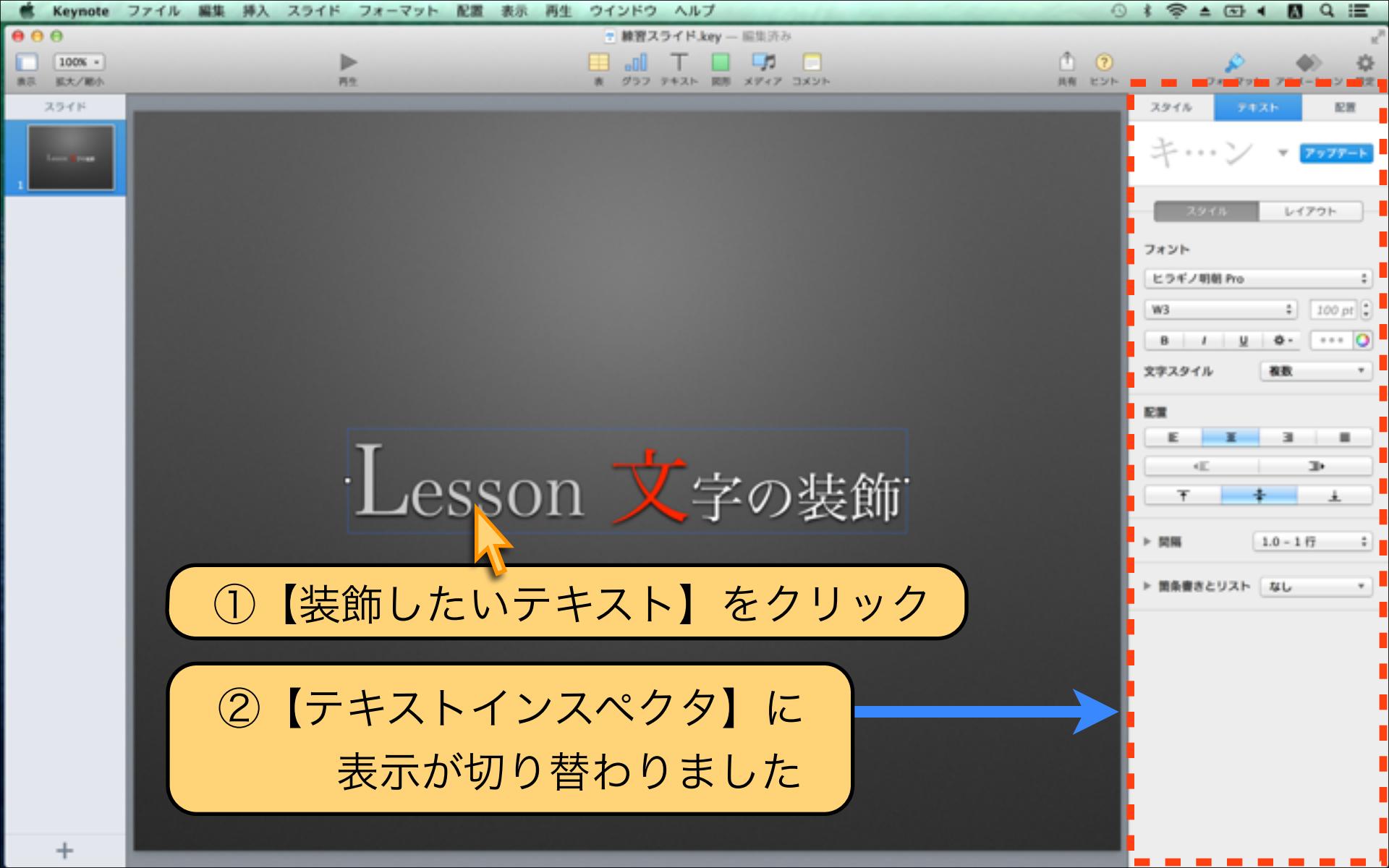
フォント ヒラギノ明朝 Pro W3 100 pt

B I 亂 ● 文字スタイル 段数

配置

① 【装飾したいテキスト】をクリック

② 【テキストインスペクタ】に表示が切り替わりました



① 【スタイル】タブをクリック

② 「文字の装飾」はスタイルインスペクタで  
設定することを覚えておきましょう

son 文字の装飾

③ 【影】の項目をクリック



① 【影】の設定一覧が表示されました

② 【影の種類】をクリックで選択します

字の装飾

③ 今回は 【曲線シャドウ】を選択します

テキストボックス・スタイル

...

▶ 塗りつぶし



▶ 框線



▶ 影



シャドウなし

①選択したテキストに影が追加されました

②次に 【影の詳細設定】 をします

Lesson 文字の装飾



③ 【影の項目】 を  
クリックします

スタイル テキスト 配置

テキスト テキスト テキスト

テキスト テキスト テキスト

テキストボックス・スタイル  
＊＊

▶ 振りつぶし



▶ 程線



①影の詳細設定項目が表示されました

②見本と同じ影を作るには

- ・スライダーを左の【内側】へ
- ・【オフセット：4 pt】
- ・【角度：270°】に設定

内側

外側

オフセット

4 pt

不透明度

100%

角度： 270°

反射

テキスト

テキスト

テキスト

テキストボックス・スタイル

塗りつぶし

枠線

影

曲線シャドウ

① 【文字が浮き立つ効果】を表現できました

# Lesson 文字の装飾

スタイル テキスト 配置

テキスト テキスト テキスト

テキスト テキスト テキスト

テキストボックス・スタイル

▶ 塗りつぶし

▶ 桁線

▼ 影

曲線シャドウ

内側 外側

オフセット 4 pt

不透明度 100%

角度: 270°

反射

不透明度 100%

もう一つの文字装飾【反射効果】を紹介します

Lesson 文字の装飾



Lesson 文字の装飾

DC2020II ユニバーサルデザイン

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

スライド 1

スタイル テキスト 配置

スタイル レイアウト

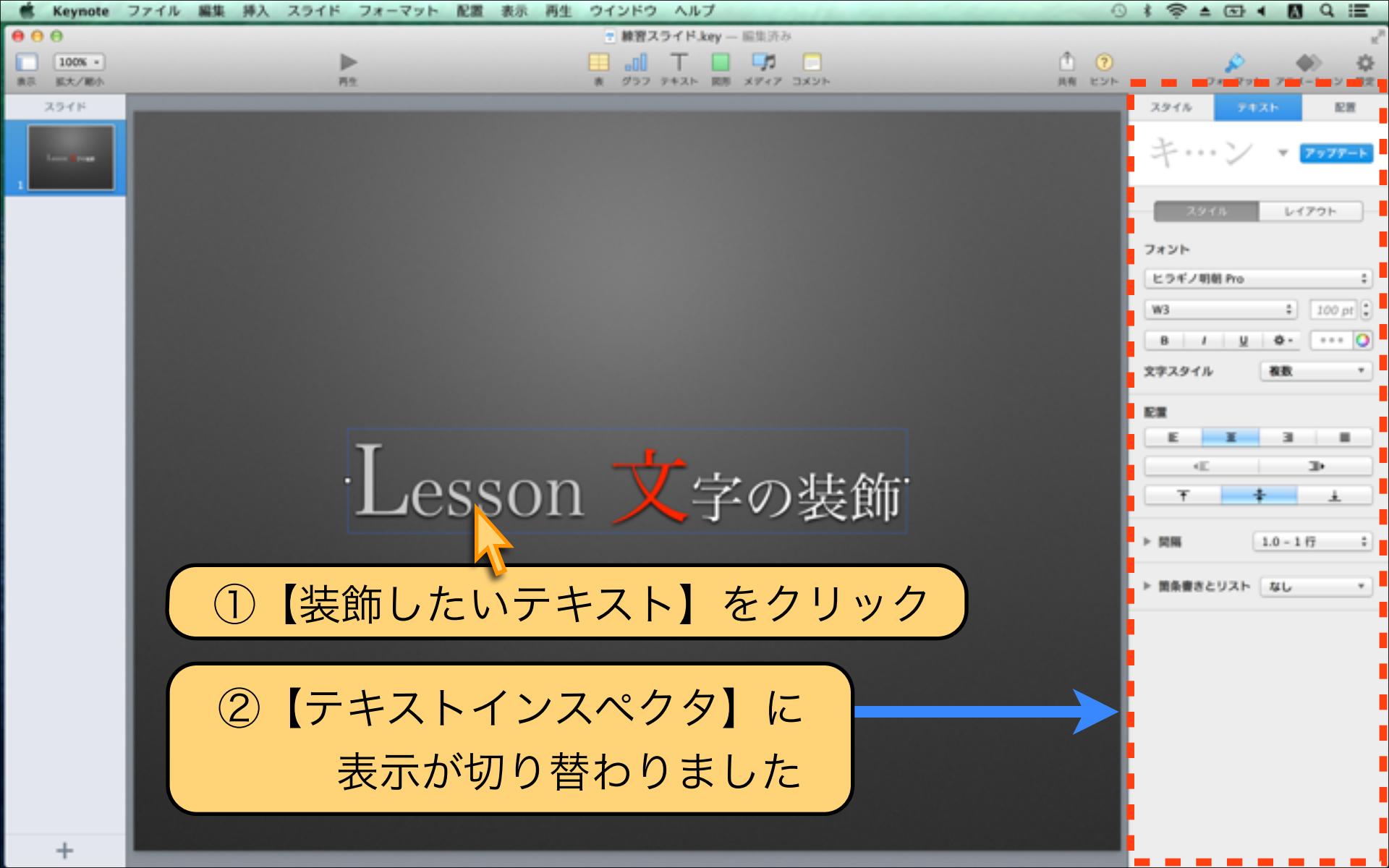
フォント ヒラギノ明朝 Pro W3 100 pt

B I 亂 ● 文字スタイル 段数

配置

① 【装飾したいテキスト】をクリック

② 【テキストインスペクタ】に表示が切り替わりました



練習スライド.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト

① 【スタイル】タブをクリック

テキスト テキスト

テキストボックス・スタイル

塗りつぶし

枠線

影

反射

② 【反射】をクリック

son 文字の装飾

① 【反射】の効果が追加されました

Lesson 文字の装飾



②反射【100%】へ  
スライダーを  
ドラッグします

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1 Lesson Text

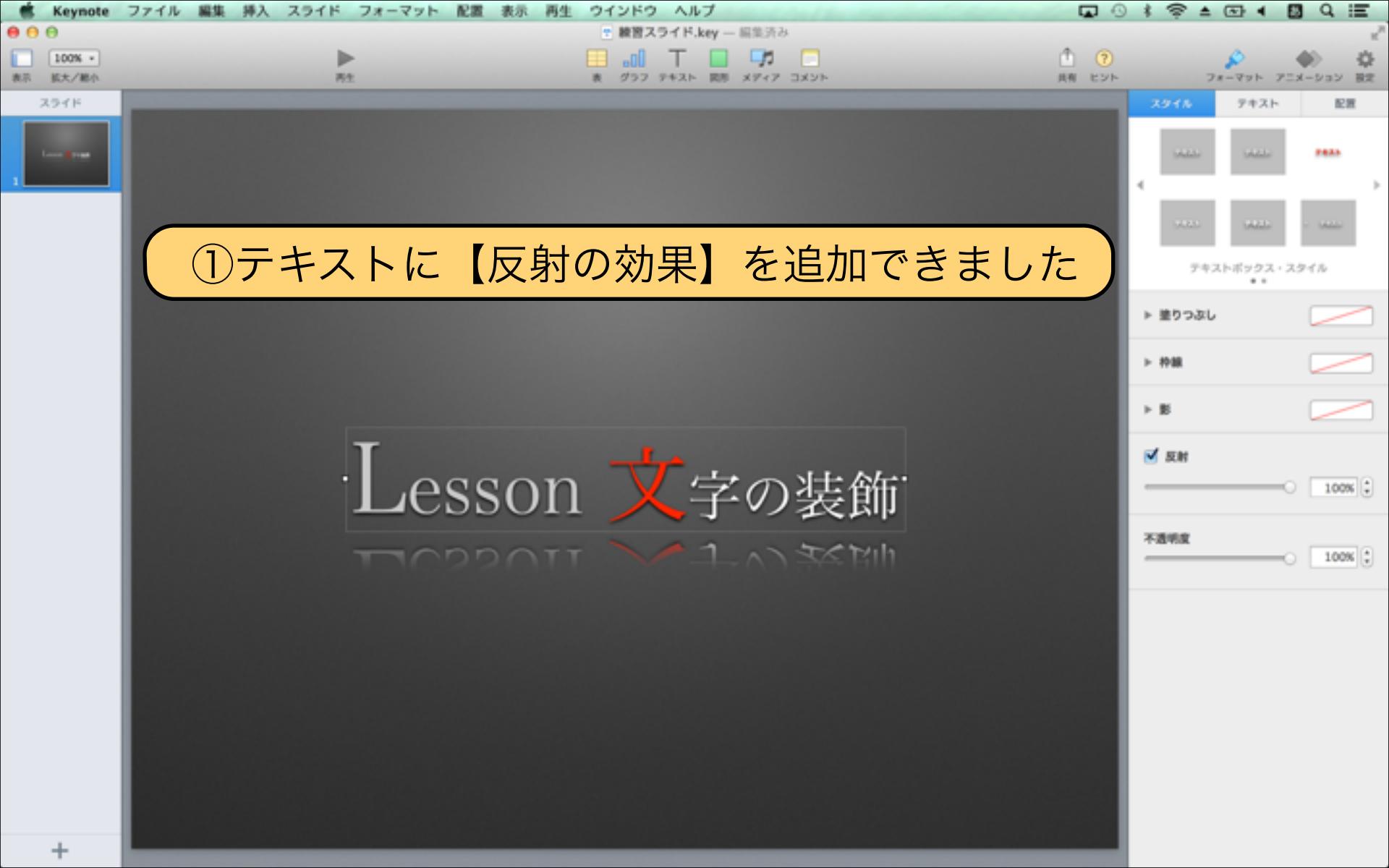
①テキストに【反射の効果】を追加できました

Lesson 文字の装飾

REFLECTION

反射 100%

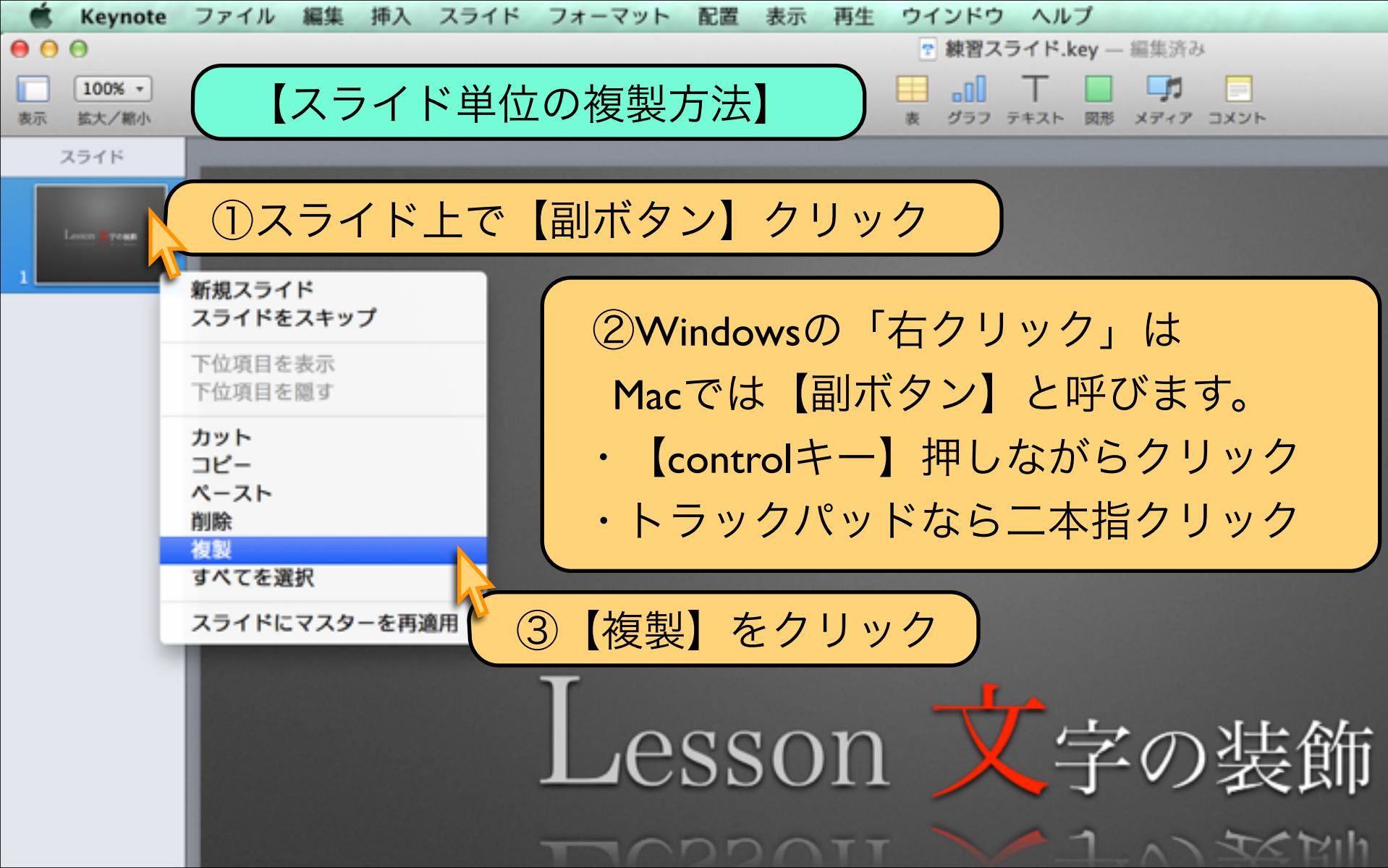
不透明度 100%



一度作成したタイトル（文字装飾）は  
他のスライドにも流用可能です

Lesson 文字の装飾 Lesson 文字の装飾

一度作成したタイトルは【複製】して  
流用することで作業効率が上がります  
「テキスト単位」と「スライド全体」の  
二種類の複製方法を紹介します



①スライド上で【副ボタン】クリック

新規スライド  
スライドをスキップ  
下位項目を表示  
下位項目を隠す  
カット  
コピー  
ペースト  
削除  
**複製**  
すべてを選択  
スライドにマスターを再適用

②Windowsの「右クリック」は  
Macでは【副ボタン】と呼びます。

- 【controlキー】押しながらクリック
- トラックパッドなら二本指クリック

③【複製】をクリック

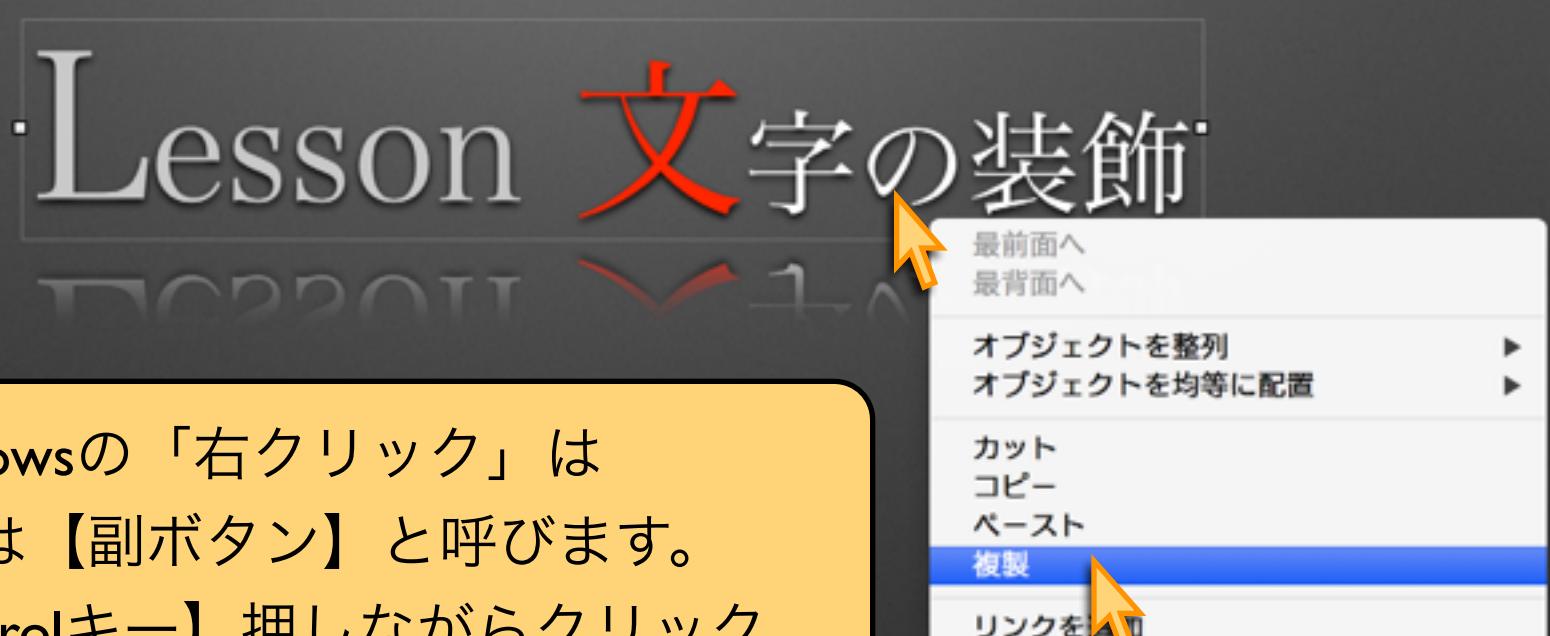
Lesson 文字の装飾

①文字装飾も含めてスライドが複製されました

②テキストをダブルクリックして  
文字を編集して仕上げていきましょう

## 【テキスト単位の複製方法】

①テキスト上で【副ボタン】クリック



②Windowsの「右クリック」は  
Macでは【副ボタン】と呼びます。

- ・【controlキー】押しながらクリック
- ・トラックパッドなら二本指クリック

③【複製】をクリック

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スタイル テキスト 配置

キ...ン アップデート

スタイル レイアウト

フォント ヒラギノ明朝 Pro

W3 100 pt

文字スタイル 指定

配置

1.0 - 1行

なし

①文字装飾も含めてテキストが複製されました

# Lesson 文字の装飾

【POINT】

作業効率を上げるコツは「複製」を活用することです

## 【文字装飾とデザインのPOINT】



テキストを装飾する機能は大きく二種類、  
【影の追加】と【反射の追加】です。  
最初にテキストをクリック選択しないと  
設定項目が表示されないので注意しましょう。



## Lesson 3-1 画像の挿入とサイズ調整

keynote-study.com

# 【写真やイラストの挿入方法】

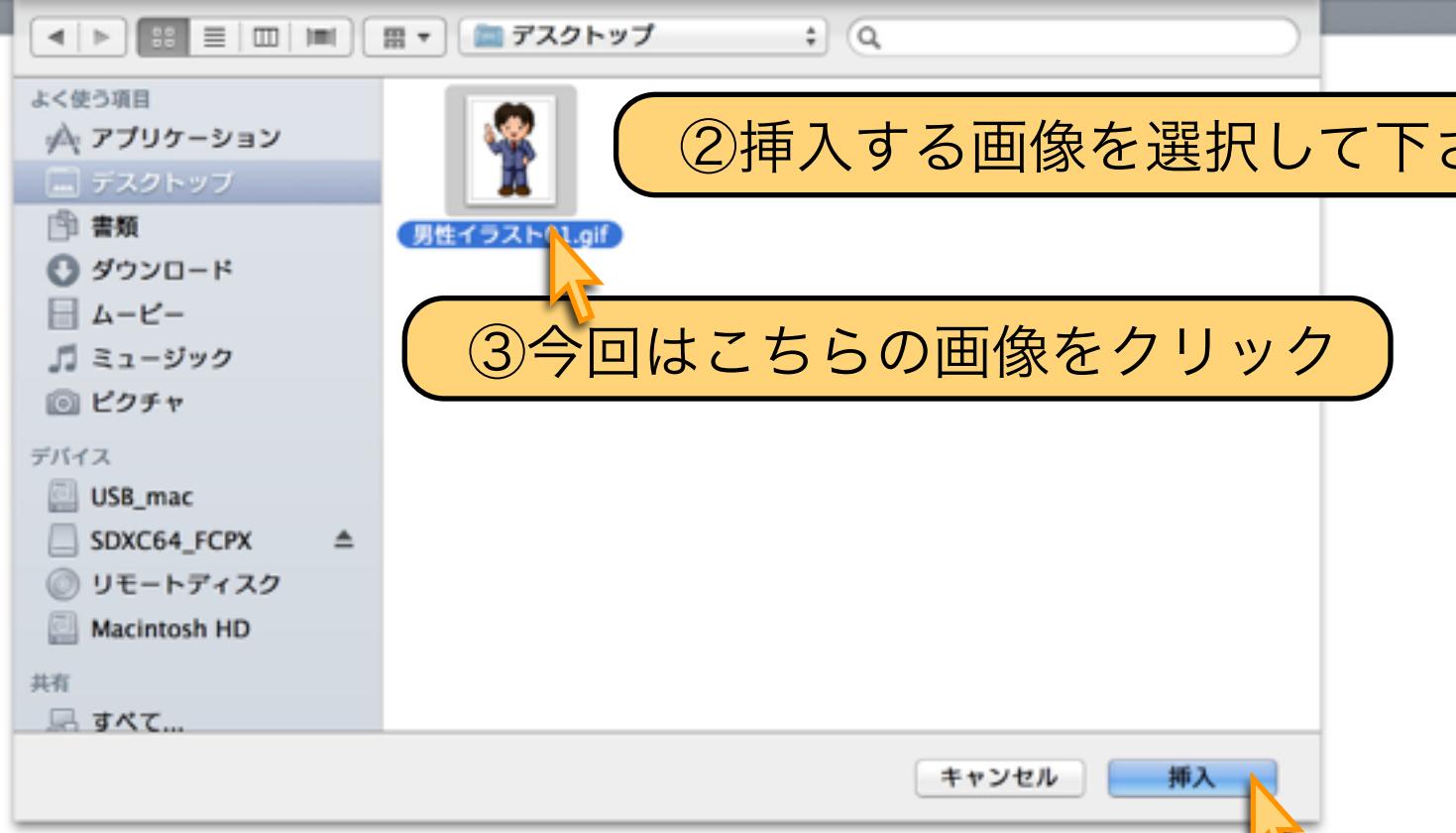


再生

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

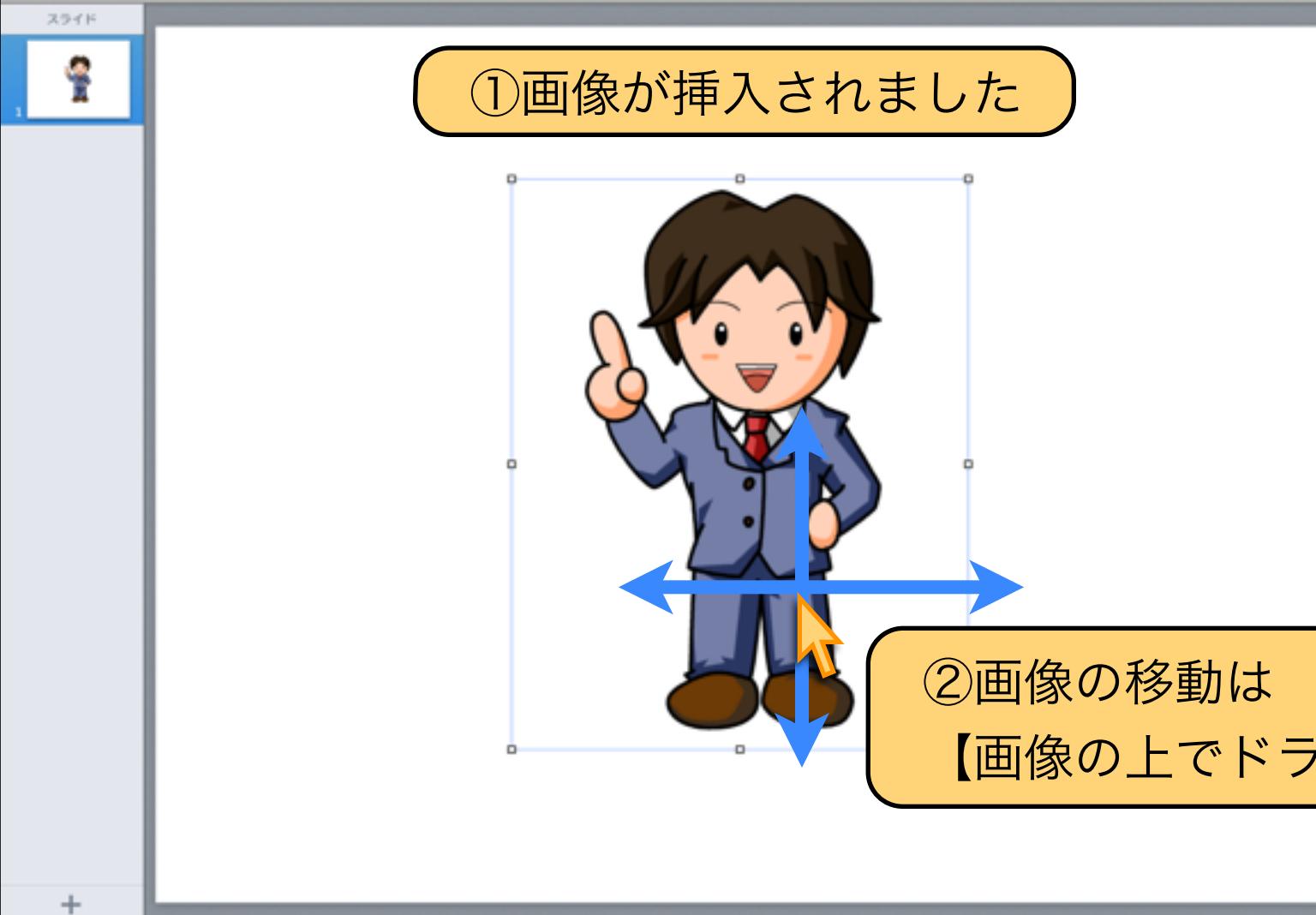
フォーマット アニメーション



アピアランス  
 タイトル  
 本文  
 スライド番号

▶ 背景

マスタースライド



## 【画像の拡大と縮小】



① 対象の画像をクリック

② 選択された画像の周囲に  
【白い小さな四角】

が表示されます

③ 【白い小さな四角】をドラッグで  
自由に大きさを調整できます

【画像サイズを数値で設定する方法】

① 【フォーマット】をクリック



② 【対象の画像をクリック】すると  
インスペクタの表示が切り替わります

右側のインスペクタパネルに、赤い点線で囲まれた「フォーマット」タブが強調表示されています。また、右側の「スライドレイアウト」タブが青い矢印で示されています。

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key – 編集済み

100% 表示 拡大/縮小 再生

スライド

1

①選択画像のインスペクタが表示されました

【用語解説】

インスペクタとは、詳細設定のことです

フォーマット アニメーション 配置

スタイル イメージ 配置

イメージのスタイル

枠線

影

反射

不透明度 100%



①【配置】をクリック

②選択されている「画像の情報」が表示されています



フォーマット アニメーション 設定

スタイル

イメージ

配置

最背面

最前面

背面

前面

配置

均等に配置

サイズ

400 pt

500 pt

幅 高さ

縦横比を固定

元のサイズ

位置

312 pt

134 pt

X Y

回転

0°

角度

反転

ロック

ロック解除

グループ

グループ解除

①今回は画像サイズを  
「幅200pt 高さ250pt」と入力します

②位置を「X：700pt Y：150pt」と入力



【注意】 数値は「英数キー」を押して、半角で数値を入力します

Keynote ファイル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

表示 100% 再生

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント 共有 ヒント

スタイル イメージ 配置

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 200 pt 250 pt 幅 高さ 縦横比を固定 元のサイズ

位置 700 pt 150 pt X Y

回転 0° 角度 反転

ロック ロック解除

グループ グループ解除

スライド 1

① 「図形サイズと位置」を数値で設定できました

② 図形の外側をクリックして確定です

名称未設定.key — 編集済み

100% 表示 再生 フォーマット アニメーション 設定

スライド

1

① 「図形サイズと位置」の設定は完了です

アビアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

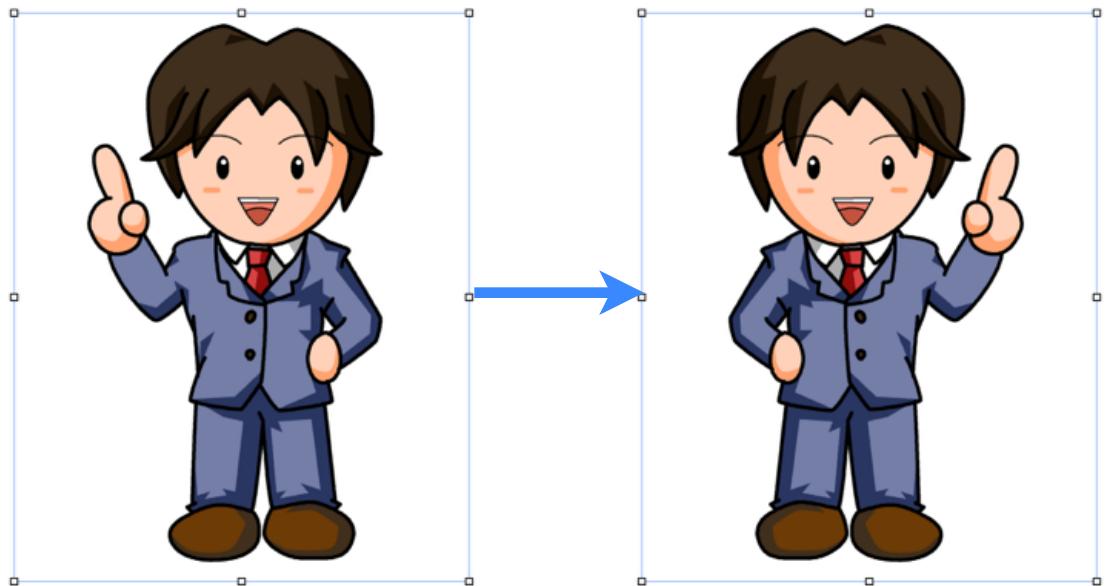
マスタースライドを編集



【ポイント】

直感的に大きさや位置を調整したい場合、  
図形を直接ドラッグして移動させます。  
数値で調整する場合と使い分けましょう。

## 【画像の反転方法】



スタイル イメージ 配置

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 200 pt 250 pt  
幅 高さ

縦横比を固定

元のサイズ

位置 700 pt 150 pt  
X Y

回転

角度 0°

反転

ロック ロック解除

グループ グループ解除

①反転させる場合は、こちらをクリック

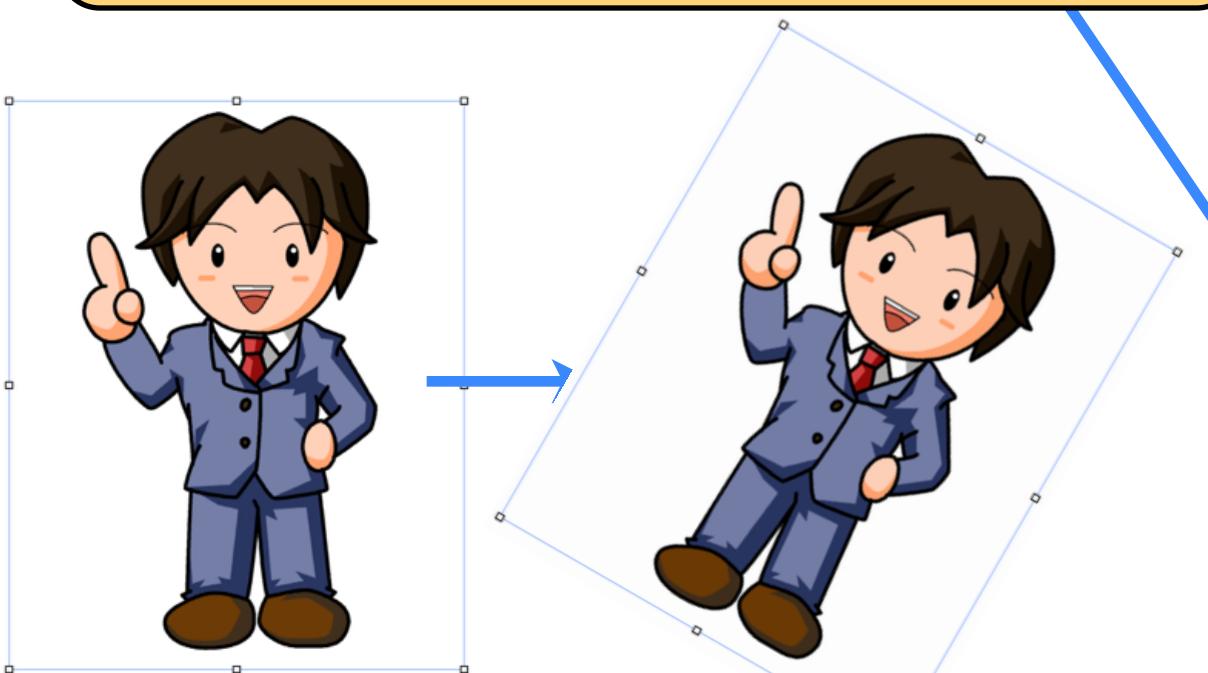
スタイル

イメージ

配置

## 【画像の回転方法】

①画像の回転は、こちらに数値入力です



②角度 = 「-30°」

サイズ

200 pt

幅

250 pt

高さ

縦横比を固定

元のサイズ

700 pt

X

150 pt

Y

位置

回転

0°  
角度

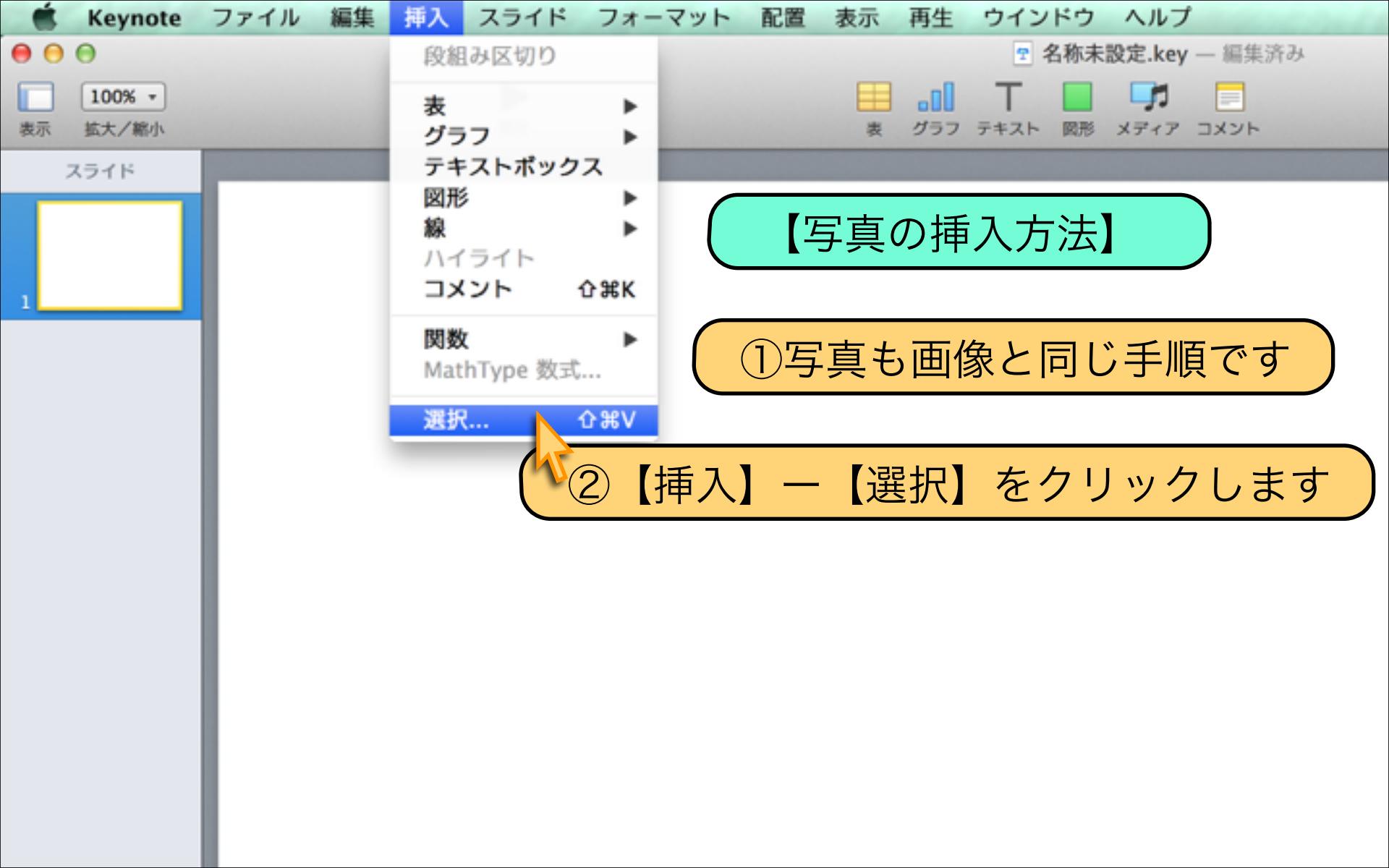
→ 反転

ロック

ロック解除

グループ

グループ解除





よく使う項目

アプリケーション

デスクトップ

書類

ダウンロード

ムービー

ミュージック

ピクチャ

デバイス

USB\_mac

SDXC64\_FCPX



リモートディスク

Macintosh HD

共有

すべて...

プレゼン写真素材  
01.jpg

①挿入する画像を選択して下さい

②今回はこちらの画像をクリック

キャンセル

挿入



③【挿入】をクリック

 タイトル  
 本文  
 スライド番号

▶ 背景

マスタースライド



【ポイント】写真もイラストも同じ手順で、同じように扱えます

## 【画像を数値で管理するメリット】



「複数の画像を同じ大きさに合わせる場合」には  
同じ数値で入力すると簡単に作成できます。  
「他のスライドで、同じ位置、同じ大きさ」で  
画像を作成する場合にも数値入力は役立ちます。

## Lesson 3-2 写真のマスク（切り取り）

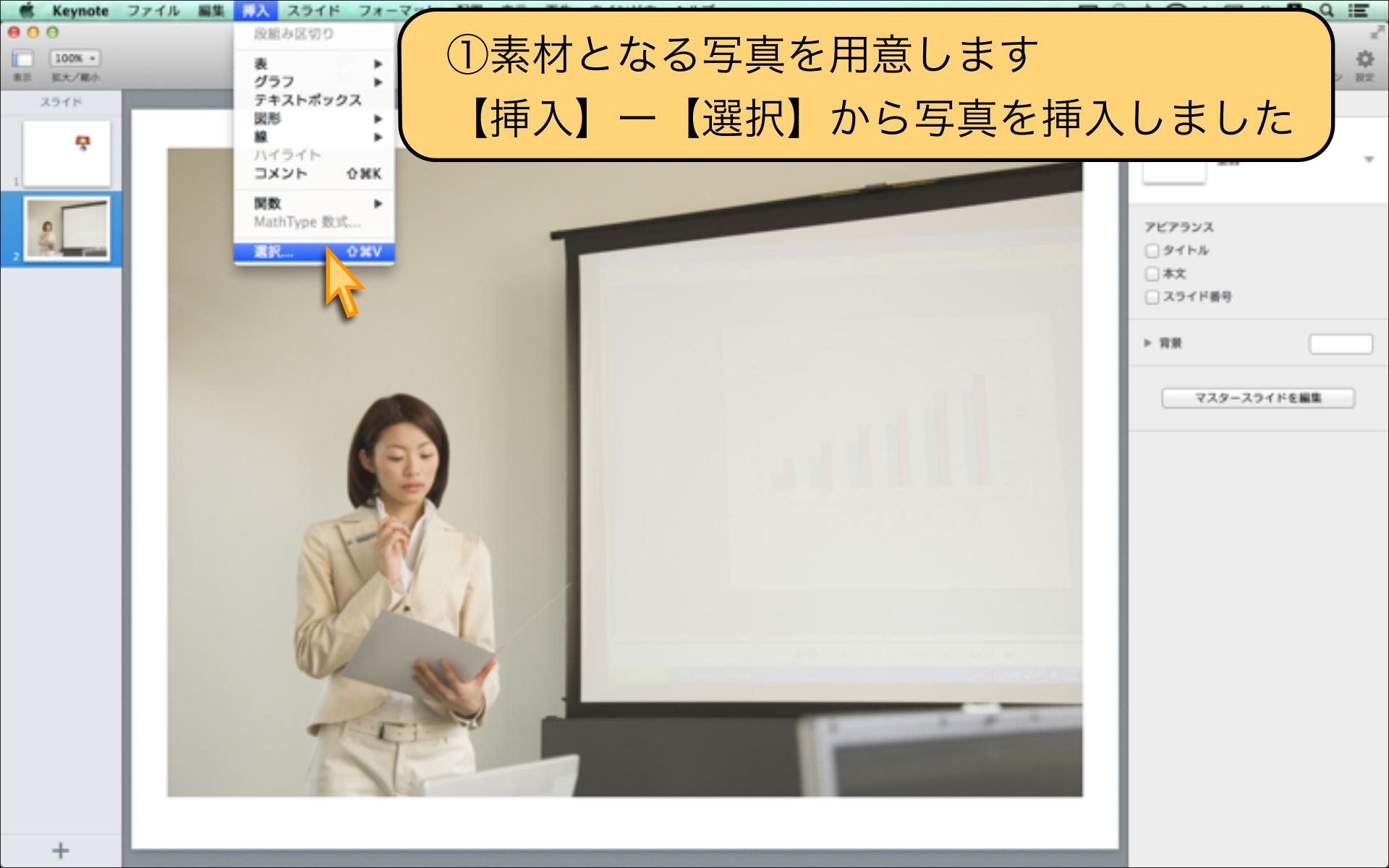
keynote-study.com

今回は【写真のマスク機能】を紹介します



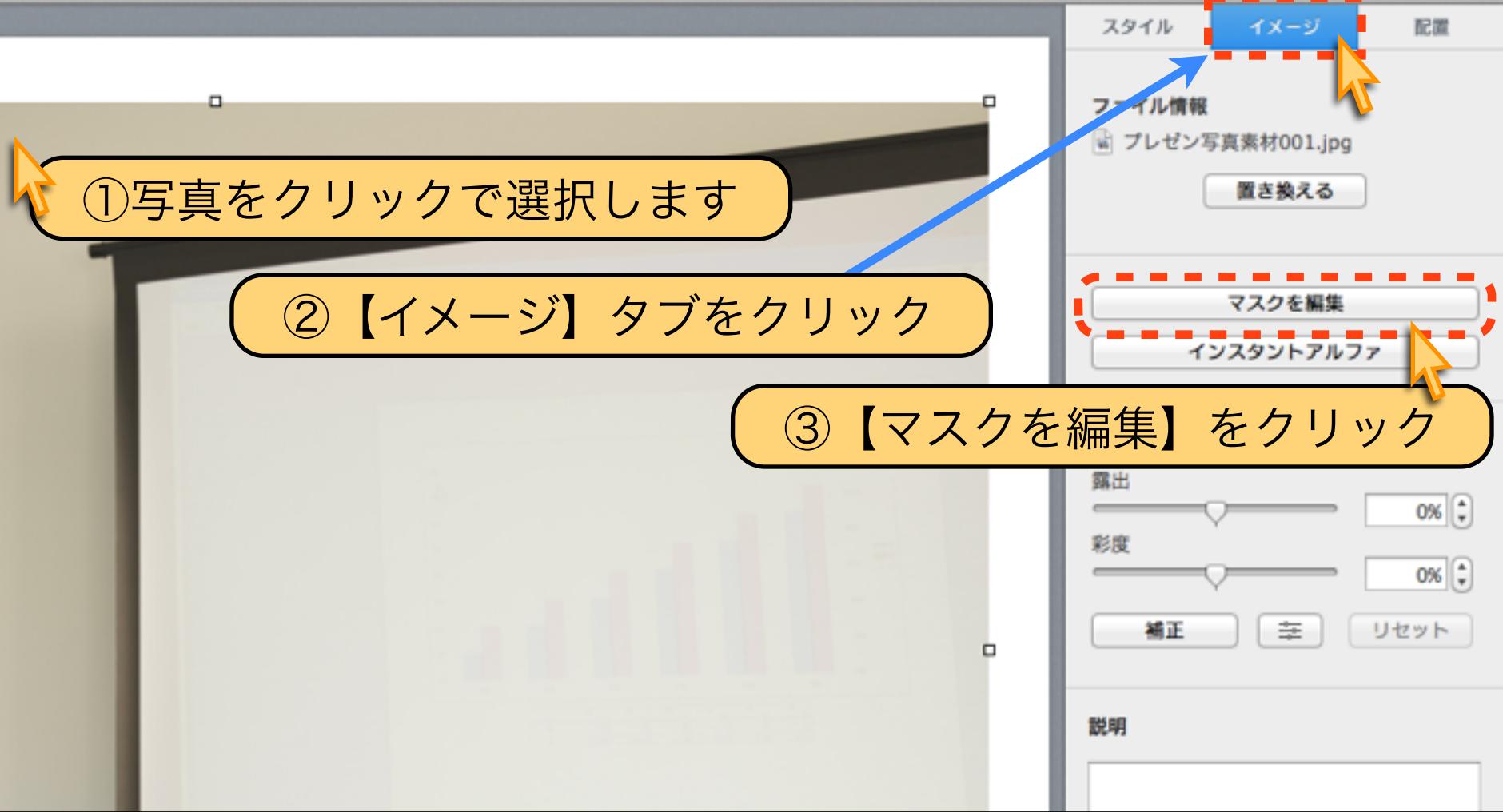
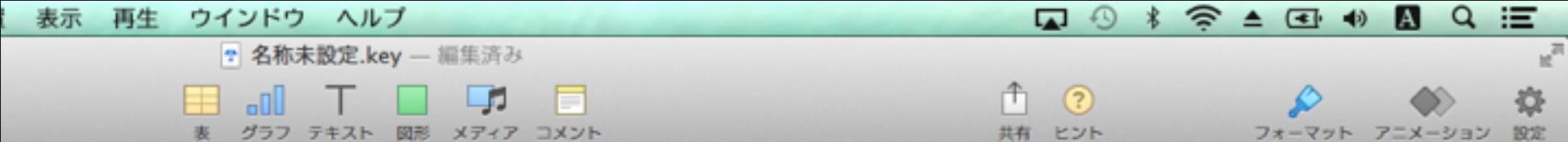
【用語解説】マスクとは？

写真のマスク機能とは、写真の不要な部分を隠す機能です



①素材となる写真を用意します

【挿入】 - 【選択】 から写真を挿入しました



100% 再生 フォーマット アニメーション 設定

表示 拡大/縮小

スライド

1

2

表 グラフ テキスト 圖形 メディア コメント

共有 ヒント

スタイル イメージ 配置

ファイル情報 ブレゼン写真素材001.jpg 置き換える

マスクを編集 インスタントアルファ

調整

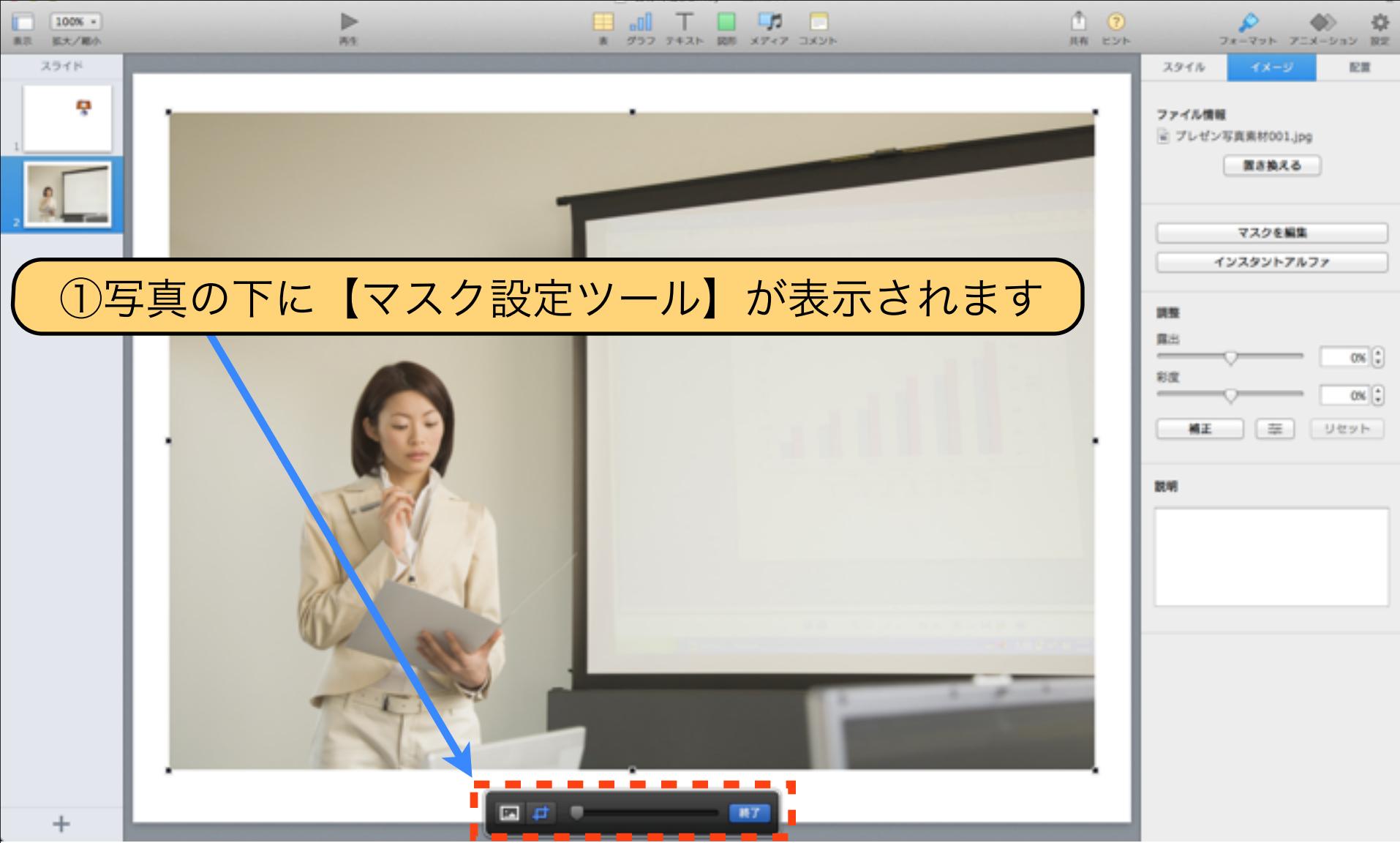
露出 0% +

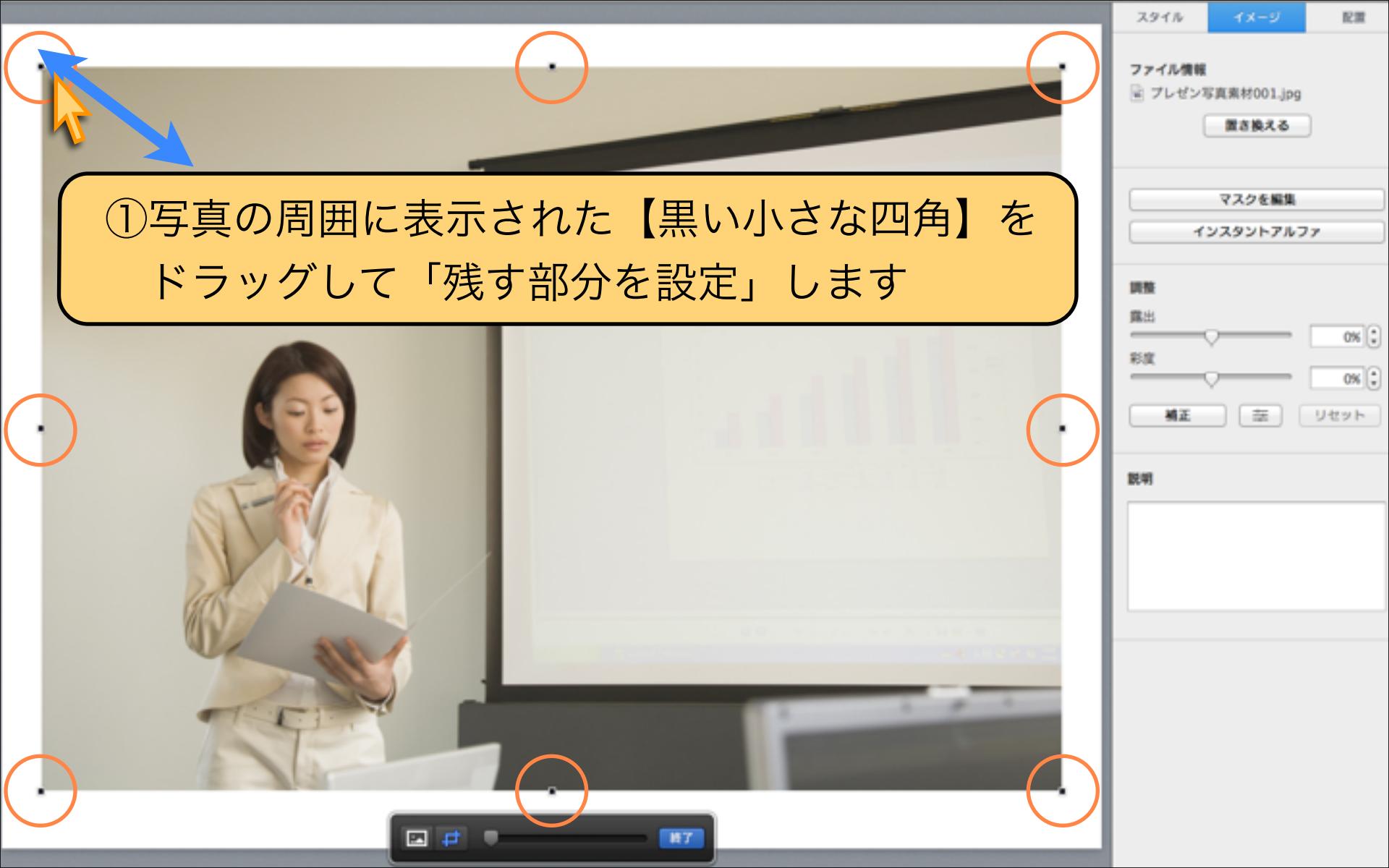
彩度 0% +

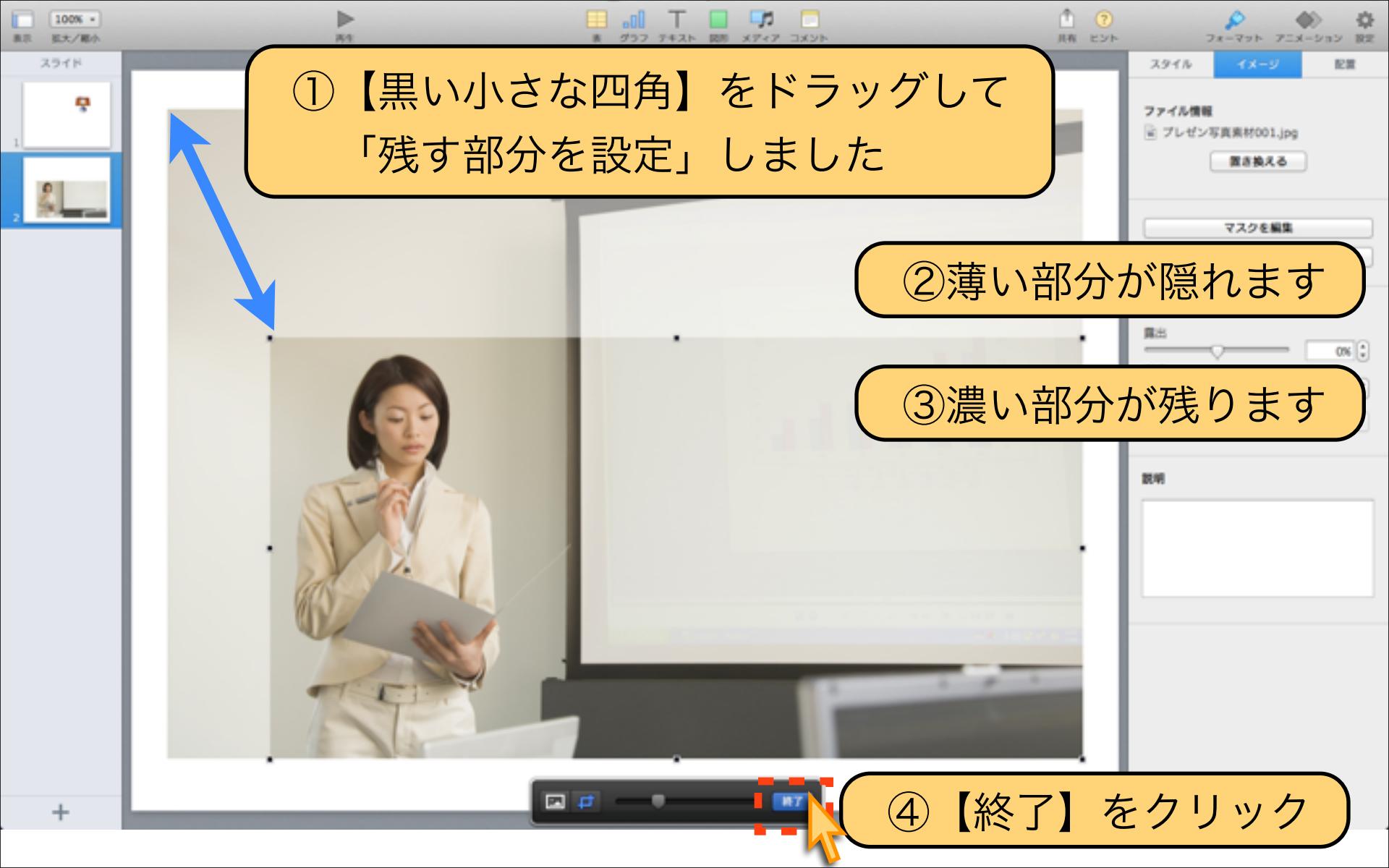
補正 リセット

説明

①写真の下に【マスク設定ツール】が表示されます







① 【黒い小さな四角】をドラッグして  
「残す部分を設定」しました

②薄い部分が隠れます

③濃い部分が残ります

④ 【終了】をクリック

Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

100% 表示 売上/縮小

スライド

1

2

①マスクの設定完了です

②マスクによって、写真の不要な部分が隠されました

マスクを編集

インスタントアルファ

露出 0%

彩度 0%

補正 リセット

説明



This image shows a screenshot of the Keynote application on a Mac. A photograph of a woman in a business suit is displayed on a slide. A blue arrow points from the text '②マスクによって、写真の不要な部分が隠されました' (The part of the photo that was unnecessary was hidden by the mask) to the right edge of the image, where a portion of the background is visible through a semi-transparent mask. The Keynote interface is visible, including the menu bar, toolbars, and various settings panels on the right side.

1

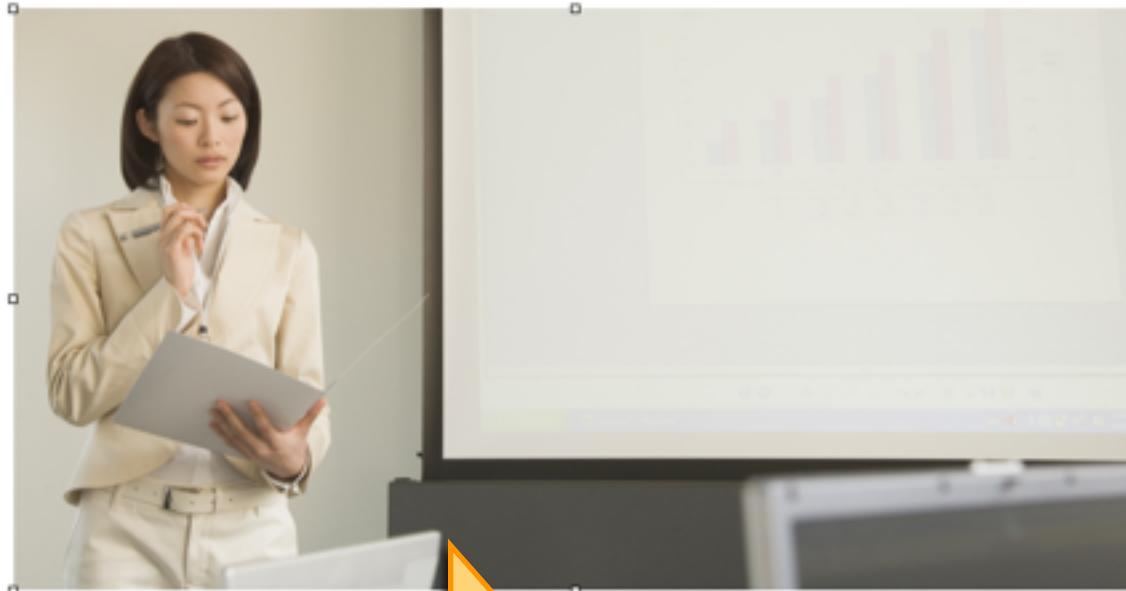


ファイル情報

プレゼン写真素材001.jpg

置き換える

## 【マスク範囲の修正方法】



① 【写真の上をダブルクリック】すると  
再びマスク編集画面に切り替わります

マスクを編集

インスタントアルファ

調整

露出

0%

彩度

0%

補正

三

リセット

説明

## 【ショートカット紹介】

- 1 : マスク編集へ・・・[写真をダブルクリック]
- 2 : マスク設定完了・・・[returnキー]
- 3 : 取り消す・・・[commandキー]+[Z]

①再びマスク編集画面に切り替わり  
マスク範囲をドラッグで調整して下さい



## 【写真のマスクとトリミングの違い】



トリミングとは、写真を切り抜く機能ですが、マスクとは、不要な部分を隠す機能です。マスクは写真自体には編集を加えないでの、何度も範囲編集できるところがメリットです。

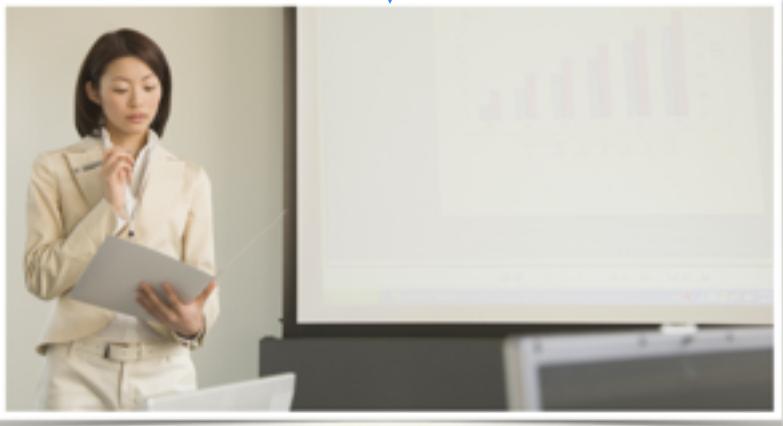
Lesson 3-3

写真に飾り枠を付ける

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)



# 今回は【写真の飾り枠】の追加を紹介します



名称未設定.key — 編集済み

1

100% 表示 大きく 小さく

スライド

段組み区切り

表  
グラフ  
テキストボックス  
図形  
線  
ハイライト  
コメント

関数 MathType 数式...

選択... ①

図形 テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

空白

アビアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集



①素材となる写真を用意します  
【挿入】 – 【選択】 から写真を挿入しました

②今回のスライドテーマは「クラシック」に設定しています

名称未設定.key – 編集済み



共有 ヒント



四

①写真をクリックで選択

## ② 【スタイル】 タブをクリック

### ③ 【枠線】 をクリック

スタイ

イメー

配額

1

111

1

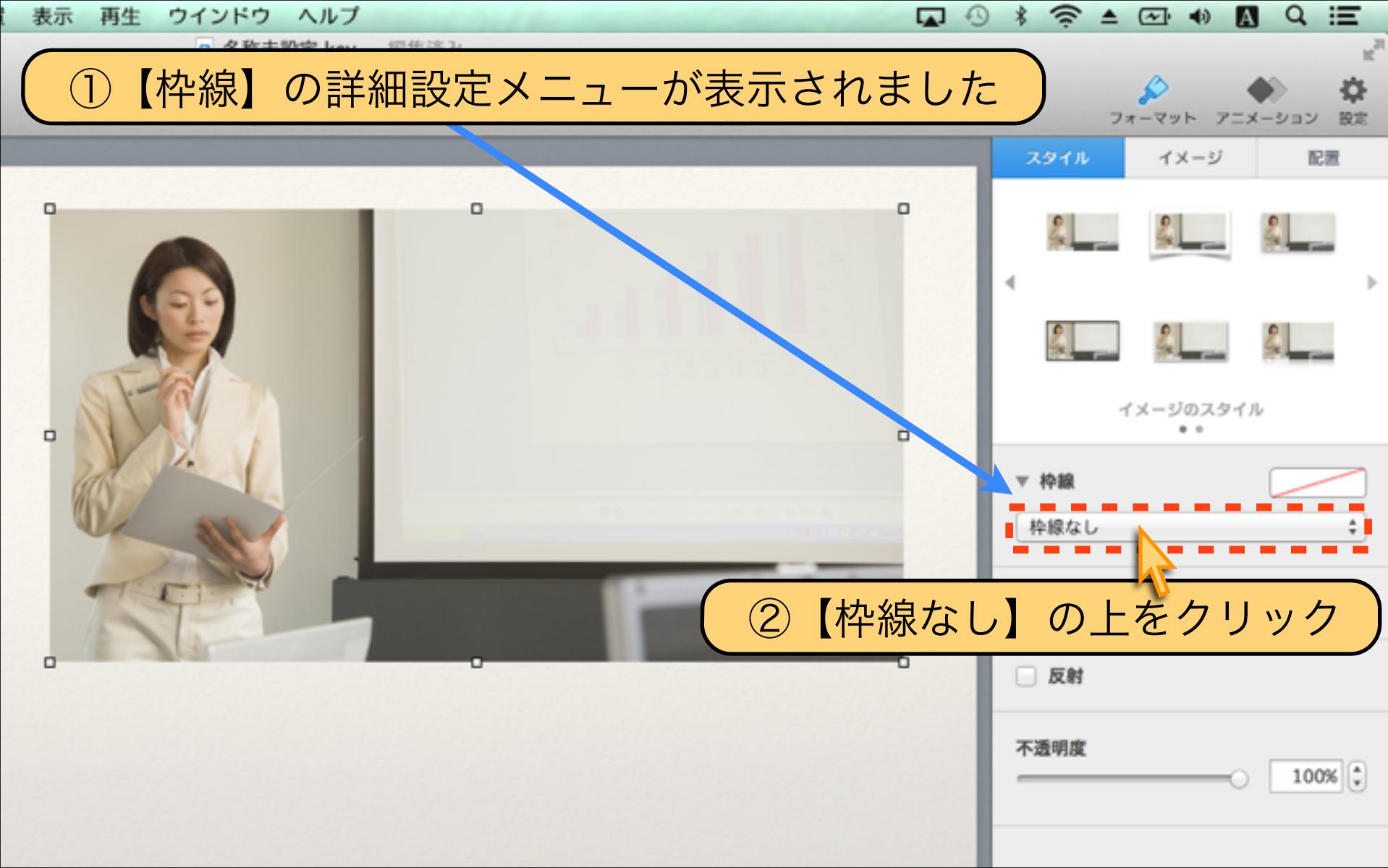
11

## イメージのスタイル

反身

### 不透明度

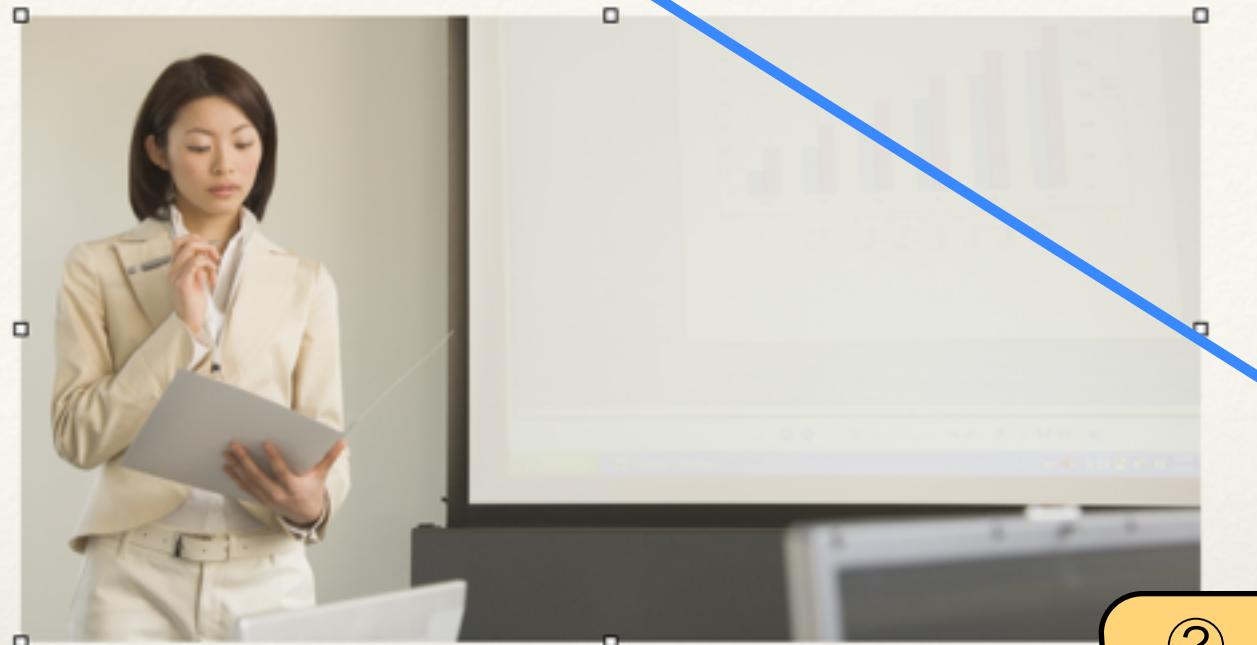
100%



表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

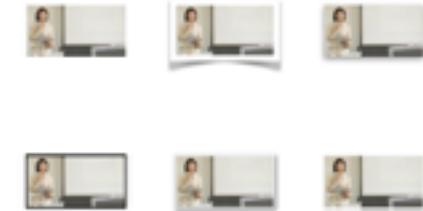
①選択メニューが表示されました



スタイル

イ×=14

配置



## イメージのスタイル

▼ 柠檬

✓ 柱線なし

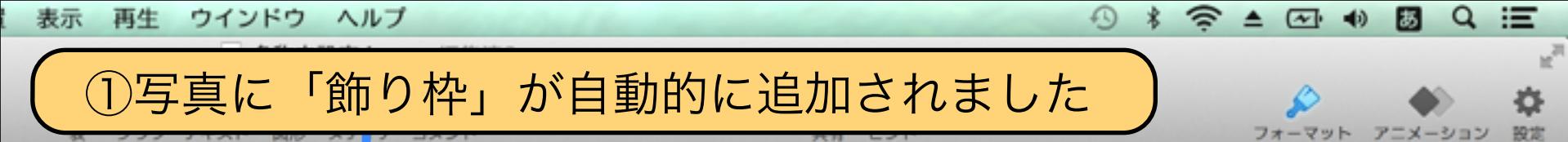
10

解り

## ② 【飾り枠】をクリック

### 不透明度

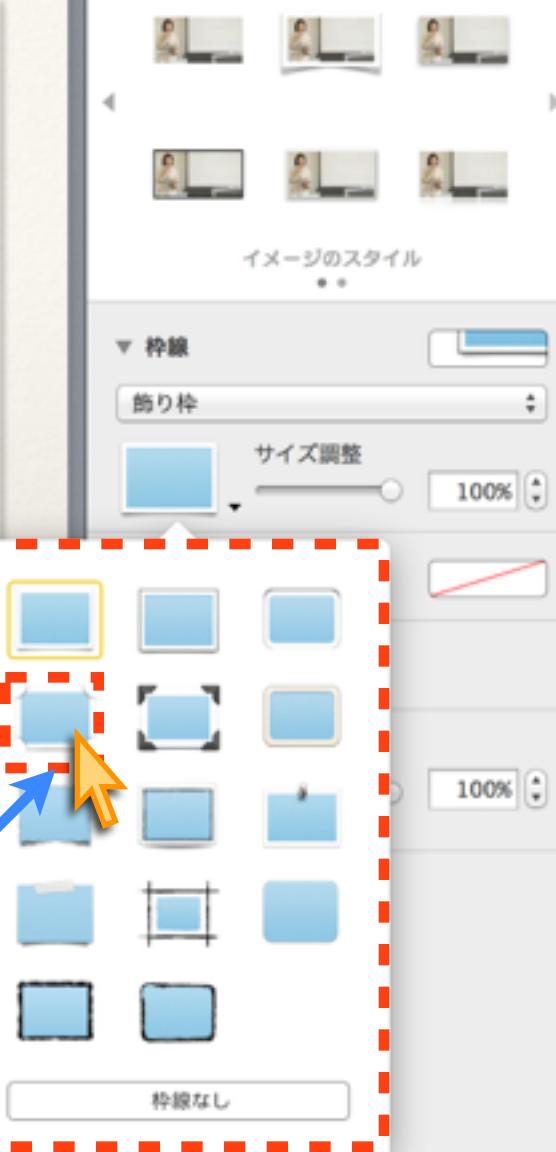
100%



①写真に「飾り枠」が自動的に追加されました



②【水色の四角】をクリックして  
他の飾り枠を表示します

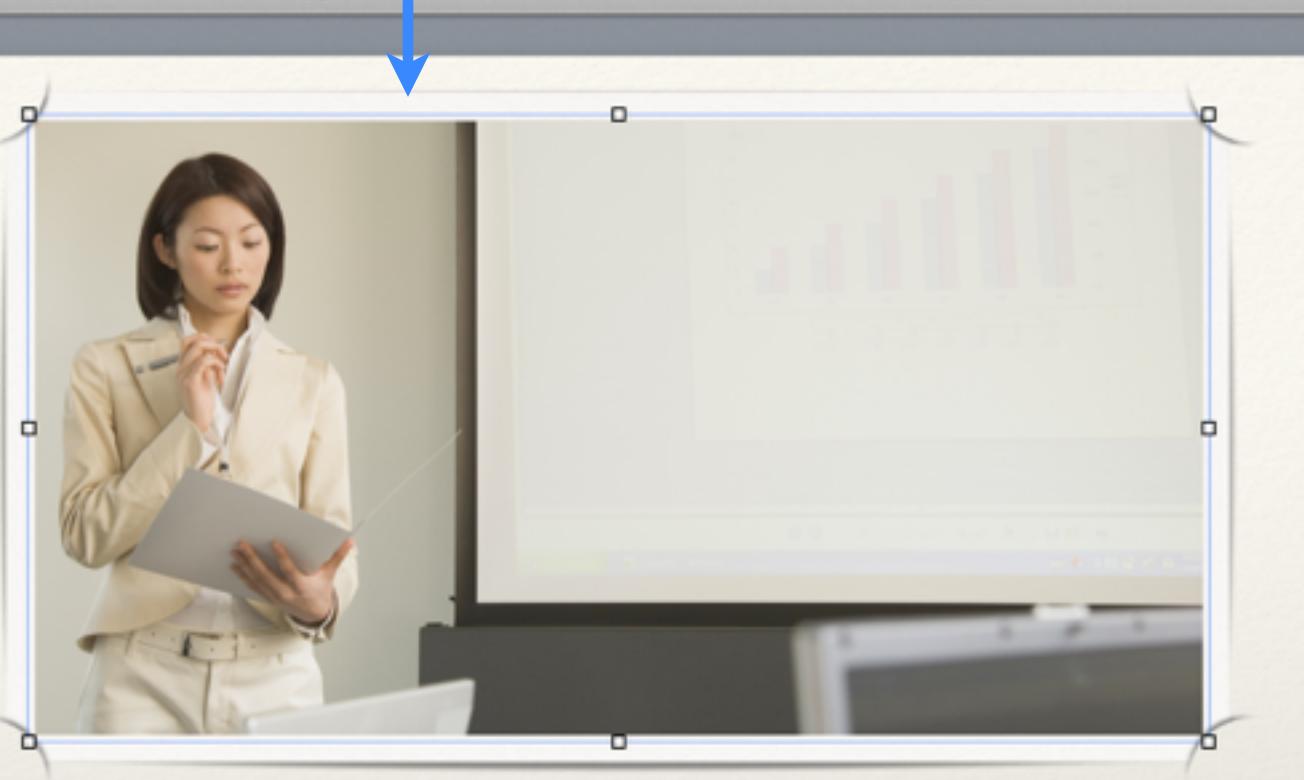


① 【飾り枠一覧】が表示されました

② 好きな飾り枠をクリックして下さい

③ 今回は、こちらの飾り枠を選択します

①写真の「飾り枠」が変更されました

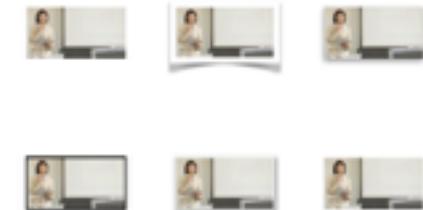


フォーマット アニメーション 設定

スタイル

イメージ

配置



イメージのスタイル

▼ 枠線

飾り枠

サイズ調整

100%



②【サイズ調整】は【飾り枠の太さ】を調整できます

③今回は、サイズ調整を50%に変更します

表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.k

①今回は、サイズ調整を50%にして枠を細くします

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 リンク

スタイル イメージ 配置

イメージのスタイル

▼ 枠線

飾り枠 サイズ調整

50%

影 なし

反射

不透明度

②写真の外側をクリックして確定です



①写真の「飾り枠」の設定は完了です



フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

空白

アピアランス

タイトル

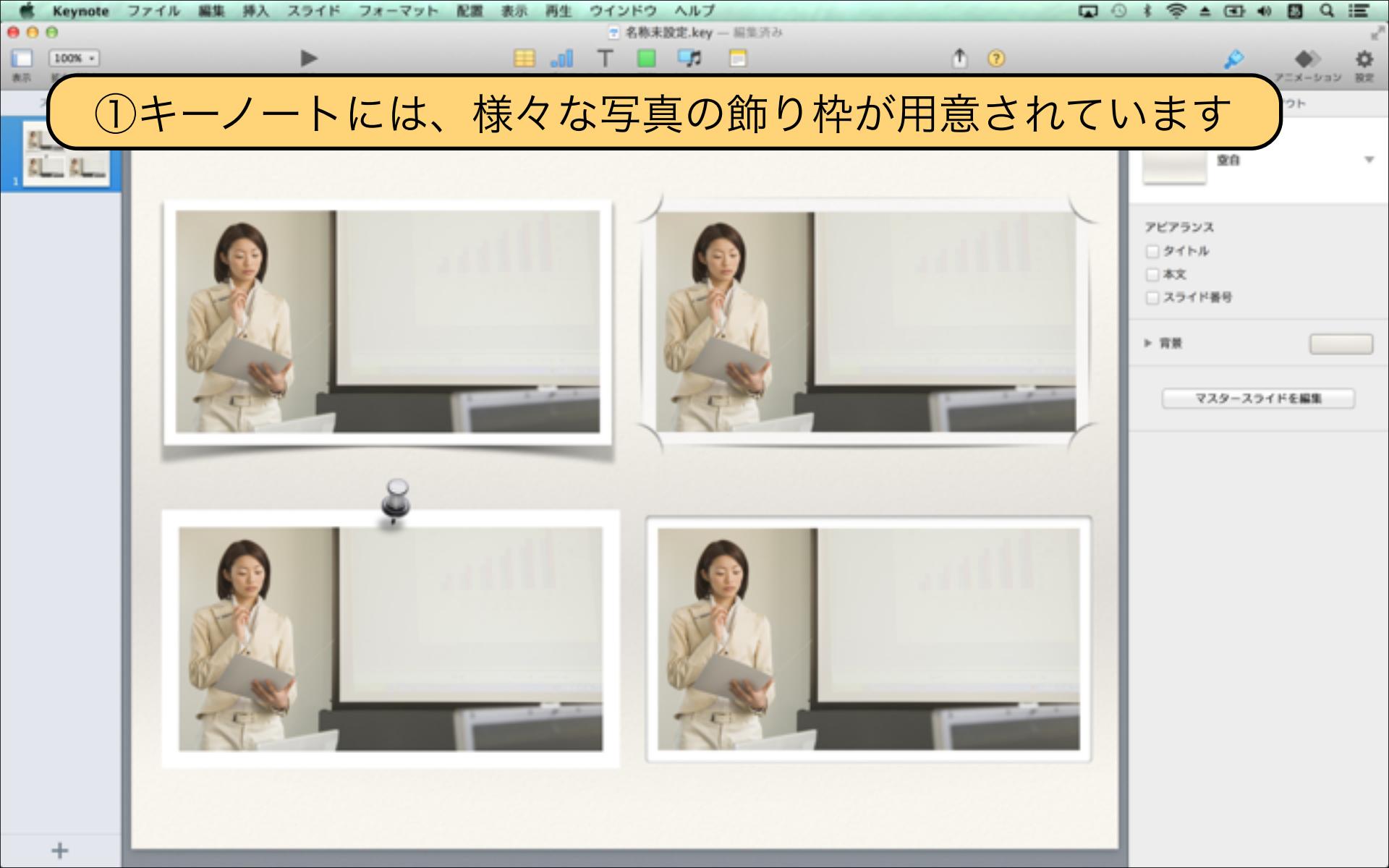
本文

スライド番号

▶ 背景

マスタースライドを編集

①キーノートには、様々な写真の飾り枠が用意されています



The screenshot shows a Keynote slide with four photo frames arranged in a 2x2 grid. Each frame contains a photo of a woman in a business suit holding a clipboard. The frames have different decorative borders: the top-left has a thin black border, the top-right has a double-line black border, the bottom-left has a thick black border, and the bottom-right has a thin black border. A blue pushpin is placed on the bottom-left frame. The right side of the screen shows the Keynote sidebar with options for 'アビアランス' (Appearance) and 'マスタースライドを編集' (Edit Master Slide).

## 【スライドを格好良く魅せるコツ①】



そのまま写真を貼り付けたスライドよりも、  
飾り枠等で一手間かけることで、  
デザイン性の高いスライドに仕上がります。  
写真の装飾機能は覚えておいて損はありません。

# Lesson Keynote

Lesson 3-4

画像に影を付ける

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

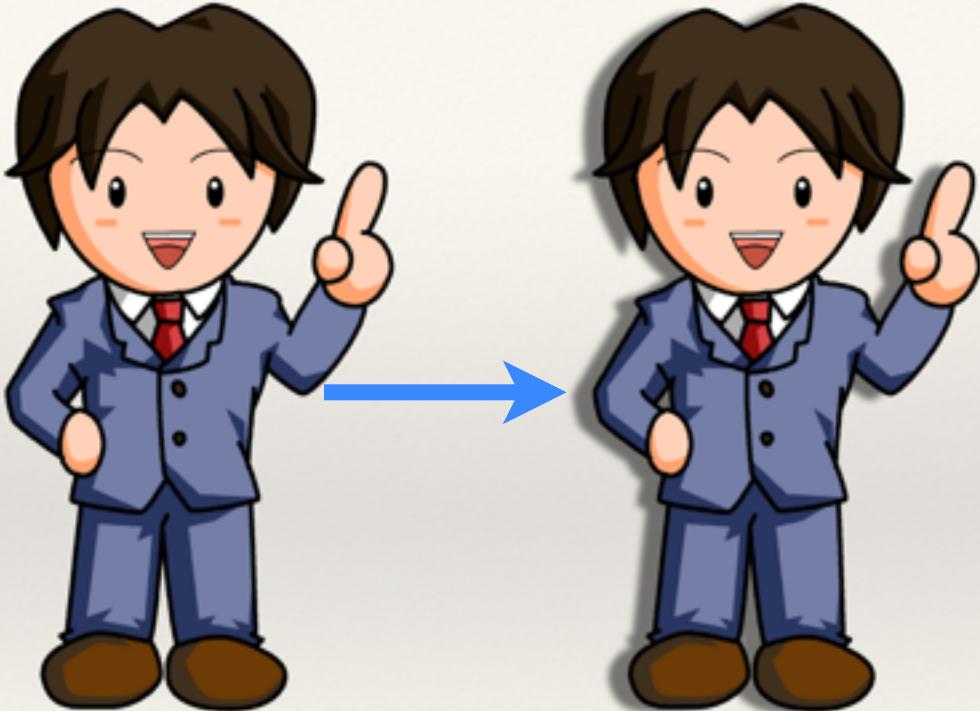
名称未設定.key — 編集済み

100% 表示  
再生  
スライド

図 グラフ テキスト 形状 メディア コメント  
共有 ヒント  
フォーマット アニメーション 設定  
スライドレイアウト  
空白  
アビアランス  
□ タイトル  
□ 本文  
□ スライド番号  
背景  
マスタースライドを編集

1 今日は【画像に影を付ける】手順を紹介します

【影】の追加することで、立体的な表現ができます



Keynote ファイル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

100% 表示 大きい 小さな

スライド 1

段組み区切り

表 グラフ テキストボックス 図形 線 ハイライト コメント 関数 MathType 数式...

選択...

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

スタイル イメージ 設定

背景面 前面

配置

均等に配置

サイズ 450 pt 高さ 562 pt 高さ

位置 568 pt X 9 pt Y

回転 0° 反転

ロック ロック解除

グループ グループ解除



①素材となる写真を用意します  
【挿入】 – 【選択】から  
画像を挿入しました

②今回のスライドテーマは「クラシック」に設定しています

### ①画像をクリックで選択



## ② 【スタイル】 タブをクリック

### ③ 【影】をクリック



## イメージのスタイル

## ► 榨菜



1 / 1



10 of 10

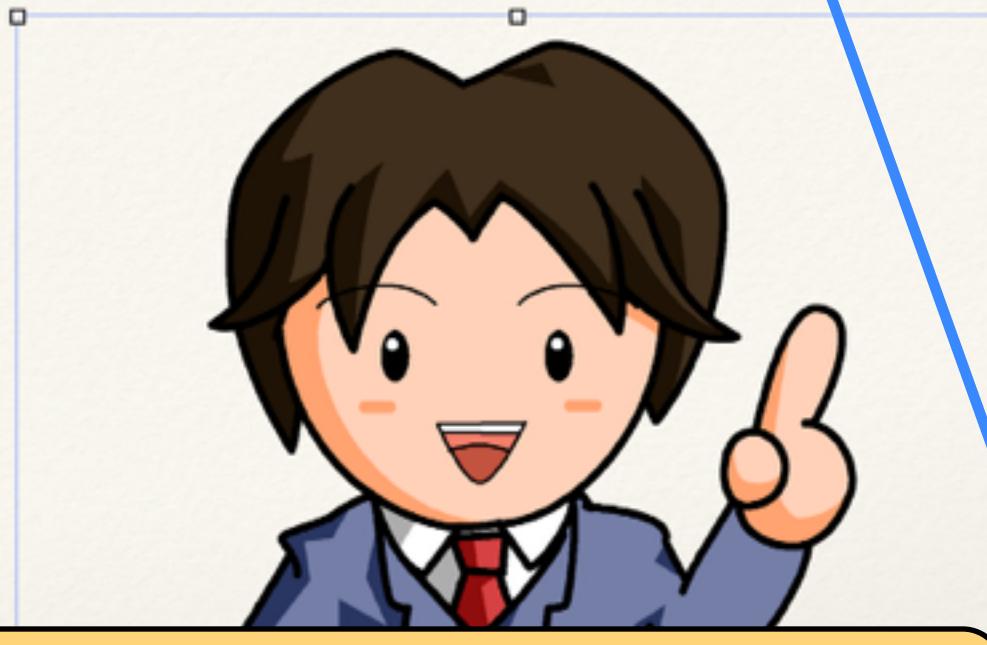
不透明度



① 【影】の詳細設定メニューが表示されました



①【影の選択メニュー】が表示されました



②好きな影の種類をクリックして下さい

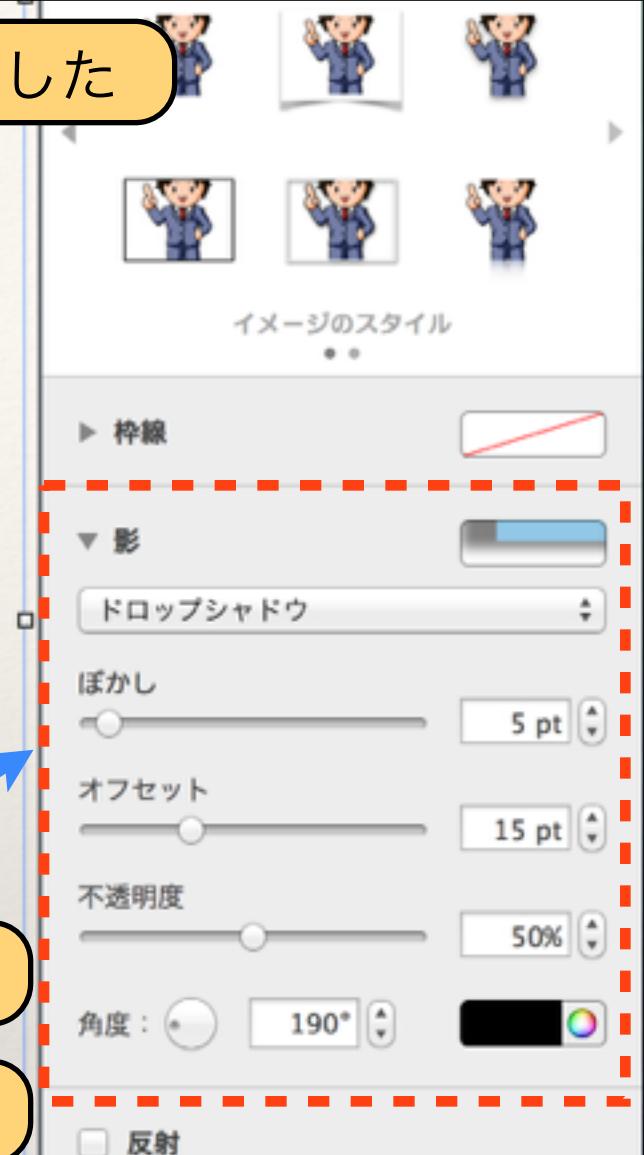


③今回は【ドロップシャドウ】を選択します

①画像に「ドロップシャドウ」が追加されました



②影の微調整は、詳細設定の項目で行います



③画像の外側をクリックして確定します



①今回の影の微調整は  
「ぼかし・・・5pt」  
「オフセット・・・15pt」  
「不透明度・・・50%」  
「角度・・・190°」  
に設定しました



イメージのスタイル

...

▶ 枠線

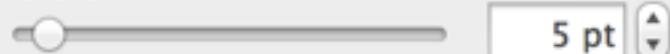


▼ 影

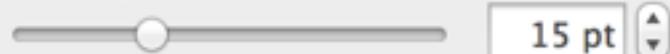


ドロップシャドウ

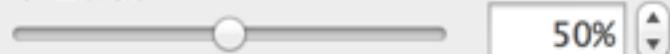
ぼかし



オフセット



不透明度



角度：



190°



名称未設定.key — 編集済み

100% 表示  
再生  
スライド  
1

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント  
共有 ヒント  
スライドレイアウト  
空白  
アビアランス  
 タイトル  
 本文  
 スライド番号  
背景  
マスタースライドを編集

①影の設定は完了です

次に、影を調整するポイントを紹介します



【ポイント①】「影を追加する場合は統一する」  
下のイラストと写真では、影の角度がバラバラです。  
不自然にならないように、影の角度を統一しましょう。



影の角度 = 190°



影の角度 = 190°

## 【ポイント②】「オフセット」

影の距離が離れることで、写真が浮き上がって見えます



オフセット【3】に設定



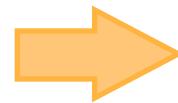
オフセット【10】に設定

### 【ポイント③】「ぼかし」

影がぼやけることで、柔らかな光を表現できます



ぼかし【1px】に設定



ぼかし【10px】に設定

両方とも、オフセット【10】に設定されています

## 【スライドを格好良く魅せるコツ②】



そのまま画像や写真を貼り付けてしまうと、  
どうしても平面的に見えてしまいます。  
上手に影を追加して立体感を演出することで  
オシャレに魅せるのもテクニックの一つです。

Lesson 3-5

インスタントアルファ

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

名称未設定03 — 編集済み

100% 表示 拡大/縮小 スライド

1

今は【インスタントアルファ】を紹介します



空白

アピアランス

タイトル

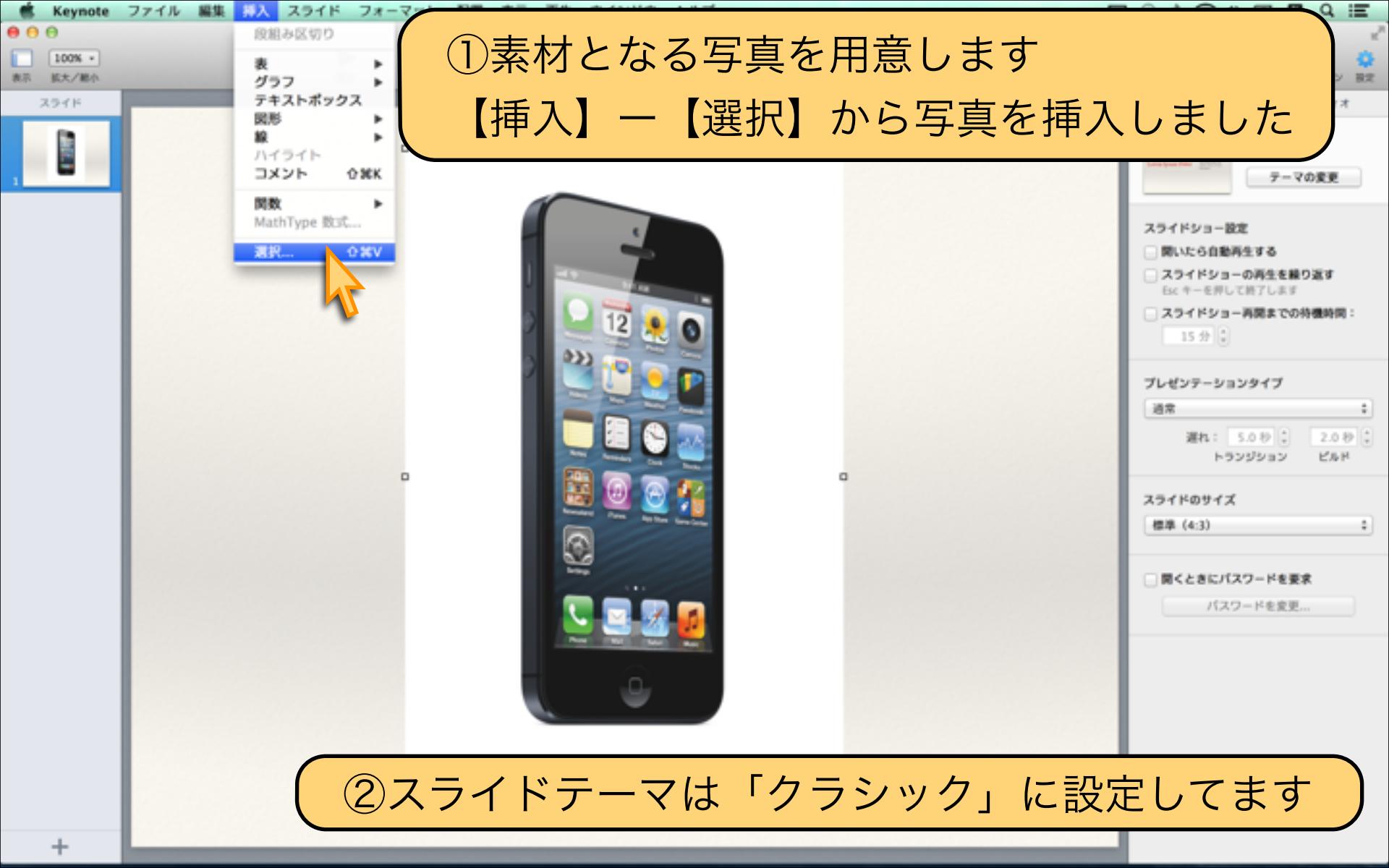
本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

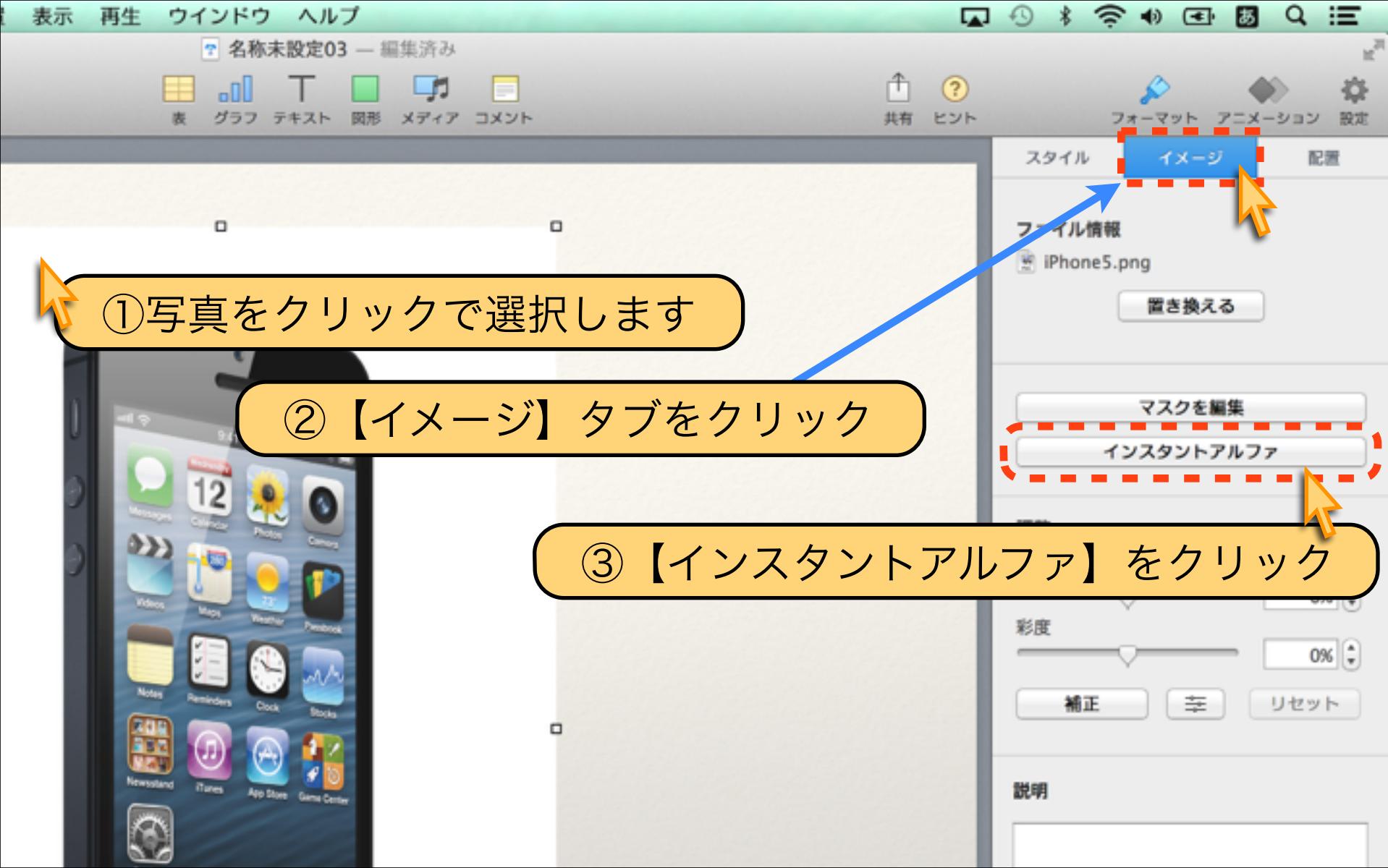
【用語解説】 インスタントアルファとは？  
写真や画像の背景を透明化する機能です



①素材となる写真を用意します

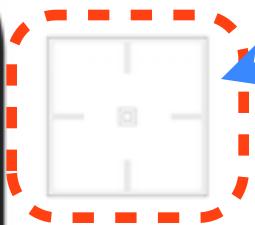
【挿入】 - 【選択】から写真を挿入しました

②スライドテーマは「クラシック」に設定しています



①写真の下に【インスタントアルファ設定】が表示されます





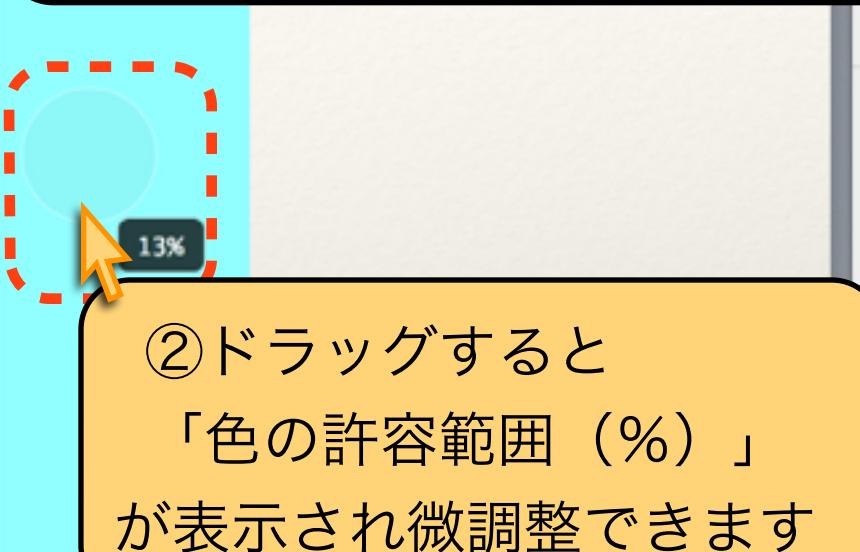
①写真の上にマウスで移動で  
カーソルが切り替わります

②透明にしたい色の上でクリック

③今回は「背景の白色を透明にしたい」ので  
白色の上でクリック＆ドラッグします



①指を離さずにクリックしたままにすると  
「透明になる部分」が「青く表示」されます



②ドラッグすると  
「色の許容範囲 (%)」  
が表示され微調整できます

③指を離すと選択範囲が半透明になります



名称未設定03 — 編集済み

1 100% 表示 拡大/縮小 スライド

①選択範囲が半透明になりました



②再調整したい場合には  
再びクリック＆ドラッグ  
で微調整が可能です

③【終了】をクリックで確定です

カラーを透明にするには、ここをクリックします。  
類似のカラーを透明にするにはドラッグします。

リセット 終了

スタイル イメージ 配置

ファイル情報 iPhone5.png

マスクを編集 インスタントアルファ

露出 0% 彩度 0%

調整 リセット

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定



①背景の白色が透明になり、インスタントアルファ終了です



②間違えた場合には、[commandキー]+[Z]でやり直しできます

## 【インスタントアルファを使うコツ】



背景を切り抜く機能ではなく、  
選択した色だけを切り抜く機能なので  
背景色が単色でシンプルな写真がベストです。  
複雑な背景の写真は難しいので注意が必要です。

Lesson 3-6

写真を反射効果で演出

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

今回は、画像に【反射効果】を追加する手順を紹介します



①画像に【反射】を追加しました



## ①写真素材を用意します



②写真に背景がある場合には  
【インスタントアルファ】で  
背景を透明にします

③インスタントアルファで  
背景を透明にしました

名称未設定.key — 編集済み

スライド 1

100% 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント 共有 ピント

スタイル イメージ 配置

①画像をクリックします

②画像インスペクタに切り替わります



生 ウィンドウ ヘルプ



名称未設定.key — 編集済み

ラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

① 【スタイル】をクリックします

スタイル

イメージ

配置



イメージのスタイル

...

▶ 枠線



▶ 影



反射



② 【反射】をクリック

名称未設定.key — 編集済み

100% 表示 增大/縮小 再生

表 グラフ テキスト 圖形 メディア コメント 共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スタイル イメージ 配置

スライド 1

①画像に「反射効果」が追加されました



①画像に「反射効果」が追加されました

反射

50%

不透明度

100%

## 【反射の割合を調整する】

① 【反射の割合】をスライダーで調整します

② 今回は「反射の割合を100%」に設定します

スタイル

イメージ

配置



イメージのスタイル

▶ 枠線



▶ 影



反射



50%

100%

①反射の割合：50%



②反射の割合：100%



③反射の割合調整で  
反射面がはっきり  
表示されます





## 【POINT】

同じ写真素材でも背景の有無により、反射の映像効果が異なってきます。

「インスタントアルファ」と組み合わせて活用しましょう

## 【スライドを格好良く魅せるコツ】



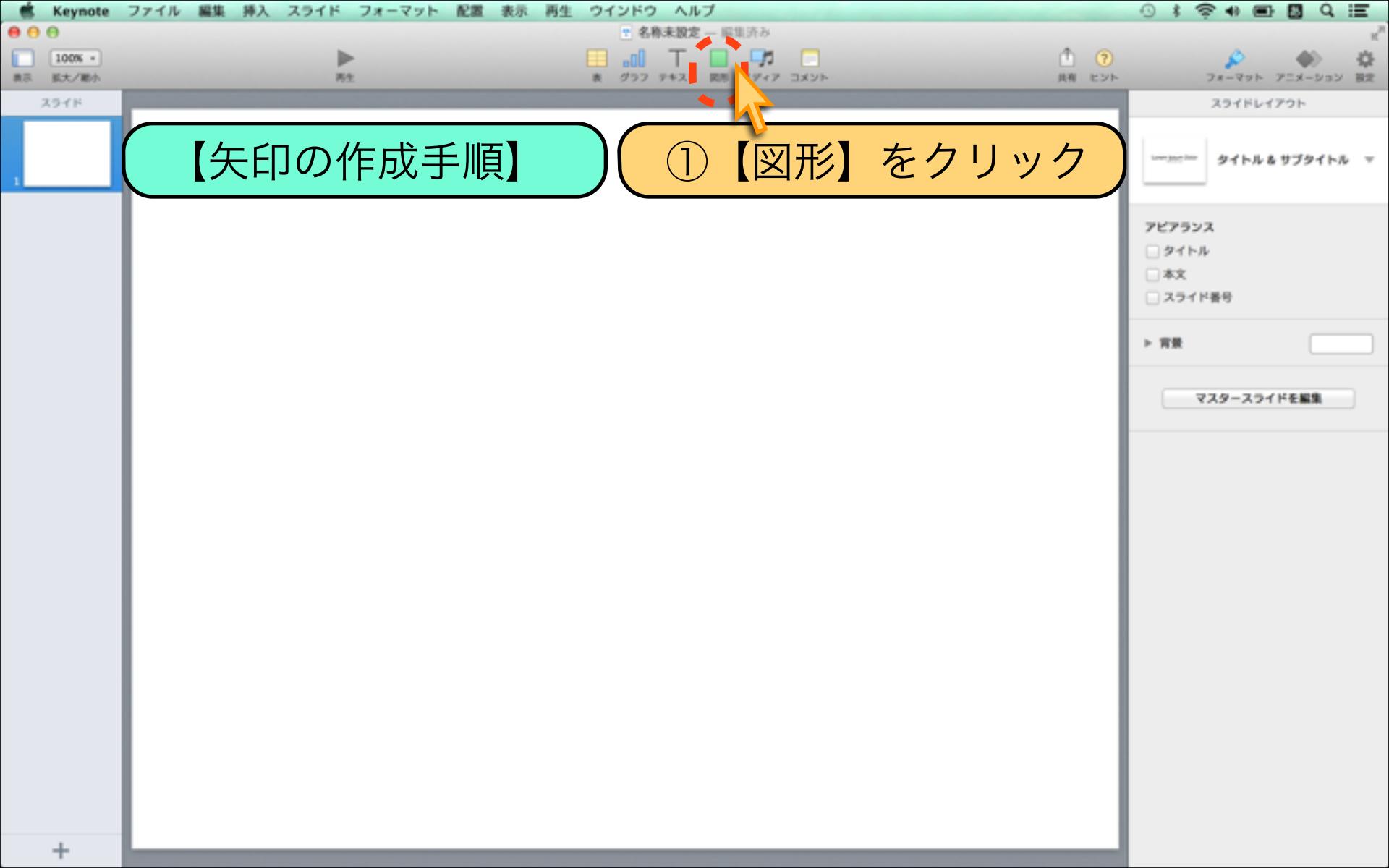
画像の反射効果もクリック一つです。  
背景を切り抜いたり、影を追加したり  
Keynoteに、どんな機能があるのかを  
知っていると知らないの差は大きいです。

# Lesson Keynote

Lesson 4-1

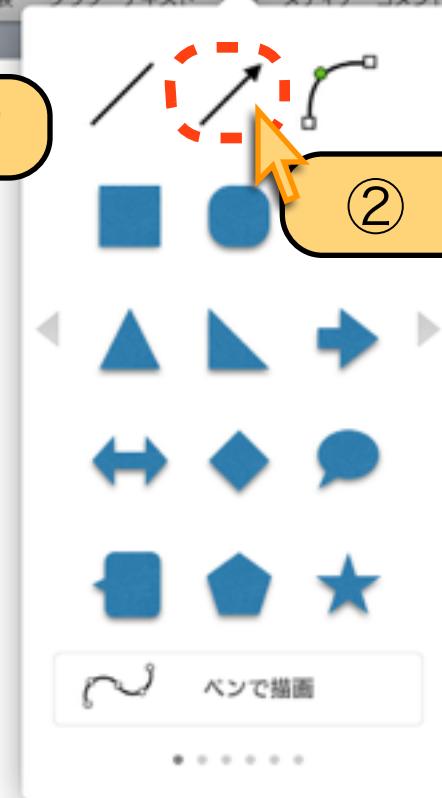
矢印の作成・角度調整

keynote-study.com

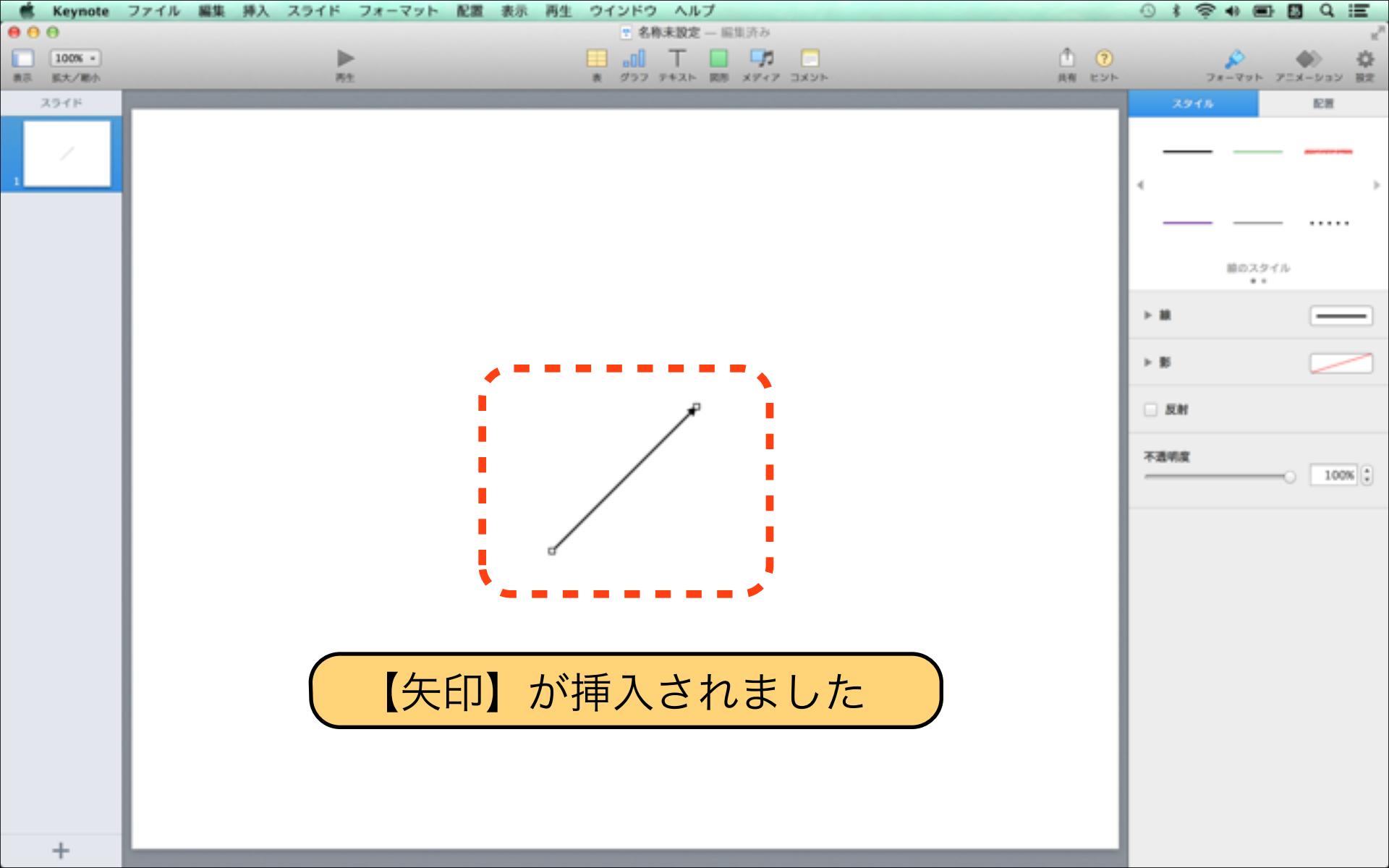




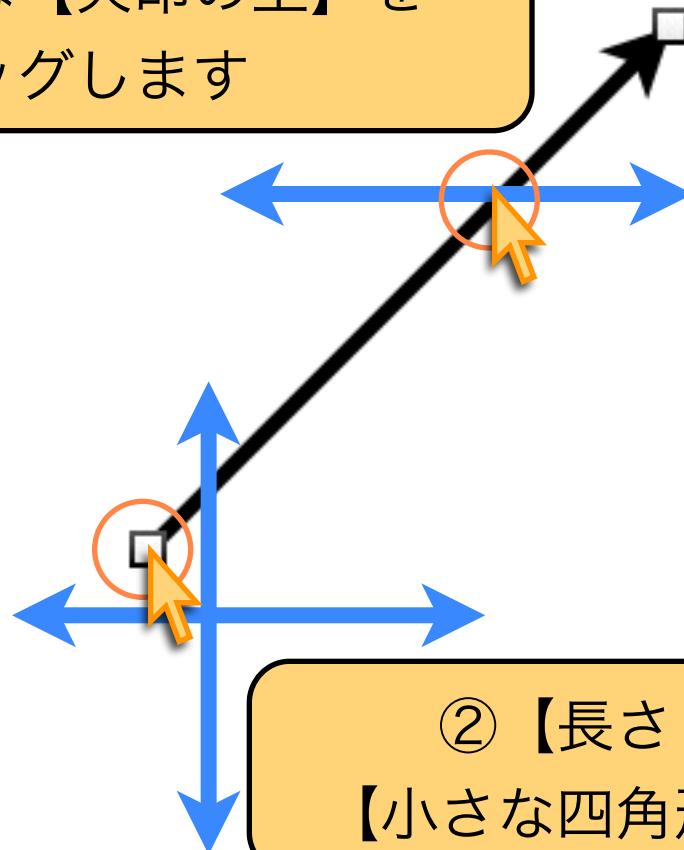
①図形の一覧が表示されます



②【矢印】をクリック



① 【移動】は【矢印の上】を  
ドラッグします



② 【長さと方向】の調整は  
【小さな四角形】をドラッグします

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 — 編集済み

100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット ブローカン 設置

スライド

【矢印の詳細設定】

① 【矢印】をクリック

② 【スタイルインスペクタ】に表示が切り替わります

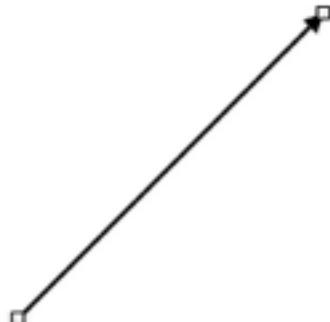
## ① 【設定項目】の説明

## 矢印の【太さ】

## 矢印の【色】

## 【線の種類】 の変更

### 矢印の【先端の形状】変更



線のスタイル

線

幅 2 pt

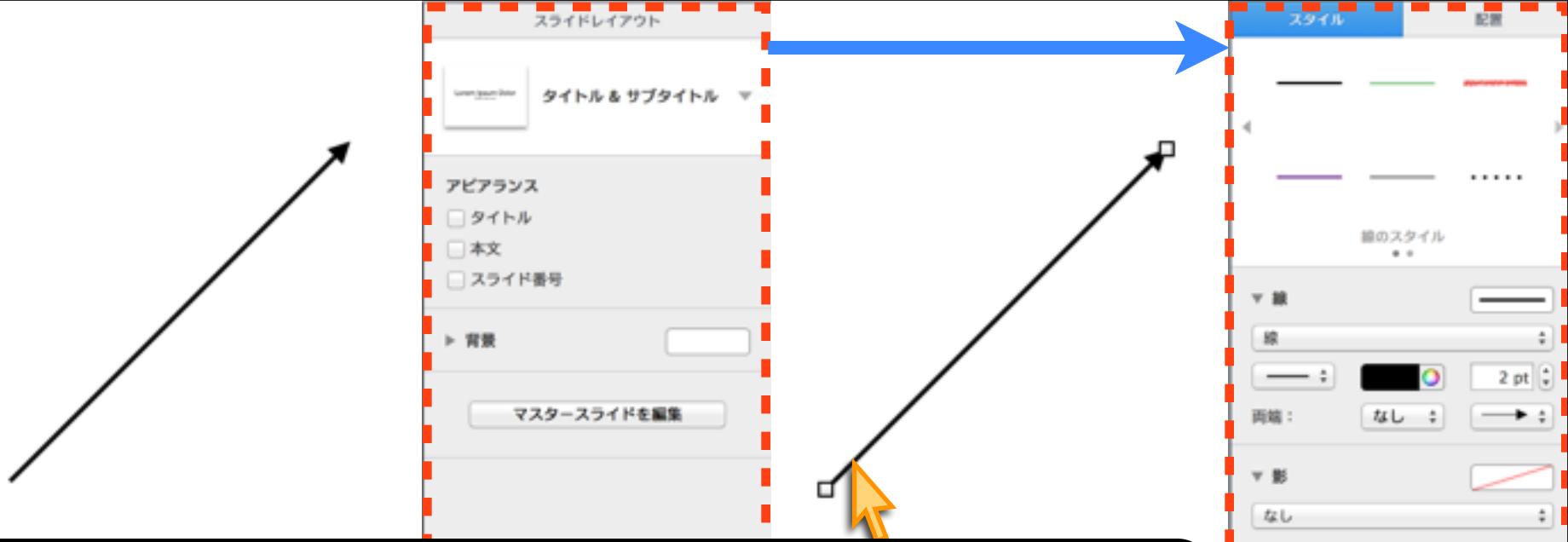
両端: なし

影

なし

反射

不透明度 100%



## 【注意】

間違って矢印以外をクリックすると選択が外れて  
「インスペクタ表示が切り替わってしまいます」  
再びクリックして矢印を選択し直しましょう。



【インスペクタ】の設定を変更することで  
様々な矢印が作れます

## 【矢印の作成ポイント】

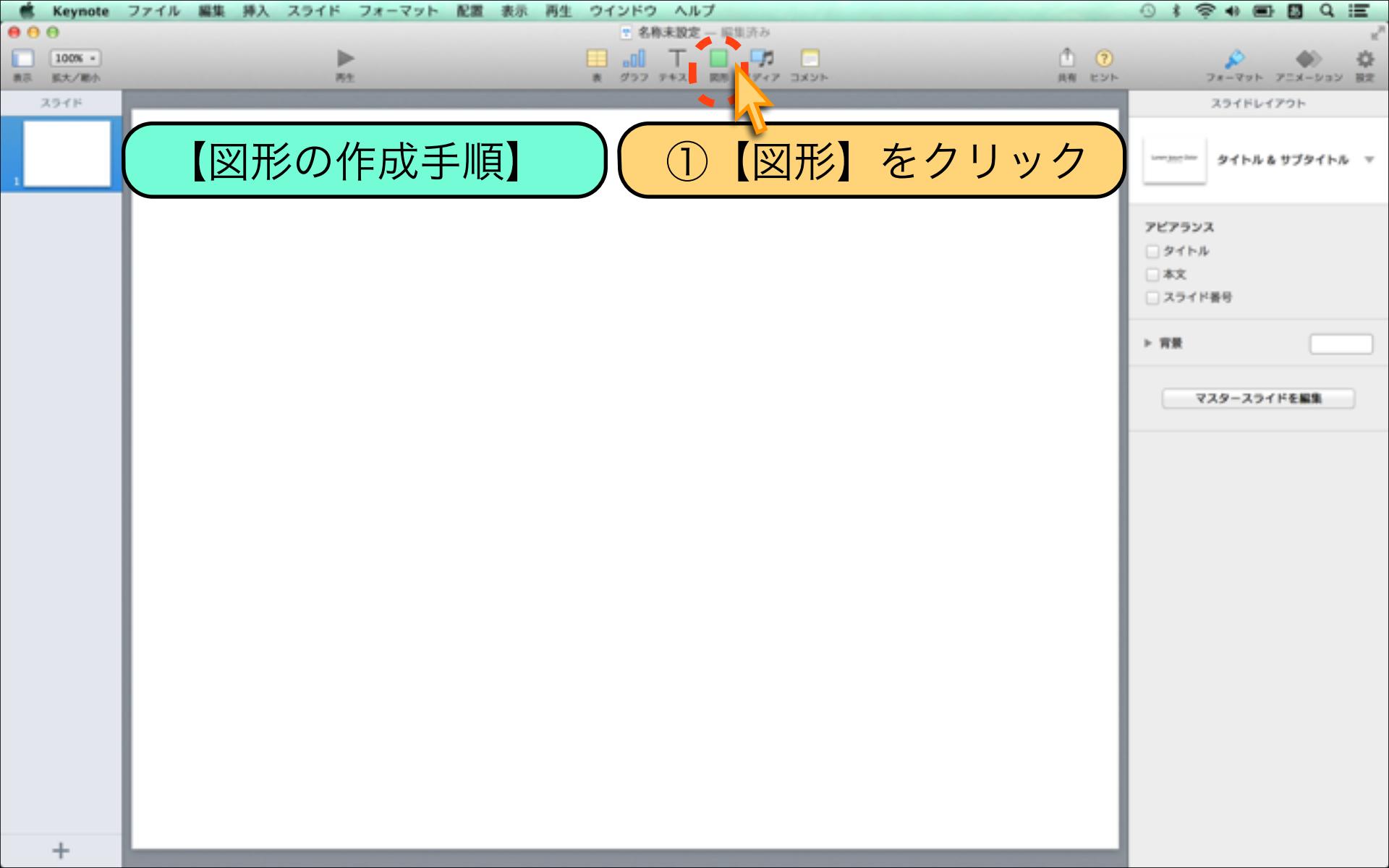


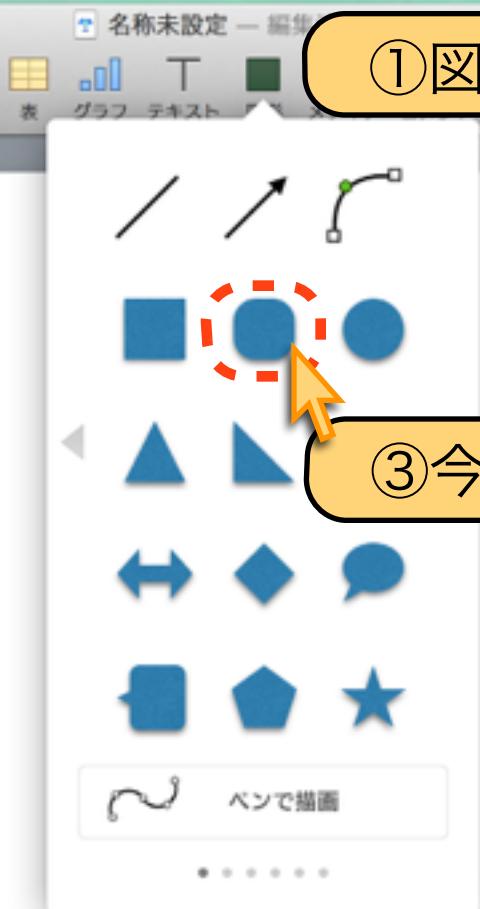
矢印の作成のコツはインスペクタです。  
矢印以外にも様々な線を描くことが出来ます。  
インスペクタのメニュー項目を  
組み合わせながら試してみましょう。

Lesson 4-2

図形の作成

keynote-study.com





② 好きな図形をクリックします

③ 今回は【角丸四角形】を選択します

スライドレイアウト

アピアランス

スライド番号

▶ 背景

マスタースライドを編集

名称未設定 — 編集済み

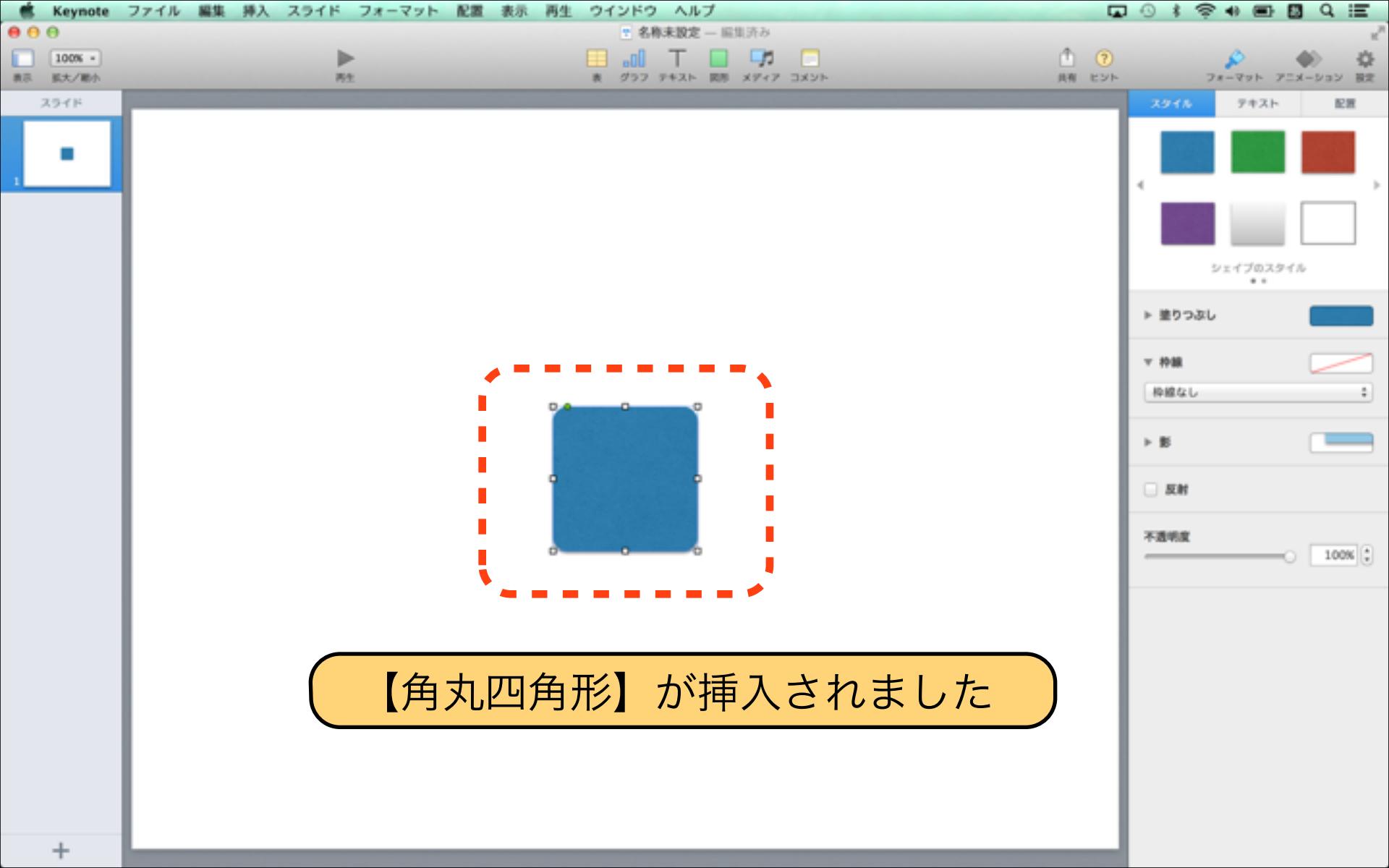
1 100% 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

再生 共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1

【角丸四角形】が挿入されました



スタイル テキスト 配置

シェイプのスタイル

塗りつぶし

枠線

枠線なし

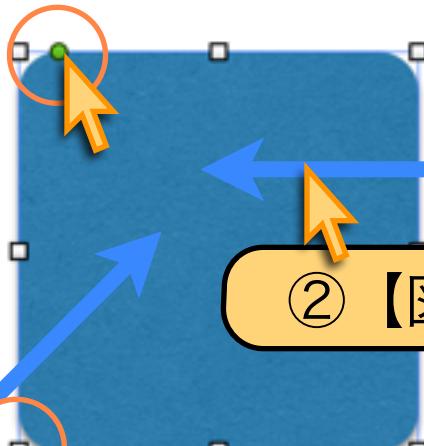
影

反射

不透明度 100%

## 【図形の調整方法】

① 【角の丸み調整】は青い小さな丸をドラッグ

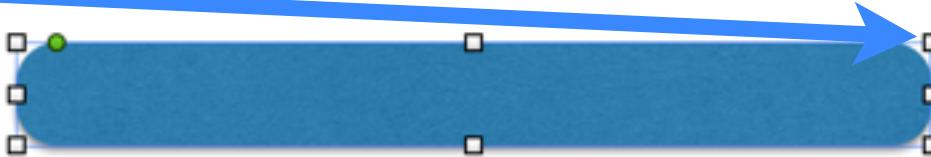
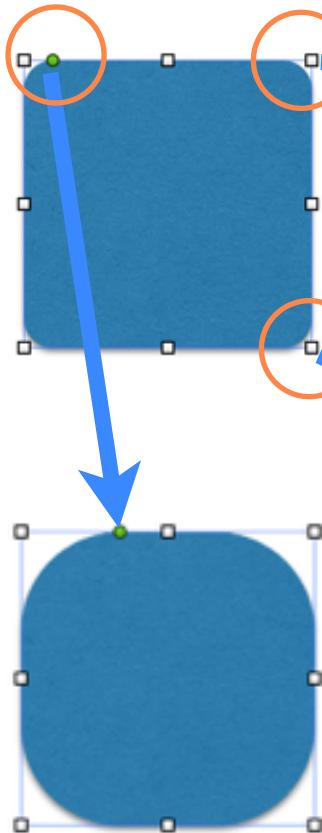


② 【図形の移動】は図形の内側をドラッグ

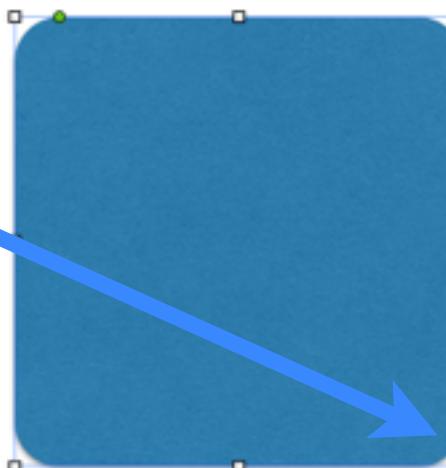
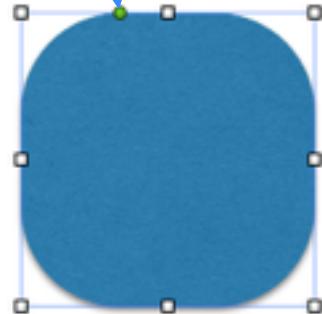


③ 【図形の拡大・縮小】は白い小さな四角をドラッグ

① 【角丸四角形】から様々な形になります

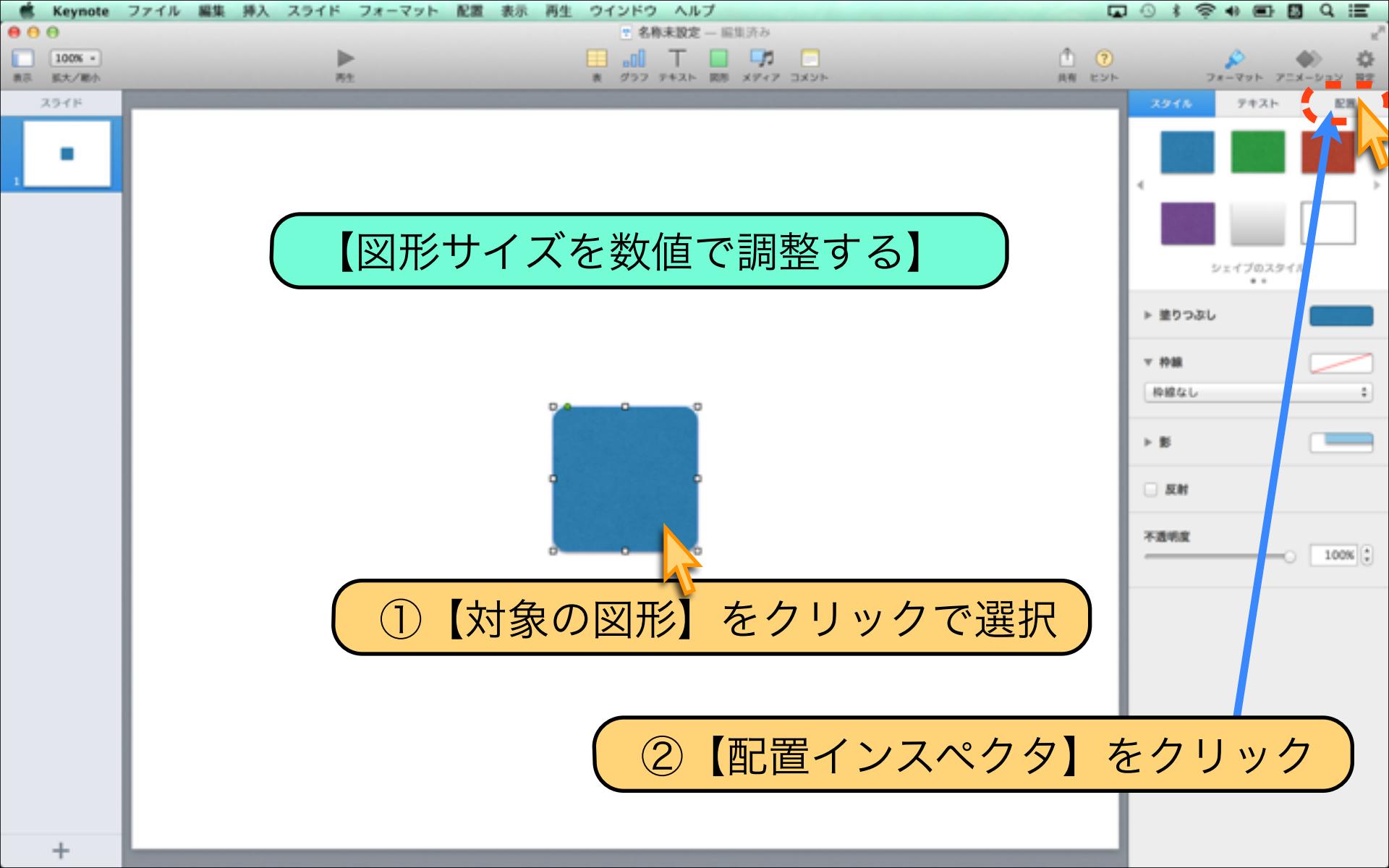


ドラッグで自由に形を調整



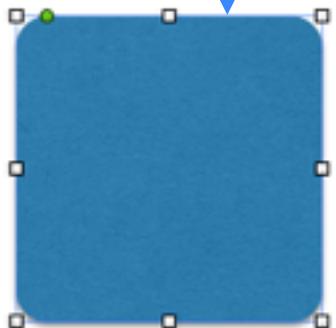
【角の丸み】を調整

【shift】を押したままドラッグで  
縦横比率を維持して【拡大・縮小】



① 【配置インスペクタ】に切り替わりました

② 現在の 【図形情報】 が表示されています



表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

11月13日(水) 16:26

フォーマット アニメーション 設定

テキスト 配置

【POINT】数値入力での図形調整は複数の図形を同じ大きさで作成したい時に役立つ機能です

① 【サイズ】を「幅400pt 高さ40pt」に設定して横長の角丸四角形にします

The image shows a presentation slide with a blue rounded rectangle selected. A blue arrow points from the text '① 【サイズ】を「幅400pt 高さ40pt」に設定して横長の角丸四角形にします' to the 'Format' panel. The 'Format' panel is open on the right side of the screen, showing the 'Size' section with 'Width' set to 400 pt and 'Height' set to 40 pt. The 'Size' section is highlighted with a red dashed box. The 'Format' panel also includes sections for 'Position', 'Rotation', and 'Corner Radius'.

サイズ

400 pt

幅

40 pt

高さ

縦横比を固定

位置

437 pt X

309 pt Y

回転

0° 角度

反転

角の半径

15 pt

ロック ロック解除

## 【PowerPointの図形作成の違い】



PowerPointでは、SmartArtを使って様々な図形を  
簡単に作成できますが、  
Keynoteには同じような機能がありません。  
「ペンで描画」機能で自分で作成しましょう

# Lesson Keynote



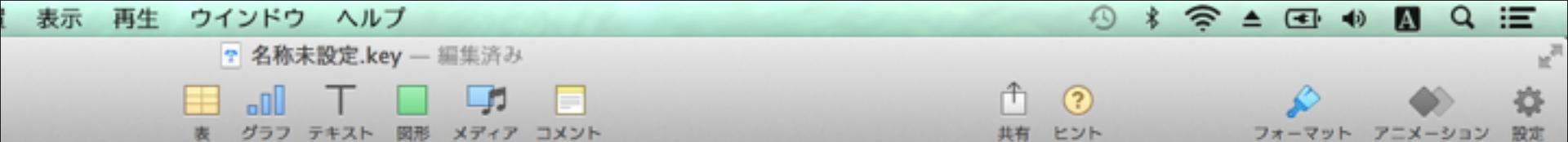
## Lesson 4-3 図形の色を変更する

keynote-study.com

今回は、見本と同じように配色しながら  
【色の設定方法】を紹介していきます

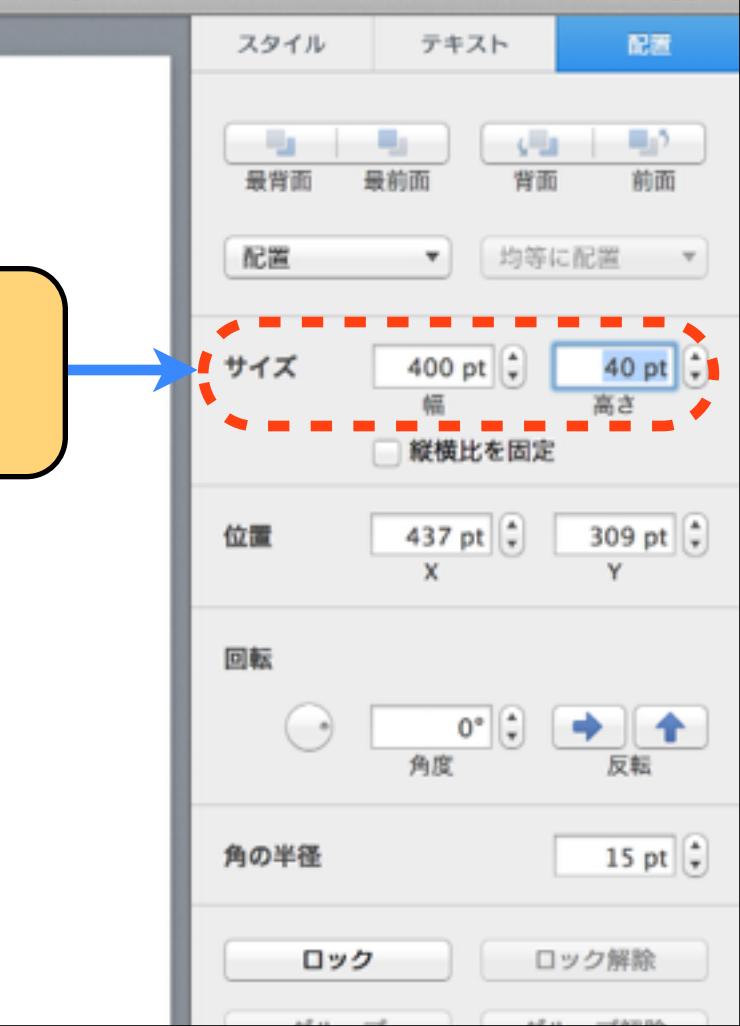


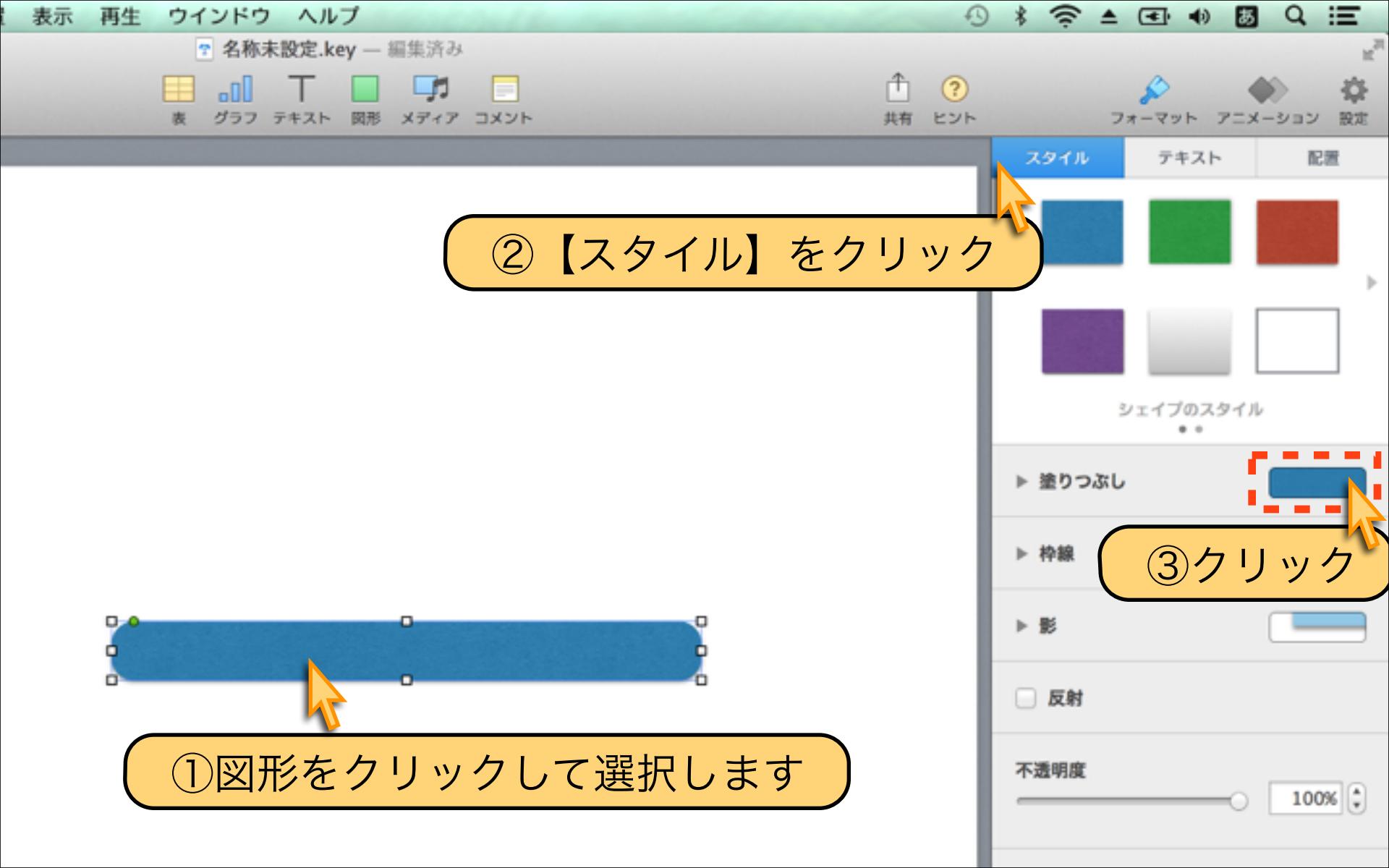
(見本)

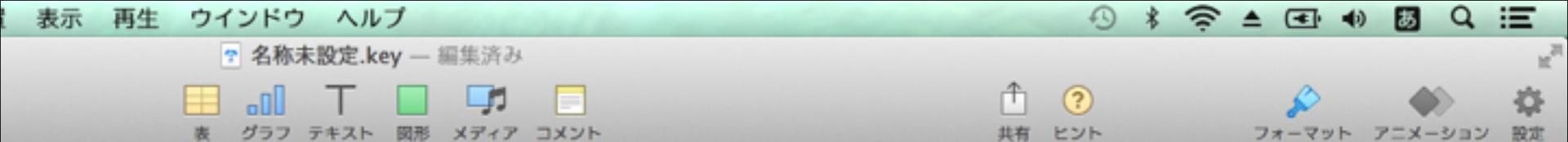


①前回のレッスンの図形を使います

②【サイズ】を「幅400pt 高さ40pt」  
に設定して横長の角丸四角形にします







## 【注意】

「図形の選択が外れてしまう」と  
「インスペクタ表示が切り替わります」  
再びクリックして選択し直しましょう。

スタイル

テキスト

配置

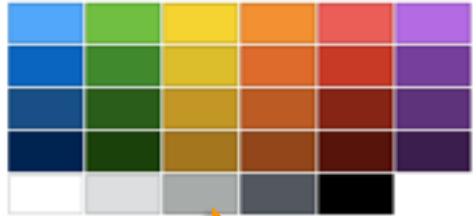


シェイプのスタイル  
＊＊

▶ 塗りつぶし

現在の塗りつぶし

カラー塗りつぶし



グラデーション塗りつぶし



なし

①Keynoteに用意されている  
【色の一覧】が表示されました



②好きな色をクリックします

③今回は「グレー」を選択

スタイル

テキスト

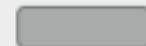
配置



シェイプのスタイル

\*\*

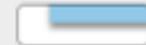
▶ 塗りつぶし



▶ 枠線



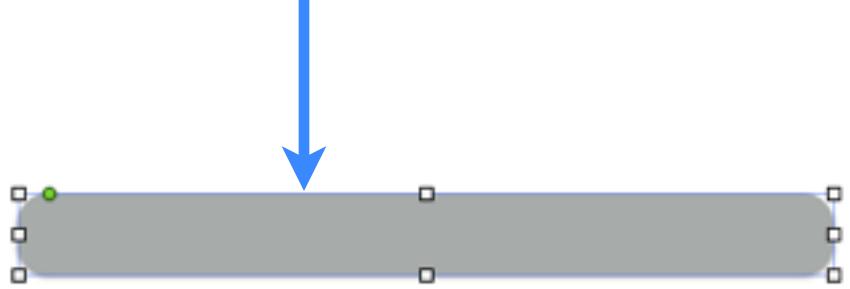
▶ 影

 反射

不透明度



①図形の色が変更されました



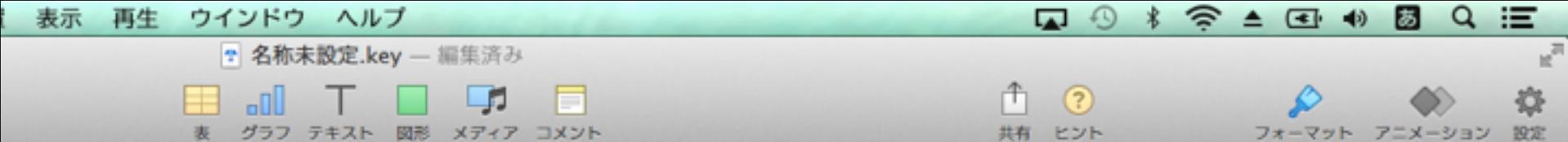
### 【POINT】

設定した色を、前の色に戻したい場合には  
[command]+[ Z ]で戻せます。

【POINT】間違えた操作をした後に、「一つ前の状態に戻る」  
[command]+[ Z ]は、最もよく使うので覚えておきましょう

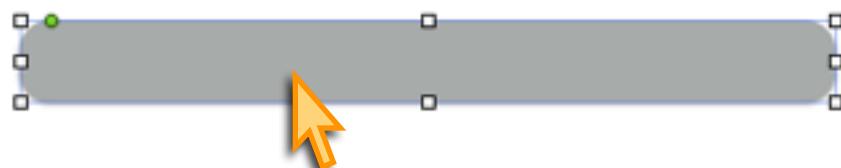


[command]+[ Z ]を同時に押します



## 【図形の色の詳細設定】

① 「用意された色の一覧以外」にも  
自由に色を設定することが可能です



② 図形をクリック

スタイル テキスト 配置



シェイプのスタイル



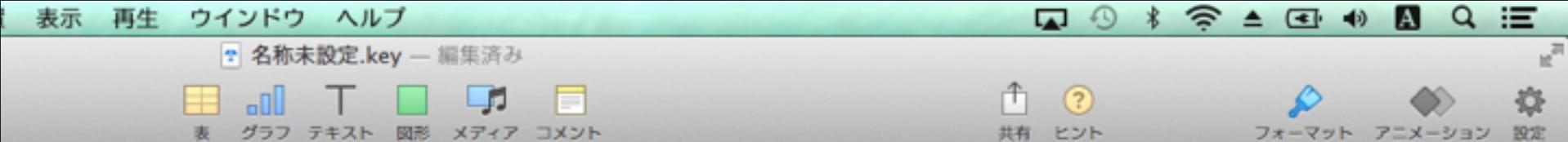
③ 【塗りつぶし】をクリック

▶ 影

□ 反射

不透明度

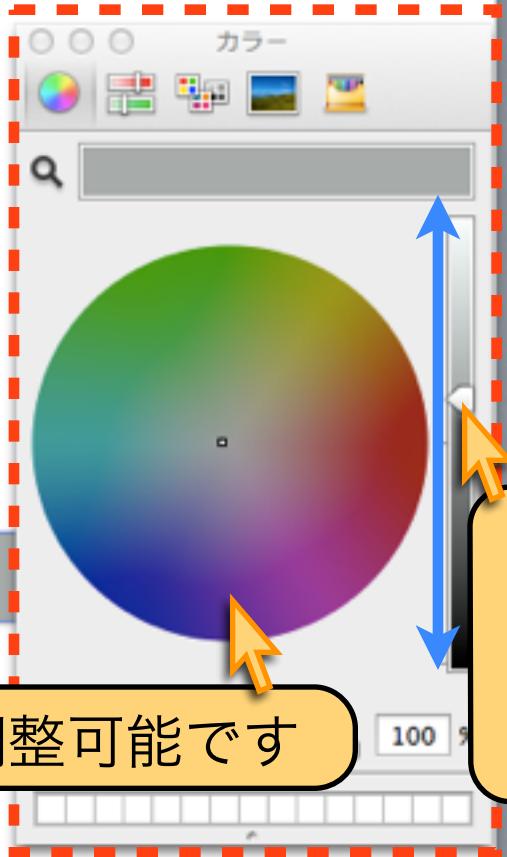
100%



① 【塗りつぶしの詳細メニュー】が表示されました

② クリックして  
【カラーパレット】を表示します

① 【カラーパレット】を表示されました

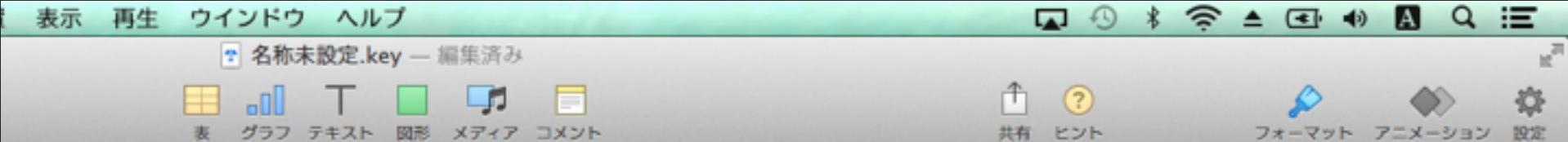


③クリックで好きな色に調整可能です

②ドラッグで  
【色の明るさ調整】  
ができます

不透明度

100%



【グラデーションを設定する】

① 【単色】から  
【グラデーション】に変更します



② 【カラー塗りつぶし】をクリック

① 【塗りつぶし】の選択メニューが表示されました

【解説】 2つのグラデーションの違い

「グラデーション塗りつぶし」は

【2色間でのグラデーション】です

「グラデーションの塗りつぶし（詳細）」

【複数の色でグラデーション】です



シェイプのスタイル

塗りつぶし

なし

✓ カラー塗りつぶし

グラデーション塗りつぶし

グラデーションの塗りつぶし（詳細）

イメージ塗りつぶし

詳細イメージ塗りつぶし



② 今回は 【グラデーションの塗りつぶし（詳細）】をクリック

① 【グラデーション設定項目】  
が表示されました

② クリックして 【色を変更】 します



③ カラーバーの下をクリックで 【色の追加】 ができます



シェイプのスタイル  
• •

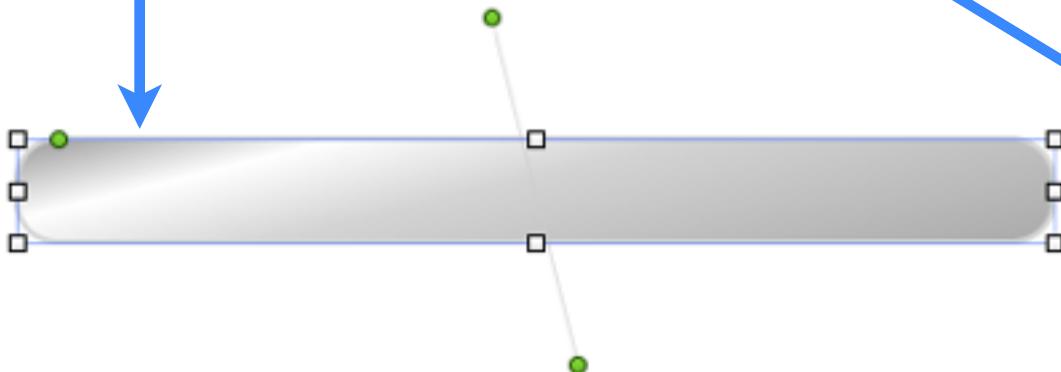
▼ 塗りつぶし

グラデーションの塗りつぶし (詳細) ▾



► 框線

①見本の【グラデーション設定】です



②【枠線の色】も設定します

シェイプのスタイル

▼塗りつぶし

グラデーションの塗りつぶし (詳細)

▼枠線

線

284°

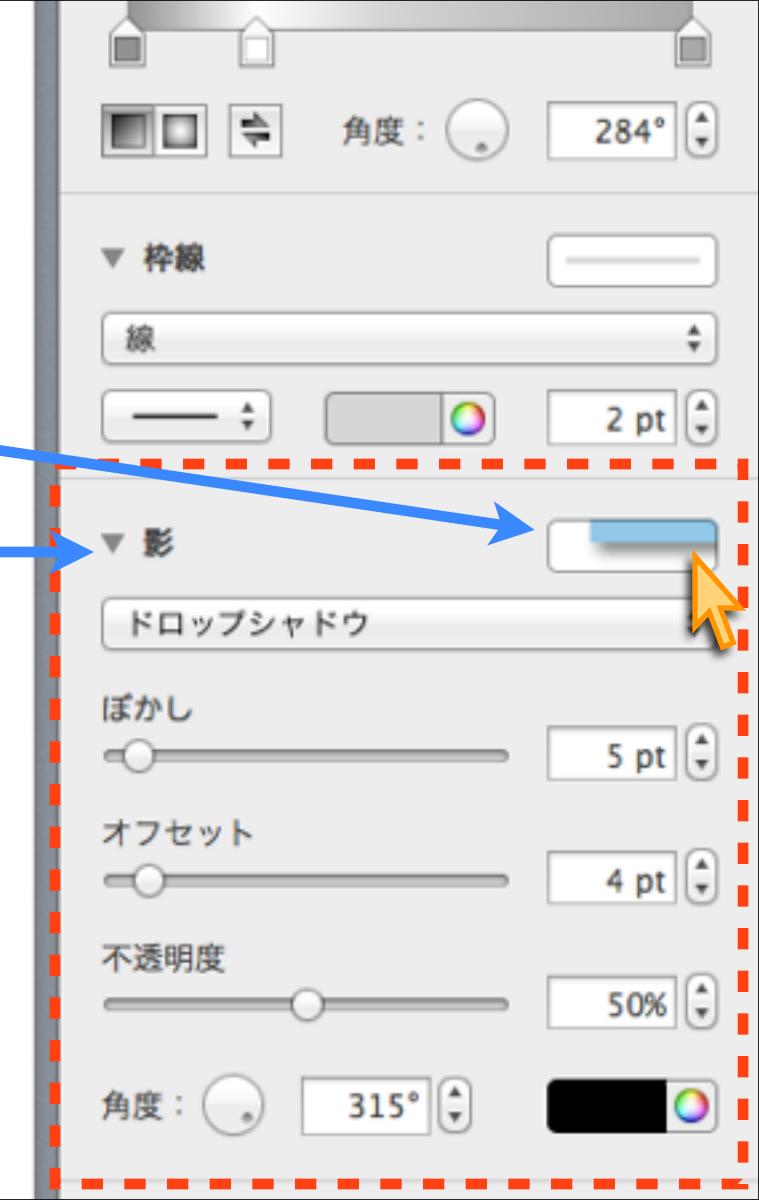
2 pt

反射



①見本と同じ【影】を追加します

②クリックして【影の詳細設定】を行います



① 【単色グレーの塗りつぶし】から  
【グラデーションの塗りつぶし（詳細）】に変更しました



### 【図形の配色POINT】

リッチに魅せる為に、グラデーションで光を表現して  
影を追加して、立体的なデザインに仕上げてみました。

## 【図形の色を設定するPOINT】



配色する時のコツは、同系色を使うことです。  
たくさんの色を使い過ぎると  
スライド全体がまとまらない印象になります。  
このページはグレー基準に配色しました。



Lesson 4-4

図形の複製と配置

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

今回は、見本と同じように図形を配置しながら  
【図形の複製と配置】を紹介していきます

## プレゼンテーションを効率よく作成する手順

①テキスト原稿の制作

②図形や資料の挿入

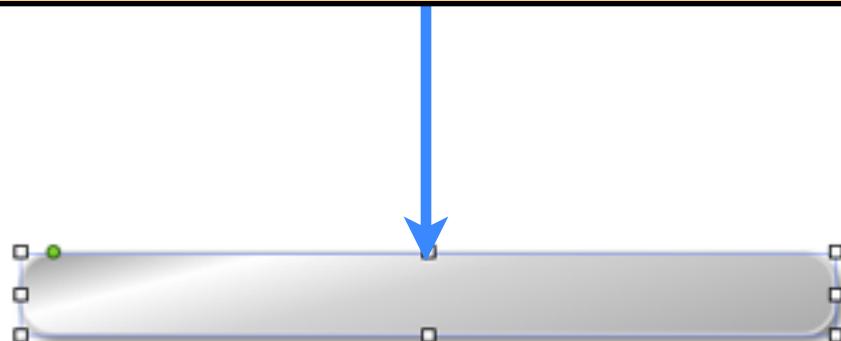
③デザイン＆レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成

「前回のレッスンで配色した図形」  
を用いて図形を組み合わせて  
実際にスライドを作成していきます

## ①前回のレッスンの図形を使います



最初に【テーマを設定します】

①【設定】をクリック

プレゼンテーションの新規テーマを選択してください：

標準

ワイド

Lorem Ipsum Dolor

Lorem Ipsum Dolor

Lorem Ipsum Dolor

ブラック



Lorem Ipsum Dolor

クラシック



Lorem Ipsum Dolor

ホワイト



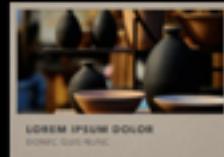
スレート

グラデーション



クリームペーパー

写真エッセイ



アーティザン

③【スレート】をクリック

④【選択】をクリック

ブリゼンテーション

オーディオ

テーマ  
ホワイト

テーマの変更

スライドショーの再生を繰り返す  
 Esc キーを押して終了します

スライドショー再開までの待機時間：  
 15 分

ブリゼンテーションタイプ

通常

遅れ： 5.0 秒 2.0 秒  
 トランジション ビルド

スライドのサイズ

標準 (4:3)

開くときにパスワードを要求

キャンセル

選択

① テーマが切り替わり背景が変更されました

② 次にスライドレイアウトを変更します

③ 【フォーマット】をクリック

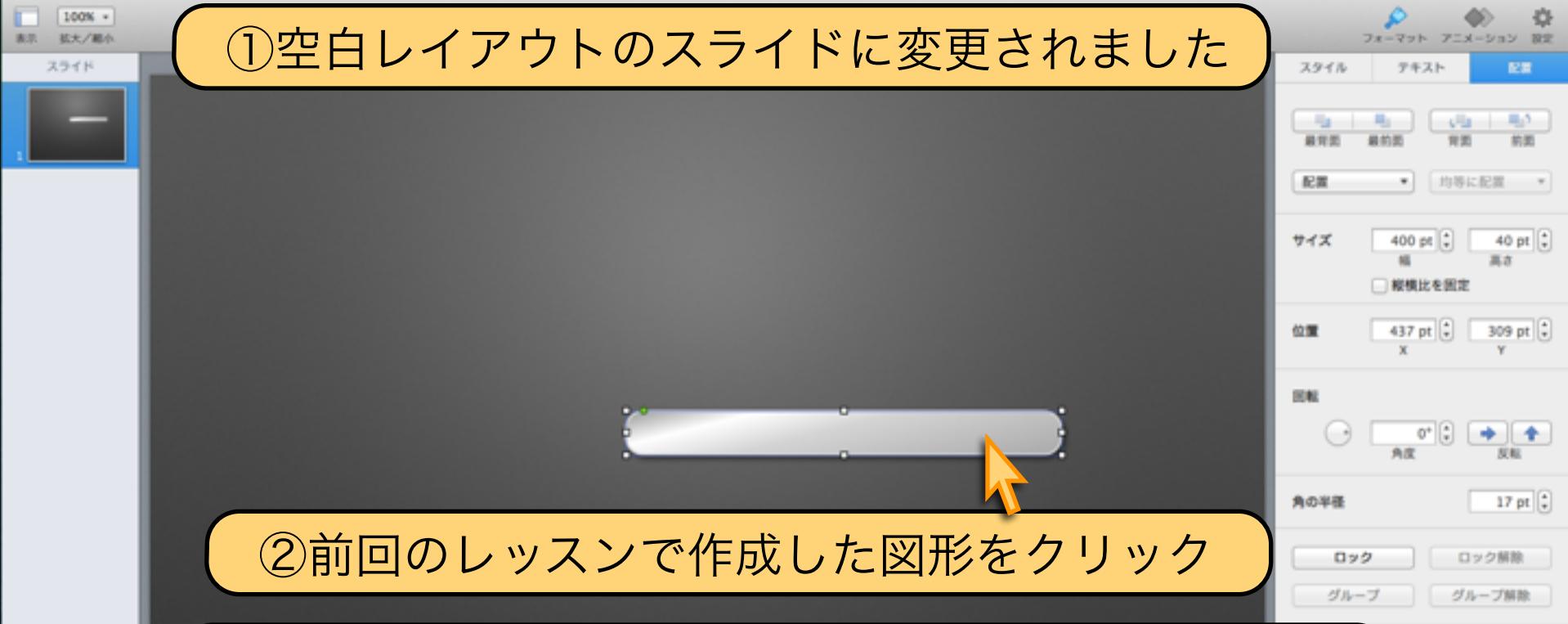
④ 【スライドレイアウト】をクリック

⑤ 【空白】レイアウトをクリック

編集工  
ツア

編集工





## 【POINT】

以前Keynoteで作成した図形は、他のファイルや他のスライドから【コピー&ペースト】が可能です

表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 2.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

①図形サイズを  
「幅600px 高さ80px」に設定します

→

図形

スタイル テキスト 配置

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 600 pt 80 pt  
幅 高さ

縦横比を固定

位置 399 pt 203 pt  
X Y

回転

角度 0° 反転

角の半径 17 pt

ロック ロック解除

表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 2.key — 編集済み

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

①図形サイズを  
「幅600px 高さ80px」に設定します

→

図形

スタイル テキスト 配置

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 600 pt 80 pt  
幅 高さ

縦横比を固定

位置 399 pt 203 pt  
X Y

回転

角度 0° 反転

角の半径 17 pt

ロック ロック解除

# 【三角形を作成します】



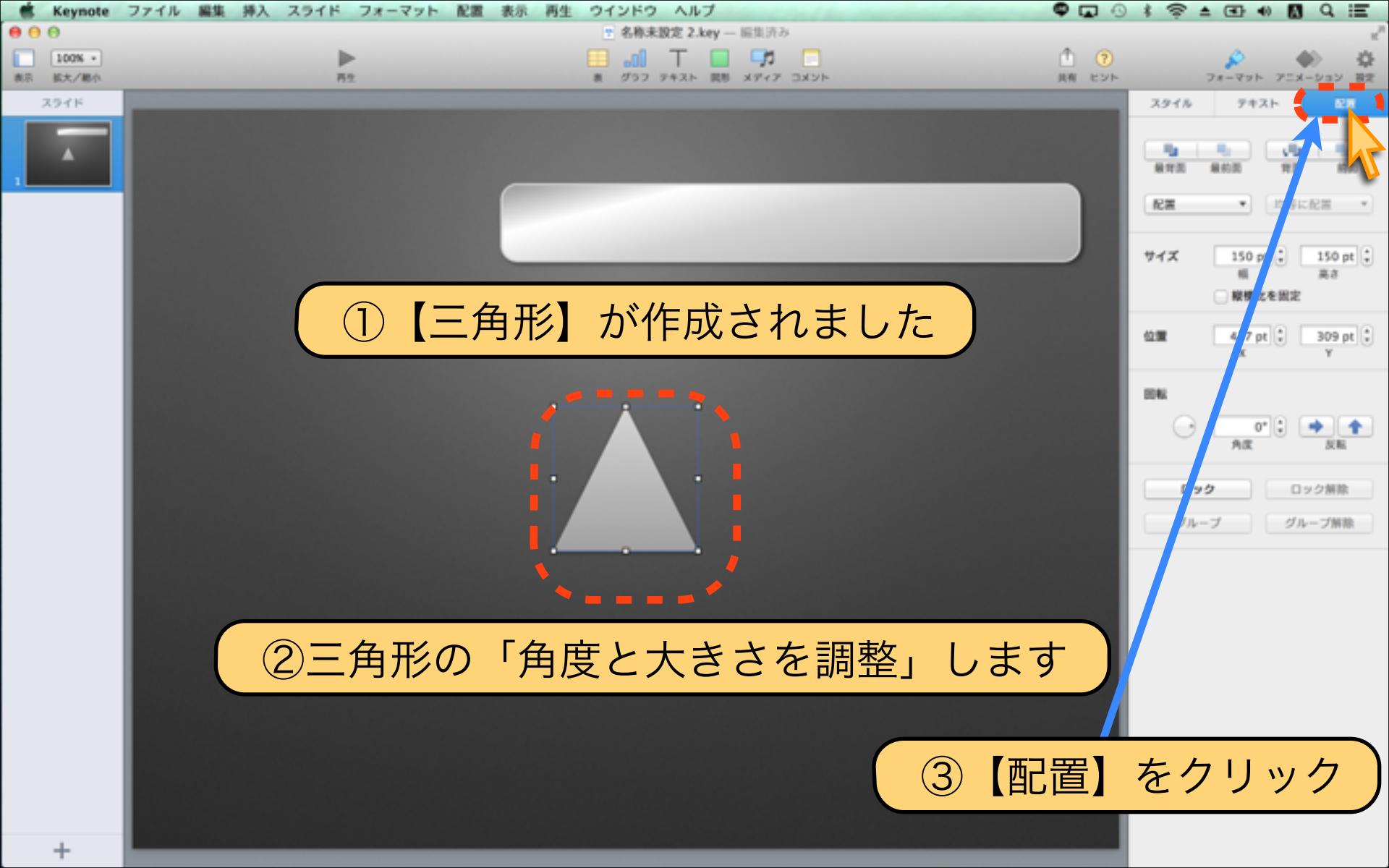
① 【図形】をクリック



② クリックして切り替えます

③ 【三角形】をクリック



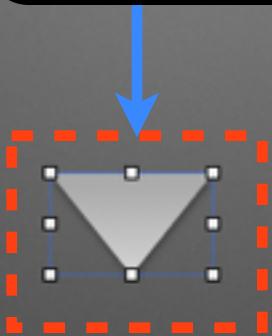


① 【三角形】が作成されました

② 三角形の「角度と大きさを調整」します

③ 【配置】をクリック

①三角形の図形サイズを  
「幅80px 高さ50px」と  
「角度180°」に設定します



スタイル テキスト 配置

最背面 最前面 背面 前面

配置 均等に配置

サイズ 80 pt 50 pt  
幅 高さ

縦横比を固定

位置 437 pt 309 pt  
X Y

回転 180°  
角度 反転

ロック ロック解除

グループ グループ解除

【図形を配置する為に、目安にルーラ（定規）を表示します】

100%



表

グラフ

テキスト

① 【表示】をクリック



スライドのみ



ライトテーブル



アウトライン



マスタースライドを編集



“検索と置換”を表示



ルーラを表示



コメントを隠す

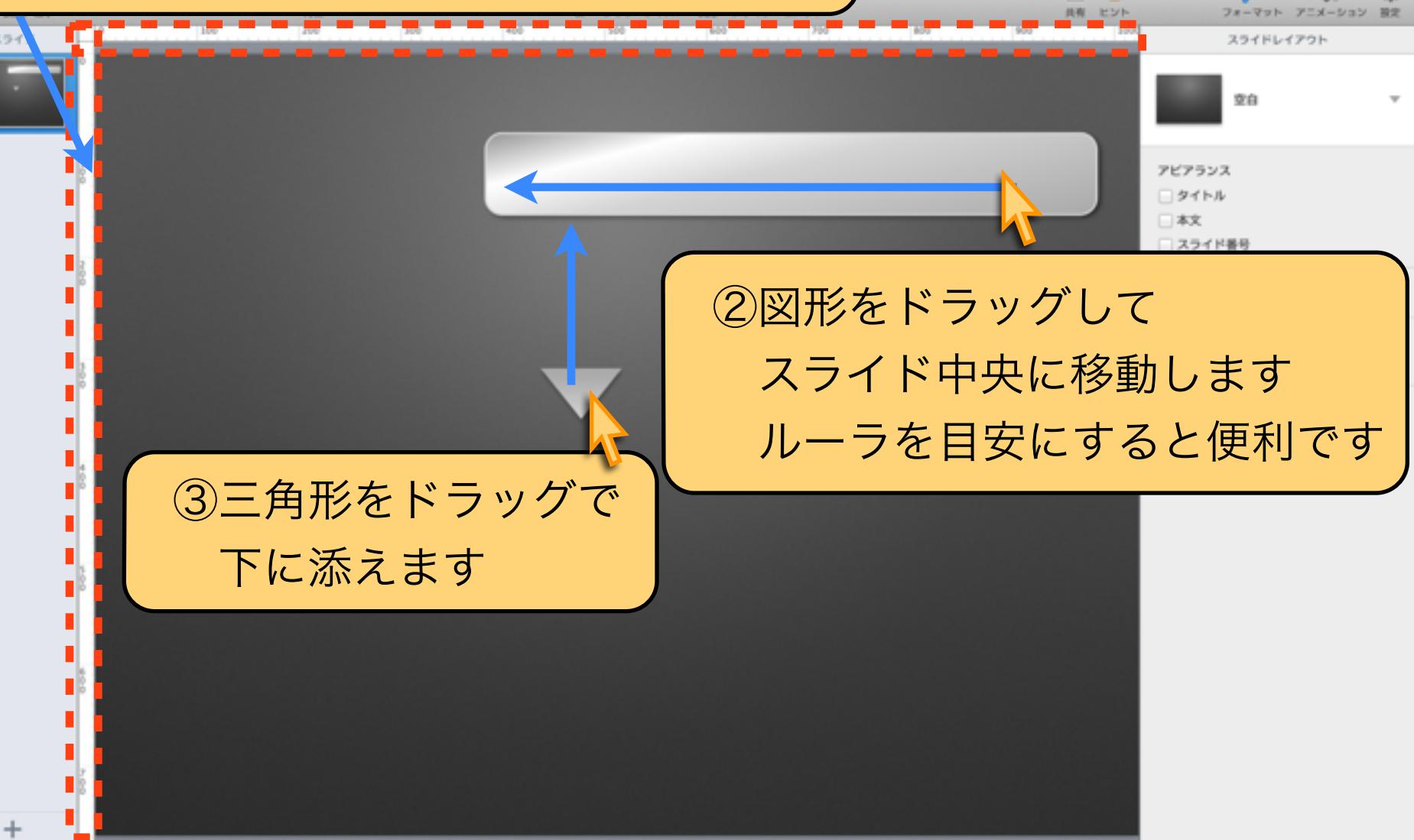


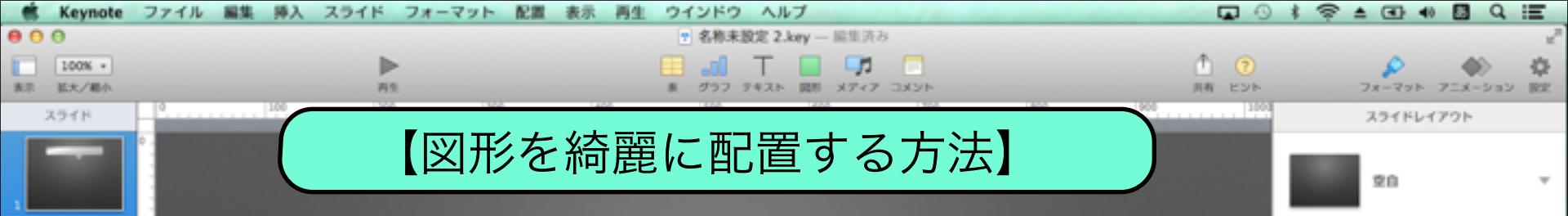
発表者ノートを表示

再生

②ルーラを表示します

① 【ルーラ（定規）】が表示されました





## 【図形を綺麗に配置する方法】

①図形を並べたら、  
[Shiftキー]を押したまま  
2つの図形をクリックして  
全て選択状態にします



### 【POINT】

図形の複数選択は[shiftキー]+クリック

図形作成時には、よく使うので覚えておきましょう



① 【配置】 – 【オブジェクトを整列】 – 【中央揃え】 をクリック

【用語解説】 オブジェクトとは？

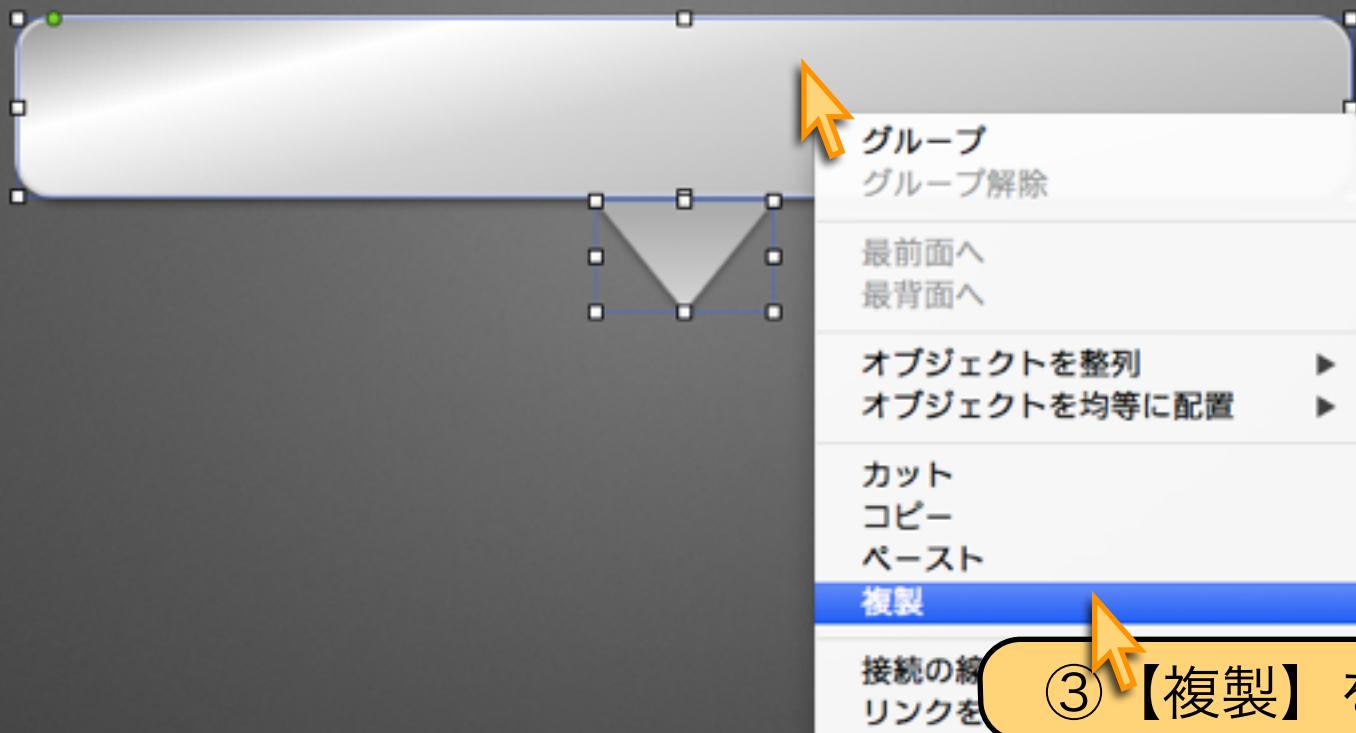
オブジェクトとは、操作対象物のことです

例えば、図形、テキスト、写真もオブジェクトと呼びます

① 2つの図形が中央に配置されました

【図形を複製します】

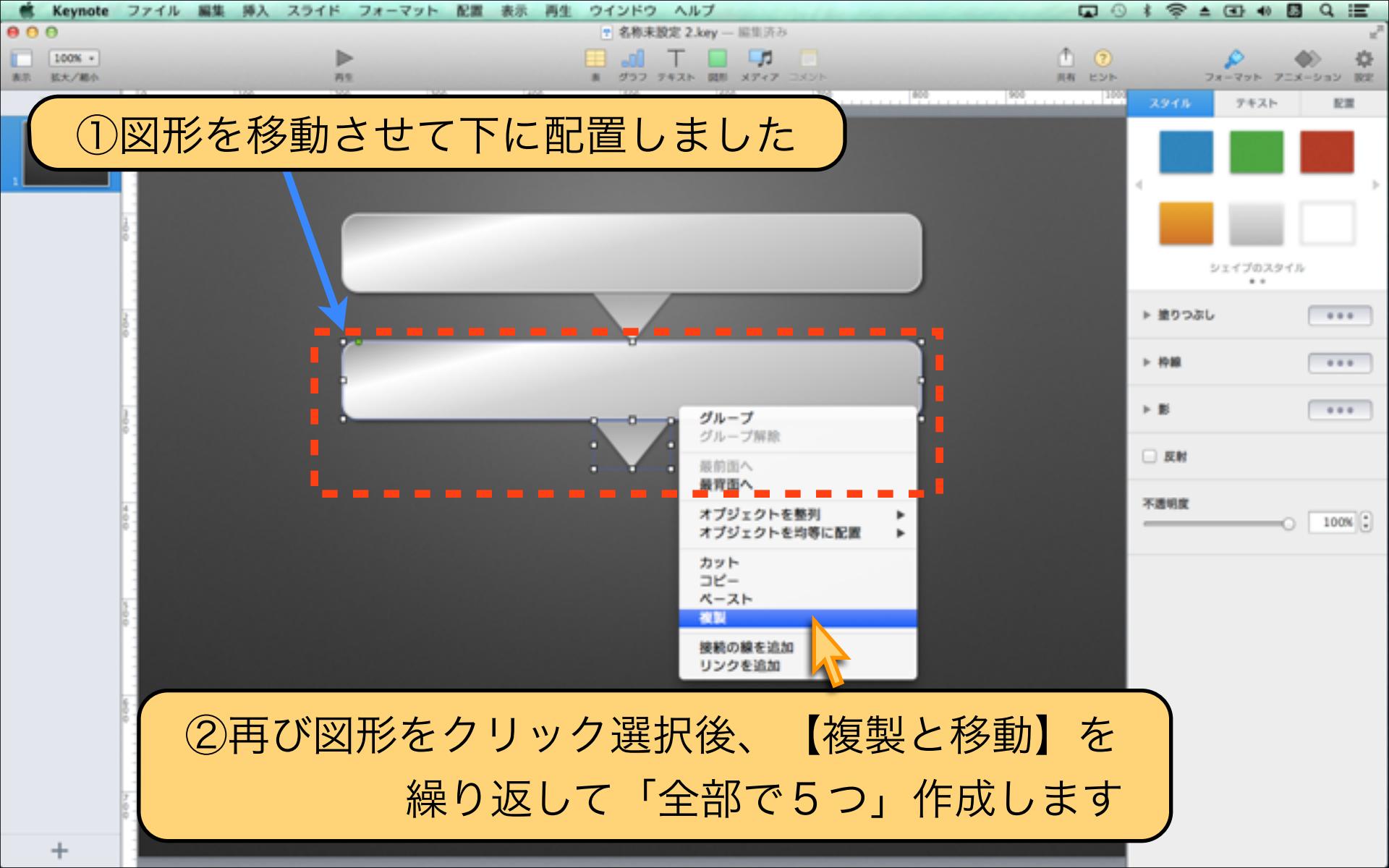
② 図形が選択状態のまま（右クリック）でメニューを表示

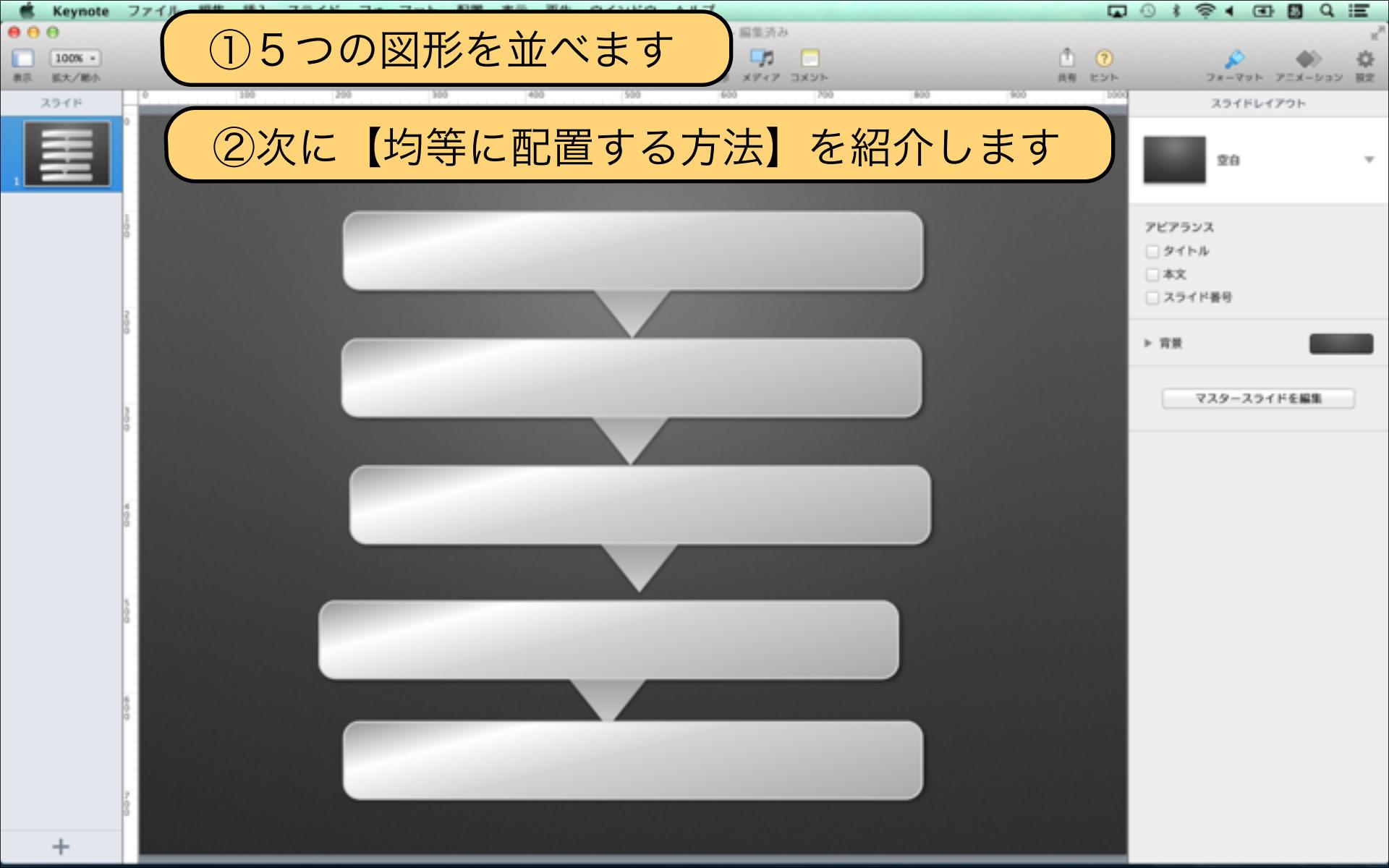


③ 【複製】をクリック

## ①図形が複製されました

②図形をドラッグして  
下に配置します





① 5つの図形を並べます

② 次に 【均等に配置する方法】 を紹介します

Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 2.key — 編集済み

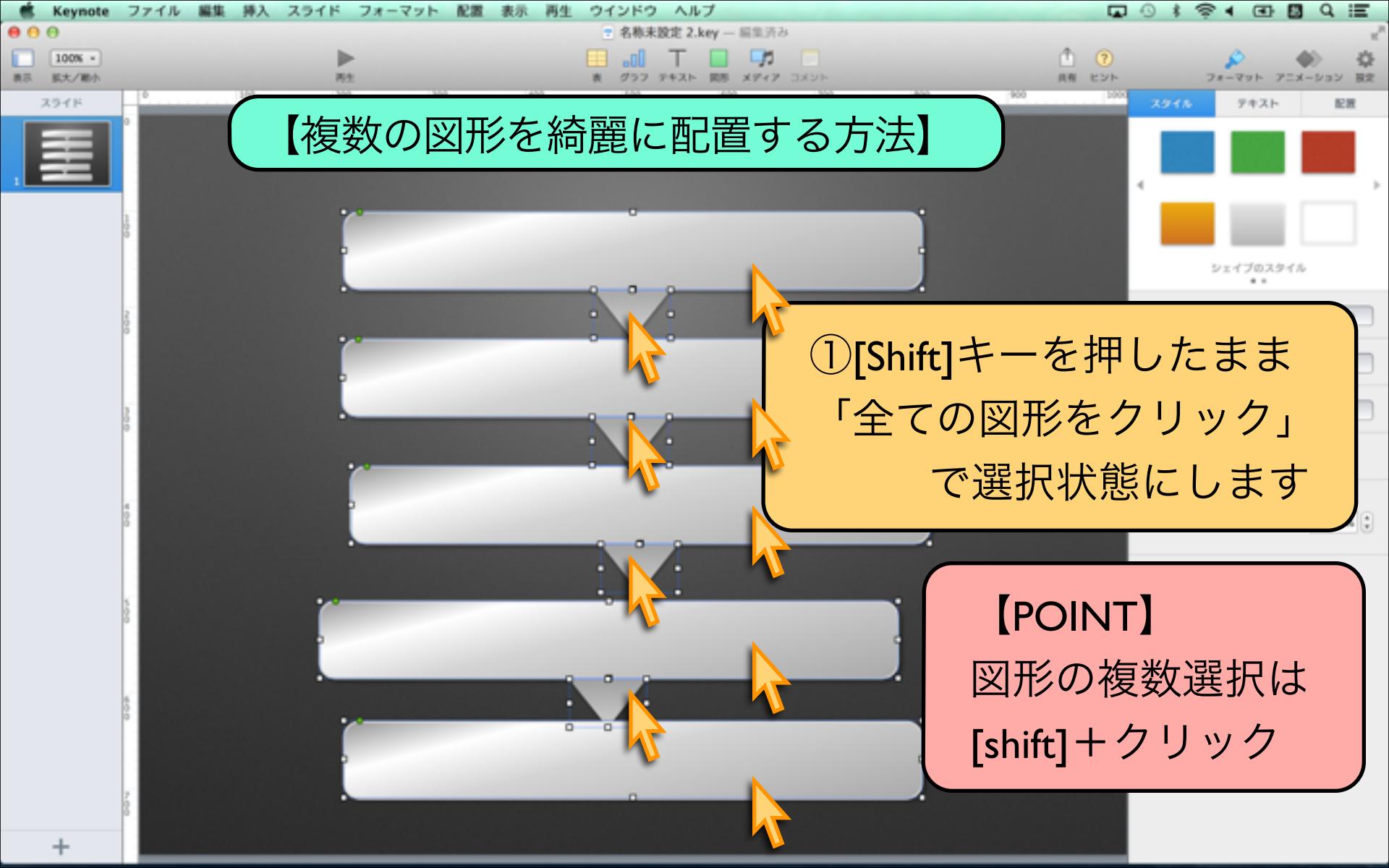
1 100% 表示 大きさ/縮小 再生

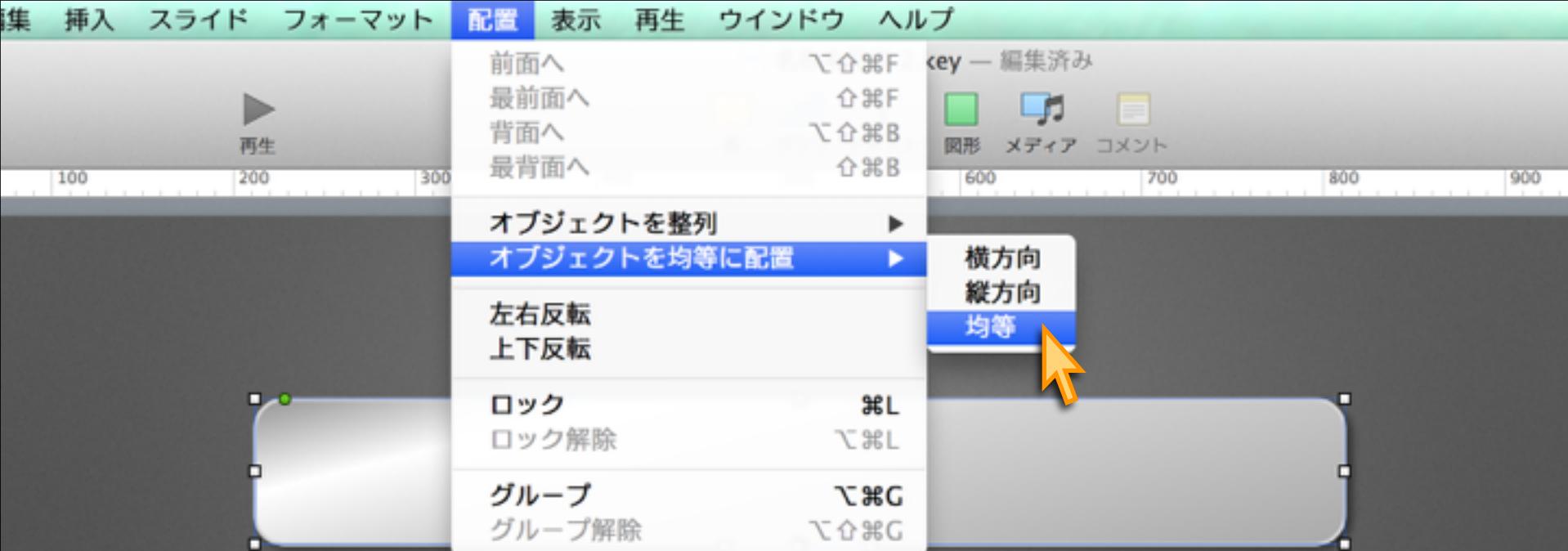
スライド

【複数の図形を綺麗に配置する方法】

①[Shift]キーを押したまま「全ての図形をクリック」で選択状態にします

【POINT】  
図形の複数選択は [shift]+クリック





① 【配置】 – 【オブジェクトを均等に配置】 – 【均等】 をクリック

### 【POINT】

「オブジェクトを整列」と「オブジェクトを均等に配置」を組み合わせることで、きれいに配置することができます



## 【図形を効率良く作るコツ】



以前作成した図形がある場合には  
他のKeynoteファイルや他のスライドから  
「コピー＆ペースト」で再利用します。  
図形、スライド丸ごと「複製」も便利です。



## Lesson 4-5 図形と文字の重なり順序

keynote-study.com

前回に続き、見本と同じようにスライド作成しながら  
【図形と文字の重なり順序】を紹介していきます

## プレゼンテーションを効率よく作成する手順

①テキスト原稿の制作

②図形や資料の挿入

③デザイン&レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成

【図形の上にテキストを配置する】

ヘルプ

定 2.key - 編集済み



200

300

400



表



グラフ



テキスト



図形



メディア



コメント



①【テキスト】をクリック

テキスト

テキスト

テキスト

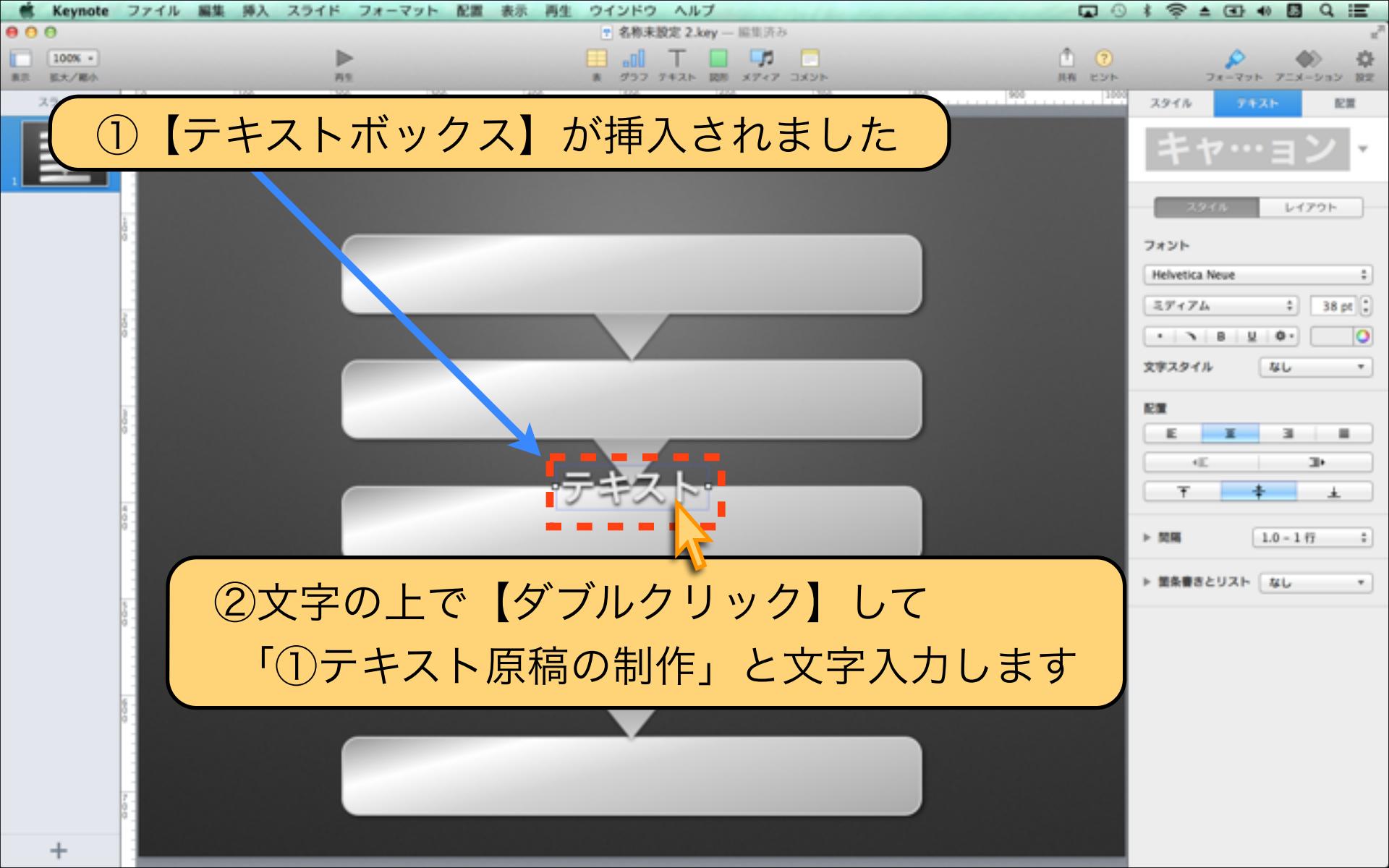
テキスト

テキスト

・ テキスト

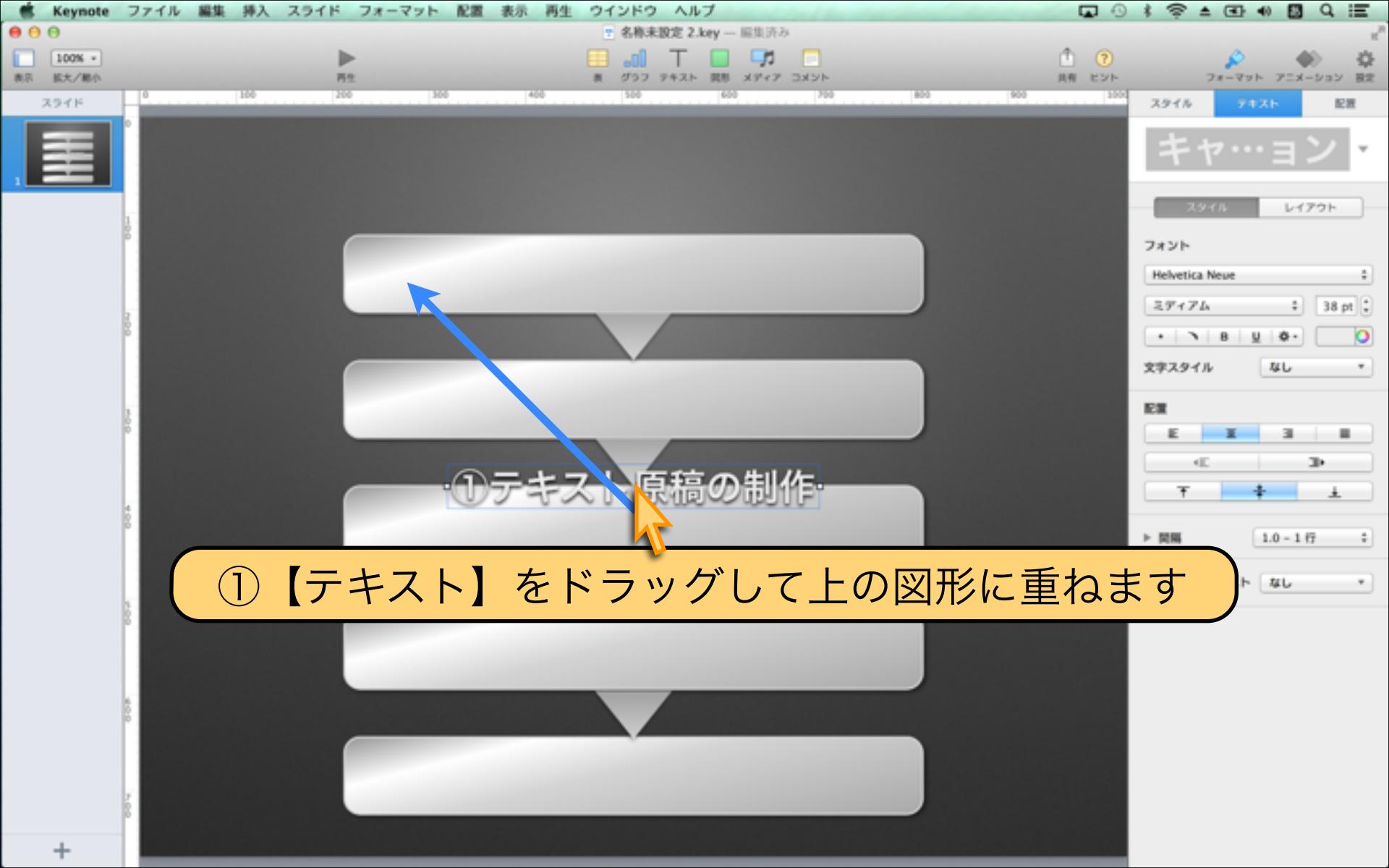
②今回は、こちらをクリック

テキスト



①【テキストボックス】が挿入されました

②文字の上で【ダブルクリック】して  
「①テキスト原稿の制作」と文字入力します



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 2.key — 編集済み

100% 表示 拡大/縮小

再生

スライド

0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト 空白

アビアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

# 【図形とテキストの重なり順序】の解説

①テキスト原稿の制作

①今回は、図形の上にテキストが重なりましたが、逆に図形の下にテキストが表示される場合もあります

①図形の【下】にテキストが表示される場合

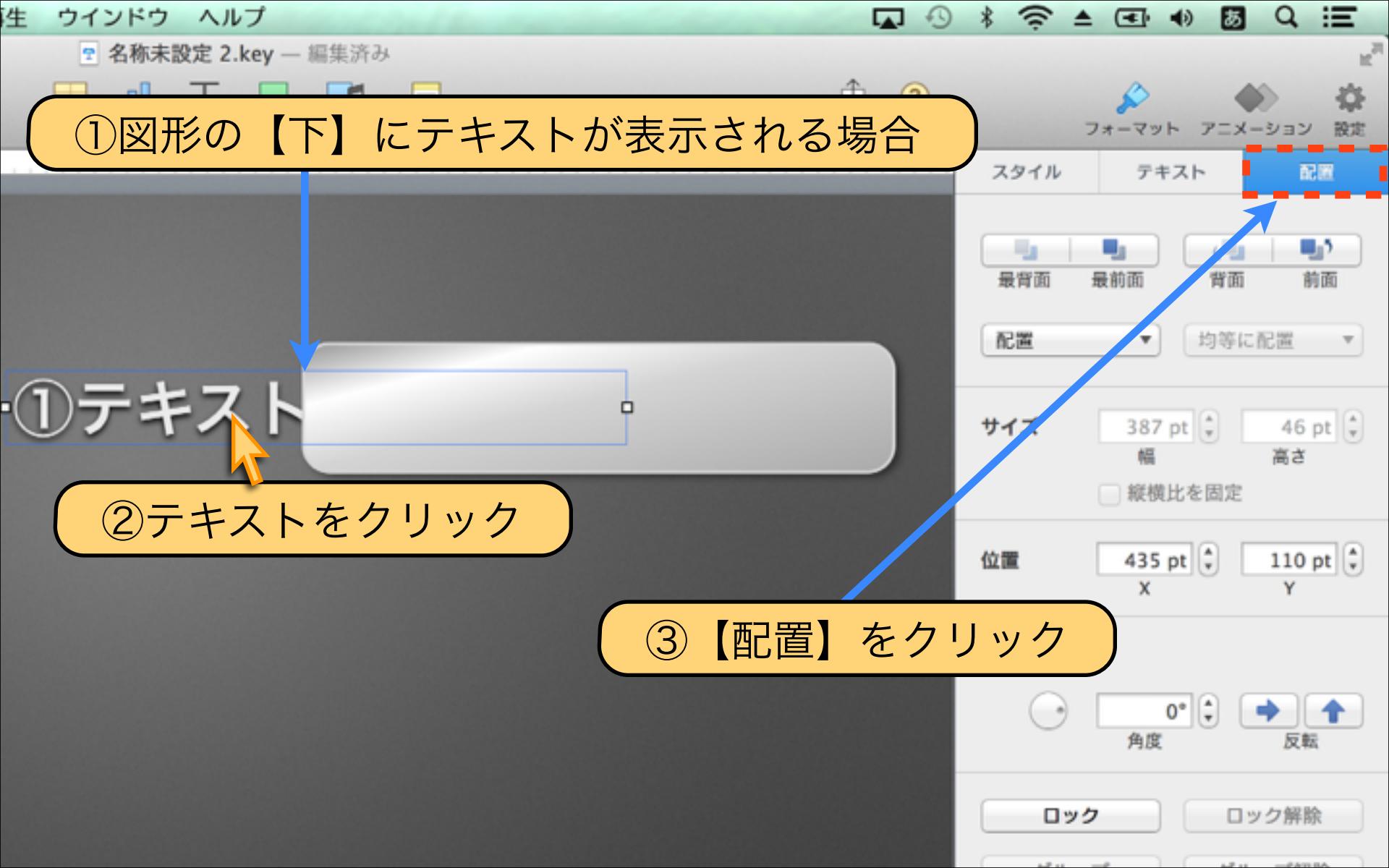
①テキスト

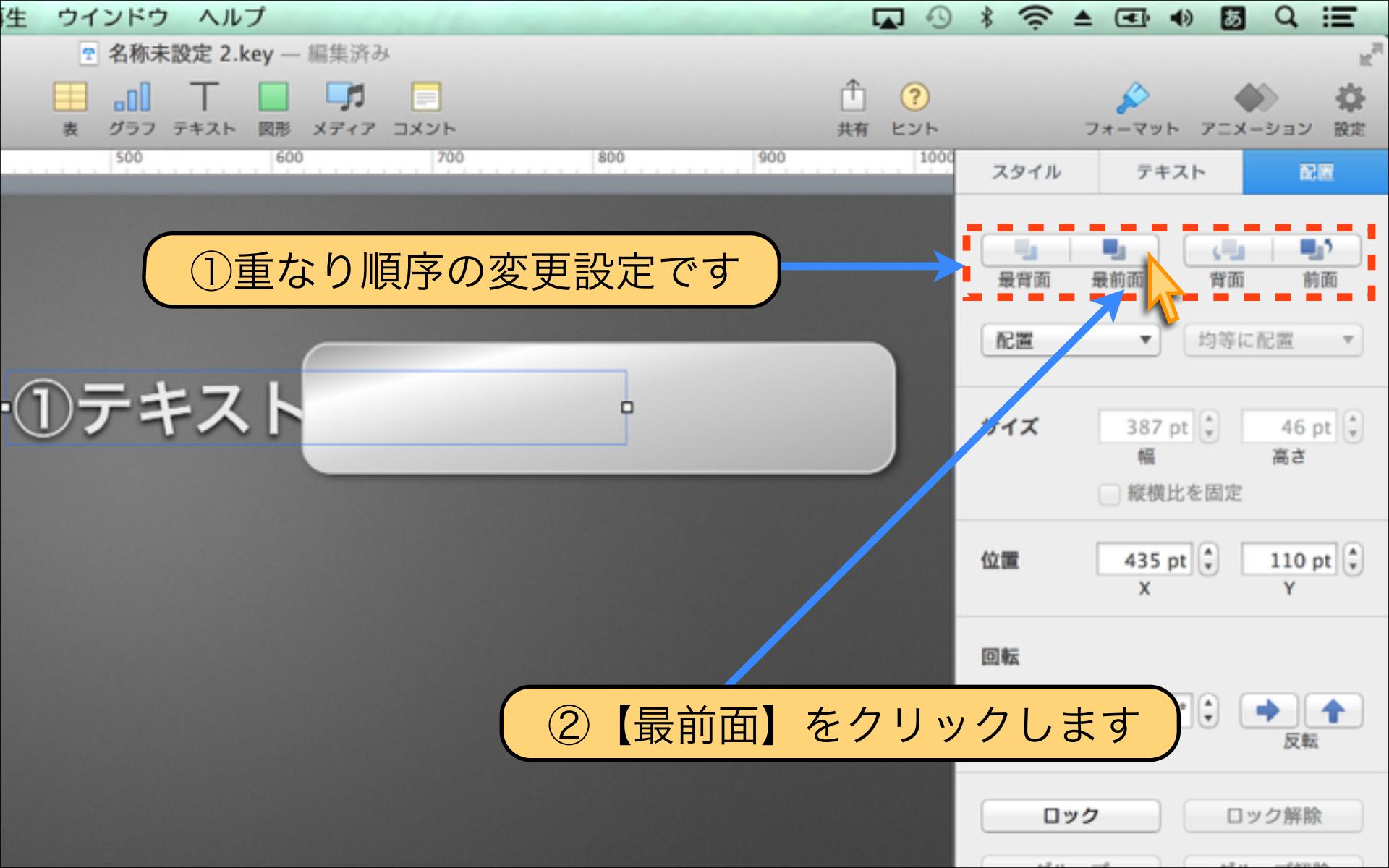
②図形の【上】にテキストが表示される場合

①テキスト 原稿の制作

【POINT】

後から作成された図形やテキストが上に表示されます





名称未設定 2.key — 編集済み

 表  グラフ  テキスト  図形  メディア  コメント 共有  ヒント フォーマット  アニメーション  設定

①図形の【上】にテキストが移動しました



①テキスト 原稿の制作

### 【POINT】

最初に対象物（テキストや図形）をクリックで選択後に  
重なり順序を指定する手順です。

スタイル テキスト 配置

 最背面  最前面  背面  前面

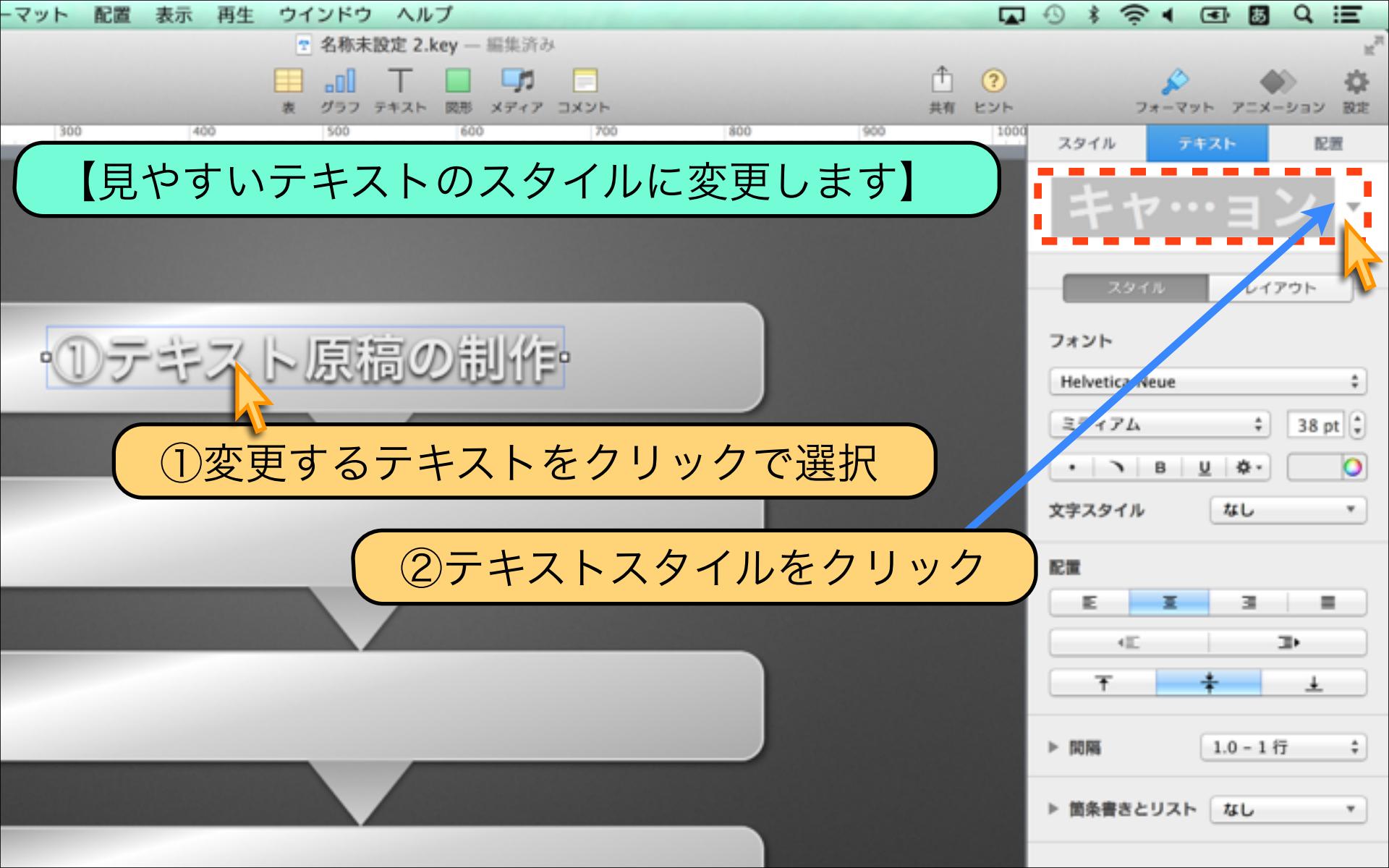
配置 均等に配置

サイズ 387 pt 幅 46 pt 高さ  
 縦横比を固定

位置 435 pt X 110 pt Y

ロック ロック解除



Keynote ファイル 編集挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定 2.key — 編集済み

100% 表示 大きさ/縮小 再生

スライド 0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000

表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント フォーマット アニメーション 配置

スタイル テキスト 配置

1

①テキスト原稿の制作

①テーマで用意されている  
スタイル一覧が表示されました

②今回は「ラベル（ダーク）」を選択します

キャラクター

段落スタイル

タ…ル

…

サブタイトル

本文

本文(小)

キャラクター

キャラクター

キャラクター

ラベル

ラベル

引用

①テキストスタイルが  
「ラベル（ダーク）」に変更されました

## ①テキスト原稿の制作

②その他の設定は  
インスペクタで微調整します



【スタイル変更したテキストを複製して配置します】

空白

①テキスト原稿の制作

①テキスト原稿の制作

①[optionキー]+ドラッグで  
テキストが複製されます

②全ての図形の上にテキストを複製します

アピアランス

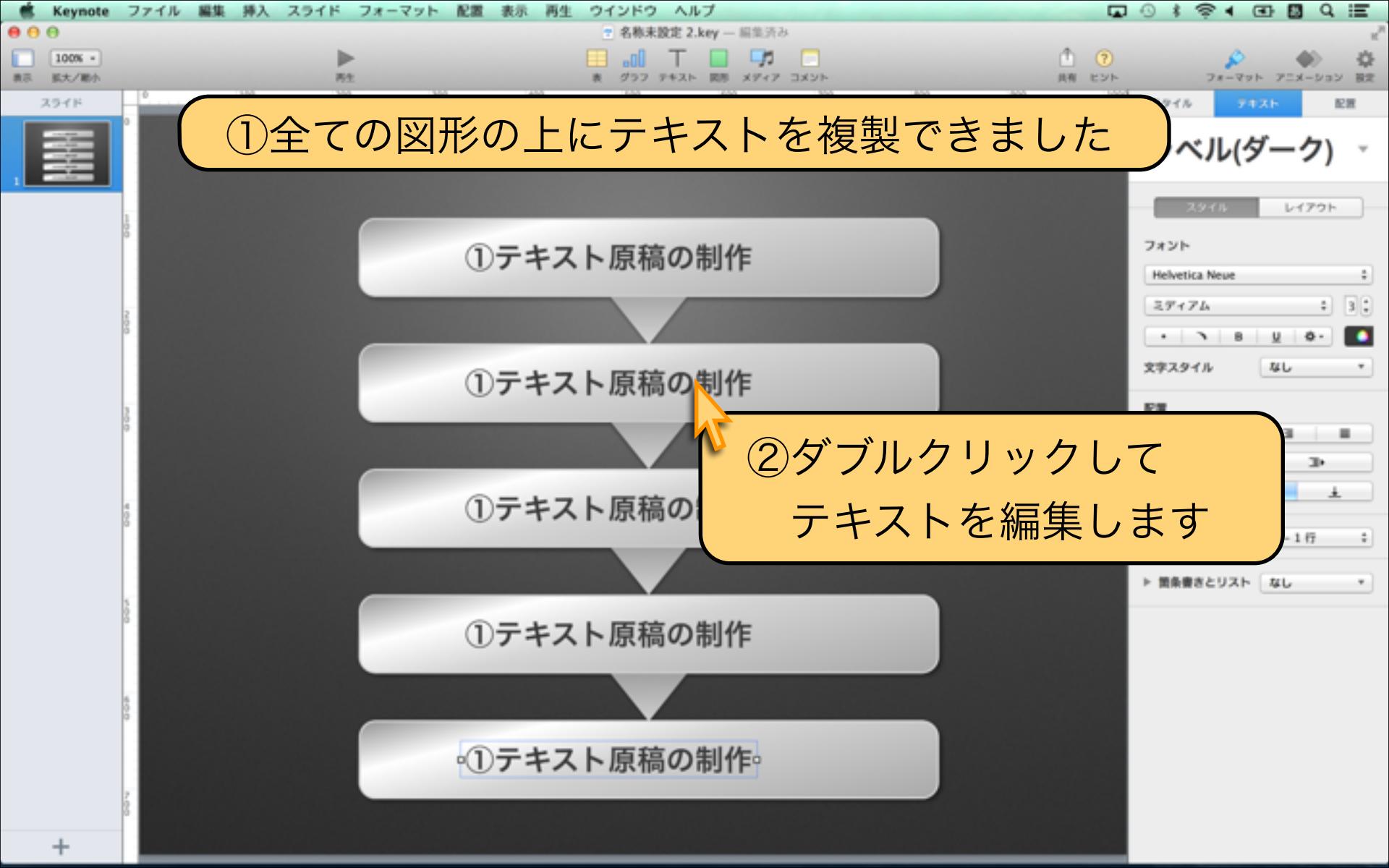
タイトル

本文

スライド番号

▶ 背景

マスタースライドを編集



①今回は、以下のようにテキストを編集しました

①テキスト原稿の制作

②図形や資料の挿入

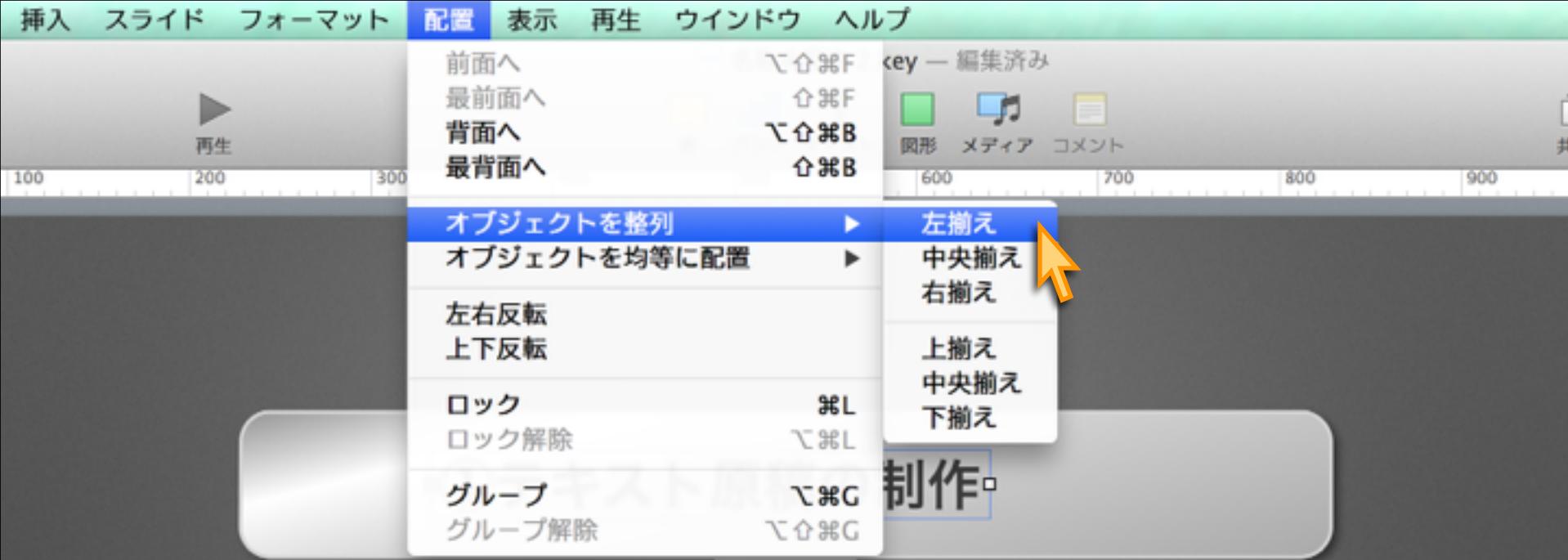
③デザイン&レイアウト

④アニメーション設定

⑤プレゼン資料の完成

②最後に全部のテキストを  
「左揃え」にして整えます

③すべてのテキストを  
[shiftキー]+クリック  
で選択状態にします



①【配置】 – 【オブジェクトを整列】 – 【左揃え】をクリック

②図形や資料の挿入。

②テキストの位置をドラッグで微調整します

③デザイン&レイアウト。

①タイトルを追加したらスライドの完成です

プレゼンテーションを効率よく作成する手順

```
graph TD; A[①テキスト原稿の制作] --> B[②図形や資料の挿入]; B --> C[③デザイン&レイアウト]; C --> D[④アニメーション設定]; D --> E[⑤プレゼン資料の完成];
```

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

## 【スライドに最適な文字の大きさは？】

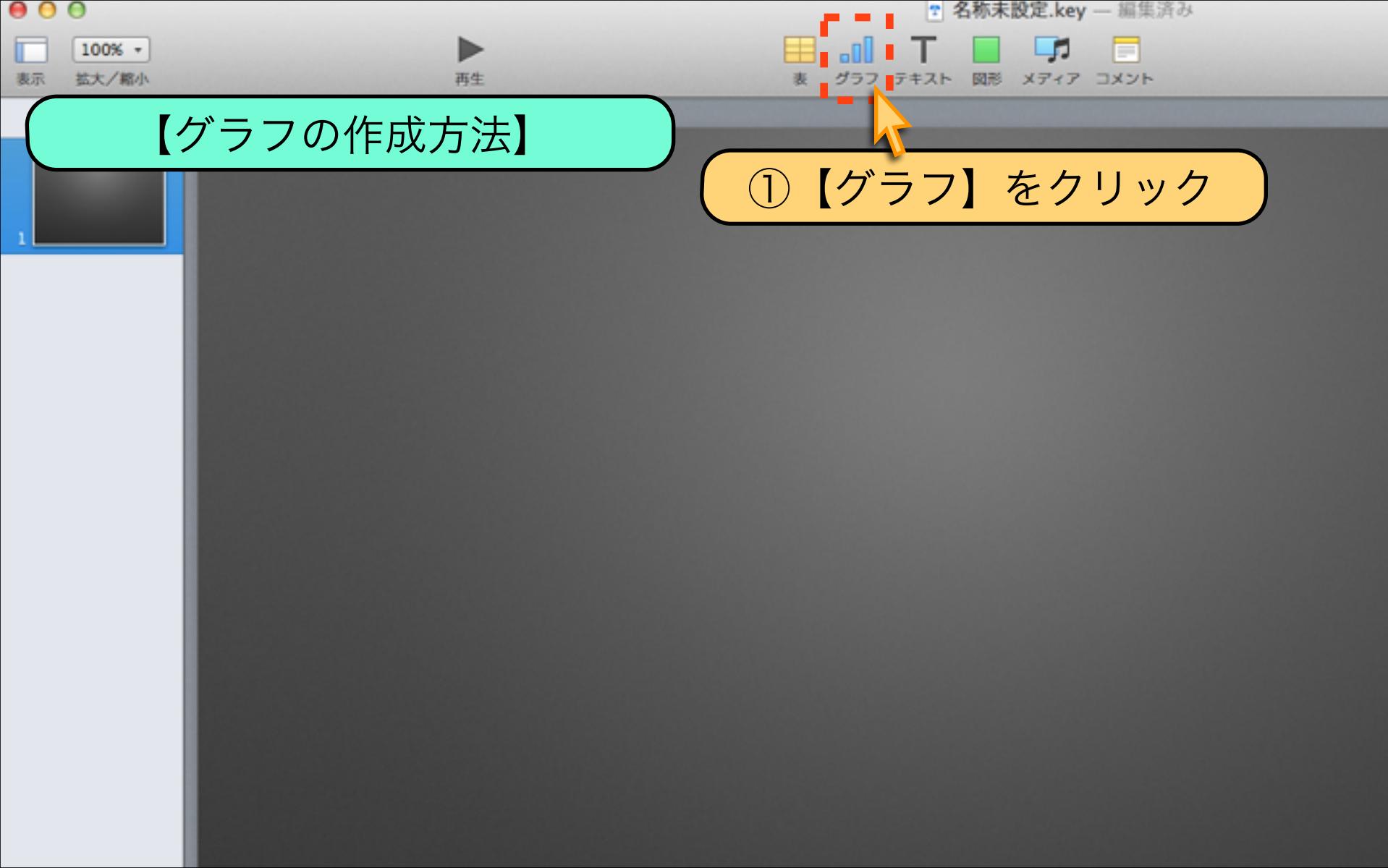


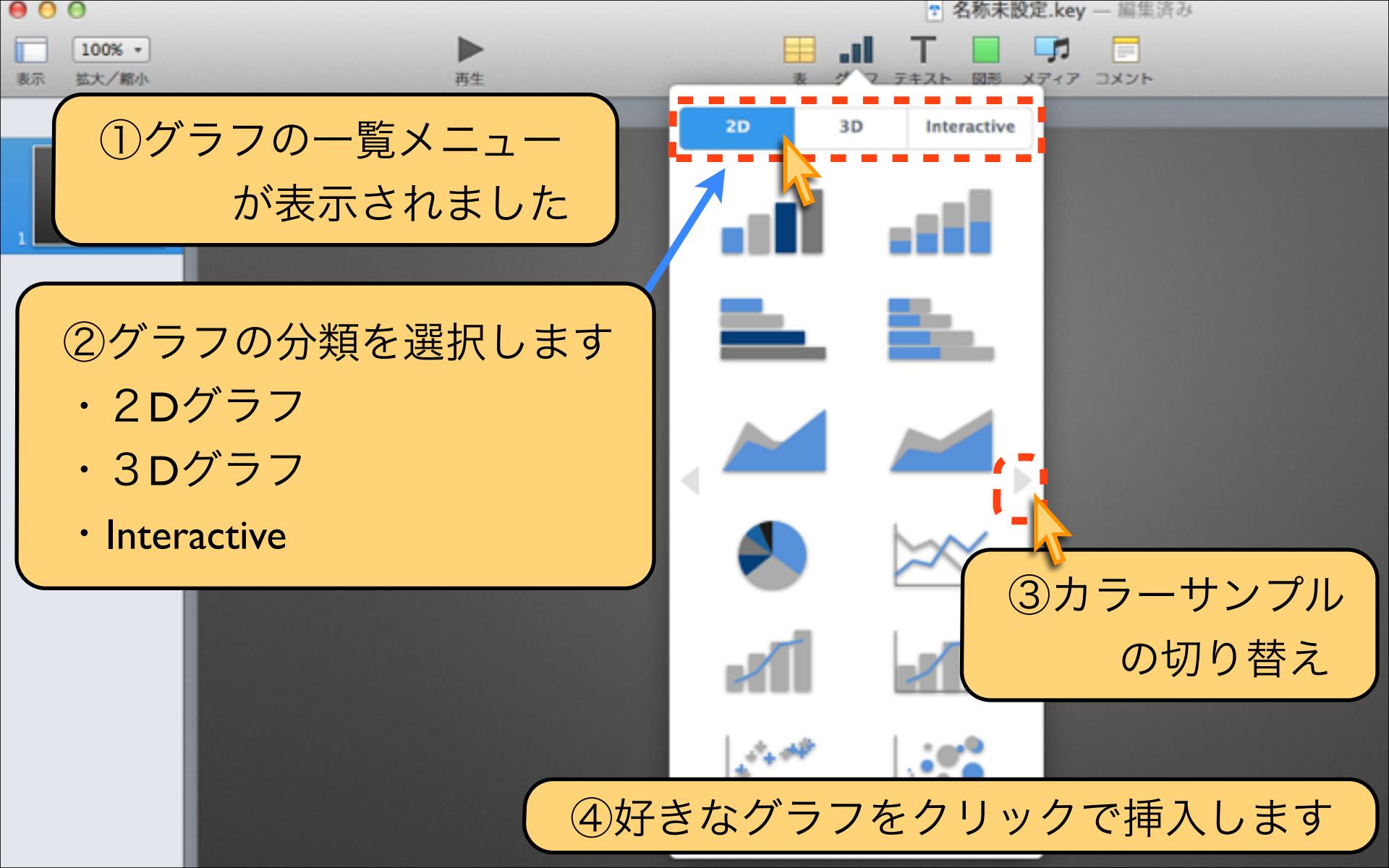
プレゼンで使用するスライド資料は  
文字が小さ過ぎないように注意が必要です。  
逆に、持ち帰って読んでもらう為の資料は  
情報をしっかりと盛り込みましょう。  
使用場所や目的によって使い分けましょう。

Lesson 4-6

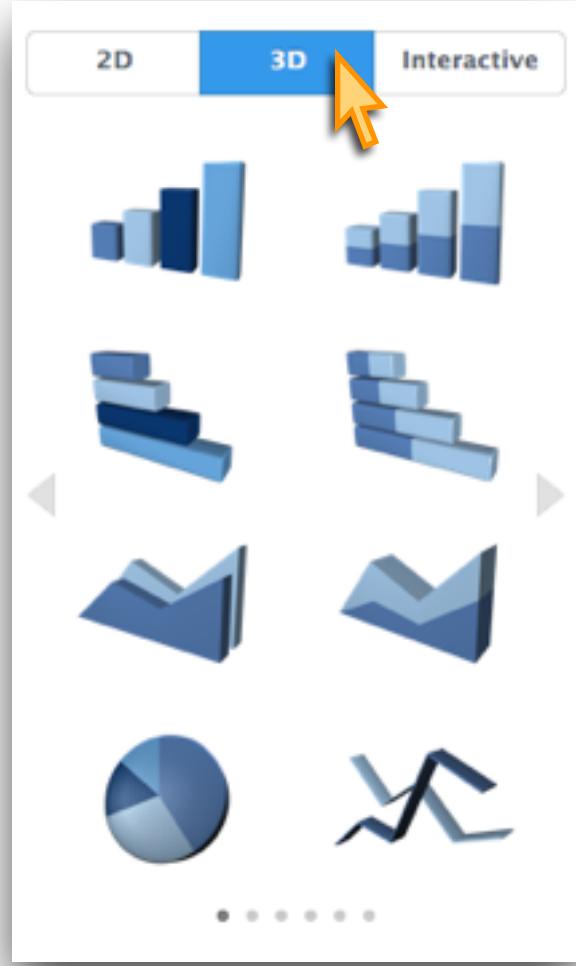
グラフの作成

keynote-study.com





【グラフの分類を選択できます】



# 【グラフのカラーサンプルを選択できます】

2D    3D    Interactive

2D    3D    Interactive

2D    3D    Interactive

① 【▶】 クリックすると、次のカラーサンプルが表示されます

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46
- 47
- 48
- 49
- 50
- 51
- 52
- 53
- 54
- 55
- 56
- 57
- 58
- 59
- 60
- 61
- 62
- 63
- 64
- 65
- 66
- 67
- 68
- 69
- 70
- 71
- 72
- 73
- 74
- 75
- 76
- 77
- 78
- 79
- 80
- 81
- 82
- 83
- 84
- 85
- 86
- 87
- 88
- 89
- 90
- 91
- 92
- 93
- 94
- 95
- 96
- 97
- 98
- 99
- 100

イル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

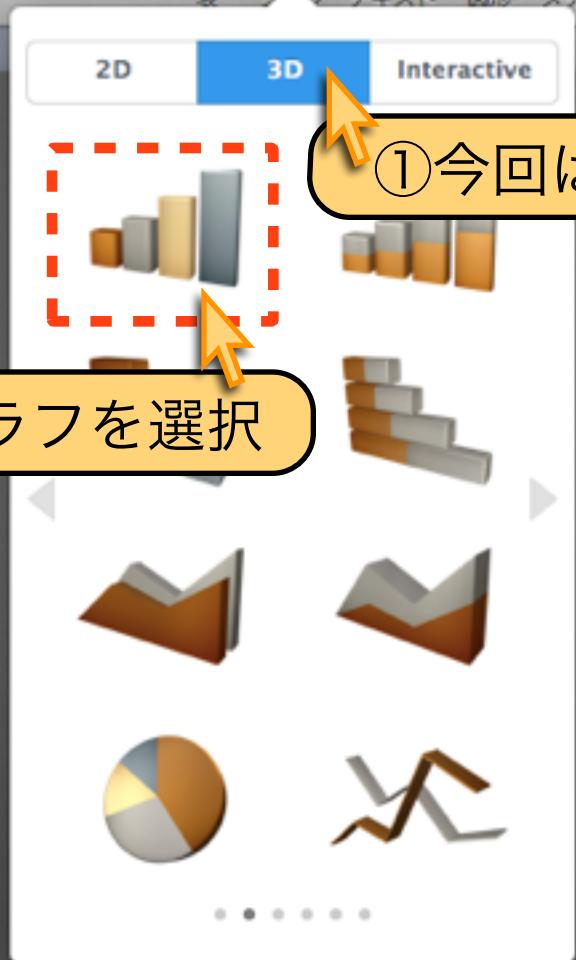
再生

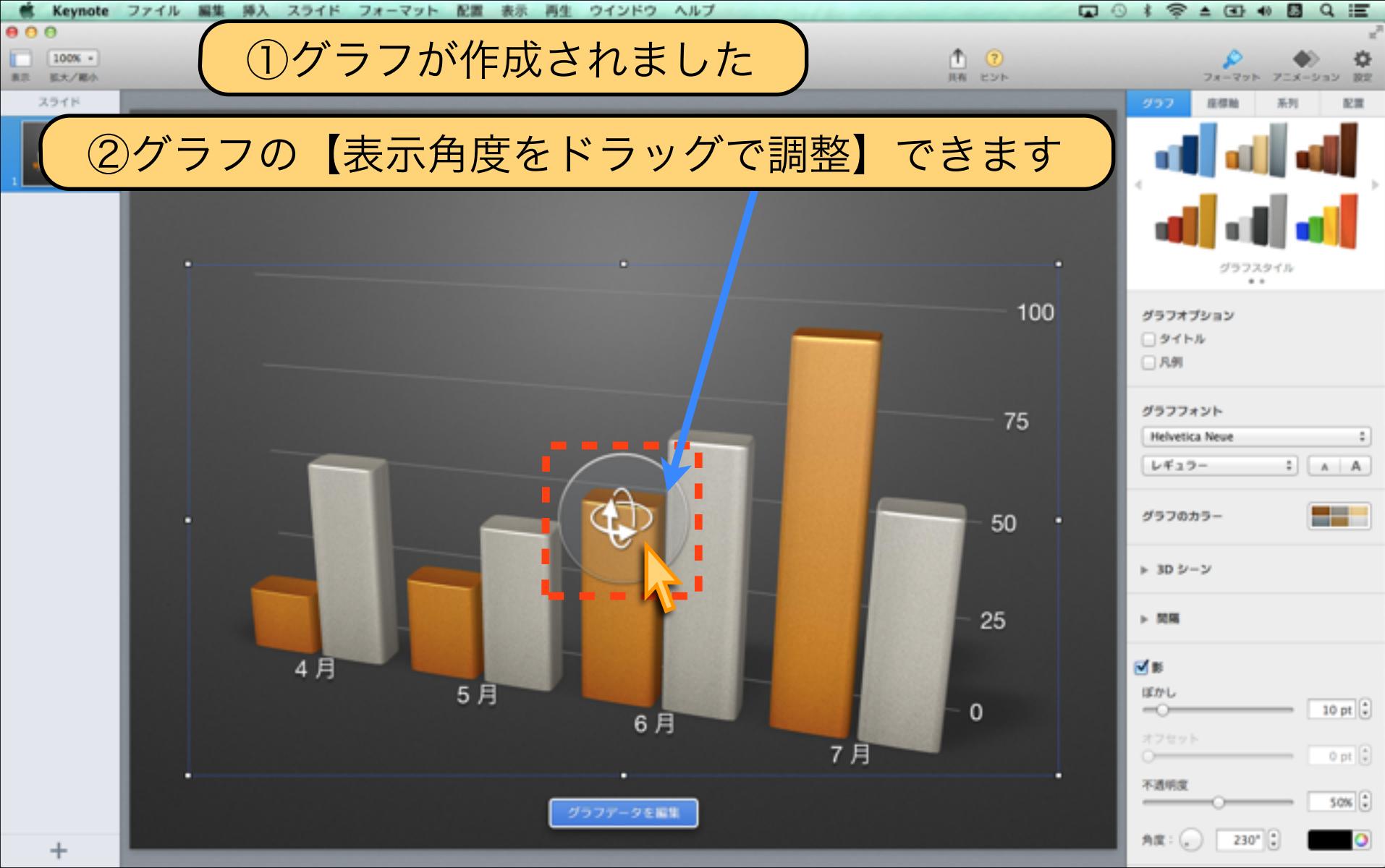
表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント 共有

2D 3D Interactive

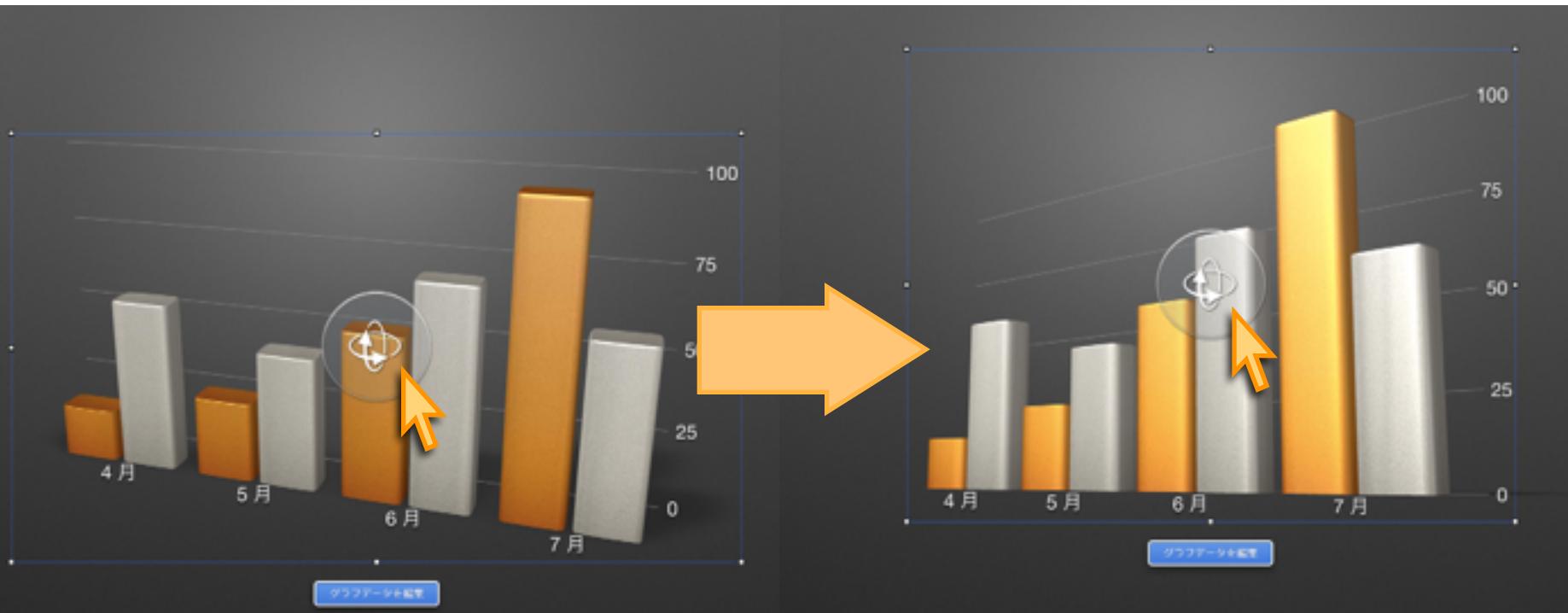
①今回は「3Dグラフ」を選択

②今回はこちらのグラフを選択





①グラフの表示角度をドラッグで調整しました



②グラフ表示角度の調整前

③グラフ表示角度の調整後

## 【グラフ数値の入力方法】





グラフフォント

①セルの数値を入力後、[returnキー]で確定します

	4月	5月	6月	7月
地域1	17	26	53	96
地域2	55	43	70	58

②入力完了後にウインドウを閉じます

③セルの数値がグラフに自動的に反映されます

Keynote ファイル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

表示 拡大 スライド 1

# 【グラフの移動と大きさの調整方法】

① 【白い小さな四角】をドラッグで自由に大きさを調整できます

② 移動は【グラフの上でドラッグ】します

Keynote ファイル 編集 挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

名称未設定.key — 編集済み

スライド 1

# 【グラフの詳細設定】

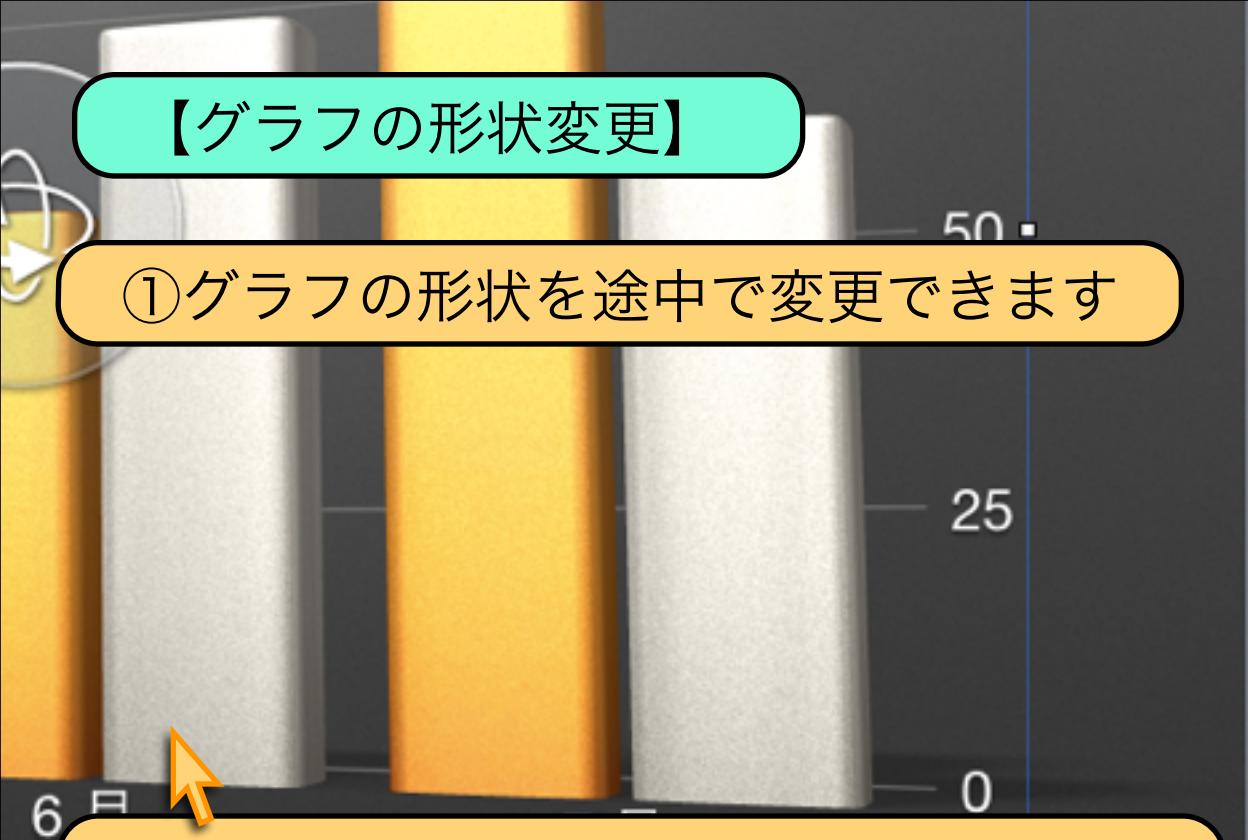
① グラフをクリックします

② 【インスペクタ】から詳細設定ができます

月	値
4月	10
5月	20
6月	40
7月	90

## 【グラフの形状変更】

① グラフの形状を途中で変更できます



② グラフをクリックして  
インスペクタウインドウを表示します

③ 【グラフのタイプ】をクリック

### グラフのカラー



▶ 3D シーン

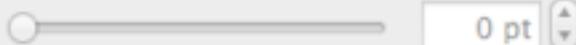
▶ 間隔

影

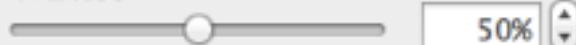
ぼかし



オフセット



不透明度

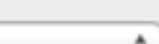


角度 :

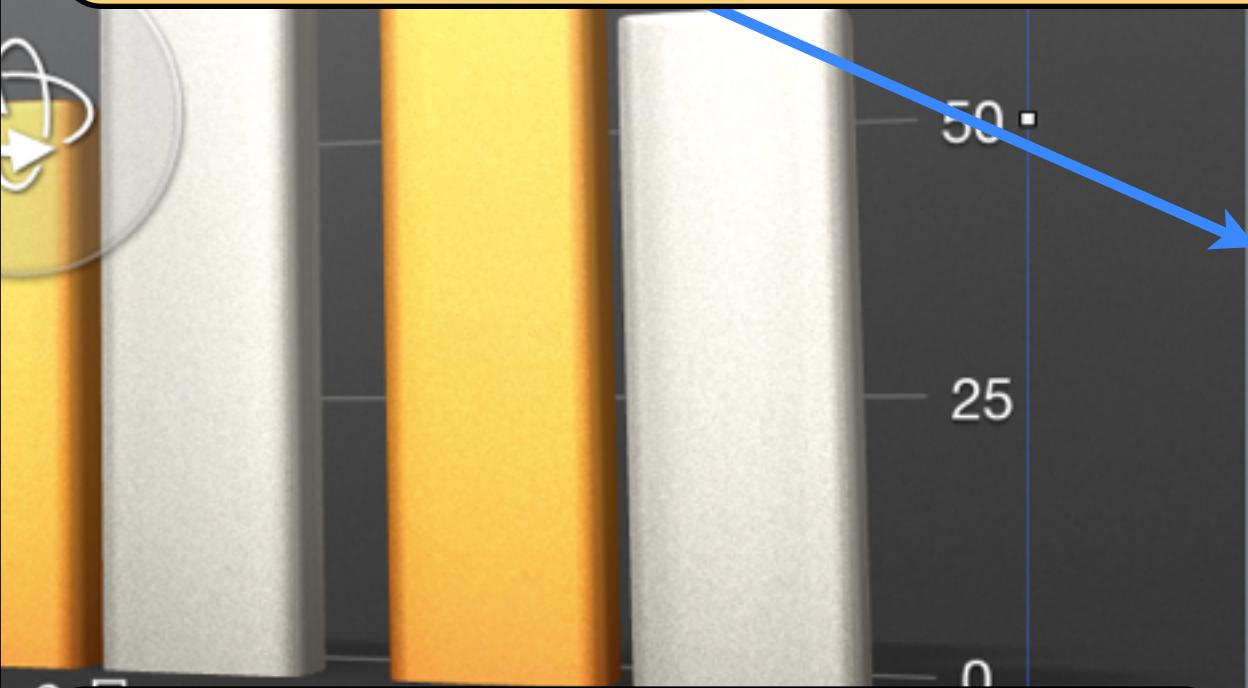


グラフのタイプ

3D 縦棒グラフ



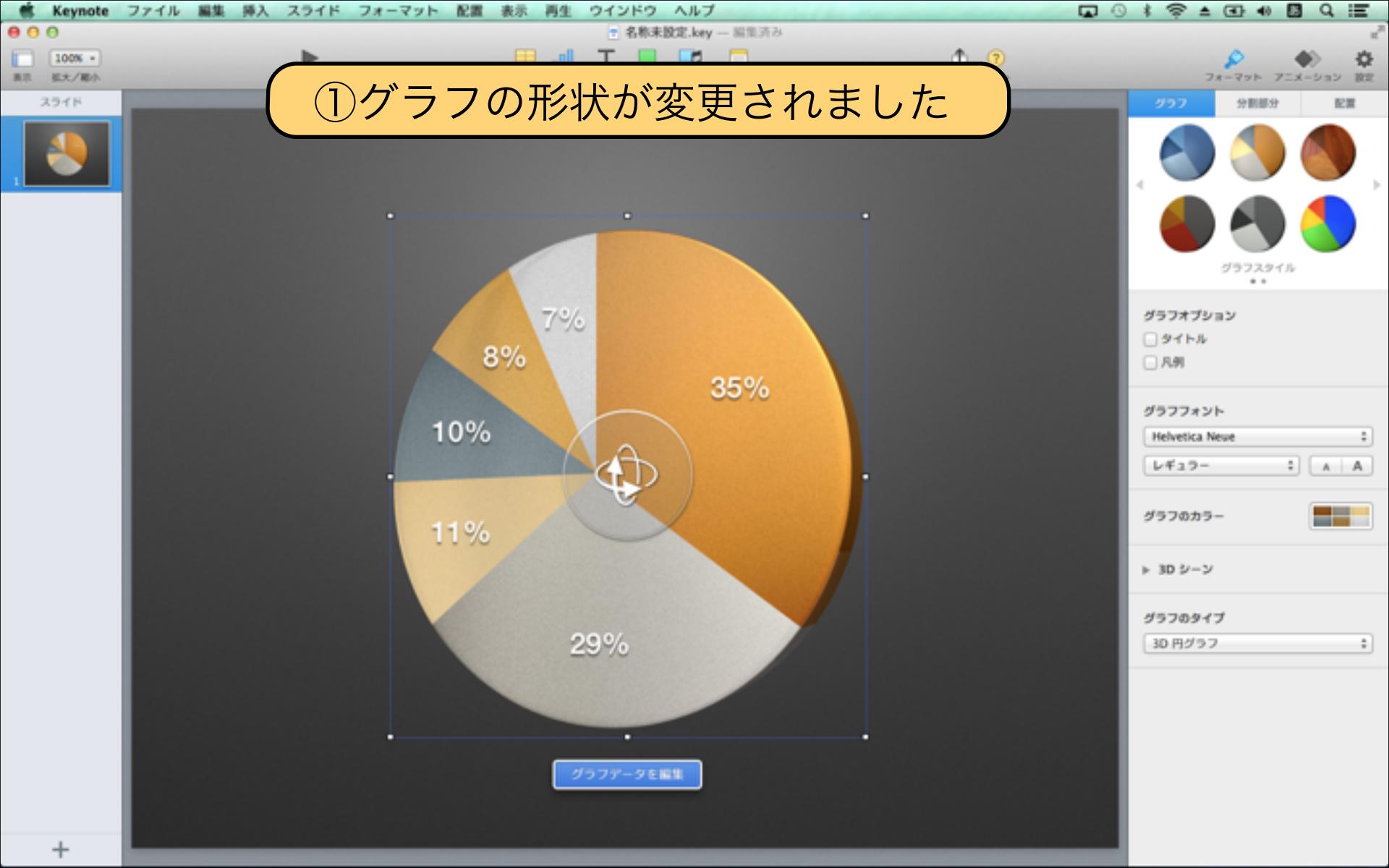
① 【グラフの一覧メニュー】が表示されました



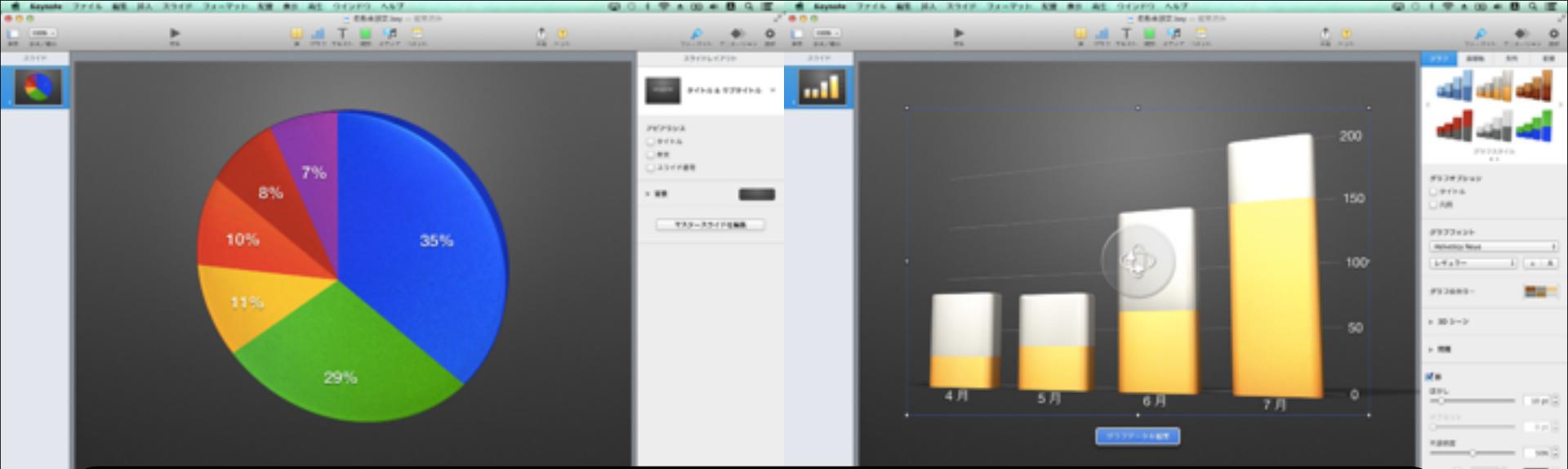
②好きなグラフをクリックで選択します



③今回は【3D円グラフ】を選択します



①グラフの形状が変更されました



①色や形状を変更することで、様々なグラフを作成できます



## 【Keynoteの3Dグラフとビルト表示】



Keynoteの3Dグラフの作成機能は、  
デザイン製の高いグラフが簡単に作成できます。  
グラフ表示のビルトアニメーションも専用の  
「3Dグラフエフェクト」が用意されています。

# Lesson Keynote



## Lesson 5-1 ビルド・アニメーション

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

Keynoteには、スライドに動き（アニメーション）を加える機能があり、設定には2種類あります

【アニメーション解説①】 「ビルド」とは？  
テキスト・図形・写真等の「登場や消え方」を個別に設定するアニメーション効果です

【アニメーション解説②】 「トランジション」とは？  
次のスライドへ切り替える時に、スライド全体に設定するアニメーション効果です

Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000

スライド 再生 表 グラフ テキスト 圖形 メディア コメント 共有 ピント フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト サブタイトル

アビランス  タイトル  本文  スライド番号

背景 マスタースライドを編集

1 実践トレーニング

2

3

4

5

6

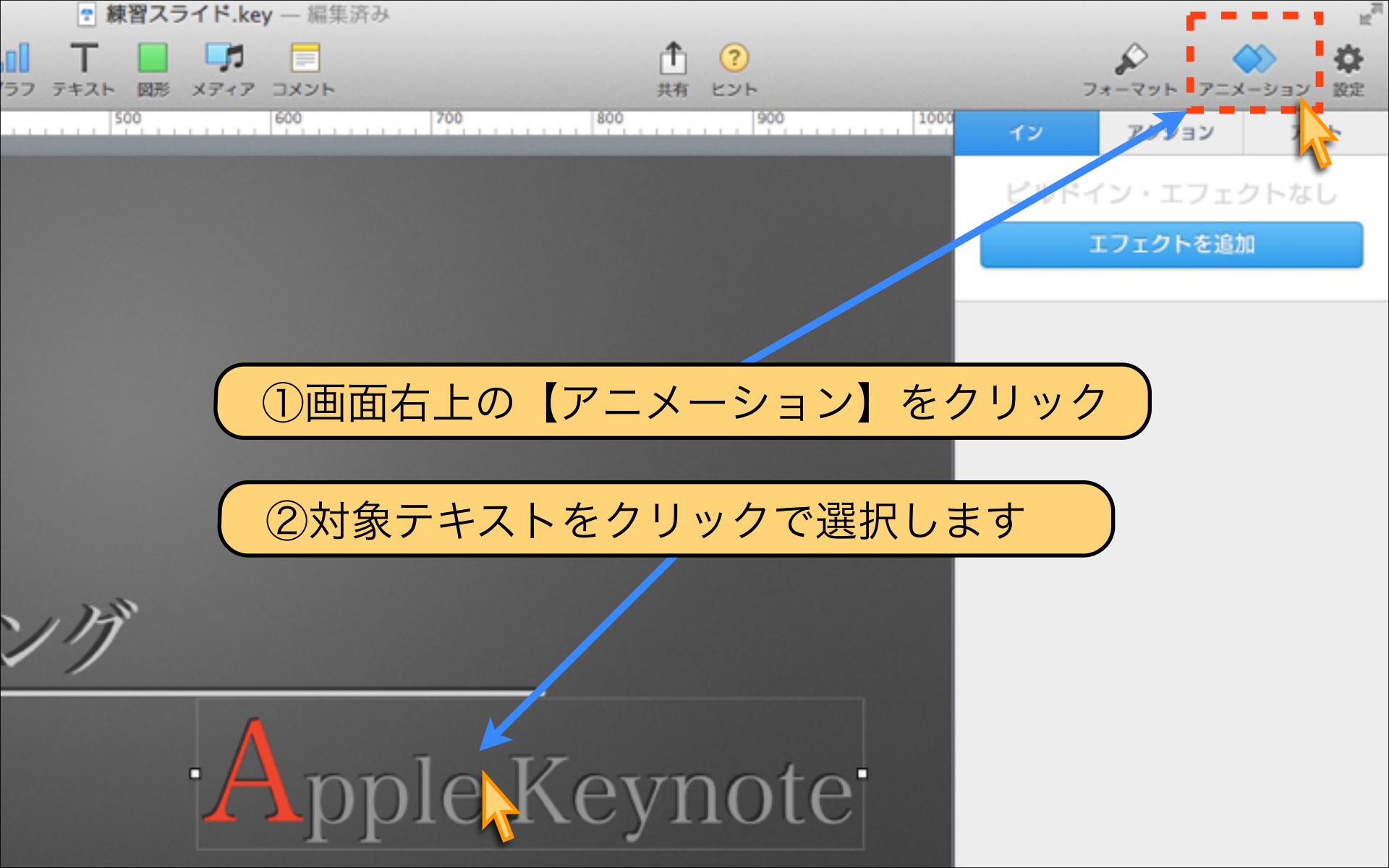
実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

①素材となる「スライドとテキスト」を用意しました

A screenshot of the Apple Keynote application interface. The main slide content includes the text '実践トレーニング' (Practical Training) in large black font, 'Apple Keynote' in red font, and the website 'Keynote-study.com' in small white font at the bottom. A yellow callout bubble with a black border and white text is positioned at the top right of the slide, containing the Japanese sentence '①素材となる「スライドとテキスト」を用意しました' (① Prepared 'slide and text' as material). The Keynote ribbon at the top has tabs for File, Edit, Insert, Slide, Format, Arrange, View, Play, Window, and Help. The left sidebar shows a list of slides numbered 1 to 6. The right sidebar contains slide master settings for 'アビランス' (Avatars) and '背景' (Background), and a button to 'マスタースライドを編集' (Edit Master Slide). The top center features a ruler with a scale from 0 to 1000 and icons for table, chart, text, shape, media, and comment.



①画面右上の【アニメーション】をクリック

②対象テキストをクリックで選択します

練習スライド.key — 編集済み

T テキスト 図形 メディア コメント

共有 ピント ブースマット ページーション 設定

500 600 700 800 900 1000

【ビルト設定には、三種類あります】

① ビルド・インスペクタが表示されました

① 【イン】 = 「登場」

② 【アクション】 =  
「表示中に動きを追加する」

③ 【アウト】 = 「消え方」

① ビルド・インスペクタが表示されました

① 【イン】 = 「登場」

② 【アクション】 =  
「表示中に動きを追加する」

③ 【アウト】 = 「消え方」

練習スライド.key — 編集済み

テキスト 図形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

500 600 700 800 900 1000 イン アクション アウト

ビルドイン・エフェクトなし

エフェクトを追加

① 今回は【イン（登場）】を設定します

② 【エフェクトを追加】をクリック

【用語解説】

「エフェクト」とは？

アニメーション（動画）に使用する映像効果のことです

Apple Keynote

Keynote ファイル 削除 嵌入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

①ビルド・イン【エフェクト一覧】が表示されました

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

フォーマット アニメーション 設定

イン アクション アウト

ビルドイン・エフェクトなし

エフェクトを追加

なし

最近使ったエフェクト

- ムーブイン
- ブラインド
- フライイン
- フェードと拡大縮小
- ドリフト

出現と移動

- ばかし
- タイフライター
- ディゾルブ
- ドリフト
- ドロップ
- フェードと拡大縮小
- フライイン
- ムーブイン
- ワイプ

出現

②好きな【エフェクト】をクリックで選択します

エフェクトを追加

✓ なし

最近使ったエフェクト

- ムーブイン
- ブラインド
- フライイン
- フェードと拡大縮小
- ドリフト

出現と移動

- ぼかし
- タイプライター
- ディゾルブ
- ドリフト
- ドロップ
- フェードと拡大縮小
- フライイン
- ムーブイン

プレビュー

# Apple Keynote

①今回は【ムーブイン】を選択します

練習スライド.key — 操作窓

グラフ テキスト 図形 メディア コ

500 600

① 【プレビュ】をクリックで  
何度でも再生できます

② 【エフェクトの詳細設定】が可能です  
選択したエフェクトによって  
設定項目は違います

③ 今回は「エフェクト継続時間」を  
[0.8秒]に設定します

フォーマット アニメーション 設定

イン アクション アウト

ムーブイン

変更 プレビュー

期間と方向

0.80秒

→ 左から右

□ パンプス

テキスト表示方式

文字ごと

正方向

順番 1

表示方式

① 【プレビュ】をクリックで  
何度でも再生できます

② 【エフェクトの詳細設定】が可能です  
選択したエフェクトによって  
設定項目は違います

③ 今回は「エフェクト継続時間」を  
[0.8秒]に設定します

Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 表示 大きく/小さく

スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000

1001

1002

1003

1004

1005

1006

1007

1008

1009

1010

1011

1012

1013

1014

1015

1016

1017

1018

1019

1020

1021

1022

1023

1024

1025

1026

1027

1028

1029

1030

1031

1032

1033

1034

1035

1036

1037

1038

1039

1040

1041

1042

1043

1044

1045

1046

1047

1048

1049

1050

1051

1052

1053

1054

1055

1056

1057

1058

1059

1060

1061

1062

1063

1064

1065

1066

1067

1068

1069

1070

1071

1072

1073

1074

1075

1076

1077

1078

1079

1080

1081

1082

1083

1084

1085

1086

1087

1088

1089

1090

1091

1092

1093

1094

1095

1096

1097

1098

1099

1100

1101

1102

1103

1104

1105

1106

1107

1108

1109

1110

1111

1112

1113

1114

1115

1116

1117

1118

1119

1120

1121

1122

1123

1124

1125

1126

1127

1128

1129

1130

1131

1132

1133

1134

1135

1136

1137

1138

1139

1140

1141

1142

1143

1144

1145

1146

1147

1148

1149

1150

1151

1152

1153

1154

1155

1156

1157

1158

1159

1160

1161

1162

1163

1164

1165

1166

1167

1168

1169

1170

1171

1172

1173

1174

1175

1176

1177

1178

1179

1180

1181

1182

1183

1184

1185

1186

1187

1188

1189

1190

1191

1192

1193

1194

1195

1196

1197

1198

1199

1200

1201

1202

1203

1204

1205

1206

1207

1208

1209

1210

1211

1212

1213

1214

1215

1216

1217

1218

1219

1220

1221

1222

1223

1224

1225

1226

1227

1228

1229

1230

1231

1232

1233

1234

1235

1236

1237

1238

1239

1240

1241

1242

1243

1244

1245

1246

1247

1248

1249

1250

1251

1252

1253

1254

1255

1256

1257

1258

1259

1260

1261

1262

1263

1264

1265

1266

1267

1268

1269

1270

1271

1272

1273

1274

1275

1276

1277

1278

1279

1280

1281

1282

1283

1284

1285

1286

1287

1288

1289

1290

1291

1292

1293

1294

1295

1296

1297

1298

1299

1300

1301

1302

1303

1304

1305

1306

1307

1308

1309

1310

1311

1312

1313

1314

1315

1316

1317

1318

1319

1320

1321

1322

1323

1324

1325

1326

1327

1328

1329

1330

1331

1332

1333

1334

1335

1336

1337

1338

1339

1340

1341

1342

1343

1344

1345

1346

1347

1348

1349

1350

1351

1352

1353

1354

1355

1356

1357

1358

1359

1360

1361

1362

1363

1364

1365

1366

1367

1368

1369

1370

1371

1372

1373

1374

1375

1376

1377

1378

1379

1380

1381

1382

1383

1384

1385

1386

1387

1388

1389

1390

1391

1392

1393

1394

1395

1396

1397

1398

1399

1400

1401

1402

1403

1404

1405

1406

1407

1408

1409

1410

1411

1412

1413

1414

1415

1416

1417

1418

1419

1420

1421

1422

1423

1424

1425

1426

1427

1428

1429

1430

1431

1432

1433

1434

1435

1436

1437

1438

1439

1440

1441

1442

1443

1444

1445

1446

1447

1448

1449

1450

1451

1452

1453

1454

1455

1456

1457

1458

1459

1460

1461

1462

1463

1464

1465

1466

1467

1468

1469

1470

1471

1472

1473

1474

1475

1476

1477

1478

1479

1480

1481

1482

1483

1484

1485

1



## 【ビルドの変更と消去】

- ① 【変更】をクリックで  
「ビルドの変更」と「消去」ができます



- ② 「設定したビルドの消去」は  
選択メニューの【なし】をクリック

ドリフト

出現と移動

ぼかし

タイプライター

ディゾルブ

ドリフト

パローブ

Keynote ファイル 削除 新規 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 表示 大きい/小さく スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

5

6

+

【他のテキストや図形にもビルトを追加】

①テキストに「レンズフレア」を設定

実践トレーニング

Apple Keynote

②図形（線）に「レンズフレア」を設定

【POINT】ビルト・アニメーションは、テキストだけではなく、図形にも設定できます

フォーマット アニメーション 設定

イン アクション アウト

レンズフレア 変更 プレビュー

期間と方向

1.00秒

→ 左から右

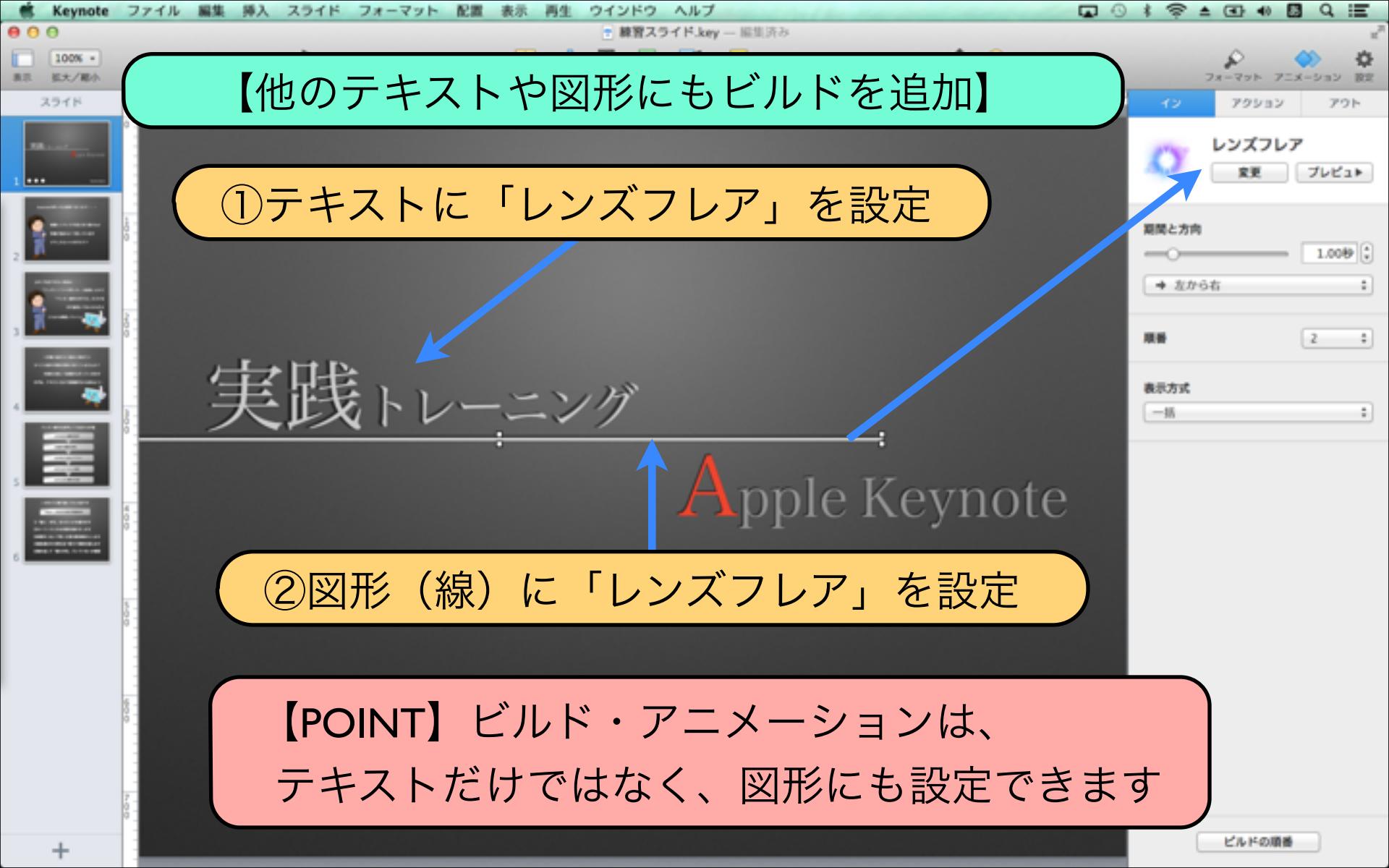
順番

2

表示方式

一括

ビルトの項目



## 【Keynoteの強みはアニメーション①】



PowerPointとKeynoteアニメーションを比較すると  
Keynoteの方が特徴的なエフェクトが豊富です。  
ビルド・アニメーション機能を使って、  
動画のオープニングタイトル作成にも応用できます。

# Lesson Keynote

Lesson 5-2

ビルド順番の入れ替え

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

【アニメーション解説】「ビルドの順番設定」とは？

複数のテキスト＆図形にビルド設定すると

再生させる順番を設定する必要があります

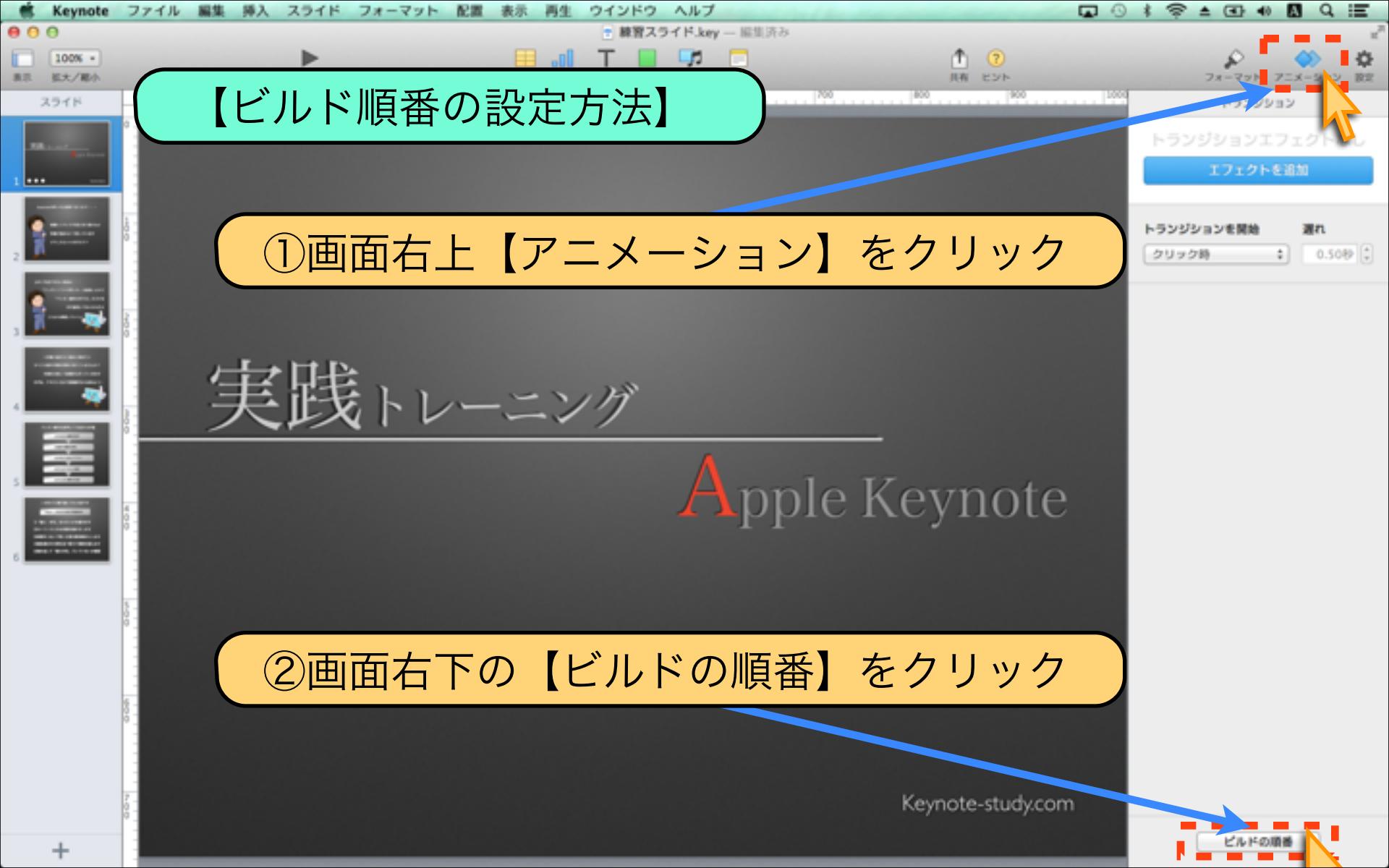
1番目に表示したいテキスト

実践トレーニング

Apple Keynote

2番目に「線」を表示したい

3番目に表示したいテキスト



②画面右下の【ビルドの順番】をクリック

Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

100% 100% 100% 100% 100% 100%

表示 大きい/小さい

スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000

1001

1002

1003

1004

1005

1006

1007

1008

1009

1010

1011

1012

1013

1014

1015

1016

1017

1018

1019

1020

1021

1022

1023

1024

1025

1026

1027

1028

1029

1030

1031

1032

1033

1034

1035

1036

1037

1038

1039

1040

1041

1042

1043

1044

1045

1046

1047

1048

1049

1050

1051

1052

1053

1054

1055

1056

1057

1058

1059

1060

1061

1062

1063

1064

1065

1066

1067

1068

1069

1070

1071

1072

1073

1074

1075

1076

1077

1078

1079

1080

1081

1082

1083

1084

1085

1086

1087

1088

1089

1090

1091

1092

1093

1094

1095

1096

1097

1098

1099

1100

1101

1102

1103

1104

1105

1106

1107

1108

1109

1110

1111

1112

1113

1114

1115

1116

1117

1118

1119

1120

1121

1122

1123

1124

1125

1126

1127

1128

1129

1130

1131

1132

1133

1134

1135

1136

1137

1138

1139

1140

1141

1142

1143

1144

1145

1146

1147

1148

1149

1150

1151

1152

1153

1154

1155

1156

1157

1158

1159

1160

1161

1162

1163

1164

1165

1166

1167

1168

1169

1170

1171

1172

1173

1174

1175

1176

1177

1178

1179

1180

1181

1182

1183

1184

1185

1186

1187

1188

1189

1190

1191

1192

1193

1194

1195

1196

1197

1198

1199

1200

1201

1202

1203

1204

1205

1206

1207

1208

1209

1210

1211

1212

1213

1214

1215

1216

1217

1218

1219

1220

1221

1222

1223

1224

1225

1226

1227

1228

1229

1230

1231

1232

1233

1234

1235

1236

1237

1238

1239

1240

1241

1242

1243

1244

1245

1246

1247

1248

1249

1250

1251

1252

1253

1254

1255

1256

1257

1258

1259

1260

1261

1262

1263

1264

1265

1266

1267

1268

1269

1270

1271

1272

1273

1274

1275

1276

1277

1278

1279

1280

1281

1282

1283

1284

1285

1286

1287

1288

1289

1290

1291

1292

1293

1294

1295

1296

1297

1298

1299

1300

1301

1302

1303

1304

1305

1306

1307

1308

1309

1310

1311

1312

1313

1314

1315

1316

1317

1318

1319

1320

1321

1322

1323

1324

1325

1326

1327

1328

1329

1330

1331

1332

1333

1334

1335

1336

1337

1338

1339

1340

1341

1342

1343

1344

1345

1346

1347

1348

1349

1350

1351

1352

1353

1354

1355

1356

1357

1358

1359

1360

1361

1362

1363

1364

1365

1366

1367

1368

1369

1370

1371

1372

1373

1374

1375

1376

1377

1378

1379

1380

1381

1382

1383

1384

1385

1386

1387

1388

1389

1390

1391

1392

1393

1394

1395

1396

1397

1398

1399

1400

1401

1402

1403

1404

1405

1406

1407

1408

1409

1410

1411

1412

1413

1414

1415

1416

1417

1418

1419

1420

1421

1422

1423

1424

1425

1426

1427

1428

1429

1430

1431

1432

1433

1434

1435

1436

1437

1438

1439

1440

1441

1442

1443

1444

1445

1446

1447

1448

1449

1450

1451

1452

1453

1454

1455

1456

1457

1458

1459

1460

1461

1462

1463

1464

1465

1466

1467

1468

1469

1470

1471

1472

1473

1474

1475

1476

1477

1478

1479

1480

1481

1482

14



- ①テキストをクリックすると、「ビルトの順番ウインドウ」に【青く反転表示】されます

## 【ビルドの順番ウインドウの解説】

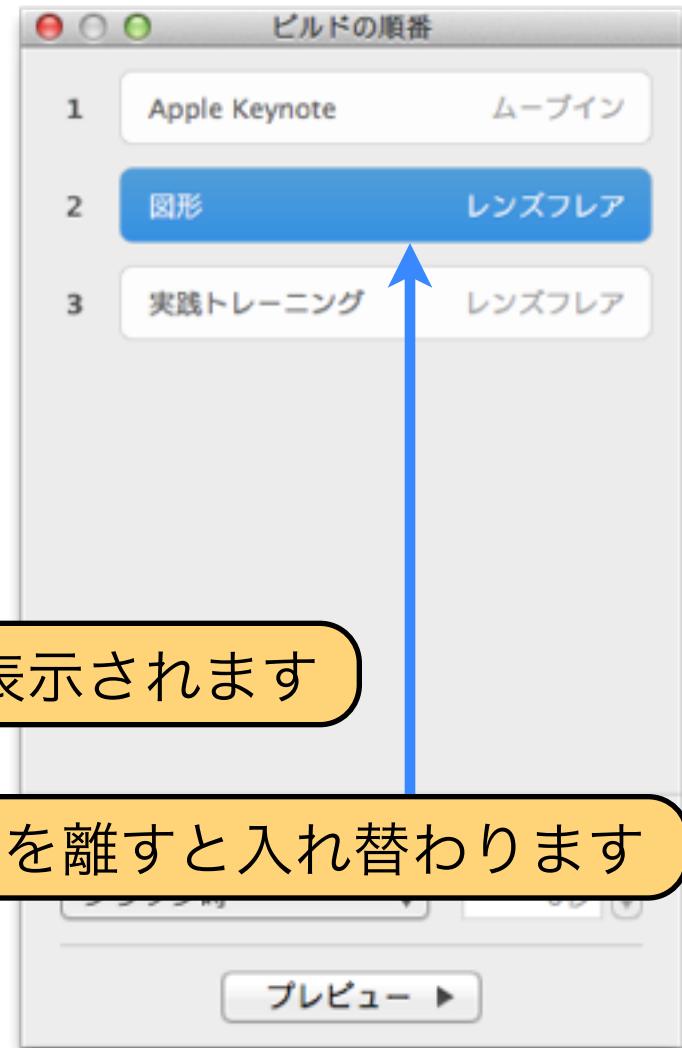
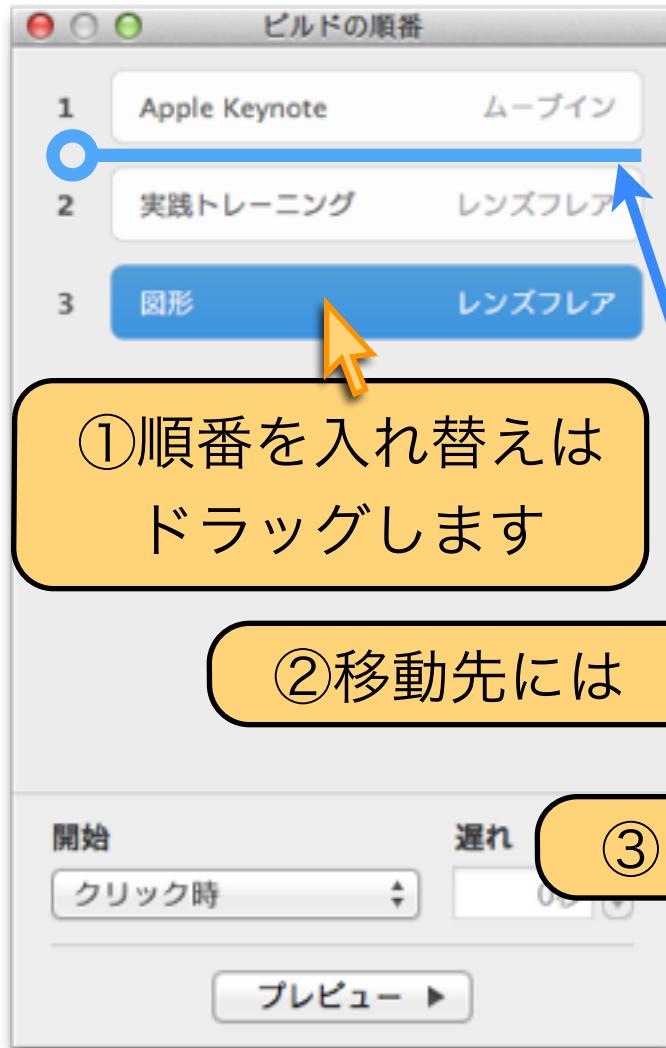
①番号順にビルドが再生されます

②「テキストの最初の文字列」と  
「設定したエフェクト名」が  
表示されます

③上から番号にビルドが再生されます



# 【ビルドの順番変更】



①ビルドの順番を入れ替えました

# Apple Keynote

②ビルド以外の【空白場所をクリック】  
して個別選択を外します

③【プレビュー】をクリックして、ビルドを再生して確認します



## 【ビルドの開始タイミングの設定】

### 【アニメーション解説】

「ビルドの開始タイミング」とは？

ビルドアニメーションを設定した後に、  
どのタイミングで再生を開始するのか  
細かく設定する機能です。



① 【クリック時】とは  
自分でクリックしてビルドをスタート

② 【ビルド1と同時】とは  
前のビルドと同時にスタート

③ 【ビルド1の後】とは  
前のビルドが終わると自動的にスタート

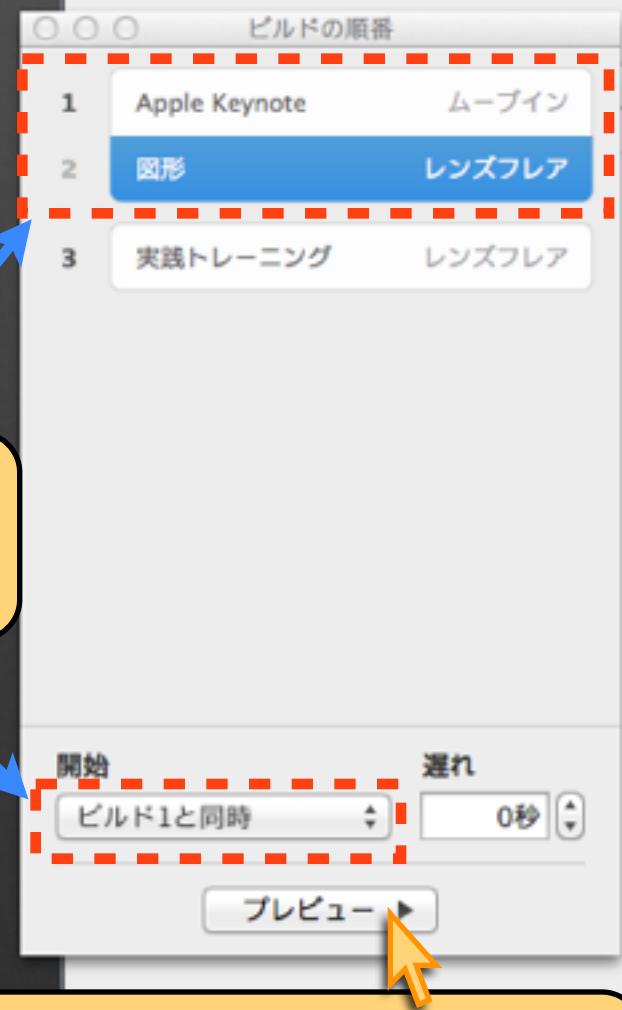
④ 今回は「ビルド1と同時」を選択します



ング

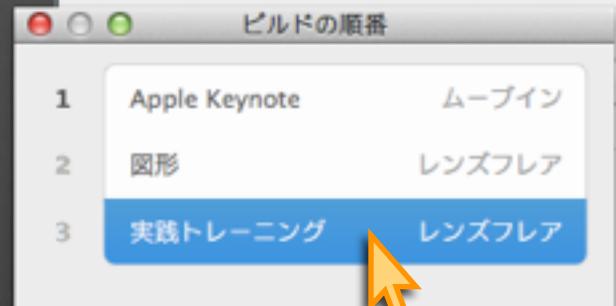
# Apple Keynote

① 「ビルド 1 と同時」を選択すると  
表示が切り替わります



② 【プレビュー】をクリックして確認します

# Apple Keynote



① 続いて、次の項目をクリックして設定します

② 今回は【ビルド 2 の後】を選択します

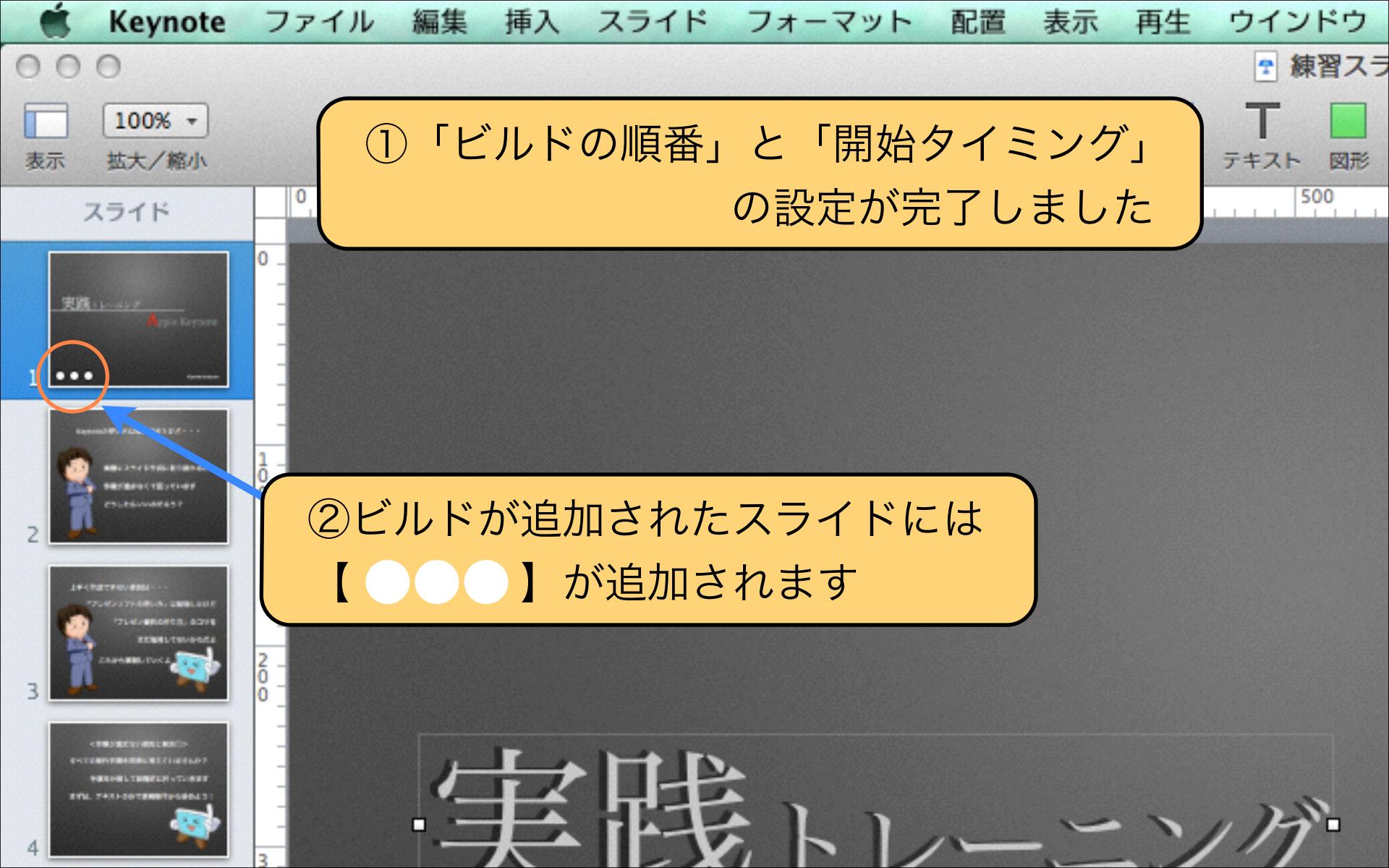


③ 【遅れ】とは、前ビルト終了後の何秒後に再生するかの設定。

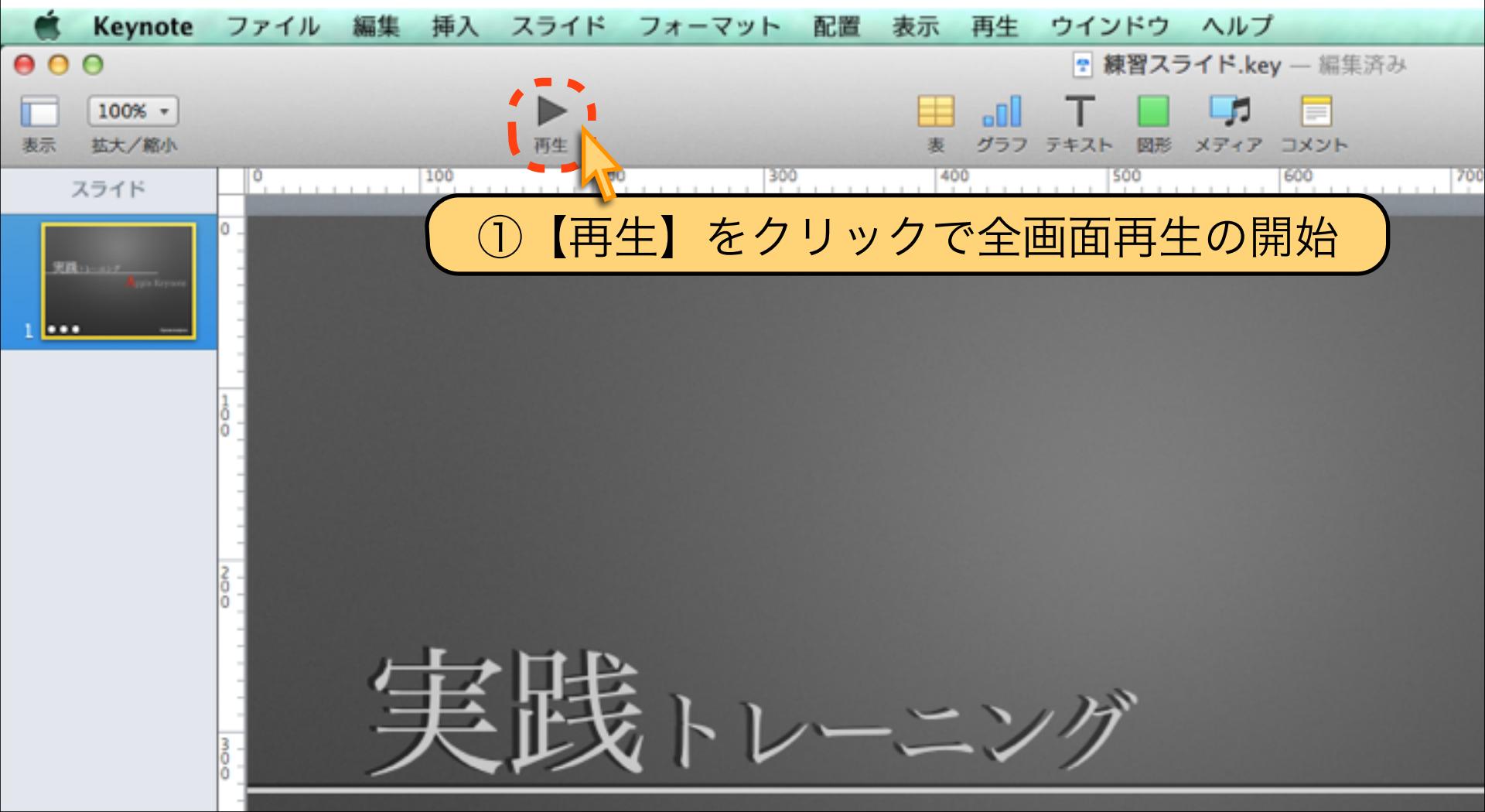
今回は「0.30秒」に設定しました。

①「ビルドの順番」と「開始タイミング」の設定が完了しました

②ビルドが追加されたスライドには【●●●】が追加されます



## 【全画面表示で再生して確認する方法】



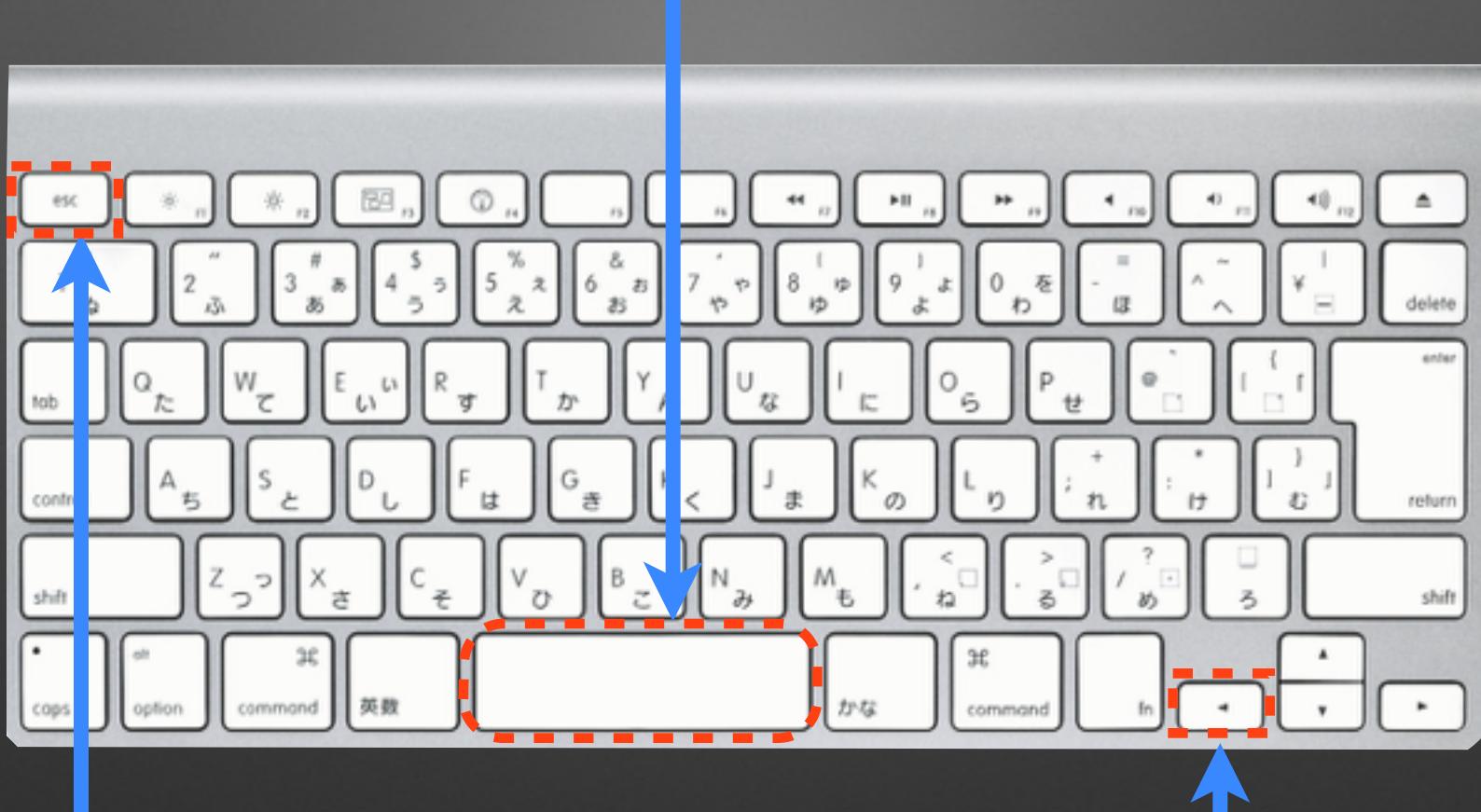
①全画面モードに切り替わりました

②【スペースキー】でテキストが登場して再生開始です

③【スペースキー】を押す度に、次のアニメーションへ

④再生を中止したい場合は、【ESCキー】です

① 「次のアニメーション再生開始」 = [スペースキー]



② 「再生中止」 = [ESCキー]

③ 「前に戻る」 = [◀キー]

## 【Keynoteの強みはアニメーション②】



Keynoteはプレゼンテーション作成ソフトですが  
アニメーション機能が充実しているので  
映像制作ソフトとして活用することが出来ます。  
スライドを動画にしてYouTube配信も可能です。

# Lesson Keynote

Lesson 5-3

トランジション設定

keynote-study.com

今回は、切替え映像効果【トランジション】について説明します

【用語解説】 「トランジション」とは？

次のスライドへ切り替える時に、スライド全体に設定するアニメーション効果です

実践トレーニング

スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

5

0 100 200 300 400 500

# 【トランジションの設定】

① 設定するスライドをクリック

【POINT】

例えば、1番→2番の切り替えに  
トランジションを設定するには  
1番スライドをクリックして設定します

② 【アニメーション】をクリック

Keynote-study.com

トランジションエフェクトなし

エフェクトを追加



① 【エフェクトを追加】をクリック

## 【用語解説】

「エフェクト」とは？

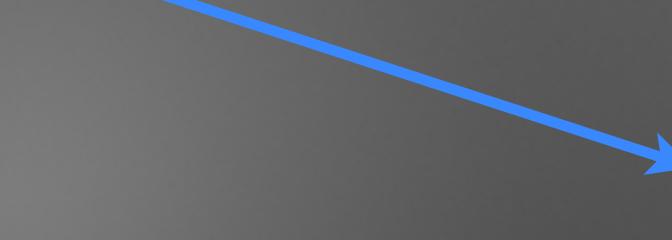
アニメーション（動画）に使用する映像効果のことです

Apple Keynote

Keynote ファイル 削除挿入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key — 編集済み

①トランジションの【エフェクト一覧】が表示されました



トランジションエフェクトなし  
エフェクトを追加

- なし
- 最近使ったエフェクト
- クローズライン
- カラーでフェード
- オブジェクトブッシュ
- オブジェクトキューブ
- シマー
- マジックムーブ
- テキストのエフェクト
- シマー
- スwing
- スパークル
- オブジェクトのエフェクト
- オブジェクトの拡大縮小
- オブジェクトキューブ
- オブジェクトブッシュ
- オブジェクトフリップ
- オブジェクトボップ
- エラ感
- トランジション
- カラーでフェード
- クローズライン
- コンフェッチ
- ディジルブ
- ドロップ
- ブッシュ
- ムーブイン
- リピール
- ワイプ
- ループ

②好きな【エフェクト】をクリックで選択します



実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

トランジションエフェクトなし

エフェクトを追加

テキストのエフェクト

シマー

スwing

スパークル

オブジェクトのエフェクト

オブジェクトの拡大縮小

プレビュー

オブジェクトトランジション



①今回は【オブジェクトの拡大縮小】を選択します

オブジェクトトランジション

オブジェクトポップ

遠近感

出現と移動

カラーでフェード

クローズライン

コンフェッチ

マークアーチ

# Apple Keynote

練習スライド.key — 操作窓

グラフ テキスト 図形 メディア コード

500 600

① 【プレビュ】をクリックで  
何度でも再生できます

② 【エフェクトの詳細設定】が可能です  
選択したエフェクトによって  
設定項目は違います

③ 今回は「エフェクト継続時間」を  
[3.00秒]に設定します

オブジェクトの拡大縮小

変更 プレビュー

継続時間 3.00秒

トランジションを開始 クリック時 遅れ 0.50秒

説明

トランジション

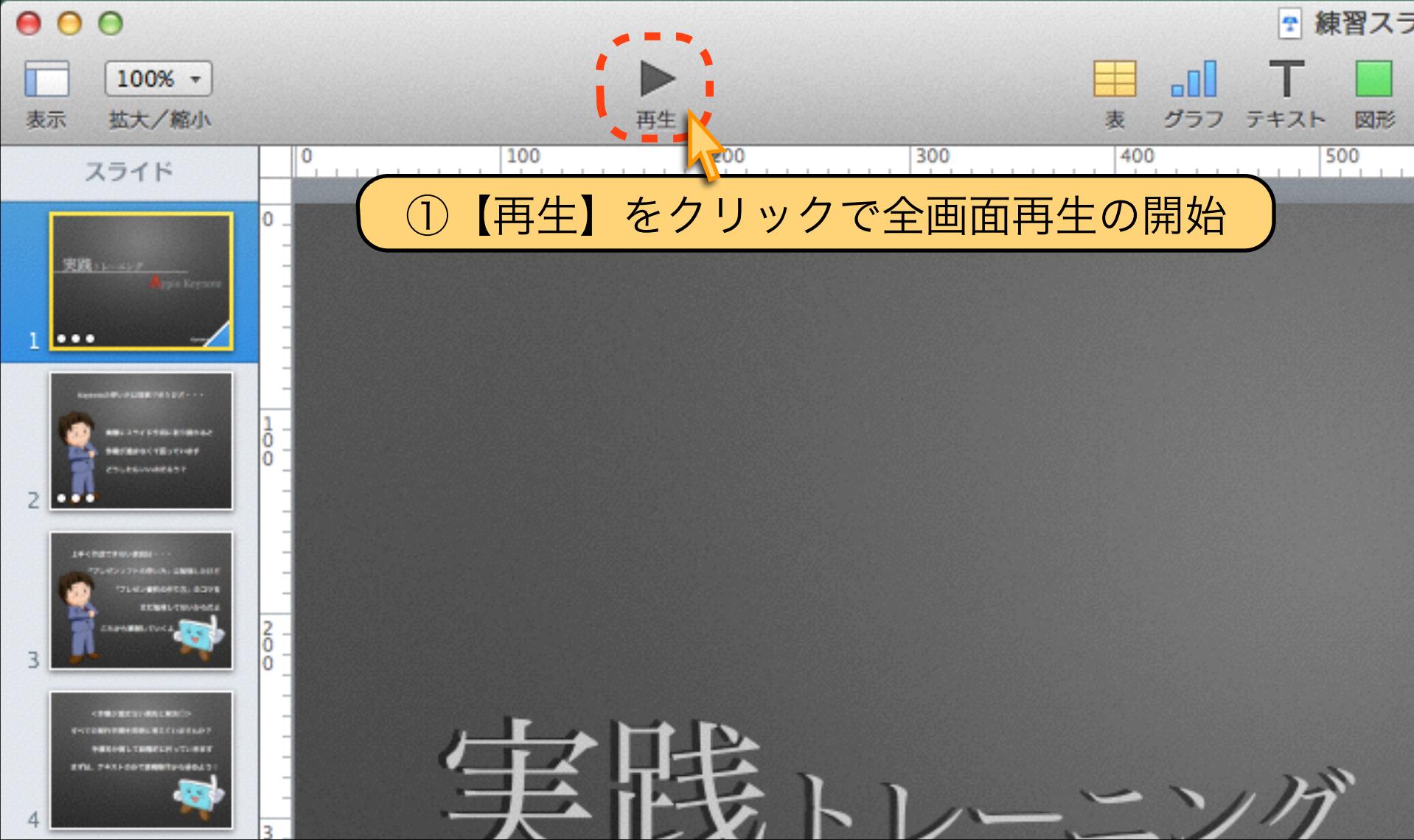
設定

このスクリーンショットは、プレゼンテーション編集ソフトウェアの操作窓を示しています。左側には「練習スライド.key」というスライドが表示されています。上部メニューには「グラフ」「テキスト」「図形」「メディア」「コード」があります。右側には「オブジェクトの拡大縮小」、「トランジション」、「設定」などのツールが並んでいます。主な操作パネルは「トランジション」で、ここには「オブジェクトの拡大縮小」、「変更」、「プレビュー」ボタンがあります。また、「継続時間」（3.00秒）、「トランジションを開始」（クリック時）、「遅れ」（0.50秒）などの設定項目があります。各段落には青い矢印が付いており、操作手順を示しています。



①「トランジション」の設定が完了しました

②トランジションが設定されたスライドには  
【 ▲ 】が追加されます



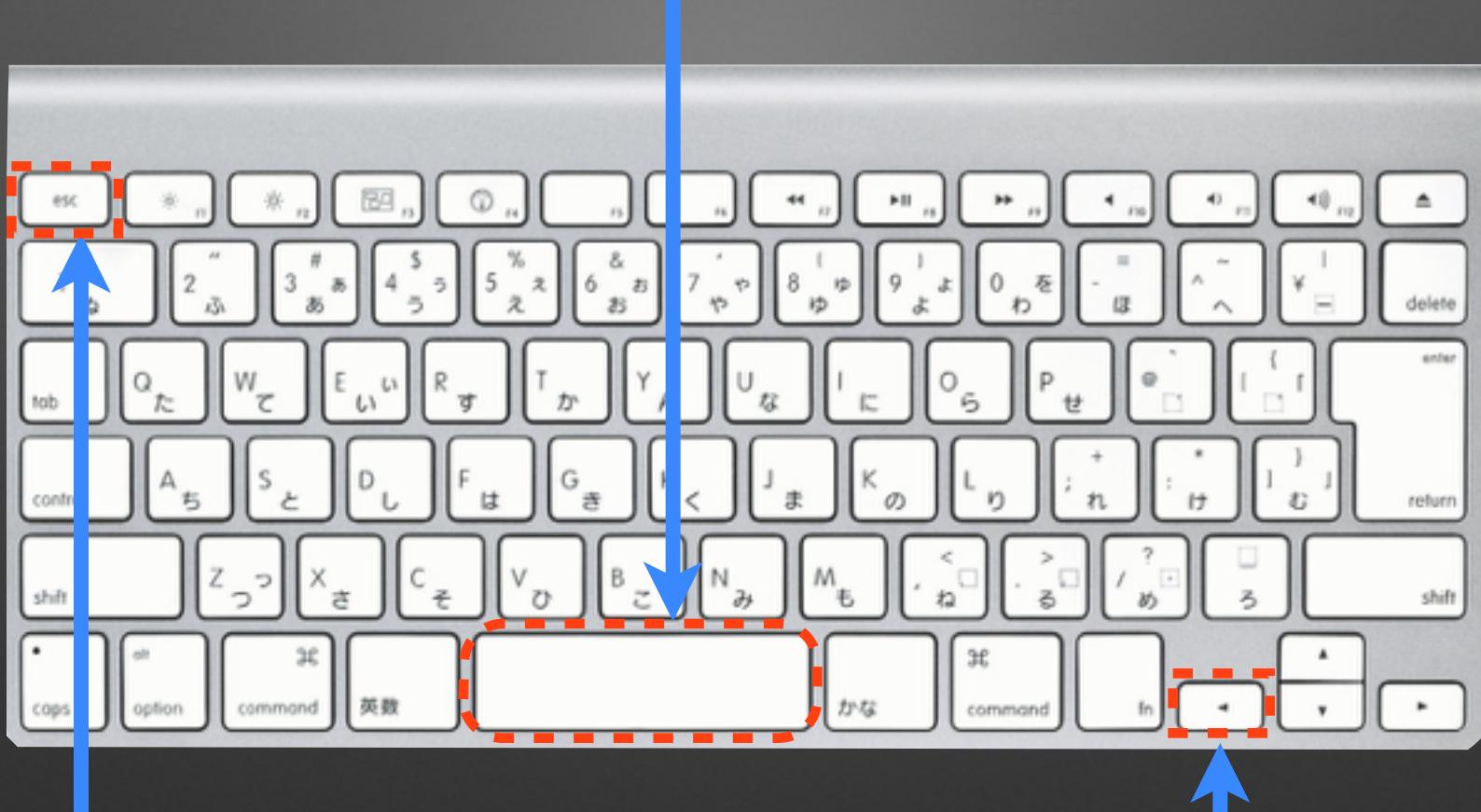
①全画面モードに切り替わりました

②【スペースキー】でテキストが登場して再生開始です

③【スペースキー】を押す度に、次のアニメーションへ

④再生を中止したい場合は【ESCキー】です

① 「次のアニメーション再生開始」 = [スペースキー]



② 「再生中止」 = [ESCキー]

③ 「前に戻る」 = [◀キー]

## 【Keynoteの強みはアニメーション③】



Keynoteで作成したスライドアニメーションを  
【再生】 – 【スライドショーを記録】した後  
【ファイル】 – 【書き出す】 – 【QuickTime】  
動画ファイルとして書き出すことも可能です

Lesson 6-1 PowerPointとのやりとり

keynote-study.com

## 【KeynoteとPowerPointとのデータのやり取りを解説します】

### 【POINT①：KeynoteとPowerPointのデータ互換性】

- ・PowerPointデータは、Keynoteで開いて編集できます。
- ・逆にKeynoteデータは、PowerPointで編集できません。

### 【POINT②：MacとWindowsの対応状況】

- ・Microsoft PowerPointは、Windows版・Mac版の両方を発売。
- ・Apple Keynoteは、Mac版のみ。Windows版はありません。

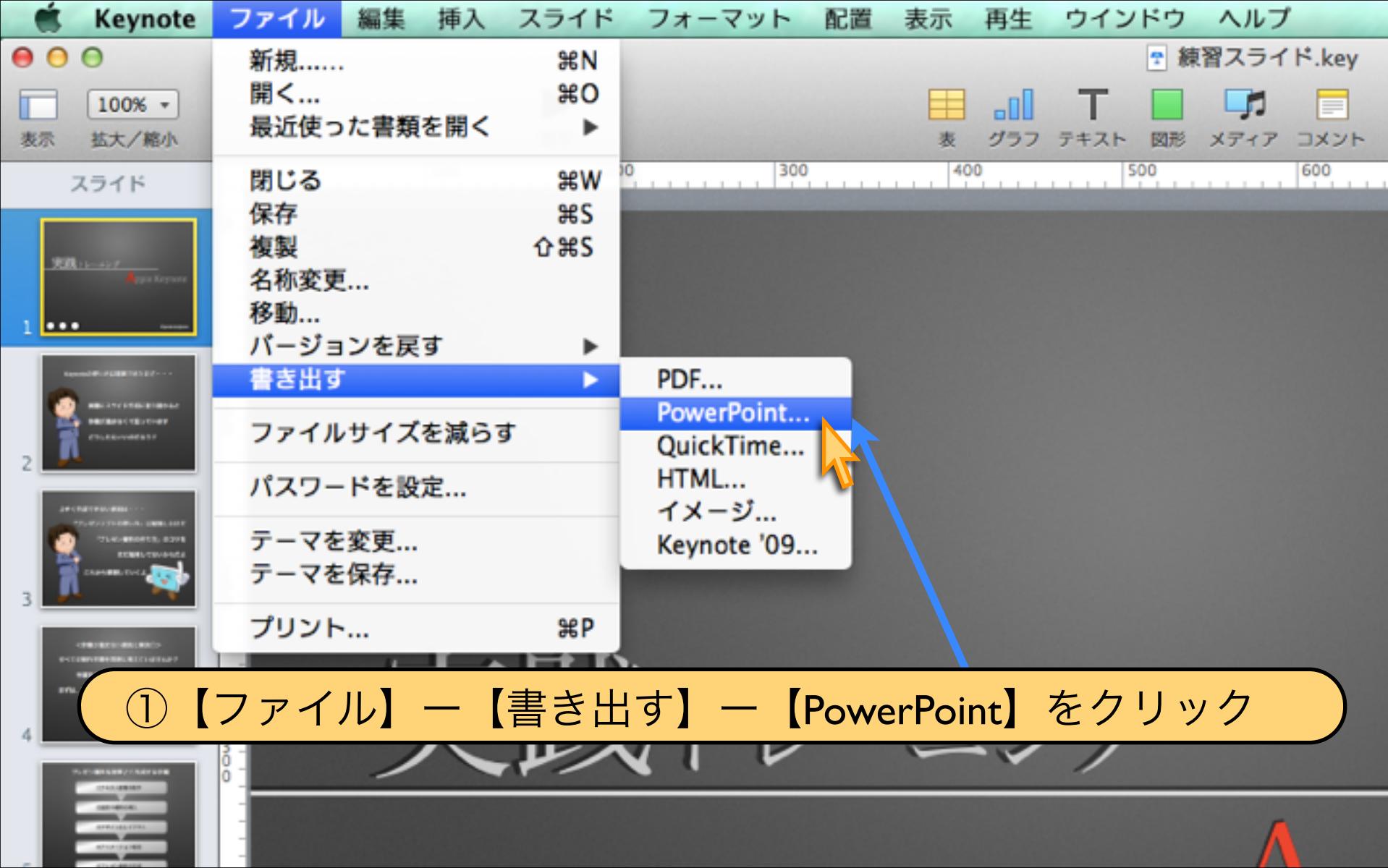
## 【WindowsユーザーにKeynoteデータを渡す場合】

KeynoteはKeynoteで作成したスライドを、  
PowerPointデータ形式 (.ppt) として保存が可能です。  
保存したPowerPoint形式 (.ppt) を、そのまま渡せば  
Windows版PowerPointで閲覧・編集ができます。

## 【WindowsユーザーからPowerPointデータを貰う場合】

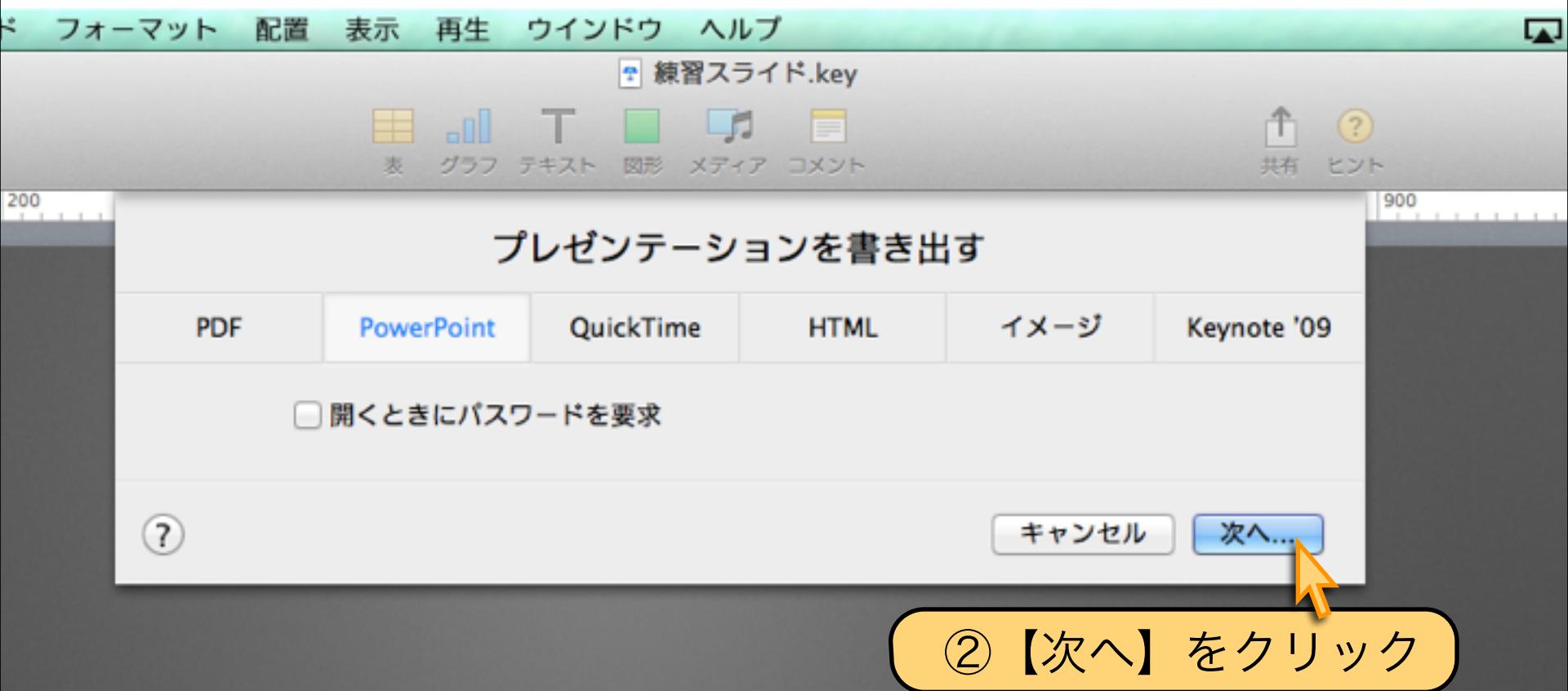
KeynoteはPowerPointデータに対応しています。  
WindowsのPowerPointで作成したデータを受け取ったら、  
そのままMacのKeynoteで開いて編集することができます。





① 【ファイル】 – 【書き出す】 – 【PowerPoint】 をクリック

① 「プレゼンテーションを書き出す」 ウィンドウが表示されました



① 「ファイル名」と「保存先」を指定します

名前: 練習スライド

タグ:

デスクトップ

よく使う項目

アプリケーション

デスクトップ

書類

ダウンロード

ムービー

ミュージック

ピクチャ

デバイス

新規フォルダ

キャンセル

書き出し

② 今回は、デスクトップに  
「練習スライド」で保存します

③ 【書き出し】をクリック



PowerPoint ファイルを作成中...

キャンセル

①PowerPointファイルが作成されていきます

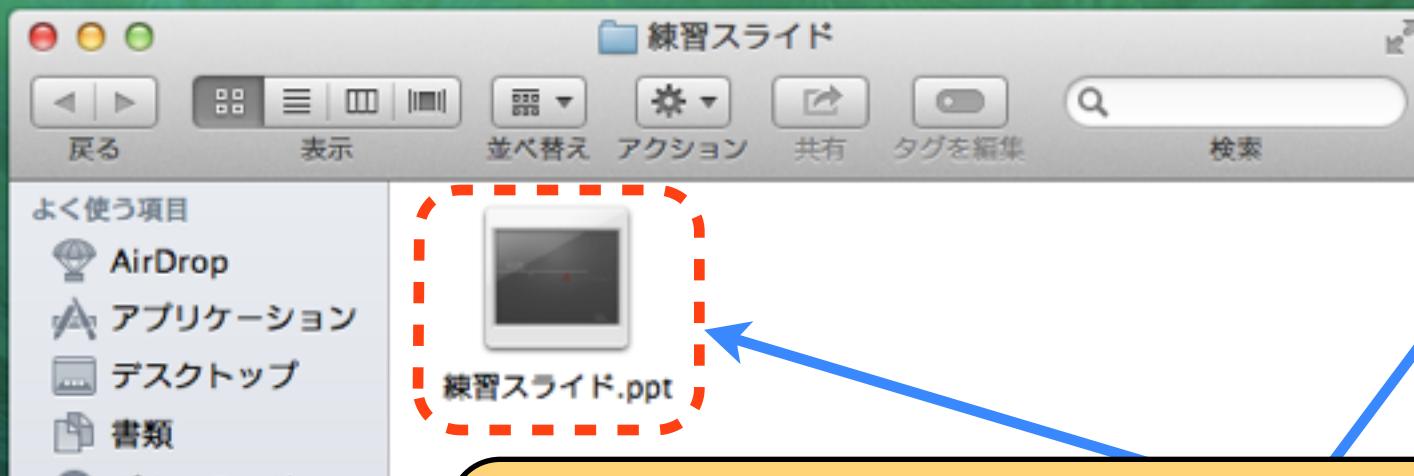
②ウィンドウが消えたら、作成完了です

実践トレーニング

Apple Keynote

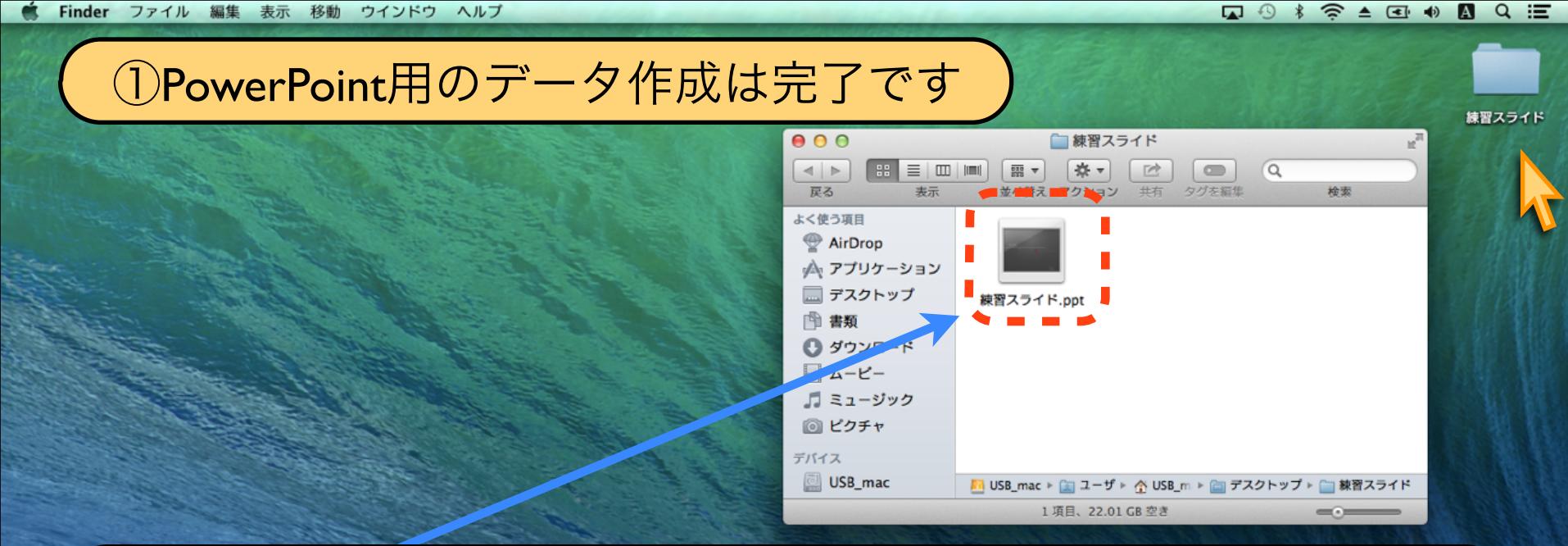
①デスクトップ画面を表示します

②フォルダが作成されています



③ダブルクリックでフォルダを展開すると  
「練習スライド.ppt」が確認できます

【POINT】ファイル名の後「.ppt」とは  
PowerPoint用データを示す拡張子と呼ばれる部分です



①PowerPoint用のデータ作成は完了です

②メールの添付ファイルでPowerPointユーザーへ送りましょう

**【POINT】** データ容量が大きなファイルの場合

データ容量が大きくて、メールでは送信できない時には  
「Dropbox」等の共有機能を使って渡すことができます

## 【KeynoteデータをPowerPointへ渡す時の注意点①】

### 【注意①：フォントの自動変換】

Macのキーノートで使用したフォントが、Windowsにない場合が多く、フォントが自動的に変換されます。

フォントが変換されてしまうと、スライドデザインの印象は随分変わってしまいます。

Macの【ヒラギノ明朝・ゴシック】フォントは、Windowsでは【MS明朝・MSゴシック】へ変換されます。

## 【KeynoteデータをPowerPointへ渡す時の注意点②】

【注意②：アニメーション効果が再現されない】

キーノートで設定したビルドやトランジションは  
パワーポイントでは、殆ど再現されません。

キーノートに搭載されているエフェクトと  
パワーポイントに搭載されているエフェクトが違う為、  
自動的にエフェクトが変換されてしまいます。

アニメーション効果を重視する方は、覚えておきましょう

## 【データのやり取りと手直しのコツ】



KeynoteとPowerPointとの違いや注意点がわかると  
Keynoteで概要を作成し、相手側（PowerPoint）で  
確認や修正後、再びKeynoteエフェクトで仕上げる。  
注意点を知っておくことでトラブルが防げます。

Lesson 6-2 スマホで見れるPDF作成

keynote-study.com

## 【Keynoteファイルをスマートフォンで閲覧する方法を解説します】

### 【仕事の活用法】

例えば・・・Keynoteで作成した資料の内容を、上司に確認して欲しい場合に、スマートフォンが便利です。しかし、スマートフォンはiPhoneとAndroidの二種類がありインストールされているアプリも人によって違います。相手のスマートフォンに合わせたデータ形式を紹介します。

## 【Keynoteデータをスマホで閲覧する方法①】



### 【スマホで閲覧①：iPhone編】

- ・ iPhoneならメールに添付されたKeynoteファイルをそのまま閲覧できます。
- ・ 更にiPhone版Keynoteアプリをインストールすることで編集も可能になります。
- ・ iPhoneとKeynoteは同じApple社から提供されています

## 【Keynoteデータをスマホで閲覧する方法②】



### 【スマホで閲覧②：Android編】

- ・Androidは、Keynoteファイルをそのままでは閲覧できません。
- ・渡す前にKeynoteファイルをPDF形式で変換して渡すことで閲覧が可能になります
- ・Android用アプリにKeynoteは提供されていないので、編集することはできません。

## 【KeynoteファイルをPDF形式に保存する方法】

①作成済みのスライドを用意しました

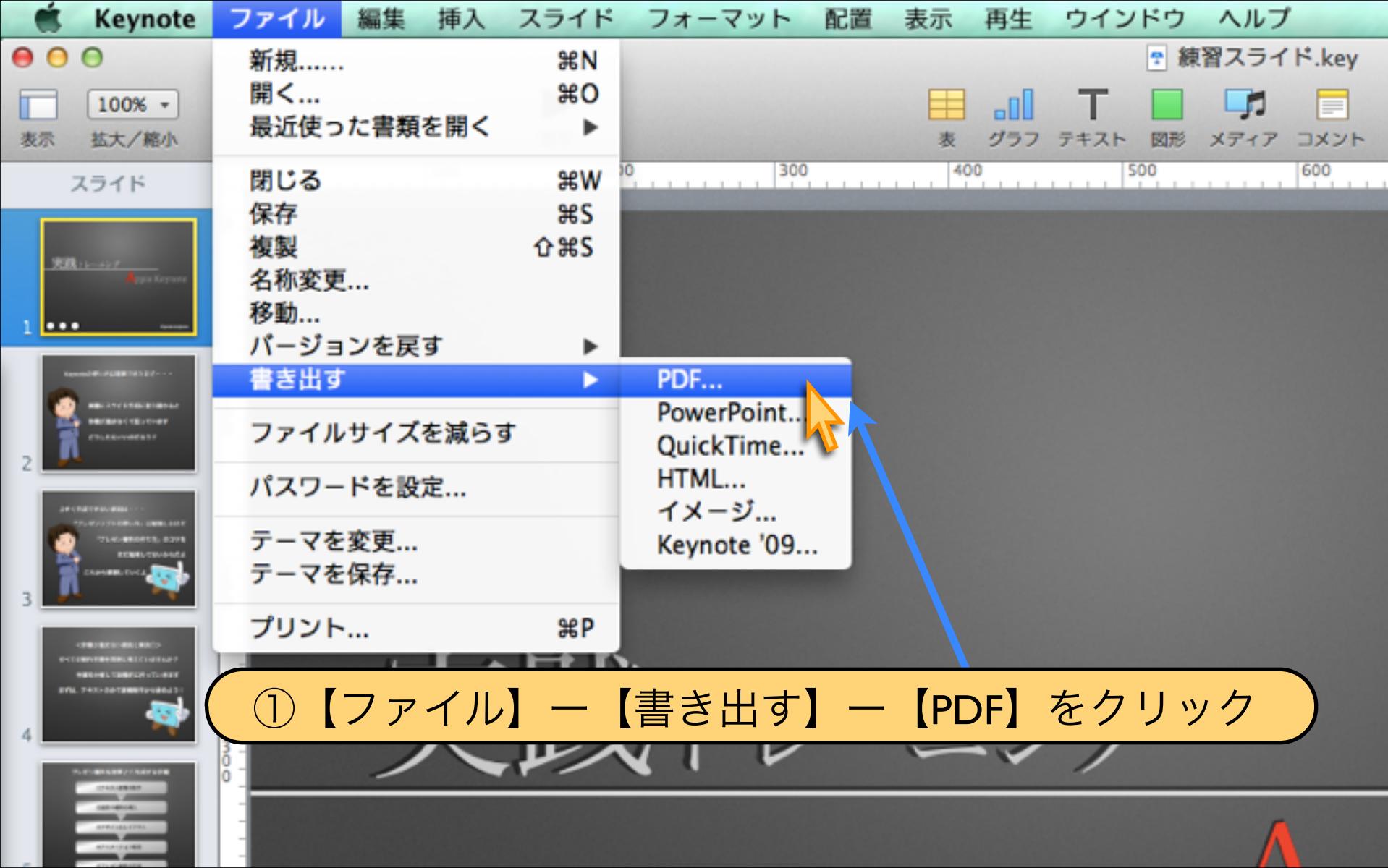
実践トレーニング

---

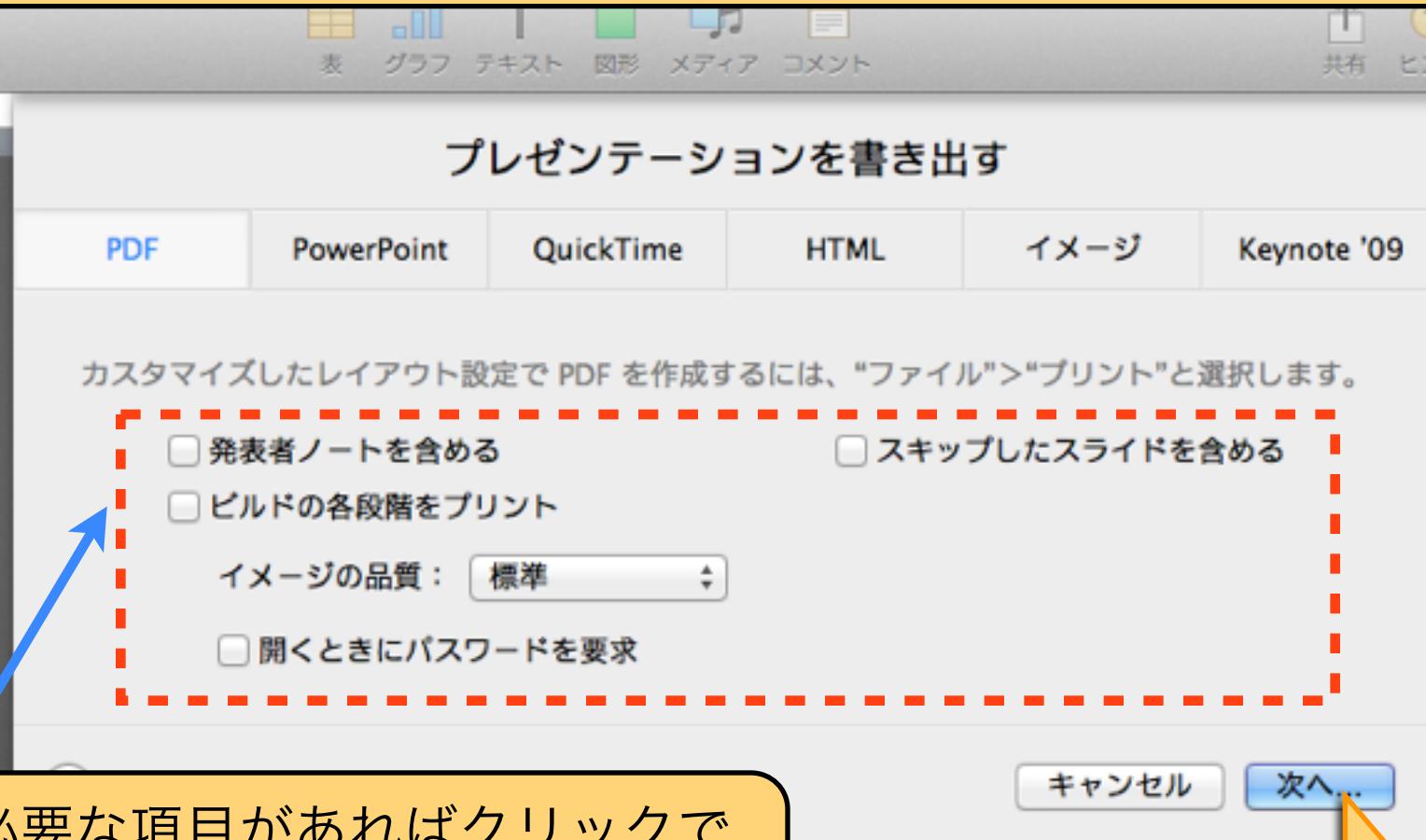
Apple Keynote

【POINT：PDFファイル形式のメリット・デメリット】

- ・どの端末でも、レイアウトが崩れることはありません。
- ・アニメーションは削除され、スライドのみの閲覧です。
- ・PDFに書き加えるには、専用アプリが必要です。



## ① 「プレゼンテーションを書き出す」 ウィンドウが表示されました



② 必要な項目があればクリックでチェックマークを入れます

③ 【次へ】をクリック

① 「ファイル名」と「保存先」を指定します

名前: 練習スライド.pdf

タグ:

デスクトップ

よく使う項目

アプリケーション

デスクトップ

書類

ダウンロード

ムービー

ミュージック

ピクチャ

デバイス

新規フォルダ

キャンセル

書き出し

② 今回は、デスクトップに  
「練習スライド」で保存します

【注意】 ファイル名の後の  
「.pdf」を誤って削除しないように

③ 【書き出し】をクリック



PDF ファイルを作成中...



キャンセル

①PDFファイルが作成されていきます

②ウィンドウが消えたら、作成完了です

実践トレーニング

Apple Keynote



①デスクトップ画面を表示します

②「練習スライド.pdf」が作成されました

③ファイルをダブルクリックすると  
ファイルの中身が確認できます



### 【スマホの仕組み解説】

ファイル名の後「.pdf」はPDF形式のファイルを示す「拡張子」（かくちょうし）と呼ばれる部分です。スマホやWindowsでは、この拡張子を判断してPDF形式に対応したアプリでファイルを開きます。

練習スライド.pdf



1



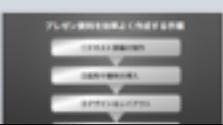
2



3



4



①Macでは、PDFファイルの閲覧は  
「プレビュー」というソフトが起動します

# 実践トレーニング

## Apple Keynote

②アニメーションは削除されますが、  
レイアウトはそのまま再現されています

①PDF形式のファイル作成は完了です

練習スライド.pdf

②メールの添付ファイルでスマートフォンへ送信しましょう

### 【POINT】

Androidだけでなく、iPhone、Windowsでも  
PDFファイルは機種に関係なく閲覧できます。  
スライド内容を確認して欲しい相手側の端末が  
わからない場合には、PDF形式は便利です。

## 【他の人とのデータのやり取り】



Keynoteデータを、他の人とやりとりする場合は、

- ・ 内容の編集が必要な場合は、PowerPoint形式
- ・ 確認のみでOKなら、PDF形式

目的と相手の環境に合わせて選択しましょう



## Lesson 7-1 プロジェクター接続準備

keynote-study.com

【プロジェクターやモニターへの接続準備を解説します】

①プロジェクターが対応している接続方法を確認します



②裏面で接続端子を確認します

①プロジェクター側の接続端子と名称です



②VGA接続



③HDMI接続

【参考情報】：プロジェクターが「VGA接続」と「HDMI接続」両方対応の場合には、HDMI接続がオススメです

①接続方法に合わせて使用するケーブルを用意します

【VGA接続の場合】



②VGAケーブル（別名：D-Sub 15ピンケーブル）

【購入案内】 Amazonで「VGAケーブル」で検索  
参考価格：5mケーブル ￥1500～

①接続方法に合わせて使用するケーブルを用意します

【HDMI接続の場合】



②HDMIケーブル

【購入案内】 Amazonで「HDMIケーブル」で検索  
参考価格：5mケーブル ￥1500～

## 【MacBook側の接続方法を解説します】

① Mac側は 【Thunderbolt（サンダーボルト）】 を使用します



② 【Thunderbolt（サンダーボルト）】 からケーブルを接続する為に 【ディスプレイ変換ポート】 を用意します

## 【VGA接続の場合】

### ① 【Mini DisplayPort - VGAアダプタ】



【購入案内】 Amazonで「mini Displayport VGA」で検索  
又は、Apple online Store。参考価格：¥3,000～

## 【HDMI接続の場合】

### ① 【Mini DisplayPort - HDMIアダプタ】



【購入案内】 Amazonで「mini Displayport HDMI」で検索  
又は、Apple online Store。参考価格：¥3,500～

## 【プロジェクター接続に必要な部品一覧】

② 【ディスプレイ変換ポート】



+



+



① 【MacBook】

③ 【ケーブル】



④ 【プロジェクター】  
or 【モニター (TV) 】



この Mac について  
ソフトウェア・アップデート...  
App Store...

システム環境設定...

Dock

最近使った項目

Finder を強制終了

スリープ

再起動...

システム終了...

USB\_mac をログアウト... ⇧⌘Q

①プロジェクターを接続する前に  
Mac側の設定を確認しておきましょう

②画面左上 【apple】 – 【システム環境設定】  
をクリックします

①システム環境設定ウィンドウ  
が表示されました

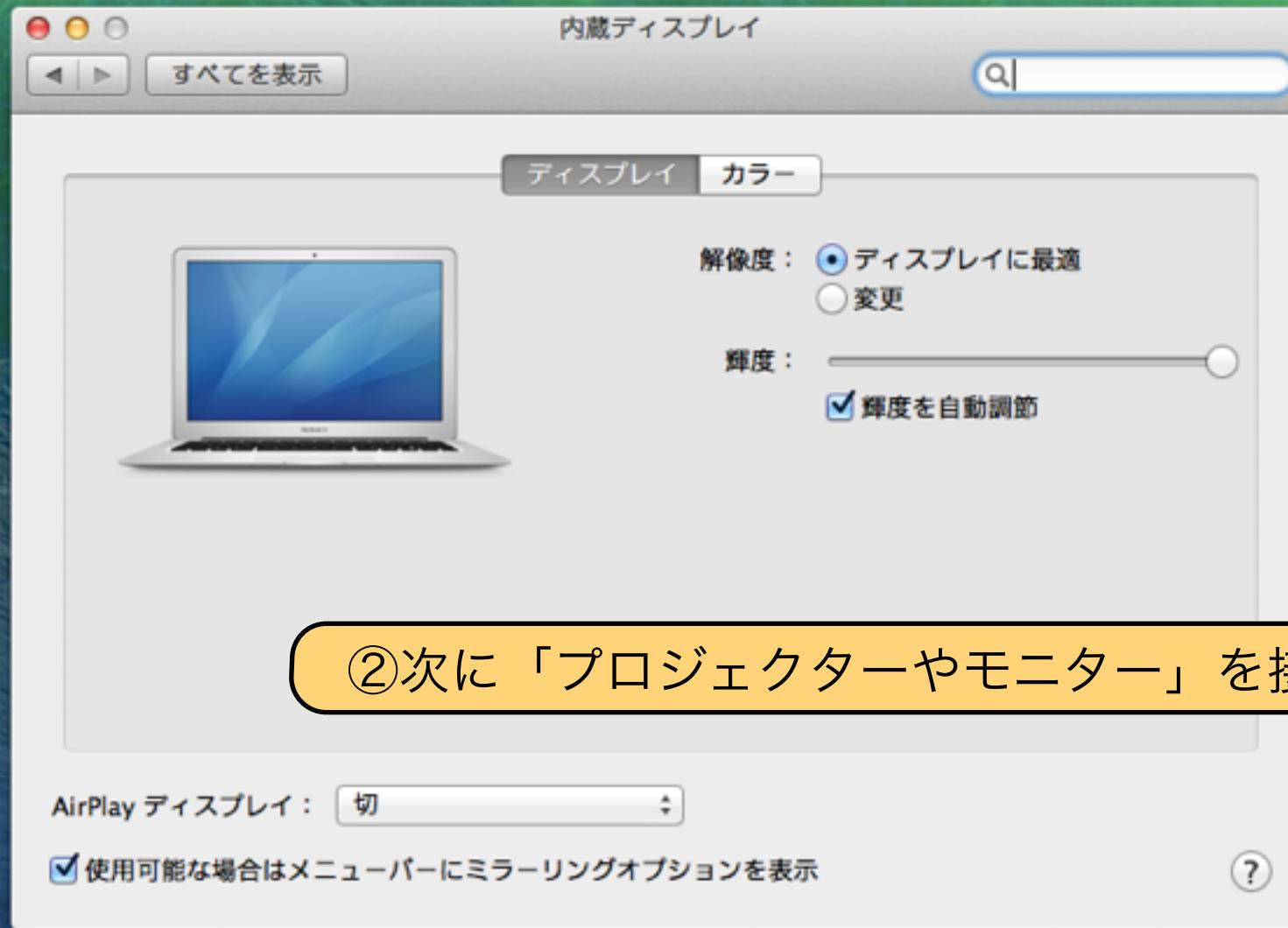


②【ディスプレイ】をクリックします





①ディスプレイ設定ウインドウが表示されました



①【接続前】



②プロジェクターやモニターが接続されると【配置】が追加表示されます

③【接続後】



①プロジェクターやモニター側には  
【TV】 設定ウインドウが表示されました



②「プロジェクターやモニター」を接続するだけで  
Macは自動的に認識します

## 【プロジェクターやモニターを認識しない場合】

### 【原因①】

プロジェクターやモニターの電源は入っていますか？

### 【解決①】

ケーブルを接続しても、電源が入っていないと認識しませんので、プロジェクターの電源を確認します。

### 【原因②】

ケーブルが、しっかりと奥まで差し込まれていますか？

### 【解決②】

ケーブルの接続に問題がない場合には、ケーブルを交換してみましょう。長いHDMIケーブルは要注意です。

① 「プロジェクターやモニター」の接続が確認できましたら  
次のレッスンで、プロジェクター表示設定を解説します



## 【プレゼンテーションの準備】



会場を借りてプレゼンテーションを行う場合。  
プロジェクター等の接続環境とネット環境、  
更に画面比率が【4：3】【16：9】を確認して  
準備をすすめましょう。

# Lesson Keynote



## Lesson 7-2 プロジェクター表示設定

keynote-study.com

【前回に続き、プロジェクトの表示設定を解説します】

①システム環境設定から「ディスプレイ」を表示します





すべてを表示

ディスプレイ 配置 カラー

① 【配置】の画面に  
切り替わりました

ディスプレイの配置を変更するには、希望する場所にドラッグします。  
メニューバーの位置を変更するには、別のディスプレイにドラッグします。

② 【MacBook】の画面

③ 【外部モニター】の画面



【予備知識】外部モニターの画面表示は高解像度では大きく  
低解像度では小さく表示されます。今回は1080iモニターを使用。



すべてを表示

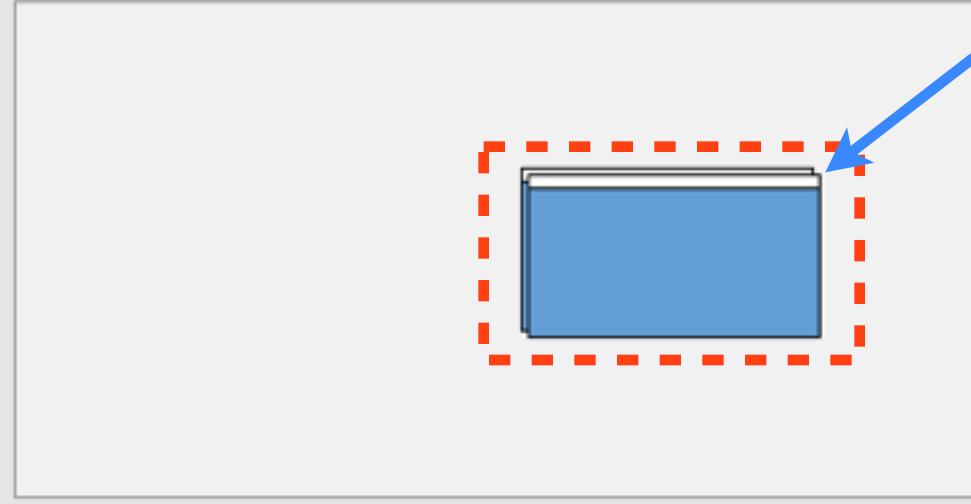
TV



## 【もし画面が重なって表示された場合】

ディスプレイ 配置 カラー

ディスプレイの配置を変更するには、希望する場所にドラッグします。  
メニューバーの位置を変更するには、別のディスプレイにドラッグします。



### 【原因と解説】

「配置」の設定で

画面が重なっている原因は  
「ミラーリング」設定にな  
っているからです。

### 【解決】

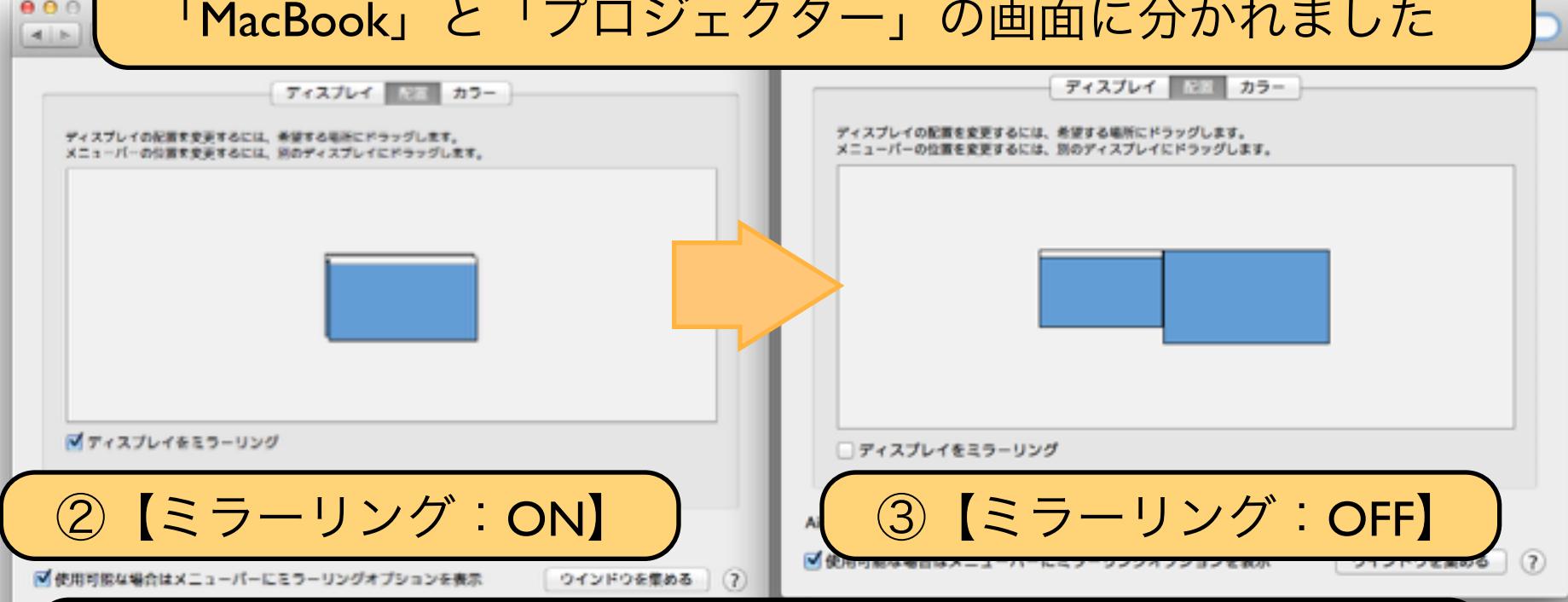
チェックマークを外すと  
二つの画面に分割されます

- ① 【ディスプレイをミラーリング】  
のチェックを外す

ウインドウを集める



① 【ディスプレイをミラーリング】のチェックを外すと  
「MacBook」 と 「プロジェクター」 の画面に分かれました



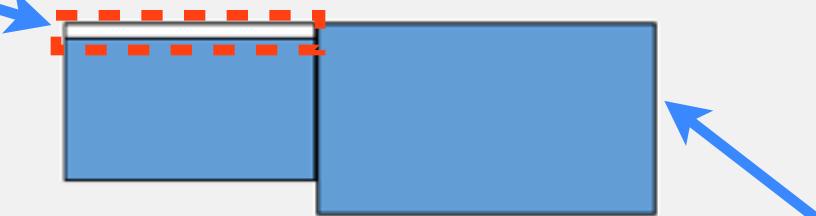
② 【ミラーリング：ON】

③ 【ミラーリング：OFF】

【用語解説】 「ミラーリング」とは？

Macの操作画面が、外部モニターにも同じように表示され  
2つのディスプレイに全く同じ画面が表示される設定です。

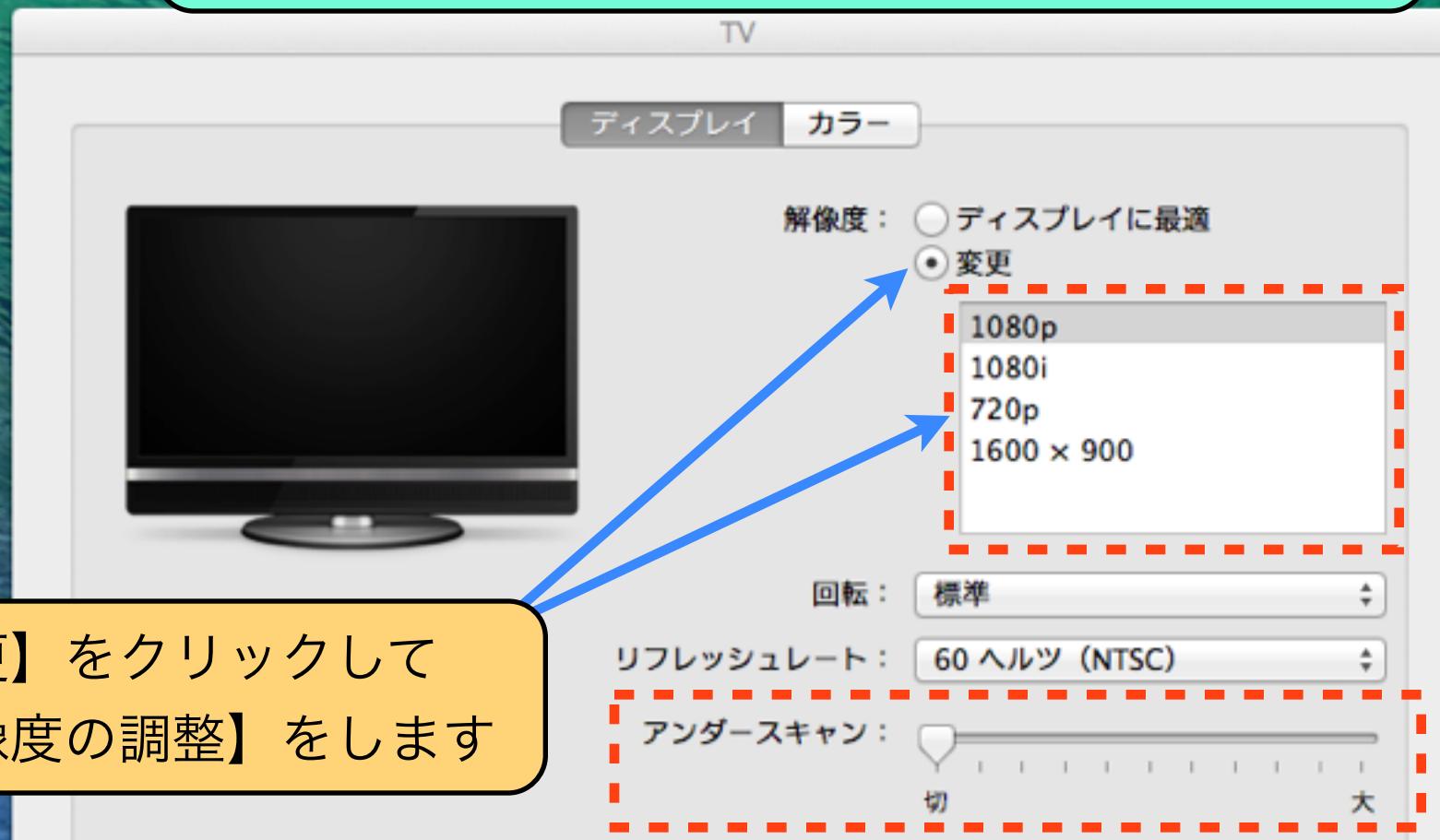
① 「白い長方形がある方」を  
【メインディスプレイ】又は  
【主ディスプレイ】と呼びます



② 「白い長方形がない方」を  
【サブディスプレイ】又は  
【副ディスプレイ】と呼びます

【予備知識】 「白い長方形」をドラッグして外部モニターを  
メインディスプレイに切り替えることも可能です

## 【プロジェクター（外部モニター）の設定】

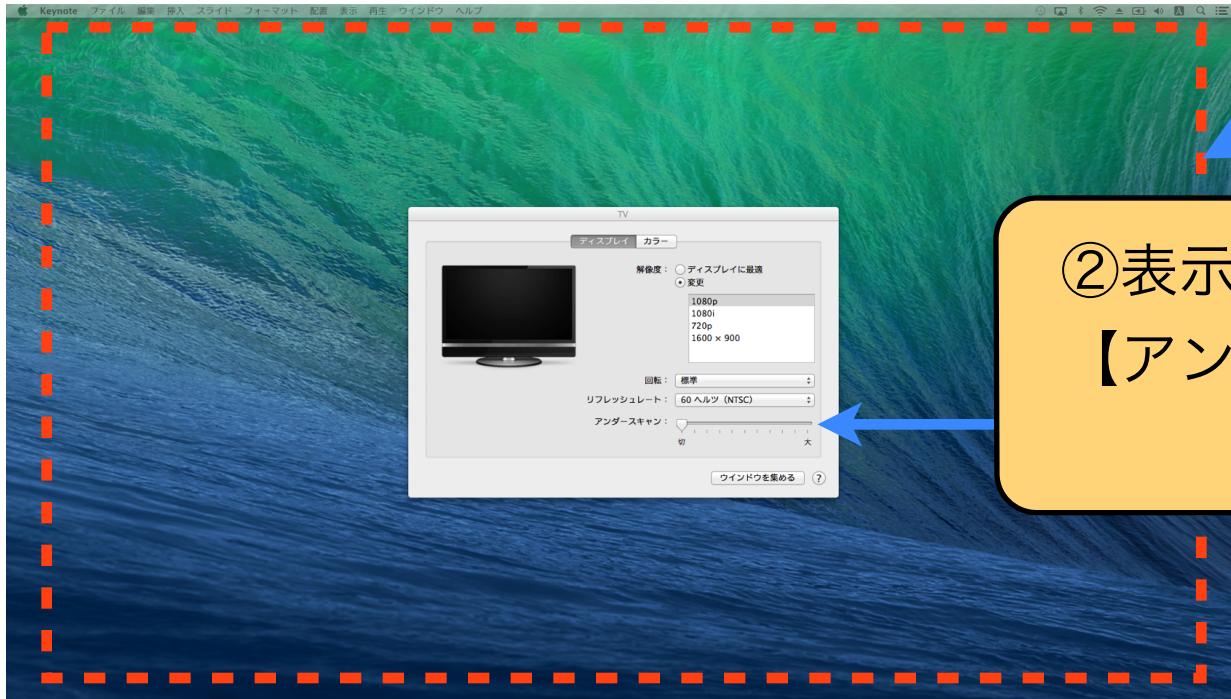


① 【変更】をクリックして  
【解像度の調整】をします

② 【アンダースキャン】で画面サイズの微調整をします

【表示領域に収まるように微調整】

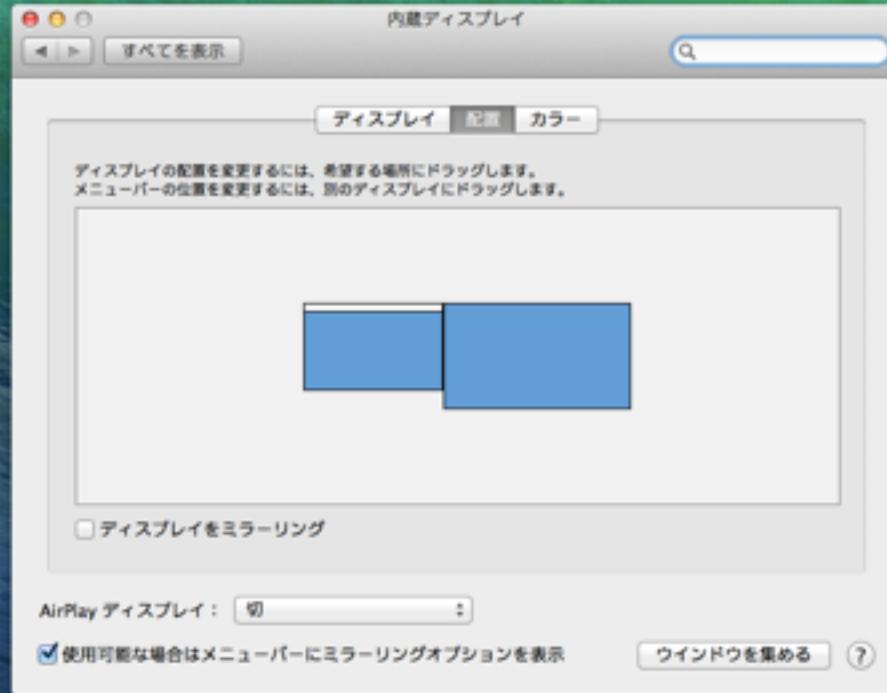
①モニターの表示領域



②表示領域に収まるように  
【アンダースキャン】で  
微調整します

【用語解説】「アンダースキャン」とは？

モニター表示領域から、パソコン画面がはみ出している場合に  
画面を小さく表示してモニター内に隅々まで表示する機能です



①プロジェクター（外部モニター）の設定は完了です

②次のレッスンで、スライドの再生手順を解説します

## 【iPhoneアプリのKeynote Remote】



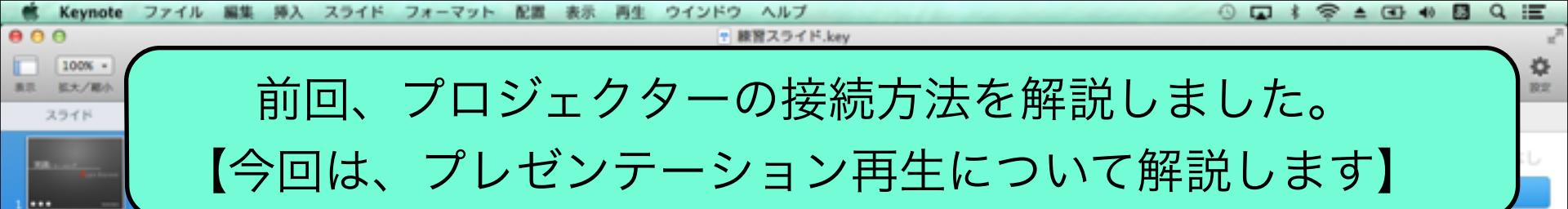
iPhoneでKeynoteのスライド操作ができるアプリ。  
「Keynote Remote」というiPhone用アプリが  
Appleから提供されています。  
リモコン操作したい方には、オススメです。

# Lesson Keynote



## Lesson 7-3 プレゼンテーション再生

keynote-study.com



①作成済みのKeynoteファイルを用意します



① [再生] をクリックします

# 実践トレーニング

## お客様側 【プロジェクト画面】

①プロジェクト (外部モニター) でスライドが再生されます

# 実践トレーニング

Apple Keynote

# 自分側の【MacBook画面】



① 【表示項目の詳細設定】はコチラをクリック

現在のスライド: 1/6

次のスライド: 2/6

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

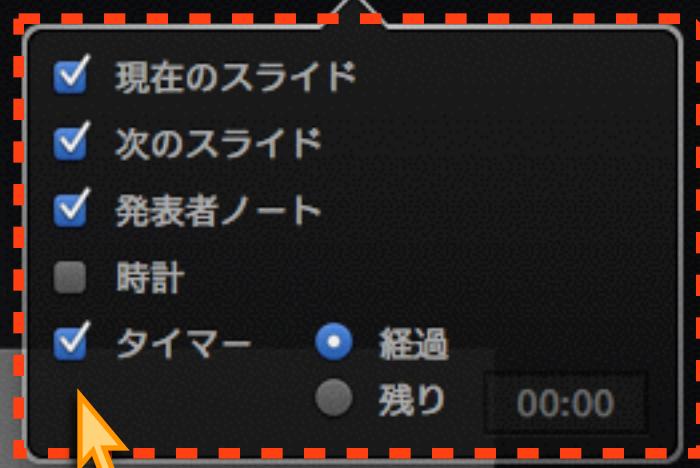
Keynoteの使い方は理解できただけど・・・



実際にスライド作成に取り掛かると  
作業が進まなくて困っています  
どうしたらいいのだろう？

0:00

ビルド残り: 1



①表示させたい項目にチェックを入れます

実践トレーニング

Apple Keynote

①チェック項目の  
表示が追加されました

00:00:00

②タイマー（経過時間）

現在のスライド: 1/6

次のスライド: 2/6

時計  
 タイマー  経過  残り 00:00

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

Keynoteの使い方は理解できたけど・・・



実際にスライド作成に取り掛かると

作業が進まなくて困っています

どうしたらいいのだろう？

③発表者ノート

発表者ノート

(挨拶)

これから、実際にKeynoteでスライドを作る際のポイントを解説していきます。

ナビゲータを表示

00:00:00

② ⌂ ⌄ X

①現在のスライド

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

②次のスライド

Keynoteの使い方は理解できたけど・・・



実際にスライド作成に取り掛かると

作業が進まなくて困っています

どうしたらいいのだろう？

③ 「スペースキー」で次のスライドへ進みます

(挨拶)

これから、実際に

④ 「ESCキー」で終了します

現在のスライド  
 次のスライド  
 発表者ノート

通  
残り 00:00

Mac Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key

72% 再生 表 グラフ テキスト 図形 メディア コメント 共有 ピント フォーマット アニメーション 設定

スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

5

6

①スライド編集画面へ戻りました

実践トレーニング

Apple Keynote

②プレゼンテーションは終了です

(挨拶)

これから、実際にKeynoteでスライドを作る際のポイントを解説していきます。

タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

## 【プレゼンテーション時間の割り振り】



プレゼンテーションの練習をする際に、  
発表者メモに「経過時間の目安」を記入すると、  
スライドと時間の割り振りに役立ちます。  
発表者メモは、大きな文字が見やすいです。



## Lesson 7-4 印刷・プリントアウト

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

## 【接続プリンタの確認方法】

Finder ファイル 編集 表示 移動 ウィンドウ ヘルプ

この Mac について  
ソフトウェア・アップデート...  
App Store...

システム環境設定...

Dock

最近使った項目

Finder を強制終了

スリープ

再起動...

システム終了...

USB\_mac をログアウト... ⇧⌘Q

①印刷する前に、接続されている  
【プリンター】を確認します

②画面左上 【】 – 【システム環境設定】  
をクリックします



①システム環境設定ウィンドウ  
が表示されました



一般



デスクトップと  
スクリーンセーバ



Dock



Mission  
Control



言語と地域



セキュリティと  
プライバシー



Spotlight



通知



CD と DVD



ディスプレイ



省エネルギー



キーボード



マウス



トラックパッド



プリンタと  
スキャナ



サウンド



iCloud



インターネット  
アカウント



ネットワーク



Bluetooth



共有



ユーザと  
グループ



ペアルンタル  
コントロール



App Store



音声入力と  
読み上げ



日付と時刻



起動  
ディスク

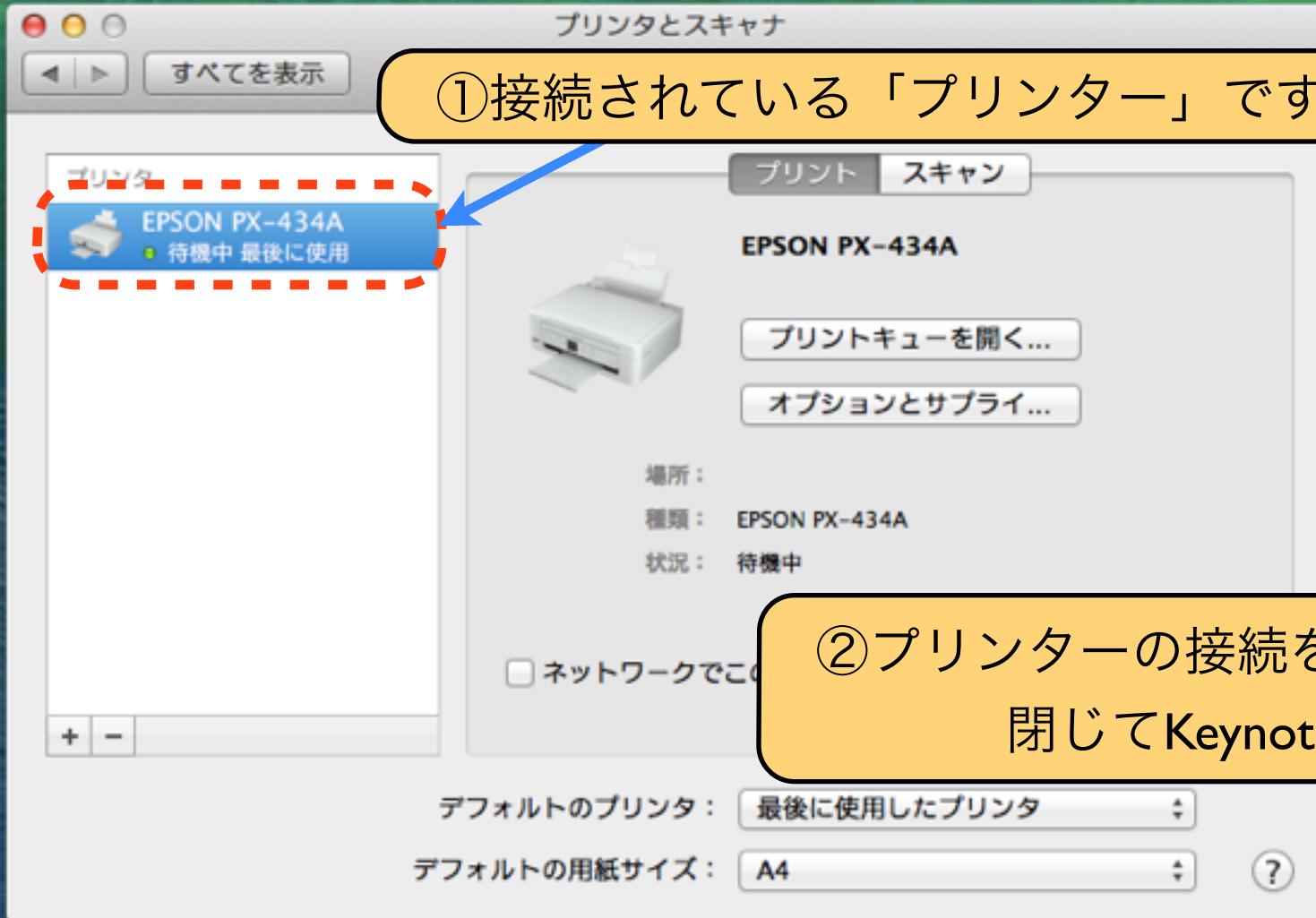


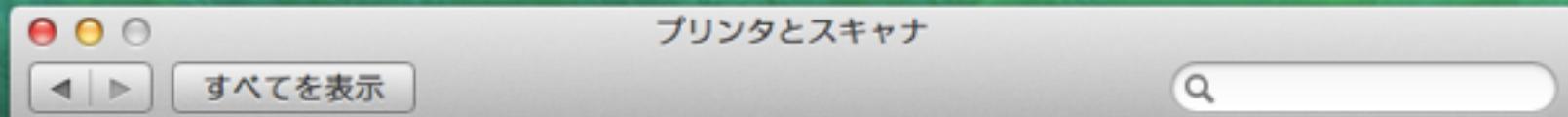
Time  
Machine



アクセシ  
ビリティ

②【プリンタとスキャナ】を  
クリックします





①何も表示されない場合は  
プリンターを先に設定をして下さい

利用できるプリンタがありません  
プリンタを設定するには、追加  
(+) をクリックします。

【注意】プリンターは「+」からと付属  
「CD」インストールの二種類あります。  
プリンター説明書を確認しましょう。



デフォルトのプリンタ： 最後に使用したプリンタ

デフォルトの用紙サイズ： A4



Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key

100% 表示 大きい 小さく 再生

スライド

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

7210

7211

7212

7213

7214

7215

7216

7217

7218

7219

7220

7221

7222

7223

7224

7225

7226

7227

7228

7229

7230

7231

7232

7233

7234

7235

7236

7237

7238

7239

7240

7241

7242

7243

7244

7245

7246

7247

7248

7249

72410

72411

72412

72413

72414

72415

72416

72417

72418

72419

72420

72421

72422

72423

72424

72425

72426

72427

72428

72429

72430

72431

72432

72433

72434

72435

72436

72437

72438

72439

72440

72441

72442

72443

72444

72445

72446

72447

72448

72449

72450

72451

72452

72453

72454

72455

72456

72457

72458

72459

72460

72461

72462

72463

72464

72465

72466

72467

72468

72469

72470

72471

72472

72473

72474

72475

72476

72477

72478

72479

72480

72481

72482

72483

72484

72485

72486

72487

72488

72489

72490

72491

72492

72493

72494

72495

72496

72497

72498

72499

724100

724101

724102

724103

724104

724105

724106

724107

724108

724109

724110

724111

724112

724113

724114

724115

724116

724117

724118

724119

724120

724121

724122

724123

724124

724125

724126

724127

724128

724129

724130

724131

724132

724133

724134

724135

724136

724137

724138

724139

724140

724141

724142

724143

724144

724145

724146

724147

724148

724149

724150

724151

724152

724153

724154

724155

724156

724157

724158

724159

724160

724161

724162

724163

724164

724165

724166

724167

724168

724169

724170

724171

724172

724173

724174

724175

724176

724177

724178

724179

724180

724181

724182

724183

724184

724185

724186

724187

724188

724189

724190

724191

724192

724193

724194

724195

724196

724197

724198

724199

724200

724201

724202

724203

724204

724205

724206

724207

724208

724209

724210

724211

724212

724213

724214

724215

724216

724217

724218

724219

724220

724221

724222

724223

724224

724225

724226

724227

724228

724229

724230

724231

724232

724233

724234

724235

724236

724237

724238

724239

724240

724241

724242

724243

724244

724245

724246

724247

724248

724249

724250

724251

724252

724253

724254

724255

724256

724257

724258

724259

724260

724261

724262

724263

724264

724265

724266

724267

724268

724269

724270

724271

724272

724273

724274

724275

724276

724277

724278

724279

724280

724281

724282

724283

724284

724285

724286

724287

724288

724289

724290

724291

724292

724293

724294

724295

724296

724297

724298

724299

724300

724301

724302

724303

724304

724305

724306

724307

724308

724309

724310

724311

724312

724313

724314

724315

724316

724317

724318

724319

724320

724321

724322

724323

724324

724325

724326

724327

724328

724329

724330

724331

724332

724333

724334

724335

724336

724337

724338

724339

724340

724341

724342

724343

724344

724345

724346

724347

724348

724349

724350

724351

724352

724353

724354

724355

724356

724357

724358

724359

724360

724361

724362

724363

724364

724365

724366

724367

724368

724369

724370

724371

724372

724373

724374

724375

724376

724377

724378

724379

724380

724381

724382

724383

724384

724385

724386

724387

724388

724389

724390

724391

724392

724393

724394

724395

724396

724397

724398

724399

724400

724401

724402

724403

724404

724405

724406

724407

724408

724409

724410

724411

724412

724413

724414

724415

724416

724417

724418

724419

724420

724421

724422

724423

724424

724425

724426

724427

724428

724429

724430

724431

724432

724433

724434

724435

724436

724437

724438

724439

724440

724441

724442

724443

724444

724445

724446

724447

724448

724449

724450

724451

724452

724453

724454

724455

724456

724457

724458

724459

724460

724461

724462

724463

724464

724465

724466

724467

724468

724469

724470

724471

724472

724473

724474

724475

724476

724477

724478

724479

724480

724481

724482

724483

724484

724485

724486

724487

724488

724489

724490

724491

724492

724493

724494

724495

724496

724497

724498

724499

724500

724501

724502

724503

724504

724505

724506

724507

724508

724509

724510

724511

724512

724513

724514

724515

724516

724517

724518

724519

724520

724521

724522

724523

724524

724525

724526

724527

724528

724529

724530

724531

724532

724533

724534

724535

724536

724537

724538

724539

724540

724541

724542

724543

724544

724545

724546

724547

724548

724549

724550

724551

724552

724553

724554

724555

724556

724557

724558

724559

724560

724561

724562

724563

724564

724565

724566

724567

724568

724569

724570

724571

724572

724573

724574

724575

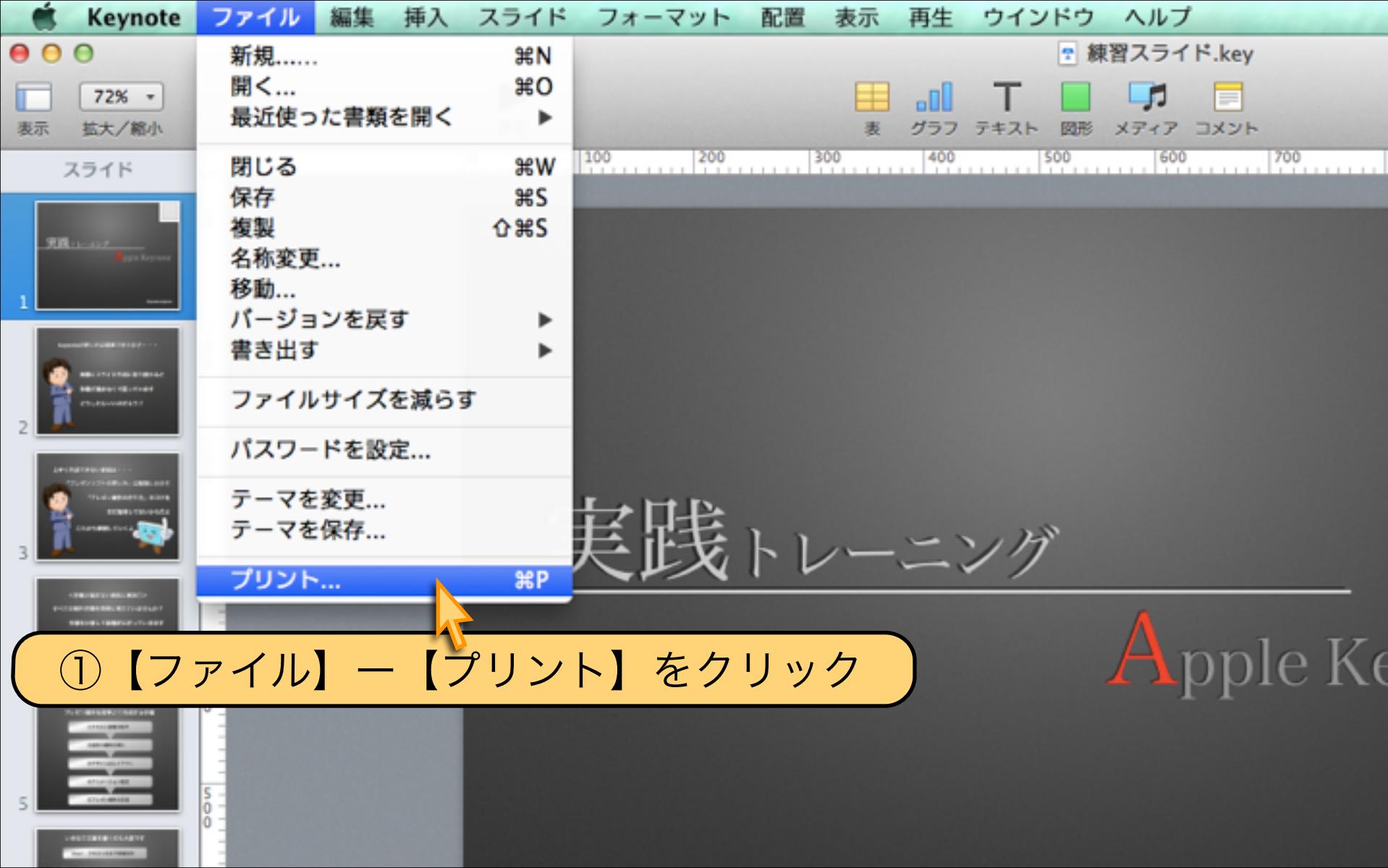
724576

724577

724578

724579

72458



プリンタ： EPSON PX-434A

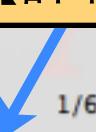
部数： 1

ページ： すべて

① プリント設定ウインドウ  
が表示されました

実践トレーニング  
Apple Keynote

② 【詳細を表示】をクリック

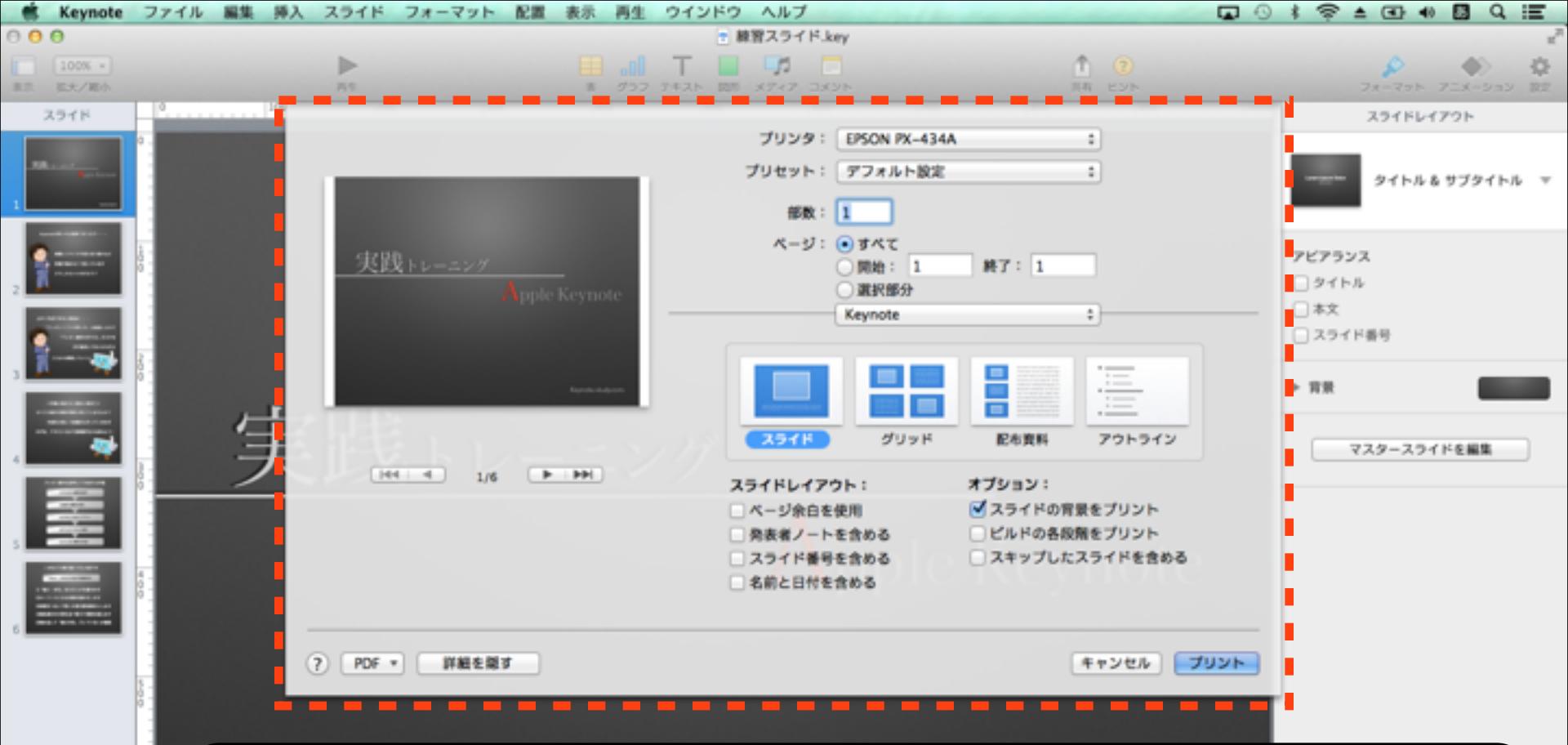


PDF

詳細を表示

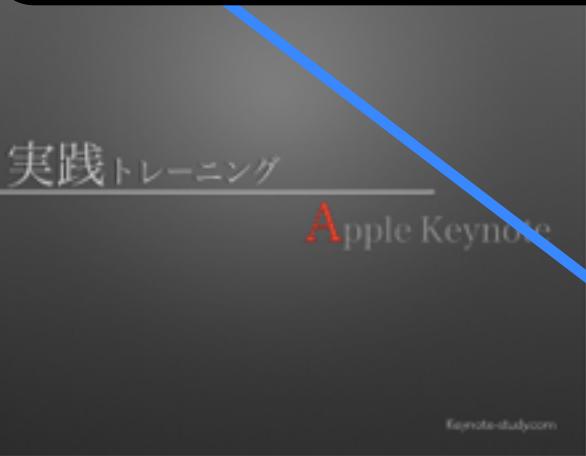
キャンセル

プリント



①プリントの【詳細設定ウインドウ】に切り替わりました

# ①印刷レイアウトを選択



プリンタ: EPSON PX-434A  
プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ:  すべて

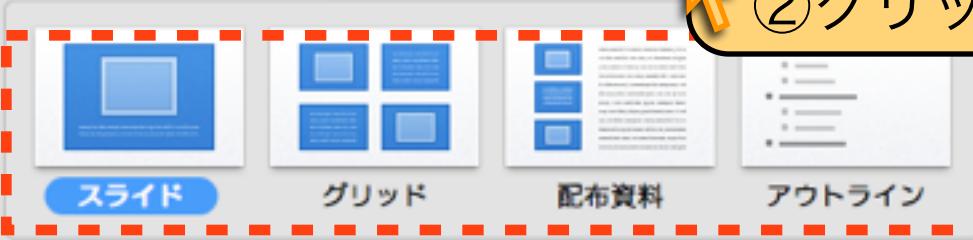
開始: 1

終了: 1

選択部分

Keynote

# ②クリック



スライドレイアウト:

- ページ余白を使用
- 発表者ノートを含める
- スライド番号を含める
- 名前と日付を含める

オプション:

- スライドの背景をプリント
- ビルドの各段階をプリント
- スキップしたスライドを含める

①メニュー選択画面が表示されました

②設定したい項目を選択して設定して下さい

プリンタ： EPSON PX-434A

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ：  すべて  
 開始： 1 終了： 1  
 選択部分

✓ Keynote

ページ属性  
レイアウト  
カラー・マッチング  
用紙処理  
表紙

アウトライン

スライド

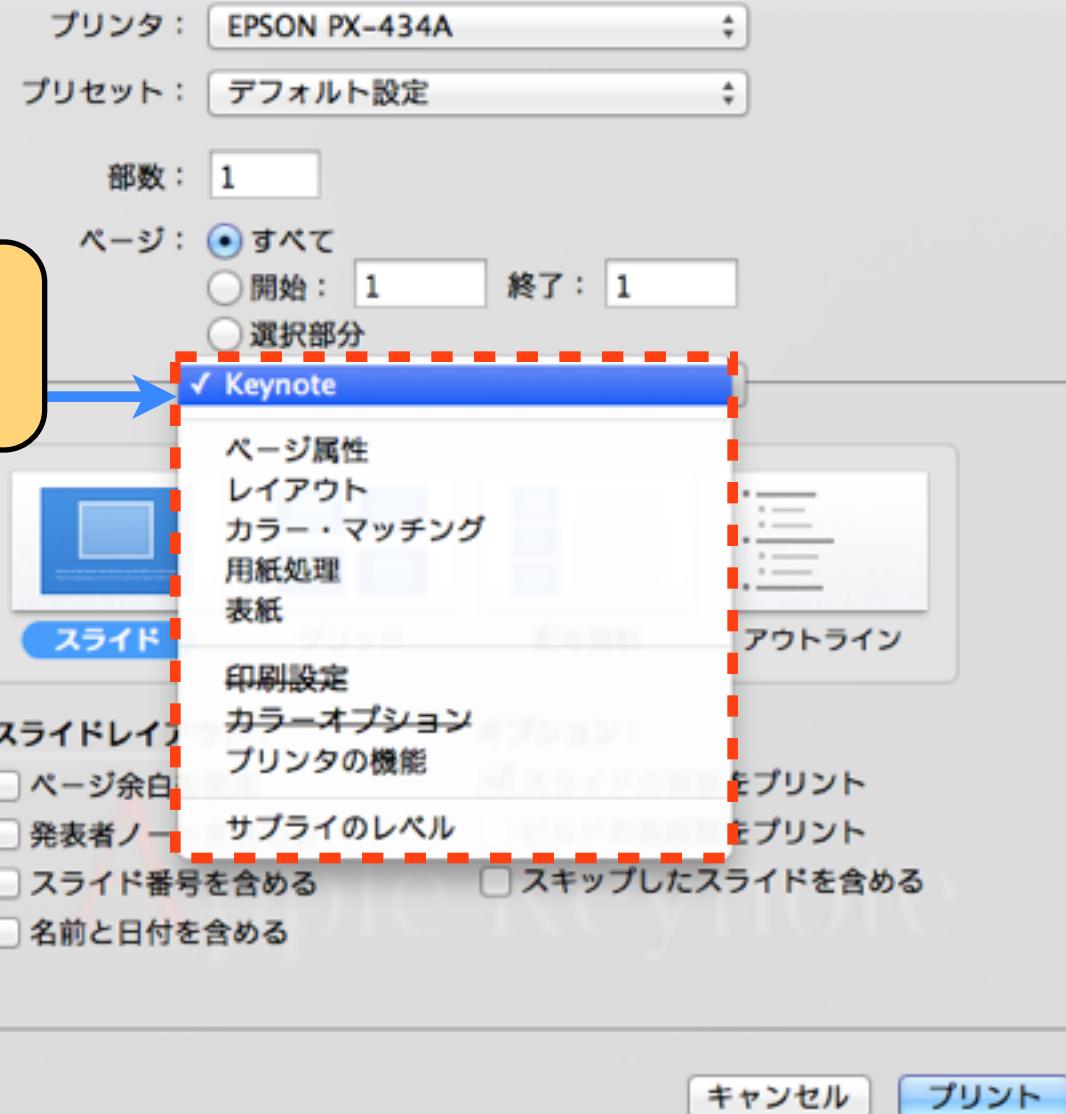
スライドレイヤー

ページ余白  
 発表者ノート  
 スライド番号を含める  
 名前と日付を含める

印刷設定  
カラーオプション  
プリンタの機能  
サブライのレベル

をプリント  
 をプリント  
 スキップしたスライドを含める

PDF ▾ 詳細を隠す キャンセル プリント



①印刷部数と範囲を設定

プリンタ: EPSON PX-434A  
プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ●すべて

○開始: 1

終了: 1

○選択部分

Keynote

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

1/6

②必要な項目に  
チェックします

スライドレイアウト:

- ページ余白を使用
- 発表者ノートを含める
- スライド番号を含める
- 名前と日付を含める

オプション:

- スライドの背景をプリント
- ビルドの各段階をプリント
- スキップしたスライドを含める

③【プリント】をクリックして印刷します

PDF

キャンセル

プリント

Keynote ファイル 編集 埋入 スライド フォーマット 配置 表示 再生 ウィンドウ ヘルプ

練習スライド.key

100% 表示 大きい 小さく 再生

スライド

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

表 グラフ テキスト 圖形 メディア コメント

共有 ヒント

フォーマット アニメーション 設定

スライドレイアウト

タイトル & サブタイトル

アピアランス

タイトル

本文

スライド番号

背景

マスタースライドを編集

①印刷物を確認して完了です

# 実践トレーニング

# Apple Keynote

Keynote-study.com

## 【わざと印刷しないテクニック】



配布資料に全ての内容が印刷されていると、  
ネタバレしてプレゼンを聞く意欲が下がります。  
配布する場合にはタイミングとバランスを考え、  
プレゼンに集中させるのもテクニックです。

# Lesson Keynote

Lesson 8-1

iPadのiCloud設定

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

## 【iPadでプレゼンテーションする為の準備】

iPadでプレゼンする為に、Macで作成したKeynoteファイルをiPadへコピーする方法が二種類あります。

【方法①】メールの添付ファイルとしてiPadへ送る

【方法②】iCloudを利用してiPadでファイルを受け取る

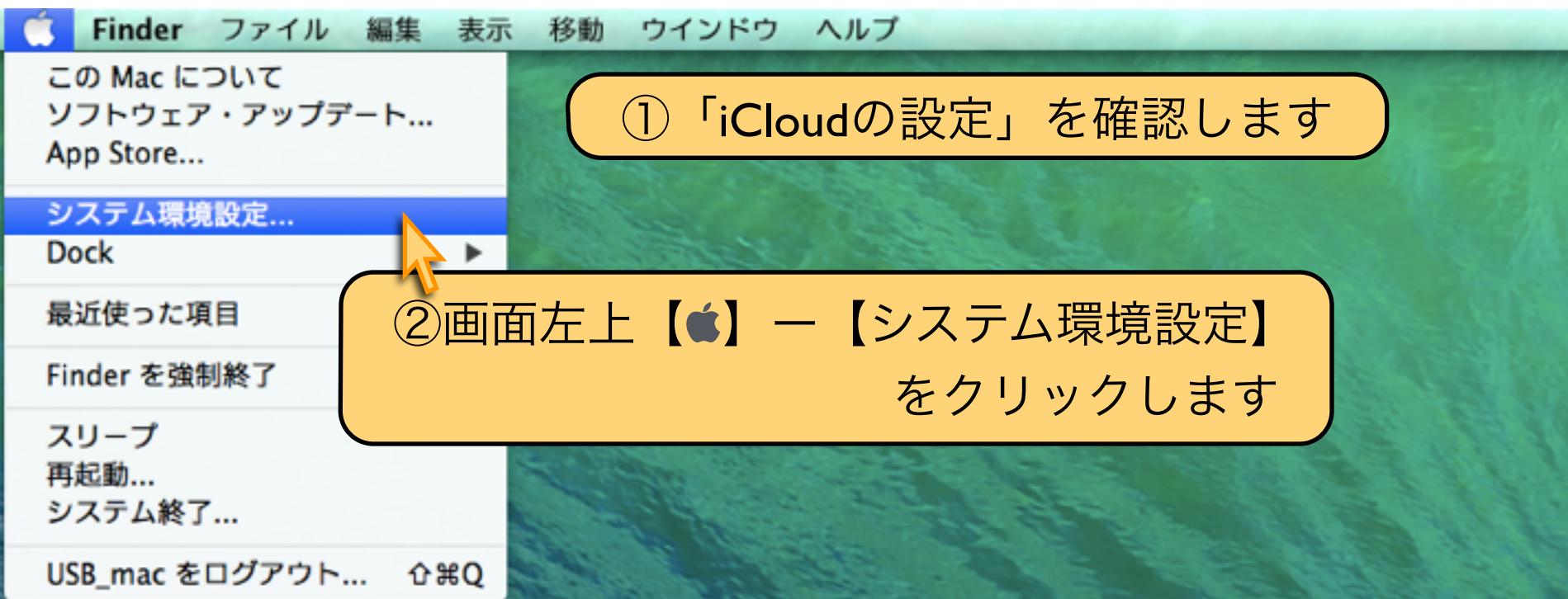
今回は「iCloudを利用する方法」を紹介します



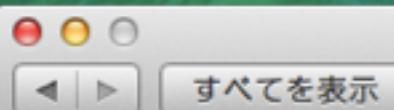
【用語解説】iCloudとは？

Macで作成したデータをインターネットを使って、自動的にiPadやiPhoneにデータをコピー（同期）してくれるサービスです。

## 【iCloud設定の確認方法】







iCloud

keynote-study

アカウントの詳細

サインアウト



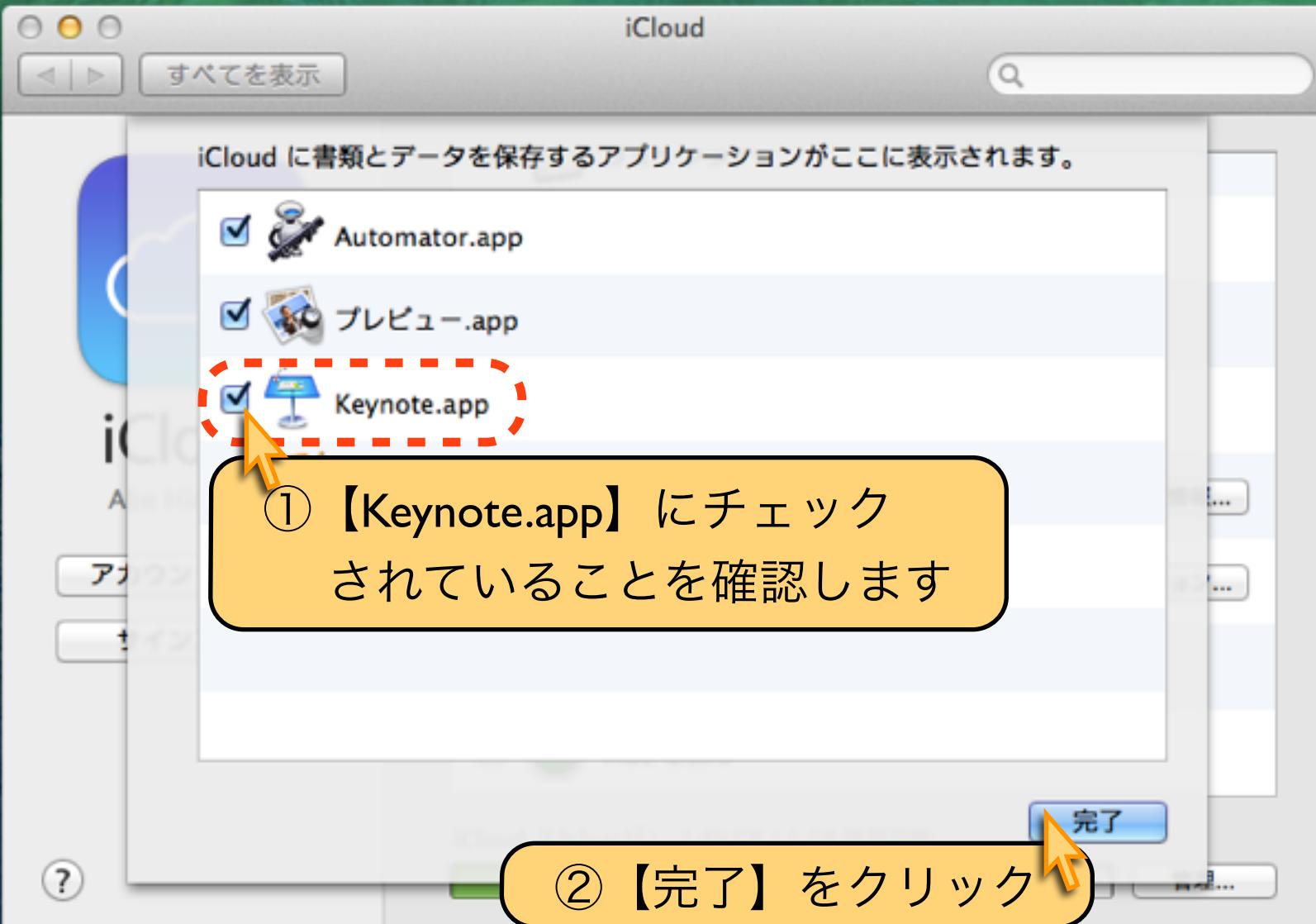
iCloud



① iCloud設定ウィンドウ  
が表示されました

② 【書類とデータ】に  
チェックを入れます

③ 【オプション】  
をクリック



# 【iCloudアカウント名の確認方法】



①iCloudを利用する際の【あなたのアカウント】を確認します。  
「iPad・iPhone」にも同じアカウントを入力します。



【用語解説】アカウントとは？  
サービスを「使用する権利」のことです。  
アカウントを設定して、iCloudサービスが利用可能になります。  
MacとiPadに同じ「アカウント」と「パスワード」を入力して  
同一人物の権利を持っている人だと承認する仕組みです。



【iCloud未設定の場合】Apple IDの入力。又は作成して下さい

# iCloud

iCloud に保存されるコンテンツは、お使いのデバイスにワイヤレスでプッシュ配信されます。

[iCloud に関する詳しい情報。](#)



①新規Apple IDの作成はこちら

iCloud に使用する Apple ID :

[Apple ID を作成...](#)

[パスワードをお忘れですか？](#)

サインイン



## 【iPad側のiCloud設定方法】

①Mac側で確認した  
「iCloudアカウント」を  
iPad側にも同じアカウントで  
iCloud設定をしていきます。



メッセージ



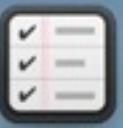
カレンダー



YouTube



メモ



リマインダー



マップ



ビデオ



連絡先



Game Center



iTunes



App Store



Newsstand



FaceTime



カメラ



Photo Booth



設定



産経新聞HD

① 【設定】をタップします



Safari



メール



写真



ミュージック



機内モード 

Wi-Fi Free 2.4Ghz

Bluetooth オフ

通知センター

コントロールセンター

おやすみモード

一般

サウンド

壁紙/明るさ

プライバシー

iCloud

メール/連絡先/カレンダー

ICLOUD

アカウント

keynote-study@gmail.com >

 メール

 連絡先

 カレンダー

 リマインダー

 Safari

 メモ

 キーチェーン

 写真

 書類とデータ

 iPadを探す

① 【書類とデータ】項目を  
【ON】にします

オフ >

オン >

オン >

オン >

“iPadを探す”により、このiPadを探したり、ロックしたり、消去したりすることができ、またパスワードなしで消去または操作されるのをできないようにします。



## 【iPhoneのiCloud設定方法】

① Mac側で確認した  
「iCloudアカウント」を  
iPhone側にも設定します

② 【設定】をタップします

# 【iPhoneのiCloud設定方法】

設定



一般



プライバシー



iCloud



メール/連絡先/カレンダー



メモ



リマインダー



メッセージ



FaceTime



設定

iCloud

iCloud

書類とデータ

アカウント

keynote-study@gmail.com



メール



連絡先



Safari



Passbook



キーチェーン



写真



書類とデータ



① 【iCloud】をタップ

② 【アカウント】を確認

③ 【書類とデータ】を【ON】



書類とデータ

オフ >



書類とデータを iCloud に保存することを App に許可します。



Camera+



GarageBand



GoodReader



Keynote



Pages



④ 【Keynote】を【ON】



オン >

①Mac・iPad・iPhoneのiCloud設定は終了です



②Macで作成したKeynoteファイルがiCloudを通じて  
自動的にiPad・iPhoneへコピーされる設定準備が整いました。  
次のレッスンで、具体的な操作手順を解説します。

## 【Apple製品で揃えてしまう理由】



iCloudは他にも、アドレス帳やスケジュール等、自動的にMac、iPhone、iPadと同期できます。どこでも仕事できる環境のiCloudを利用する為にApple製品で揃える人が多いようです。

Lesson 8-2 iCloudへデータをコピー

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

前回のレッスンに引き続き、今回は作成ファイルを  
【iCloudへのアップロード手順】を解説します



①iCloudにデータをアップロードすることで、  
iPhone、iPadでMacで同じデータを扱うことが出来ます



Server



Safari



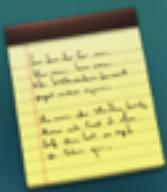
メール



メッセージ



連絡先



メモ



FaceTime



Photo Booth



iTunes



App Store



プレビュー



テキストエディット



計算機



辞書



その他



システム環境設定



Xcode



Blackmagic...k Speed Test



ComicViewer



Cyberduck

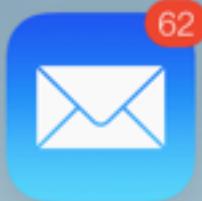
① 【Safari】を起動します

② 【Apple ID】 と  
【パスワード】  
を入力します

① 【<https://www.icloud.com/>】 ヘアクセス

【注意】 Apple IDとiCloudアカウントの確認方法は、  
前回のレッスンをご覧下さい

① iCloudにログインしました



メール



連絡先



カレンダー



メモ



リマインダー



iPhoneを探す



Pages



Numbers



Keynote

② 【Keynote】 をクリック

iCloud Keynote



①iCloud Keynoteの画面に  
切り替わりました

②データのアップロードはこちらから





リーダー



beta

① 【歯車マーク】をクリック



beta

新規作成

プレゼンテーションをアップロード...

プレゼンテーションをダウンロード...

プレゼンテーションを複製

プレゼンテーションを削除



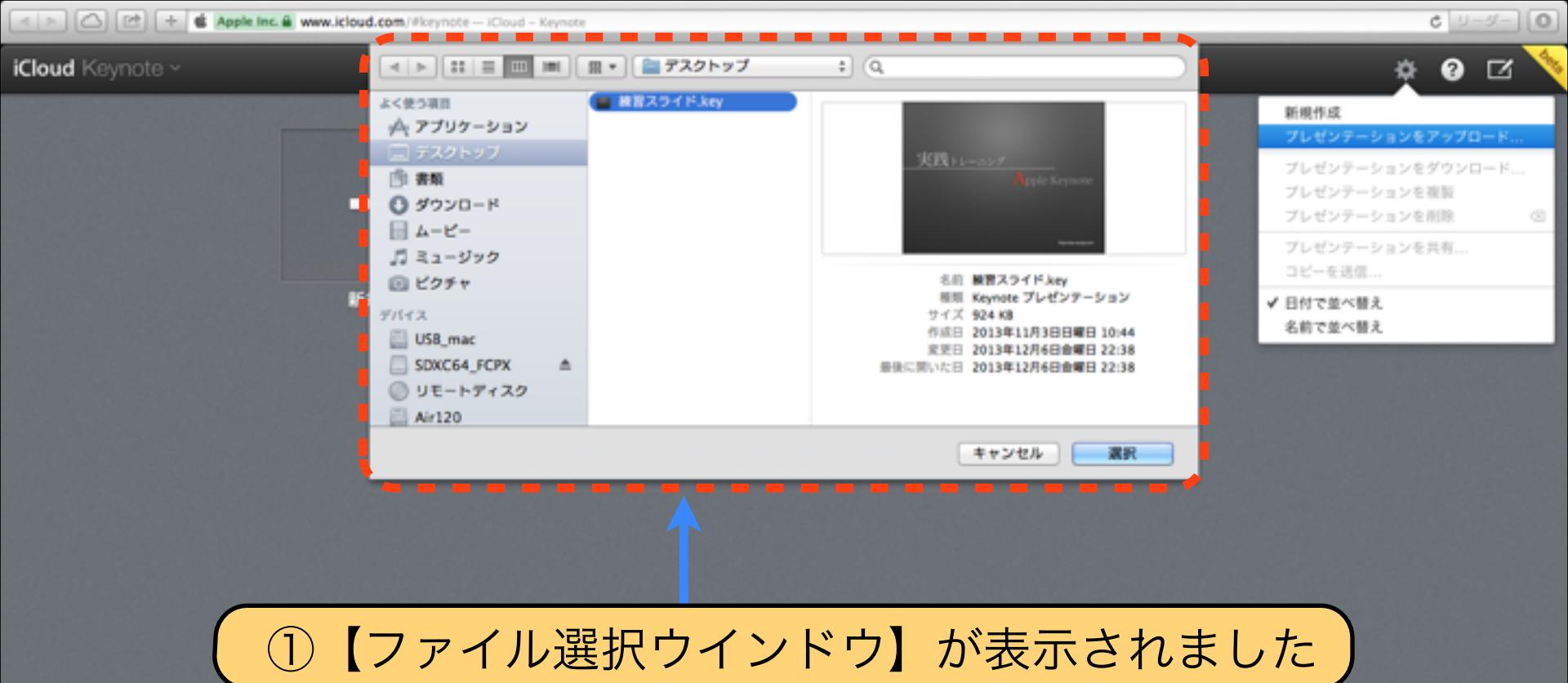
プレゼンテーションを共有...

コピーを送信...

✓ 日付で並べ替え

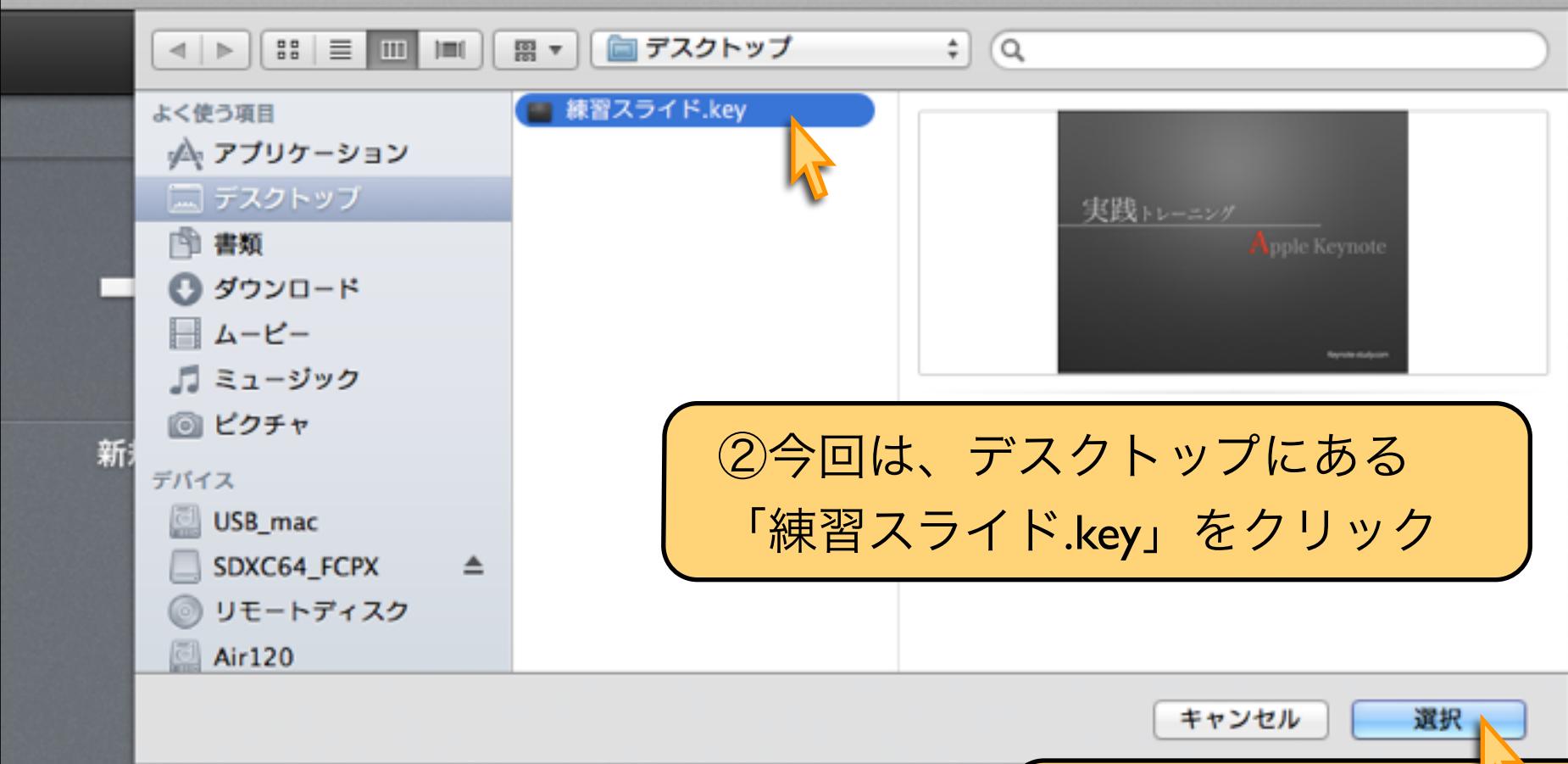
名前で並べ替え

① 【プレゼンテーションをアップロード】をクリック



①iCloudへアップロードするファイルを選択します

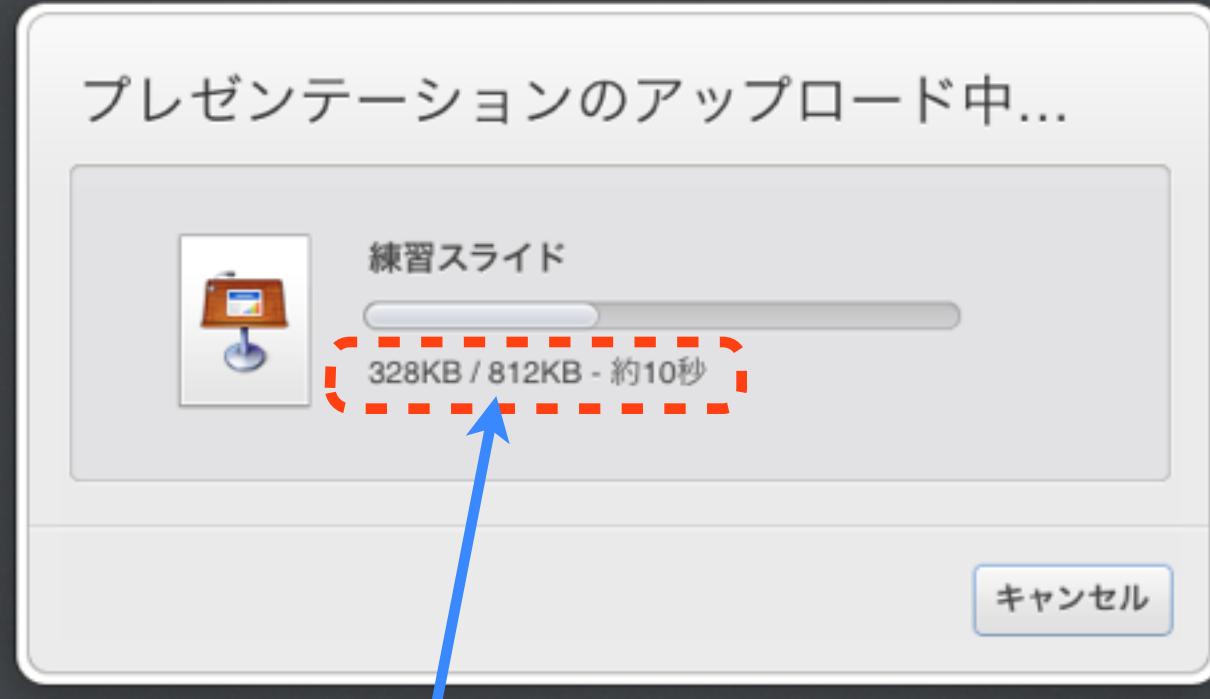
www.icloud.com/#keynote — iCloud – Keynote



② 今回は、デスクトップにある  
「練習スライド.key」をクリック

③ 【選択】をクリック

①選択したファイルがアップロードされます



②ファイルの【データ容量】や、ネット回線のスピードにより  
アップロードに必要な時間は異なります



新規作成



練習スライド

今日、20:45

①ファイルのアップロードが完了しました

## 【WindowsパソコンでKeynote】



ブラウザでiCloudにログインすることで、  
Windowsパソコンからファイルを閲覧・編集  
が可能になりました。  
ただし、使える機能は制限されています。

# Lesson Keynote

Lesson 8-3

iPad版 Keynote

[keynote-study.com](http://keynote-study.com)

## 【iCloudとiPad版Keynoteの操作解説】



② iPadに【Keynoteアプリ】が無い場合。



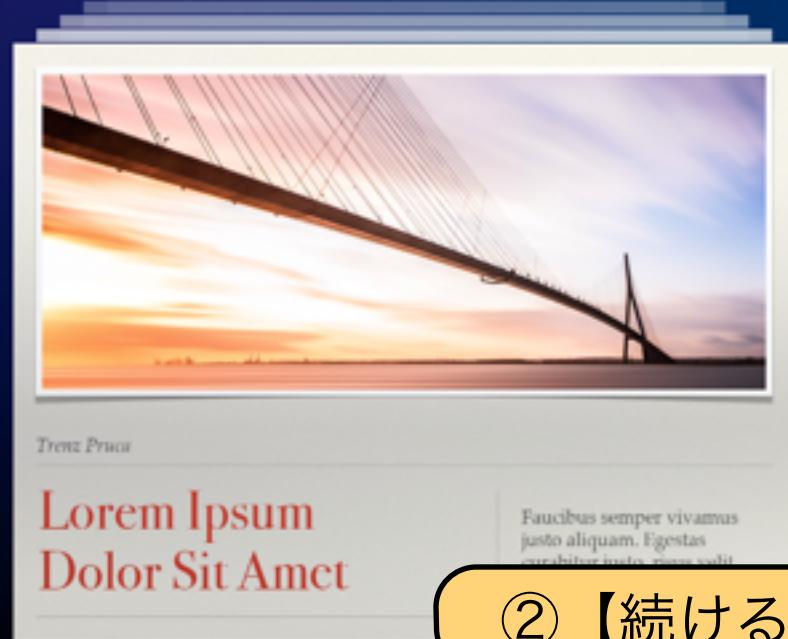
iPad【App Store】からインストールして下さい



# ようこそKeynoteへ

モバイルデバイス用に設計された最も美しいプレゼンテーションAppです。

① iPad版Keynoteが起動しました



② 【続ける】をタップ

続ける

# iCloud for Keynote

iCloudによって、すべてのデバイスのプレゼンテーションが常に同期されます。  
iCloud.comにあるプレゼンテーションは、MacまたはPCブラウザから編集できます。



① 【iCloudを使用】をタップ

後で

iCloudを使用



# はじめよう



魅力的なアニメーション

プレゼンテーションに映画のようなトランジションやエフェクトを追加できます。



インタラクティブグラフ

新しいインタラクティブグラフでデータを分かりやすく表示します。



共有

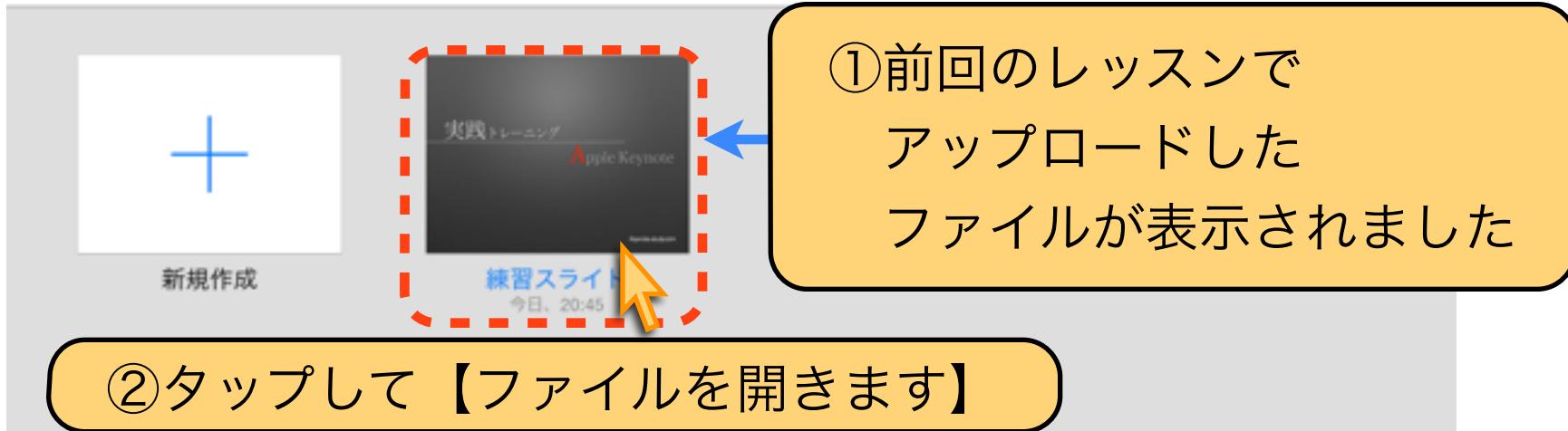
メールやメッセージを使って作業へのリンク

① 【プレゼンテーションを表示】をタップ

プレゼンテーションを表示

プレゼンテーションを作成

+ □



## 練習スライド

①ファイルのダウンロードが始まります

フォントと素材をダウンロード中

2.4 MB / 9.2 MB

キャンセル

①ファイルが開きました

# 実践トレーニング

Apple Keynote

②パソコンで作成したKeynoteファイルを  
iCloudを通してiPadで開くことができました

練習スライド



① 【▶】全画面でスライド再生スタート

# 実践トレーニング

# Apple Keynote

①全画面でプレゼンテーションがスタートします

# 実践トレーニング

Apple Keynote

②iPadのプレゼン設定は完了です

## 【MacキーノートとiPadキーノートの違い】



iPadキーノートは、Macキーノートを簡略化したソフトです。  
Macキーノートの全ての機能が同じように使えません。  
iPadで扱う時の注意事項を紹介します。

トランジション

再生

オブジェクトキューブ

オブジェクトの拡大縮小 

オブジェクトブッシュ

オブジェクトフリップ

オブジェクトポップ

カラーでフェード

カラープレーン

エフェクト

オプション

## 【注意①】

Macで設定したビルドやトランジション効果の一部が、再現されません。

### 【原因】

iPad版Keynoteは、すべてのビルドやトランジションには対応していません。対応できない場合は、他のビルドに自動的に変更されてしまいます。

### 【対策】

iPadでプレゼンを予定している方は、iPad版キーノートの対応エフェクトを確認してスライドを作りましょう。

## 【注意②】

フォントとレイアウトをチェック

### 【原因】

Mac版Keynoteで設定したフォントが  
iPad版Keynoteに対応していないと、  
自動的に他のフォントに置き換わり  
レイアウトが崩れてしまいます。

### 【対策】

iPadにフォントをインストールすることは  
できません。

対応フォントを確認して作成しましょう。

戻る

フォント

Times New Roman

i

Trebuchet MS

i

Verdana

i

Zapf Dingbats



ヒラギノ明朝 Pro



ヒラギノ明朝 ProN

i

ヒラギノ角ゴ ProN

i

黒体-簡

i

甲体-簡

i

## 【iPadでプレゼンテーションする方へ】



最初のスライドのサイズ設定の項目で、  
標準（4：3）がiPadに最適なスライド比率です。  
iPadキーノートで対応しているフォントや  
ビルドやトランジションだけで作成しましょう。